

平成 2 6 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 2 6 年度調査）の
速報案について

○適切な向精神薬使用の推進や精神疾患患者の地域移行と地域定着の推進等を含む精神

医療の実施状況調査

（右下頁）

・ 調査の概要	7 頁
・ 施設調査	1 3 頁
・ 病棟調査	8 7 頁
・ 患者調査	1 2 5 頁
・ 調査票	1 8 1 頁

平成 26 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 26 年度調査）

適切な向精神薬使用の推進や精神疾患患者の地域移行と地域定着の
推進等を含む精神医療の実施状況調査 結果概要（速報）（案）

◇◆目 次◇◆

I. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	2
4. 調査項目	2
5. その他	5
II. 調査の結果	6
1. 回収結果	6
2. 施設調査の結果	7
(1) 施設の概況（平成 26 年 10 月末現在）	8
①開設者	8
②病院種別	8
③同一法人または関連法人が運営する施設・事業所	9
④救急医療体制の状況	10
⑤精神医療に関する指定等の状況	11
⑥精神科救急医療体制整備事業への参加状況等	12
⑦時間外、休日または深夜の診療状況等	13
⑧出来高情報の記録・保管状況	14
⑨病棟数・許可病床数・病床利用率・平均在院日数	15
(2) 精神科の診療体制等	21
①精神科の外来を担当している医師数	21
②1 週間の外来診療従事時間	22
③1 週間の外来延べ患者数	22
④精神科病棟に従事している職員数	23
⑤精神科病棟入院基本料の種類	26
(3) 精神医療・認知症医療の実施状況等	27
①施設基準の届出状況等	27
②精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料に関する最も厳しい施設基準	56
③認知症患者リハビリテーション料の実施状況等	57
④各診療報酬項目の算定患者数と算定回数	59
⑤精神科薬物療法の状況等	69
(4) 精神科訪問看護の実施状況等	70
①精神科訪問看護の実施状況等	70

②精神科訪問看護の開始時期	70
③精神科訪問看護に携わる職員数	71
④精神科訪問看護利用者数	71
⑤精神科訪問看護・指導料の算定利用者数と算定回数	72
⑥精神科訪問看護・指導料の各加算の算定利用者数と算定患者数	73
⑦複数回の精神科訪問看護を行った利用者数	74
(5) 精神科重症患者早期集中支援管理料の実施状況等	75
①精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出状況	75
②精神科重症患者早期集中支援管理料を実施する上で、連携する訪問看護ステーションの有無	75
③精神科重症患者早期集中支援管理料を実施する際の職員の体制	76
④精神科重症患者早期集中支援管理料を算定した患者数	77
⑤精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出を行っていない理由	78
⑥精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出意向	80
3. 病棟調査の結果	81
(1) 精神病棟入院基本料算定病棟	81
①病棟数・許可病床数	81
②月末在院患者数	81
③年齢階級別在院患者数	82
④主たる疾患別在院患者数	82
⑤GAF 尺度別在院患者数	83
⑥向精神薬使用数別患者数	83
⑦在院期間別在院患者数	84
⑧平成 26 年 10 月 1 か月間における新規入院患者数	84
⑨平成 26 年 10 月 1 か月間における退院患者数	85
⑩病棟の診療体制	86
⑪精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無	87
⑫精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出をしていない最大の理由	87
⑬精神病棟入院基本料算定病棟の入院患者が、地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等	88
(2) 精神療養病棟入院料算定病棟	89
①病棟数・許可病床数	89
②月末在院患者数	89
③年齢階級別在院患者数	89
④主たる疾患別在院患者数	90
⑤GAF 尺度別在院患者数	91
⑥向精神薬使用数別患者数	91
⑦在院期間別在院患者数	92

⑧平成 26 年 10 月 1 か月間における新規入院患者数.....	93
⑨平成 26 年 10 月 1 か月間における退院・転院患者数.....	93
⑩病棟の診療体制.....	94
⑪精神療養病棟における退院支援相談.....	94
⑫精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無.....	95
⑬精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出をしていない最大の理由.....	95
⑭精神療養病棟の入院患者が、地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等.....	96
(3) 精神科救急入院料算定病棟.....	97
①病棟数・許可病床数.....	97
②月末在院患者数.....	97
③年齢階級別在院患者数.....	97
④主たる疾患別在院患者数.....	98
⑤GAF 尺度別在院患者数.....	99
⑥向精神薬使用数別患者数.....	99
⑦在院期間別在院患者数.....	100
⑧1 か月間における新規入院患者数.....	101
⑨1 か月間における退院・転院患者数.....	102
⑩病棟の診療体制.....	103
(4) 精神科救急・合併症入院料算定病棟.....	104
①病棟数・許可病床数.....	104
②月末在院患者数.....	104
③年齢階級別在院患者数.....	104
④主たる疾患別在院患者数.....	105
⑤GAF 尺度別在院患者数.....	106
⑥向精神薬使用数別患者数.....	106
⑦在院期間別在院患者数.....	107
⑧1 か月間における新規入院患者数.....	108
⑨1 か月間における退院・転院患者数.....	109
⑩病棟の診療体制.....	110
(5) 精神科急性期治療病棟入院料算定病棟.....	111
①病棟数・許可病床数.....	111
②在院患者数.....	111
③年齢階級別在院患者数.....	111
④主たる疾患別在院患者数.....	112
⑤GAF 尺度別在院患者数.....	113
⑥向精神薬使用数別患者数.....	113
⑦在院期間別在院患者数.....	114
⑧1 か月間における新規入院患者数.....	115

⑨1 か月間における退院・転院患者数	116
⑩病棟の診療体制.....	117
⑪精神科急性期医師配置加算の施設基準の届出状況.....	117
4. 患者調査の結果	119
(1) 入院患者.....	119
①患者の基本的事項.....	119
②入院の状況.....	121
③患者の状態等	131
④治療の状況.....	142
⑤患者の社会的状況と退院の見通し	152
(2) 外来患者.....	156
①患者の基本的事項.....	156
②精神療法開始前後の状況	157
③患者の現況.....	159

I. 調査の概要

1. 目的

平成 26 年度診療報酬改定において、精神科急性期病床における平均在院日数の短縮を図る観点から医師を重点的に配置した場合の評価など、精神病床の機能分化を進める取組に対して評価が行われるとともに、精神疾患患者の地域生活への移行や地域定着を促進する観点から多職種チームによる在宅医療についての評価が行われた。

また、諸外国と比較して向精神薬の処方剤数が多いことが課題となっていることを踏まえ、向精神薬の適切な処方について見直しが行われた。

これらを踏まえ、精神疾患患者の急性期病床での受入状況、精神疾患患者の地域への移行状況や向精神薬の使用状況等について調査を行う。

<主な目的>

- ・精神科病棟における入院患者の状況の把握
- ・精神科病棟における医師や看護師の配置状況の把握
- ・精神科入院患者の入院日数及び地域への移行状況の把握
- ・向精神薬の処方の状況の把握

2. 調査対象

本調査では、「施設調査」「病棟調査」「患者調査」を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。

○施設調査

- ・ ①精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神療養病棟入院料、認知症治療病棟入院料の届出を行っている病院（悉皆）、②精神病棟入院基本料の届出を行っている病院の中から無作為抽出した病院（①を除く）。
- ・ ①②を合わせて 1,300 施設とした。

○病棟調査

- ・ 上記「施設調査」の対象施設における、精神病棟入院基本料、精神療養病棟入院料、精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料を算定している病棟。

○患者調査

- ・ 上記「病棟調査」対象病棟のうち、精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神療養病棟入院料の各病棟に入院している患者。ただし、1 施設につき病棟種別ごとに 5 名とした（無作為抽出）。
- ・ 調査日に上記「施設調査」の対象施設の精神科を受診した外来患者。ただし、1 施設につき最大 4 名とした（無作為抽出）。

3. 調査方法

- ・対象施設が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・施設調査については、施設属性、精神医療の実施状況・体制、患者の地域移行と地域定着に向けた取組状況、課題等を尋ねる「施設票」を配布した。
- ・病棟調査については、対象とする病棟の状況を把握するために、「①精神病棟入院基本料病棟票」、「②精神療養病棟入院料病棟票」、「③精神科救急入院料病棟票」、「④精神科救急・合併症入院料病棟票」、「⑤精神科急性期治療病棟入院料病棟票」の5種類を作成し、上記「施設票」を配布する際に、当該病床の有無等に応じて同封した。
- ・患者調査については、平成26年10月31日現在、精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神療養病棟入院料を算定している病棟に入院している患者の状況を把握するための「①入院患者票」、平成26年10月31日現在精神科外来を利用している患者の状況を把握するための「②外来患者票」の2種類を作成し、上記「施設票」を配布する際に同封した。「①入院患者票」は病棟種別ごとに最大5名、「②外来患者票」は1施設につき最大4名とした。
- ・回答者は、施設票については管理者・開設者及びその代理者、各病棟票については各病棟責任者、患者票については、対象患者を担当する看護師または精神保健福祉士等とした。
- ・調査実施時期は平成26年11月12日～平成27年1月15日。

4. 調査項目

区分	主な調査項目
(1)施設調査	○施設の概況 ・ 開設者、同一法人または関連法人が運営する施設・事業所、病院種別、救急告示の有無、救急医療体制、精神医療に関する指定等の状況、精神科救急医療体制整備事業への参加状況・体制、時間外、休日または深夜の対応状況、出来高情報の記録・保管状況 ・ 病棟数、病床数、病床利用率、平均在院日数の変化 ○精神科の診療体制等 ・ 精神科外来担当医師数、外来診療時間、外来患者数 ・ 精神科病棟の職員体制、精神病棟入院基本料の届出状況 ○精神医療・認知症医療の実施状況 ・ 施設基準の届出状況、届出時期 ・ 精神科リエゾンチーム加算の届出がない理由 ・ 精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料の届出状況、最も厳しい施設基準の要件 ・ 児童・思春期精神科入院医療管理料で改善が必要な施設基準要件 ・ 認知症患者リハビリテーション料に関する職員体制、届出意向のな

	い施設におけるその理由 - 診療報酬項目の算定状況、適切な向精神薬の使用促進を図る上での課題等 ○患者の地域移行と地域定着に向けた取組等 - 精神科訪問看護の実施の有無、開始時期、職員体制、利用者数 - 精神科訪問看護の時間区分別算定状況、精神科訪問看護・指導料に関する訪問状況、算定状況、加算状況 1日につき複数回精神科訪問看護を行った利用者数の変化、精神科複数回訪問加算の算定状況 - 精神科重症患者早期集中支援管理料の届出の有無、連携訪問看護ステーションの有無、職員体制、算定状況、届出がない場合の理由と今後の届出意向 ○患者の地域移行と地域定着のために必要な取組等 - 患者の地域移行と地域定着を推進するために必要な取組等
(2)病棟調査	【精神病棟入院基本料病棟票】 ○精神病棟入院基本料病棟入院患者の状況等 - 算定病棟数、病床数 - 年齢階級別患者数、主たる疾患別患者数、在院期間別患者数、GAF尺度のスコア別患者数、向精神薬使用数別患者数等 - 新規入院患者数、退院・転院した患者数等 ○精神病棟入院基本料病棟の職員体制 - 職員体制 - 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無、届出がない場合の理由 - 患者の地域移行で重要となる事業・サービス、有効な取組等 【精神療養病棟票】 ○精神療養病棟入院患者の状況等 - 算定病棟数、病床数 - 年齢階級別患者数、主たる疾患別患者数、在院期間別患者数、GAF尺度のスコア別患者数、向精神薬使用数別患者数等 - 新規入院患者数、退院・転院した患者数等 ○精神療養病棟の職員体制 - 職員体制 - 退院支援相談員数、退院支援委員会の開催数 - 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無、届出がない場合の理由 - 患者の地域移行で重要となる事業・サービス、有効な取組等 【精神科救急入院料病棟票】

	○精神科救急入院料病棟入院患者の状況等 ・ 病棟数、病床数 ・ 年齢階級別患者数、主たる疾患別患者数、在院期間別患者数、GAF 尺度のスコア別患者数、向精神薬使用数別患者数等 ・ 新規入院患者数、退院・転院・転棟した患者数等 ○精神科救急入院料病棟の職員体制 ・ 職員体制 【精神科救急・合併症入院料病棟票】 ○精神科救急・合併症入院料病棟入院患者の状況等 ・ 病棟数、病床数 ・ 年齢階級別患者数、主たる疾患別患者数、在院期間別患者数、GAF 尺度のスコア別患者数、向精神薬使用数別患者数等 ・ 新規入院患者数、退院・転院・転棟した患者数等 ○精神科救急・合併症入院料病棟の職員体制 ・ 職員体制 【精神科急性期治療病棟入院料病棟票】 ○精神科急性期治療病棟入院料病棟入院患者の状況等 ・ 病棟数、病床数 ・ 年齢階級別患者数、主たる疾患別患者数、在院期間別患者数、GAF 尺度のスコア別患者数、向精神薬使用数別患者数等 ・ 新規入院患者数、退院・転院・転棟した患者数等 ○精神科急性期治療病棟入院料病棟の職員体制 ・ 職員体制 ・ 精神科急性期医師配置加算の届出の有無、届出がない場合の理由
(3)患者調査	【入院患者票】 ○基本的事項 ・ 性別、年齢、精神障害者福祉手帳の状況 ○入院の状況 ・ 入院日、初診日、精神科・神経科への通算入院回数・通算入院期間、直近の退院日 ・ 入棟前の居場所、直近の在宅療養期間における精神科訪問看護の利用の有無、入院の理由、入院形態、処遇、主傷病、その他精神疾患の傷病、身体合併症 ○患者の状態等 ・ 症状の程度 ・ 患者の GAF スコア、改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)、認知症高齢者の日常生活自立度、ADL 区分、重症度・看護必要度、患者の状態等

	○治療の状況 ・ 主傷病に対して実施している診療内容 ・ 向精神薬の処方状況 ・ 身体合併症に対する対応状況、他の診療科を受診した回数・目的、費用請求の形式 ○患者の社会的状況と退院の見通し ・ 退院後に生活を継続するために必要な支援 ・ 退院の見通し ・ 退院した場合の支援として重要なもの、退院できない場合の理由 【外来患者票】 ○基本的事項 ・ 性別、年齢、精神障害者福祉手帳の状況 ○精神療法開始前後の状況 ・ 通院開始日、精神療法開始日、精神科での入院の有無、過去2年間における通算入院回数、入院中の精神療法等実施の有無、直近の入院の理由 ○患者の現況 ・ 現在の居場所、主傷病、その他の傷病、精神療法の実施回数、精神療法の平均実施時間 ・ GAF 尺度、改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）、認知症高齢者の日常生活自立度、ADL 区分、IADL の困難度 ・ 利用している診療内容等、訪問看護の利用状況、精神療法の内容、向精神薬の処方内容、向精神薬多剤投与の除外規定対象となる場合の内容、現在利用している精神科デイ・ケア等
--	--

5. その他

本調査の集計結果は速報値であり、数値が変わることがありうる。

Ⅱ．調査の結果

1．回収結果

図表 1 回収の状況

	対象数	有効回答数	有効回答率
施設票			
①施設票	1,300	478	36.8%
病棟票			
①精神病棟入院基本料病棟票	1,300	372	28.6%
②精神療養病棟票	836	289	34.6%
③精神科救急入院料病棟票	108	55	50.9%
④精神科救急・合併症入院料病棟票	10	6	60.0%
⑤精神科急性期治療病棟入院料病棟票	325	122	37.5%
患者票			
①入院患者票	—	2,379	—
②外来患者票	—	1,826	—

(注)・病棟票の対象数については、精神病棟入院基本料病棟票以外は、調査対象施設のうち調査発送時点で施設基準の届出のあった施設数である。各病棟票の対象数は客体抽出時の数であり、調査票発送に際しては名簿作成後に届出をした施設にも回答いただくため、②は 959 施設、③～⑤はいずれか 1 つでも施設基準の届出のあった 411 施設に③～⑤の病棟票を共通に配布している。このため、有効回答率は参考値である。

- ・入院患者票は、②～⑤の病棟票に調査日に在院していた患者、各病棟につき 5 名を対象に配布している。
- ・外来患者票は施設調査の対象施設の精神科外来を調査日に受診した患者、1 施設につき最大 4 名を対象に配布した。

2. 施設調査の結果

【調査対象等】

○施設調査

調査対象：①精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料のいずれかの届出を行っている病院（悉皆、411 施設）

②精神療養病棟入院料、認知症治療病棟入院料の届出を行っている病院（①を除く、悉皆、548 施設）

③その他、精神病棟入院基本料の届出を行っている病院の中から無作為抽出した病院（①②を除く、無作為抽出、341 施設）。

①②③を合わせて 1,300 施設とした。

回 答 数：478 施設

回 答 者：管理者

なお、本調査では、以下のように施設を分類した。

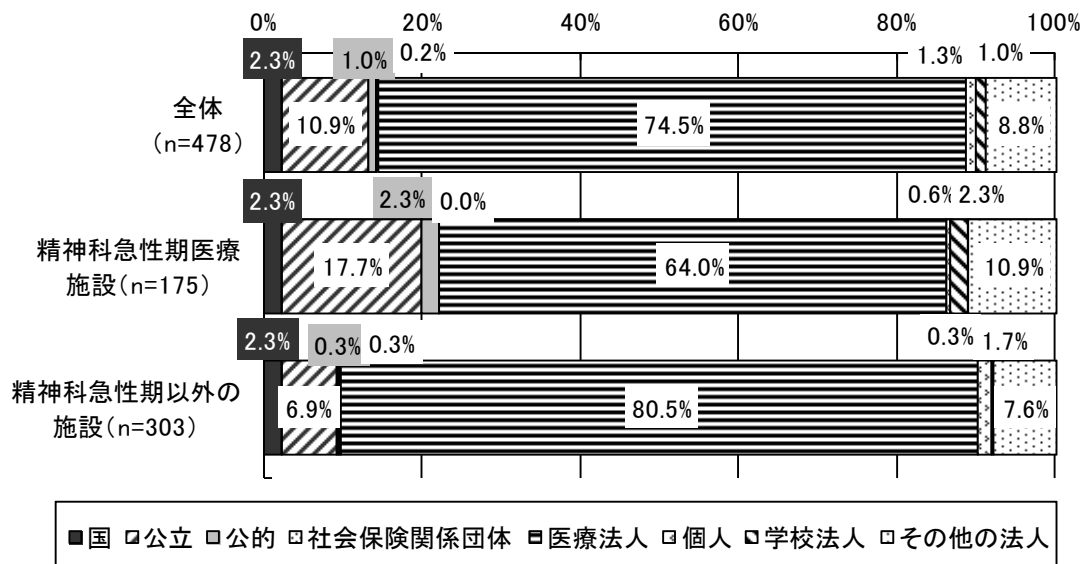
精神科急性期医療施設：「精神科救急入院料」、「精神科救急・合併症入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」のいずれか 1 つでも届出を行っている医療機関。

精神科急性期以外の施設：上記以外の施設で、精神病棟入院基本料、精神療養病棟入院料、または認知症治療病棟入院料のいずれか 1 つでも算定する病棟を有する施設。

(1) 施設の概況（平成 26 年 10 月末現在）

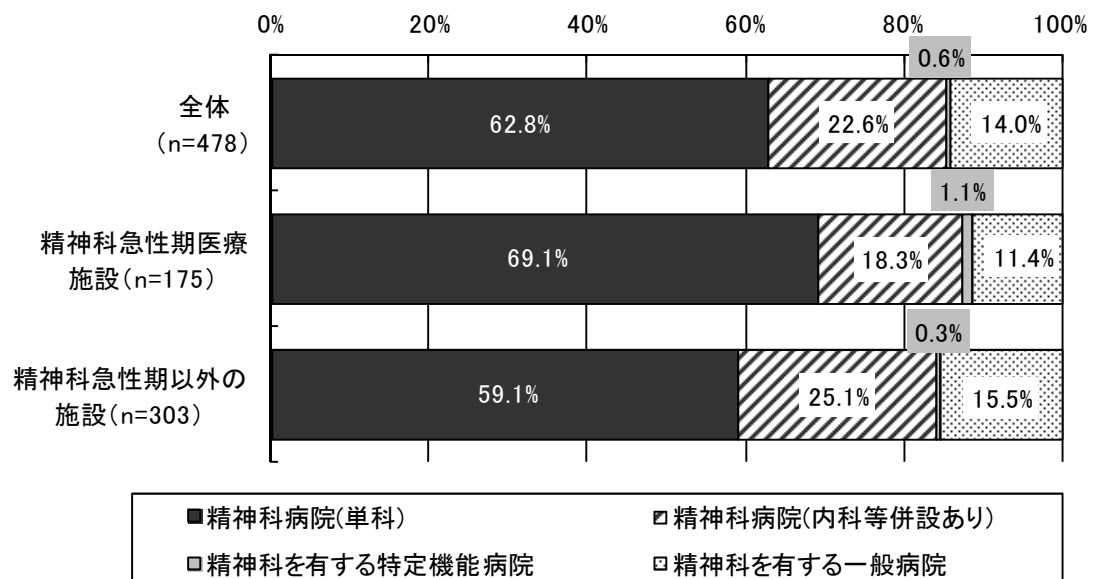
①開設者

図表 2 開設者



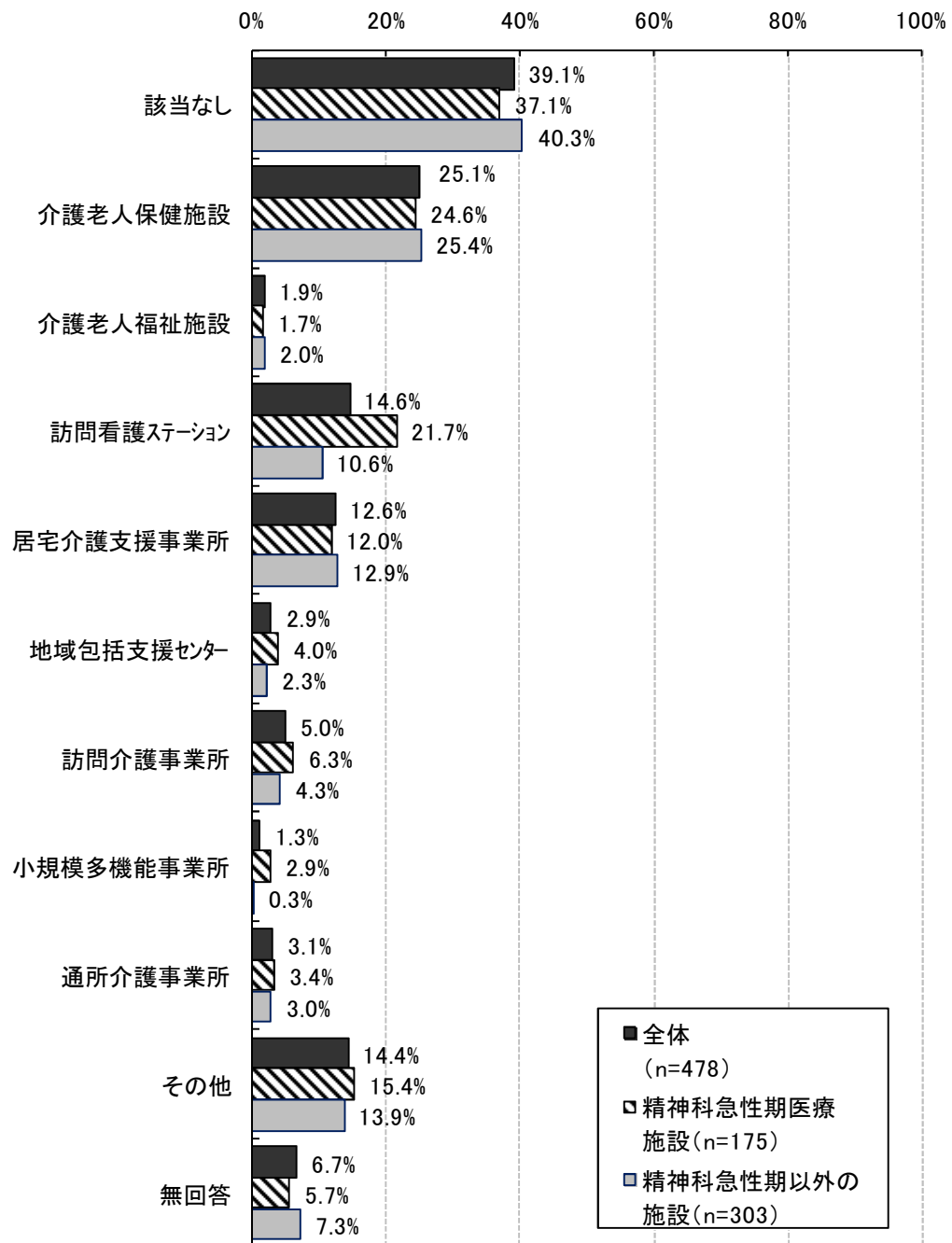
②病院種別

図表 3 病院種別



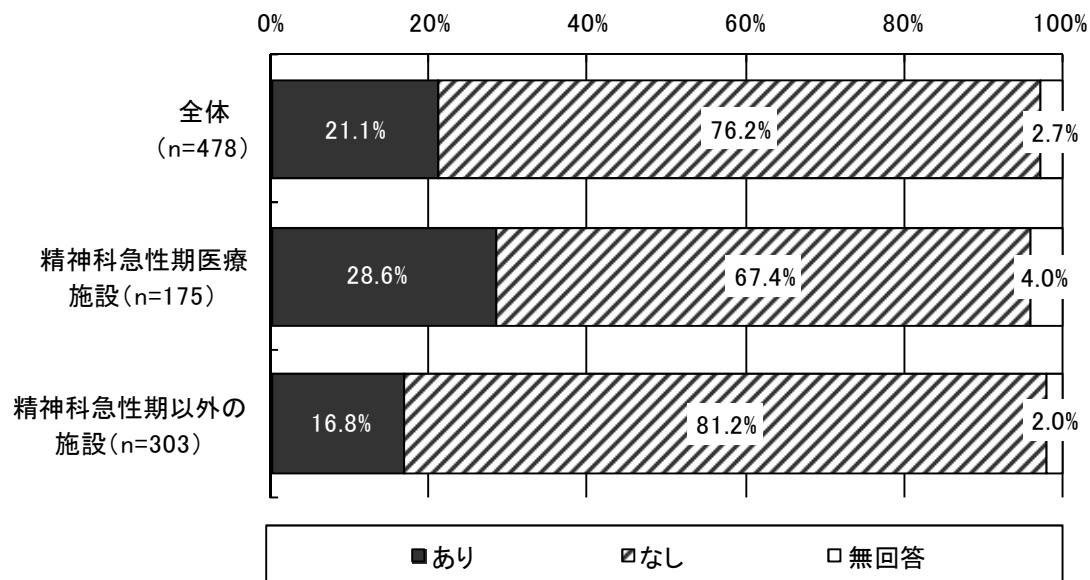
③同一法人または関連法人が運営する施設・事業所

図表 4 同一法人または関連法人が運営する施設・事業所（複数回答）

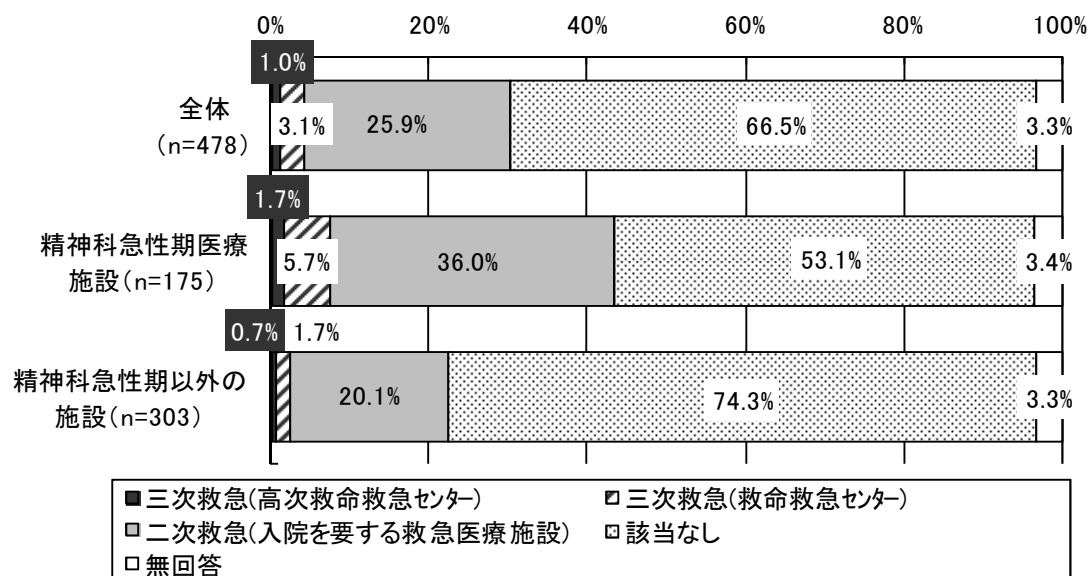


④救急医療体制の状況

図表 5 救急告示の有無

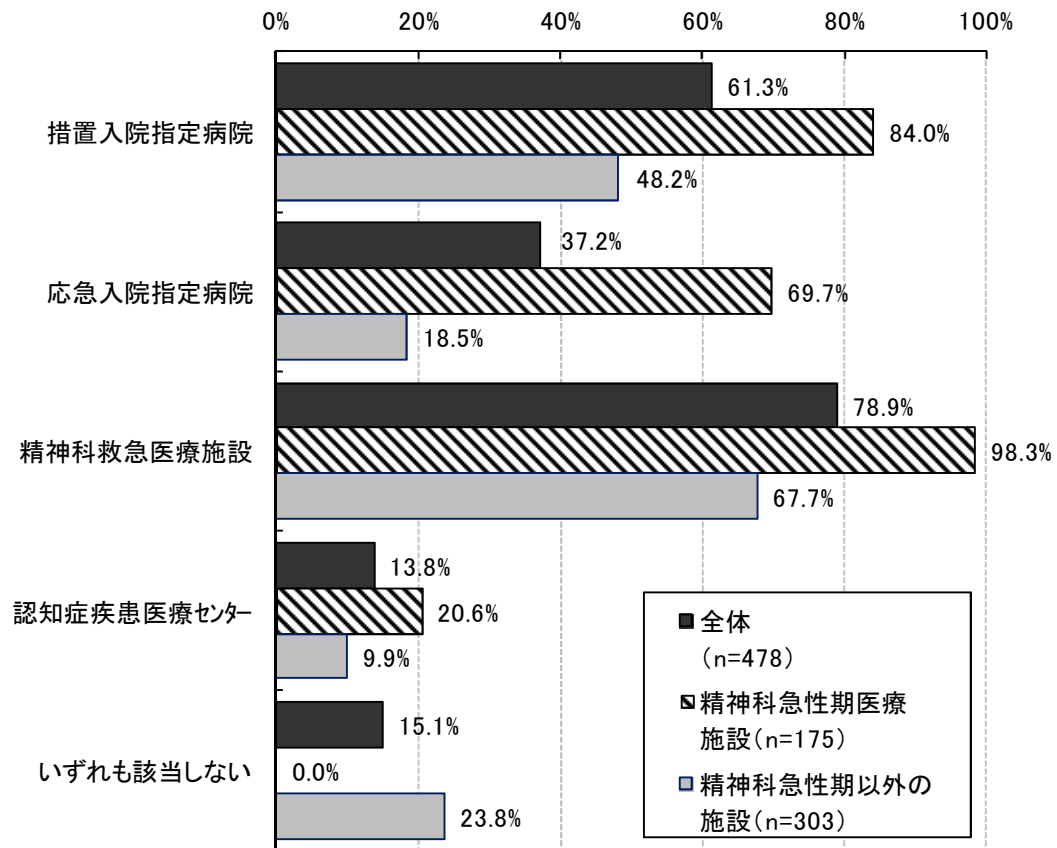


図表 6 救急医療体制



⑤精神医療に関する指定等の状況

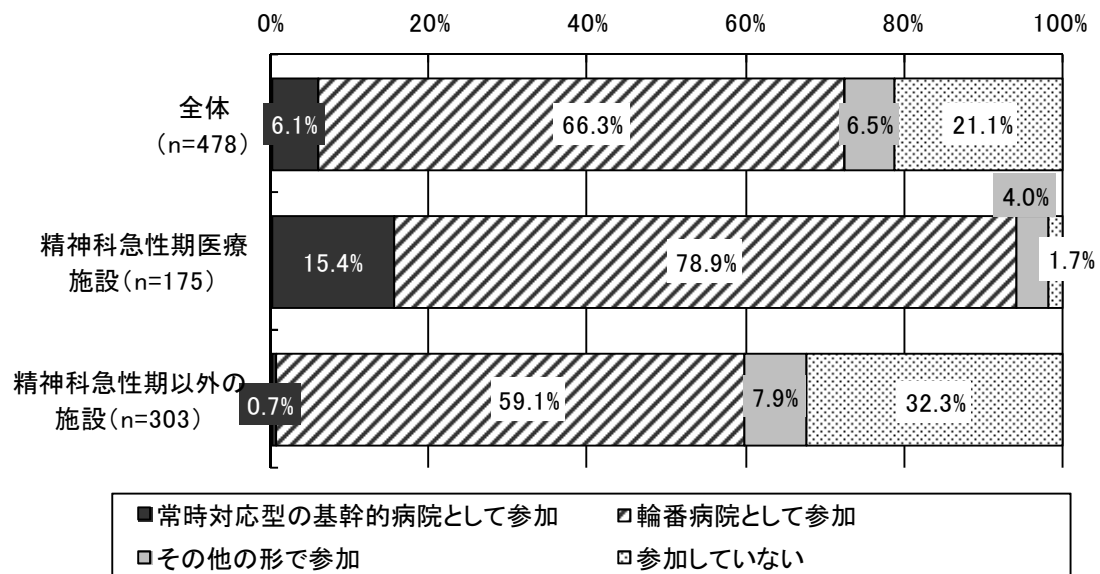
図表 7 精神医療に関する指定等の状況（複数回答）



（注）無回答の施設はなかった。

⑥精神科救急医療体制整備事業への参加状況等

図表 8 精神科救急医療体制整備事業への参加状況



図表 9 精神科救急医療体制整備事業の当番日

(精神科救急医療体制整備事業に参加している施設、平成 26 年 10 月 1 か月分)

(単位：日)

	回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	347	5.4	8.1	2.0
精神科急性期医療施設	160	7.8	10.0	4.0
精神科急性期以外の施設	187	3.2	5.0	2.0

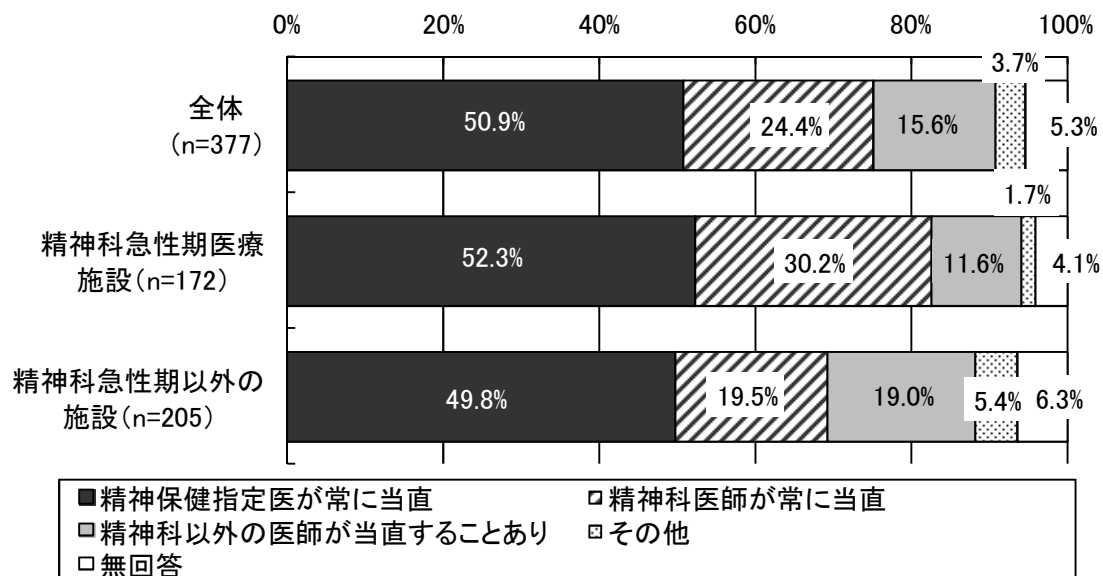
図表 10 精神科救急医療体制整備事業の当番日における診療実績

(精神科救急医療体制整備事業に参加している施設、平成 26 年 10 月 1 か月分)

(単位：件)

	回答施設数	入院			外来診療のみ		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体	335	1.4	3.1	0.0	1.5	3.6	0.0
精神科急性期医療施設	154	2.4	4.2	1.0	2.6	4.9	1.0
精神科急性期以外の施設	181	0.5	0.9	0.0	0.6	1.4	0.0

図表 11 精神科救急医療体制整備事業の当番日における医師当直体制
(精神科救急医療体制整備事業に参加している施設)



(注) 凡例の詳細は以下の通り。

「精神科医師が常に当直」：「精神科医師が常に当直（精神保健指定医がオンコールになることがある）」

「精神科以外の医師が当直することあり」：「精神科以外の医師が当直することあり（精神保健指定医はオンコール対応）」

⑦時間外、休日または深夜の診療状況等

図表 12 時間外、休日または深夜の診療状況等(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月の 1 年間)
～時間外、休日または深夜の入院件数（精神疾患にかかるもの）～
(単位：件)

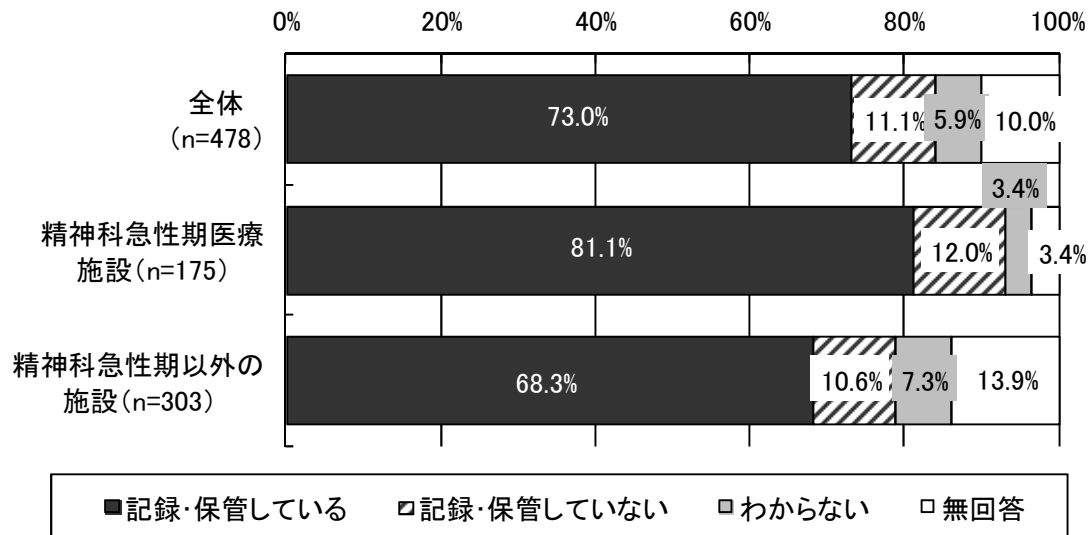
	回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	437	30.0	55.3	9.0
精神科急性期医療施設	165	65.8	75.3	42.0
精神科急性期以外の施設	272	8.3	15.3	3.0

図表 13 時間外、休日または深夜の診療状況等(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月の 1 年間)
～時間外、休日または深夜の診療（電話再診を除く）件数（精神疾患にかかるもの）～
(単位：件)

	回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	432	84.0	172.6	17.0
精神科急性期医療施設	165	175.8	235.7	94.0
精神科急性期以外の施設	267	27.2	74.5	5.0

⑧出来高情報の記録・保管状況

図表 14 出来高情報の記録・保管状況



(注) 特定入院料に含まれて評価されている診療行為や検査等を実施した場合に、その診療行為等の項目・回数などのいわゆる「出来高情報」を記録・保管しているかを尋ねた。

⑨病棟数・許可病床数・病床利用率・平均在院日数

1) 病棟数

図表 15 1 施設あたりの病棟数（全体、n=472）

（単位：病棟）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神病床	4.2	2.2	4.0	4.2	2.2	4.0
精神病棟入院基本料	1.7	1.6	1.0	1.7	1.6	1.0
精神科救急入院料	0.1	0.4	0.0	0.2	0.5	0.0
精神科救急・合併症入院料	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
精神科急性期治療病棟入院料	0.3	0.5	0.0	0.3	0.5	0.0
児童・思春期精神科入院医療管理料	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
精神療養病棟入院料	1.4	1.5	1.0	1.3	1.4	1.0
認知症治療病棟入院料	0.5	0.7	0.0	0.5	0.7	0.0
その他の精神科病棟	0.1	0.6	0.0	0.2	0.6	0.0
一般病床	1.3	4.1	0.0	1.3	4.0	0.0
療養病床	0.3	0.8	0.0	0.3	0.8	0.0
結核病床	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
感染症病床	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
病院全体	5.8	4.0	5.0	5.8	3.9	5.0

（注）すべての項目について回答のあった 472 施設を集計対象とした。

図表 16 1 施設あたりの病棟数（精神科急性期医療施設、n=173）

（単位：病棟）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神病床	5.2	2.4	5.0	5.2	2.4	5.0
精神病棟入院基本料	1.8	1.8	1.0	1.8	1.8	1.0
精神科救急入院料	0.4	0.6	0.0	0.5	0.7	0.0
精神科救急・合併症入院料	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
精神科急性期治療病棟入院料	0.8	0.5	1.0	0.7	0.5	1.0
児童・思春期精神科入院医療管理料	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0
精神療養病棟入院料	1.7	1.7	2.0	1.6	1.7	1.0
認知症治療病棟入院料	0.4	0.6	0.0	0.4	0.6	0.0
その他の精神科病棟	0.2	0.8	0.0	0.2	0.8	0.0
一般病床	1.8	5.2	0.0	1.7	5.1	0.0
療養病床	0.2	0.5	0.0	0.2	0.5	0.0
結核病床	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
感染症病床	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
病院全体	7.2	4.7	6.0	7.0	4.5	6.0

（注）すべての項目について回答のあった 173 施設を集計対象とした。

図表 17 1 施設あたりの病棟数（精神科急性期以外の施設、n=299）

（単位：病棟）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神病床	3.5	1.8	3.0	3.5	1.8	3.0
精神病棟入院基本料	1.7	1.5	1.0	1.7	1.5	1.0
精神科救急入院料	0.0	－	0.0	0.0	－	0.0
精神科救急・合併症入院料	0.0	－	0.0	0.0	－	0.0
精神科急性期治療病棟入院料	0.0	－	0.0	0.0	－	0.0
児童・思春期精神科入院医療管理料	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
精神療養病棟入院料	1.2	1.2	1.0	1.2	1.2	1.0
認知症治療病棟入院料	0.5	0.8	0.0	0.5	0.8	0.0
その他の精神科病棟	0.1	0.5	0.0	0.1	0.5	0.0
一般病床	1.1	3.3	0.0	1.1	3.3	0.0
療養病床	0.4	1.0	0.0	0.4	1.0	0.0
結核病床	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
感染症病床	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
病院全体	5.0	3.4	4.0	5.0	3.4	4.0

（注）すべての項目について回答のあった 299 施設を集計対象とした。

2) 許可病床数

図表 18 1 施設あたりの許可病床数（全体、n=472）

（単位：床）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	222.9	123.8	202.5	221.8	124.0	200.0	*
精神病棟入院基本料	94.9	92.9	62.5	94.2	92.6	60.0	
精神科救急入院料	7.0	20.4	0.0	7.9	22.6	0.0	**
精神科救急・合併症入院料	0.7	6.9	0.0	0.8	7.3	0.0	
精神科急性期治療病棟入院料	13.3	23.8	0.0	13.1	23.6	0.0	
児童・思春期精神科入院医療管理料	0.8	5.5	0.0	0.8	5.5	0.0	
精神療養病棟入院料	74.7	81.1	60.0	72.4	79.3	59.0	**
認知症治療病棟入院料	24.3	39.8	0.0	24.9	40.1	0.0	*
その他の精神科病棟	7.3	31.3	0.0	7.8	32.1	0.0	
一般病床	54.1	158.8	0.0	52.8	156.1	0.0	
療養病床	13.4	43.1	0.0	13.3	43.1	0.0	
結核病床	0.5	2.8	0.0	0.5	2.8	0.0	
感染症病床	0.2	1.0	0.0	0.2	1.0	0.0	
病院全体	291.1	167.3	240.0	288.7	164.3	240.0	

（注）・すべての病床について回答のあった 472 施設を集計対象とした。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

図表 19 1施設あたりの許可病床数（精神科急性期医療施設、n=173）

(単位：床)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	275.0	140.3	253.0	273.8	140.6	254.0	
精神病棟入院基本料	96.5	104.2	60.0	95.8	104.4	60.0	
精神科救急入院料	19.0	30.1	0.0	21.5	33.2	0.0	*
精神科救急・合併症入院料	1.9	11.3	0.0	2.2	11.9	0.0	
精神科急性期治療病棟入院料	36.2	26.8	43.0	35.7	26.8	41.0	
児童・思春期精神科入院医療管理料	1.7	7.9	0.0	1.7	7.9	0.0	
精神療養病棟入院料	91.1	96.8	79.0	87.6	94.6	60.0	**
認知症治療病棟入院料	18.6	30.4	0.0	18.9	30.5	0.0	
その他の精神科病棟	10.0	41.4	0.0	10.4	41.6	0.0	
一般病床	68.2	197.0	0.0	64.4	190.9	0.0	
療養病床	7.0	22.1	0.0	6.9	25.3	0.0	
結核病床	0.4	2.6	0.0	0.4	2.6	0.0	
感染症病床	0.2	1.2	0.0	0.2	1.0	0.0	
病院全体	350.7	189.0	296.0	345.7	184.5	299.0	

(注)・すべての病床について回答のあった 173 施設を集計対象とした。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

図表 20 1施設あたりの許可病床数（精神科急性期以外の施設、n=299）

(単位：床)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月			
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	192.8	101.8	180.0	191.8	102.2	180.0	**
精神病棟入院基本料	93.9	85.9	70.0	93.4	85.2	69.0	
精神科救急入院料	0.0		0.0	0.0		0.0	
精神科救急・合併症入院料	0.0		0.0	0.0		0.0	
精神科急性期治療病棟入院料	0.0		0.0	0.0		0.0	
児童・思春期精神科入院医療管理料	0.3	3.4	0.0	0.3	3.4	0.0	
精神療養病棟入院料	65.2	68.9	56.0	63.6	67.5	56.0	**
認知症治療病棟入院料	27.7	44.0	0.0	28.3	44.5	0.0	
その他の精神科病棟	5.7	23.5	0.0	6.2	25.0	0.0	
一般病床	46.0	131.5	0.0	46.1	131.7	0.0	
療養病床	17.1	51.2	0.0	17.1	50.3	0.0	
結核病床	0.5	2.9	0.0	0.5	2.9	0.0	
感染症病床	0.2	0.9	0.0	0.2	0.9	0.0	
病院全体	256.6	142.7	215.0	255.6	141.7	215.0	**

(注)・すべての病床について回答のあった 299 施設を集計対象とした。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

3) 病床利用率

図表 21 病床利用率（全体）

（単位：％）

	平成 25 年 10 月				平成 26 年 10 月				
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	430	87.7	13.5	92.0	432	87.2	13.2	91.0	**
精神病棟入院基本料	336	85.2	15.9	90.0	342	84.6	15.6	89.0	**
精神科救急入院料	57	88.0	7.3	88.0	59	87.1	8.9	89.0	
精神科救急・合併症入院料	6	89.2	10.1	92.0	7	83.1	17.7	90.0	
精神科急性期治療病棟入院料	118	83.6	12.3	87.0	116	82.9	11.6	85.0	
児童・思春期精神科入院医療管理料	11	75.2	18.2	75.0	11	77.2	21.9	87.0	
精神療養病棟入院料	275	94.2	8.0	96.0	272	93.3	8.7	96.0	**
認知症治療病棟入院料	159	91.3	11.6	95.0	163	91.2	10.8	94.0	
その他の精神科病棟	－	－	－	－	－	－	－	－	
一般病床	79	80.4	14.9	82.0	77	78.1	15.7	79.0	**
療養病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
結核病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染症病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
病院全体	428	88.8	11.0	92.0	431	87.9	11.0	91.0	**

（注）・各病床を有する施設に限定して集計した。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

図表 22 病床利用率（精神科急性期医療施設）

（単位：％）

	平成 25 年 10 月				平成 26 年 10 月				
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	164	88.0	10.8	90.8	164	87.2	11.1	90.4	**
精神病棟入院基本料	115	87.8	11.7	91.6	116	87.1	11.8	90.0	
精神科救急入院料	57	88.0	7.3	88.0	59	87.0	8.9	89.1	
精神科救急・合併症入院料	6	89.1	10.3	92.2	7	83.2	17.6	89.9	
精神科急性期治療病棟入院料	118	83.7	12.3	87.3	116	82.9	11.6	85.2	
児童・思春期精神科入院医療管理料	9	74.2	19.9	74.9	9	73.9	23.0	77.9	
精神療養病棟入院料	106	94.6	5.9	96.5	103	94.0	5.8	96.0	
認知症治療病棟入院料	52	91.3	8.5	93.7	53	91.7	7.4	94.3	
その他の精神科病棟	－	－	－	－	－	－	－	－	
一般病床	29	80.8	11.3	81.4	29	78.5	13.1	78.3	**
療養病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
結核病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染症病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
病院全体	162	88.3	10.4	90.8	164	87.3	10.6	89.9	**

（注）・各病床を有する施設に限定して集計した。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

図表 23 病床利用率（精神科急性期以外の施設）

（単位：％）

	平成 25 年 10 月				平成 26 年 10 月				
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	266	87.5	15.0	92.7	268	87.3	14.3	91.2	**
精神病棟入院基本料	221	83.8	17.6	89.9	226	83.3	17.1	88.3	**
精神科救急入院料	0				0				
精神科救急・合併症入院料	0				0				
精神科急性期治療病棟入院料	0				0				
児童・思春期精神科入院医療管理料	2	79.0	9.8	79.0	2	91.9	5.7	91.9	
精神療養病棟入院料	169	94.0	9.1	96.1	169	92.8	10.0	96.0	**
認知症治療病棟入院料	107	91.3	12.8	95.0	110	90.9	12.1	94.9	
その他の精神科病棟	－	－	－	－	－	－	－	－	
一般病床	50	80.1	16.8	83.0	48	77.7	17.1	79.4	**
療養病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
結核病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染症病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
病院全体	266	89.1	11.3	92.8	267	88.3	11.3	91.1	**

（注）・各病床を有する施設に限定して集計した。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

4) 平均在院日数

図表 24 平均在院日数（全体）

（単位：日）

	平成 25 年 10 月				平成 26 年 10 月				
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	418	421.8	485.0	290.0	418	410.9	442.6	290.1	*
精神病棟入院基本料	331	442.0	881.8	254.0	333	411.6	697.6	246.1	
精神科救急入院料	55	60.0	60.2	50.5	57	59.9	42.4	54.2	
精神科救急・合併症入院料	4	57.0	15.5	51.0	5	53.0	14.1	56.0	
精神科急性期治療病棟入院料	117	69.6	41.1	62.2	116	71.1	70.1	60.9	
児童・思春期精神科入院医療管理料	9	131.7	59.3	132.5	9	137.7	71.3	102.0	
精神療養病棟入院料	266	1279.4	1469.7	853.0	263	1250.5	1375.2	809.0	
認知症治療病棟入院料	156	694.0	933.5	433.5	160	648.5	666.0	420.5	
その他の精神科病棟	－	－	－	－	－	－	－	－	
一般病床	77	93.8	265.5	15.0	75	78.4	228.2	15.0	
療養病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
結核病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染症病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
病院全体	418	405.4	478.2	292.2	419	382.5	428.1	276.0	**

（注）・各病床を有する施設に限定して集計した。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

図表 25 平均在院日数（精神科急性期医療施設）

（単位：日）

	平成 25 年 10 月				平成 26 年 10 月				
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	160	231.0	308.8	192.7	160	220.3	293.0	187.0	**
精神病棟入院基本料	114	505.0	1269.4	256.5	114	463.3	937.9	266.9	
精神科救急入院料	55	60.0	60.2	50.5	57	59.9	42.4	54.2	
精神科救急・合併症入院料	4	57.0	15.5	51.0	5	53.0	14.1	56.0	
精神科急性期治療病棟入院料	117	69.6	41.1	62.2	116	71.1	70.1	60.9	
児童・思春期精神科入院医療管理料	7	136.2	64.1	132.5	7	127.2	66.1	102.0	
精神療養病棟入院料	104	1072.3	987.5	770.0	102	1030.0	1045.3	727.5	**
認知症治療病棟入院料	52	460.7	539.0	324.0	53	462.9	550.4	300.0	
その他の精神科病棟	－	－	－	－	－	－	－	－	
一般病床	27	31.3	43.9	15.0	27	29.6	32.4	16.0	
療養病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
結核病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染症病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
病院全体	160	226.2	311.3	194.0	161	213.0	295.6	179.4	**

（注）・各病床を有する施設に限定して集計した。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

図表 26 平均在院日数（精神科急性期以外の施設）

（単位：日）

	平成 25 年 10 月				平成 26 年 10 月				
	施設数	平均値	標準偏差	中央値	施設数	平均値	標準偏差	中央値	
精神病床	258	540.2	534.8	419.0	258	529.0	477.6	419.5	
精神病棟入院基本料	217	408.8	584.8	247.0	219	384.7	532.1	244.0	
精神科救急入院料	0				0				
精神科救急・合併症入院料	0				0				
精神科急性期治療病棟入院料	0				0				
児童・思春期精神科入院医療管理料	2	115.7	53.2	115.7	2	174.4	105.2	174.4	
精神療養病棟入院料	162	1412.4	1698.8	909.5	161	1390.2	1535.0	867.0	
認知症治療病棟入院料	104	810.6	1061.3	501.3	107	740.5	700.7	483.0	
その他の精神科病棟	－	－	－	－	－	－	－	－	
一般病床	50	127.5	324.1	14.7	48	105.8	281.6	15.0	
療養病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
結核病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染症病床	－	－	－	－	－	－	－	－	
病院全体	258	516.5	527.9	405.3	258	488.3	463.1	404.1	

（注）・各病床を有する施設に限定して集計した。

・**：p<0.01、*：p<0.05 で有意だったもの

(2) 精神科の診療体制等

①精神科の外来を担当している医師数

図表 27 精神科の外来を担当している医師数

(単位：人)

		平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤
全体	回答施設数	469	469	473	473
	平均値	5.8	1.1	5.9	1.2
	標準偏差	4.4	1.6	4.4	2.1
	中央値	5.0	0.6	5.0	0.6
精神科急性期医療施設	回答施設数	174	174	174	174
	平均値	9.1	1.5	9.2	1.8
	標準偏差	5.2	1.9	5.2	3.1
	中央値	8.0	1.0	8.0	1.0
精神科急性期以外の施設	回答施設数	295	295	299	299
	平均値	3.8	0.8	3.9	0.8
	標準偏差	2.1	1.2	2.1	1.2
	中央値	4.0	0.3	4.0	0.3

図表 28 精神科外来専従の医師数

(単位：人)

		平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤
全体	回答施設数	469	469	473	473
	平均値	0.1	0.3	0.2	0.3
	標準偏差	0.9	0.8	1.0	0.9
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科急性期医療施設	回答施設数	174	174	174	174
	平均値	0.3	0.6	0.3	0.6
	標準偏差	1.3	1.2	1.5	1.4
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科急性期以外の施設	回答施設数	295	295	299	299
	平均値	0.1	0.1	0.1	0.1
	標準偏差	0.4	0.4	0.5	0.4
	中央値	0.0	0.0	0.0	0.0

② 1 週間の外来診療従事時間

図表 29 1 週間の外来診療従事時間

(単位：時間)

	回答 施設数	常勤			非常勤		
		平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
全体	418	54.4	63.5	40.0	11.8	18.1	6.0
精神科急性期医療施設	148	84.6	92.7	68.1	17.0	23.2	10.5
精神科急性期以外の施設	270	37.8	27.9	32.5	9.0	13.8	4.0

(注) 外来診療従事時間とは、実際に患者の診療を行った時間であり、平成 26 年 10 月 19 日～10 月 25 日の 1 週間に精神科の外来を担当した医師全員の、外来患者の診療を行った時間の総合計時間。

③ 1 週間の外来延べ患者数

図表 30 1 週間の外来延べ患者数

(単位：人)

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
全体	418	381.1	346.8	299.0
精神科急性期医療施設	148	619.4	448.0	535.5
精神科急性期以外の施設	270	250.4	168.6	221.0

(注) 1 週間の外来延べ患者数とは、平成 26 年 10 月 19 日～10 月 25 日の 1 週間に精神科の標榜診療時間に外来受診した患者の延べ人数（初診＋再診延べ患者数）。

④精神科病棟に従事している職員数

図表 31 1 施設あたりの精神科病棟に従事している職員数（全体、n=454）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
医師	8.2	5.7	7.0	8.4	5.8	7.0
(うち)精神保健指定医	5.1	3.3	4.8	5.3	3.4	5.0
(うち)精神科特定医師	0.3	1.2	0.0	0.4	1.3	0.0
(うち)上記以外の精神科医	1.4	2.0	1.0	1.4	2.0	1.0
(うち)内科医	0.9	1.7	0.2	1.0	1.8	0.2
(うち)外科医	0.1	0.3	0.0	0.1	0.4	0.0
看護師(保健師を含む)	47.3	37.7	36.1	47.9	38.0	37.0
(うち)精神看護専門看護師	0.1	0.5	0.0	0.1	0.5	0.0
(うち)認知症看護認定看護師	0.1	0.4	0.0	0.1	0.5	0.0
(うち)精神科認定看護師	0.5	1.0	0.0	0.5	1.1	0.0
准看護師	24.2	17.2	23.0	23.2	16.5	21.9
看護補助者	28.2	20.5	25.0	27.7	20.0	24.8
薬剤師	2.1	3.0	2.0	2.0	3.0	2.0
作業療法士	4.2	4.0	3.0	4.3	4.1	3.0
臨床心理技術者	1.1	1.7	0.2	1.1	1.8	0.2
精神保健福祉士	3.7	3.5	3.0	3.9	3.6	3.0
社会福祉士	0.1	0.4	0.0	0.1	0.5	0.0
事務職員	1.8	3.8	0.0	1.8	3.9	0.0
その他の職員	1.9	6.5	0.0	1.9	6.6	0.0
精神科病棟職員数合計	122.6	70.6	108.9	122.3	70.7	108.8

(注)・うち数を除くすべての職種について平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

- ・「精神看護専門看護師」、「認知症看護認定看護師」は日本看護協会の認定した者。「精神科認定看護師」は、日本精神科看護協会の認定した者。
- ・「社会福祉士」には、「精神保健福祉士」として従事する者は含まない。
- ・「事務職員」「その他の職員」は、精神科病棟専従者に限る。

図表 32 1 施設あたりの精神科病棟に従事している職員数（精神科急性期医療施設、n=167）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
医師	11.5	6.2	9.9	11.8	6.4	10.3
（うち）精神保健指定医	7.5	3.7	7.0	7.7	3.9	7.0
（うち）精神科特定医師	0.8	1.9	0.0	0.8	1.8	0.0
（うち）上記以外の精神科医	2.0	2.6	1.0	2.1	2.5	1.0
（うち）内科医	0.7	1.0	0.2	0.8	1.3	0.2
（うち）外科医	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0
看護師（保健師を含む）	72.9	45.5	61.0	73.9	45.9	59.0
（うち）精神看護専門看護師	0.2	0.7	0.0	0.2	0.8	0.0
（うち）認知症看護認定看護師	0.1	0.4	0.0	0.2	0.5	0.0
（うち）精神科認定看護師	0.8	1.3	0.0	0.8	1.4	0.0
准看護師	24.3	19.8	23.0	22.9	18.9	21.4
看護補助者	31.6	22.1	30.0	31.2	22.0	30.2
薬剤師	2.7	4.2	2.0	2.7	4.1	2.0
作業療法士	5.6	5.1	4.0	5.7	5.1	4.8
臨床心理技術者	1.8	2.2	1.0	1.9	2.4	1.0
精神保健福祉士	5.6	4.4	5.0	5.9	4.4	5.0
社会福祉士	0.1	0.4	0.0	0.1	0.3	0.0
事務職員	1.8	4.5	0.0	1.8	4.7	0.0
その他の職員	1.7	7.6	0.0	1.7	7.8	0.0
精神科病棟職員数合計	159.4	79.5	146.7	159.5	79.9	145.6

（注）・うち数を除くすべての職種について平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

- ・「精神看護専門看護師」、「認知症看護認定看護師」は日本看護協会の認定した者。「精神科認定看護師」は、日本精神科看護協会の認定した者。
- ・「社会福祉士」には、「精神保健福祉士」として従事する者は含まない。
- ・「事務職員」「その他の職員」は、精神科病棟専従者に限る。

図表 33 1 施設あたりの精神科病棟に従事している職員数
(精神科急性期以外の施設、n=287)

(単位：人)

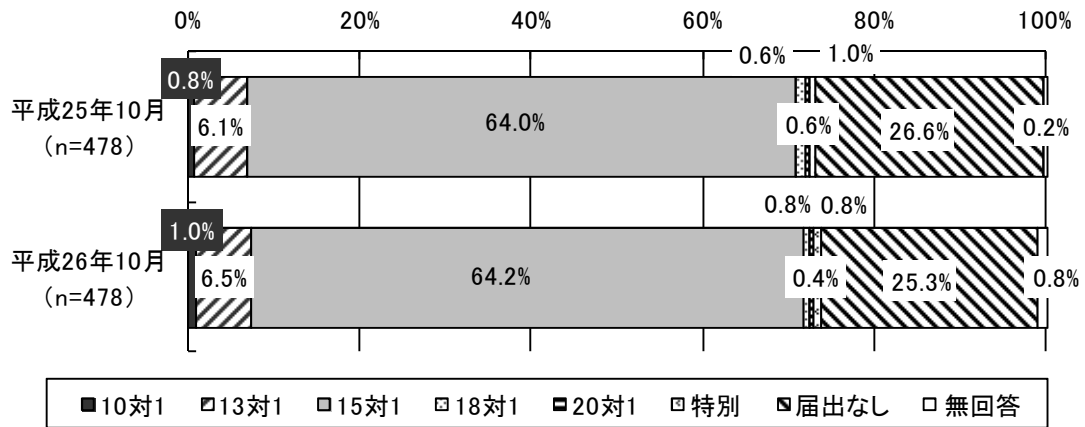
	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
医師	6.4	4.5	5.9	6.5	4.4	6.0
(うち)精神保健指定医	3.8	2.1	3.2	3.9	2.0	3.8
(うち)精神科特定医師	0.1	0.3	0.0	0.1	0.7	0.0
(うち)上記以外の精神科医	1.1	1.4	0.8	1.1	1.4	0.7
(うち)内科医	1.0	2.0	0.3	1.1	2.1	0.3
(うち)外科医	0.1	0.4	0.0	0.1	0.4	0.0
看護師(保健師を含む)	32.5	21.1	27.0	32.8	21.0	27.0
(うち)精神看護専門看護師	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
(うち)認知症看護認定看護師	0.1	0.3	0.0	0.1	0.4	0.0
(うち)精神科認定看護師	0.2	0.6	0.0	0.3	0.6	0.0
准看護師	24.1	15.5	23.0	23.3	15.0	22.0
看護補助者	26.2	19.3	23.0	25.7	18.6	22.3
薬剤師	1.7	2.0	1.5	1.7	2.0	1.5
作業療法士	3.4	3.0	3.0	3.5	3.1	3.0
臨床心理技術者	0.7	1.1	0.0	0.7	1.2	0.0
精神保健福祉士	2.6	2.3	2.0	2.7	2.4	2.0
社会福祉士	0.1	0.4	0.0	0.1	0.5	0.0
事務職員	1.7	3.4	0.0	1.8	3.5	0.0
その他の職員	2.0	5.7	0.0	2.0	5.8	0.0
精神科病棟職員数合計	101.2	54.6	92.1	100.6	54.1	92.0

(注)・うち数を除くすべての職種について平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに人数の記載のあった施設を集計対象とした。

- ・「精神看護専門看護師」、「認知症看護認定看護師」は日本看護協会の認定した者。「精神科認定看護師」は、日本精神科看護協会の認定した者。
- ・「社会福祉士」には、「精神保健福祉士」として従事する者は含まない。
- ・「事務職員」「その他の職員」は、精神科病棟専従者に限る。

⑤精神病棟入院基本料の種類

図表 34 精神病棟入院基本料の種類



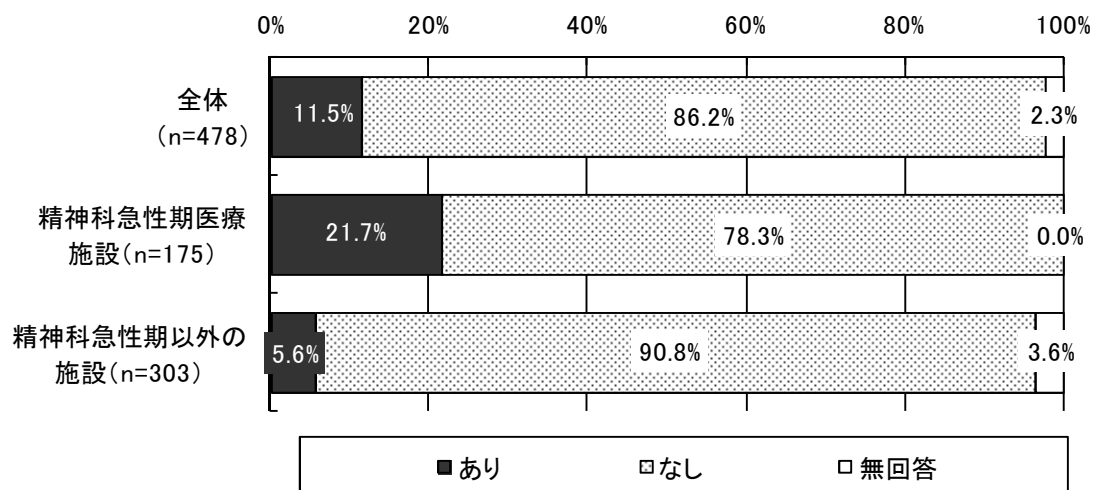
(注) 特定機能病院入院基本料（精神病棟）は平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに、「13 対 1」の施設が 1 施設、「届出なし」の施設が 2 施設であった。

(3) 精神医療・認知症医療の実施状況等

①施設基準の届出状況等

1) 精神病棟入院時医学管理加算

図表 35 精神病棟入院時医学管理加算の届出の有無

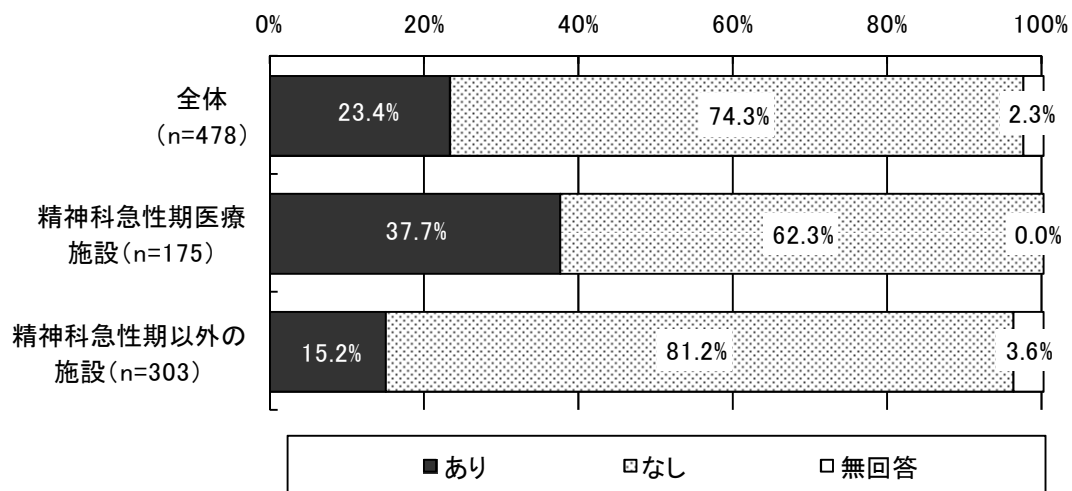


図表 36 精神病棟入院時医学管理加算の届出時期

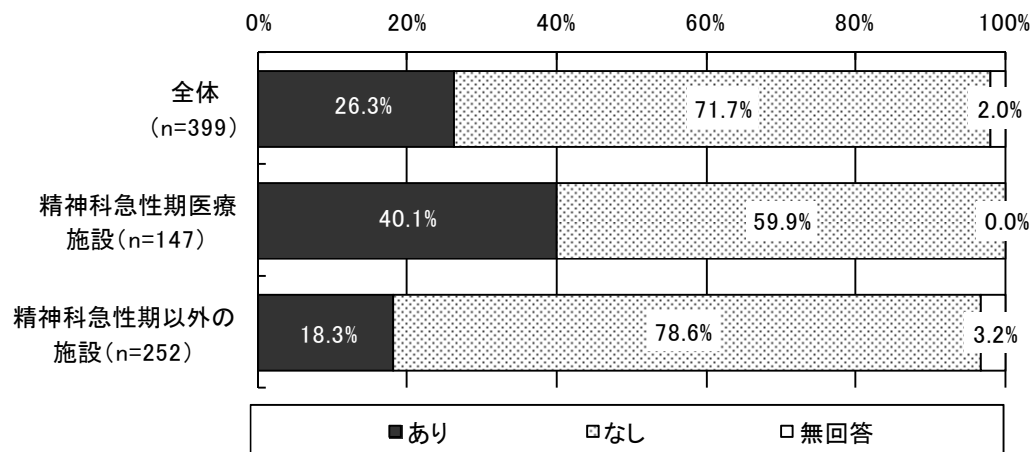
	施設数	割合
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	13	23.6%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	8	14.5%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	1	1.8%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	8	14.5%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	7	12.7%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	3	5.5%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	11	20.0%
平成 26 年 4 月～	2	3.6%
不明	2	3.6%
合計	55	100.0%

2) 精神科地域移行実施加算

図表 37 精神科地域移行実施加算の届出の有無



図表 38 精神科地域移行実施加算の届出の有無（算定可能な病棟を有する施設）

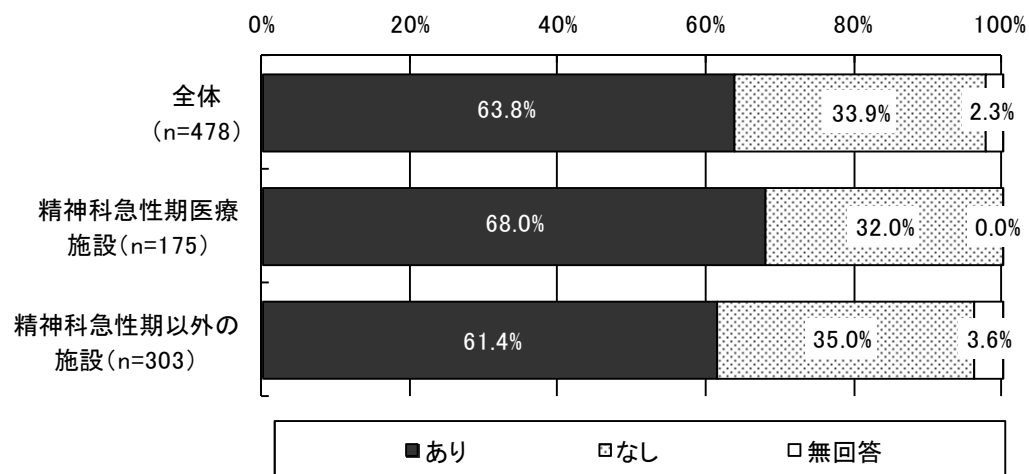


図表 39 精神科地域移行実施加算の届出時期

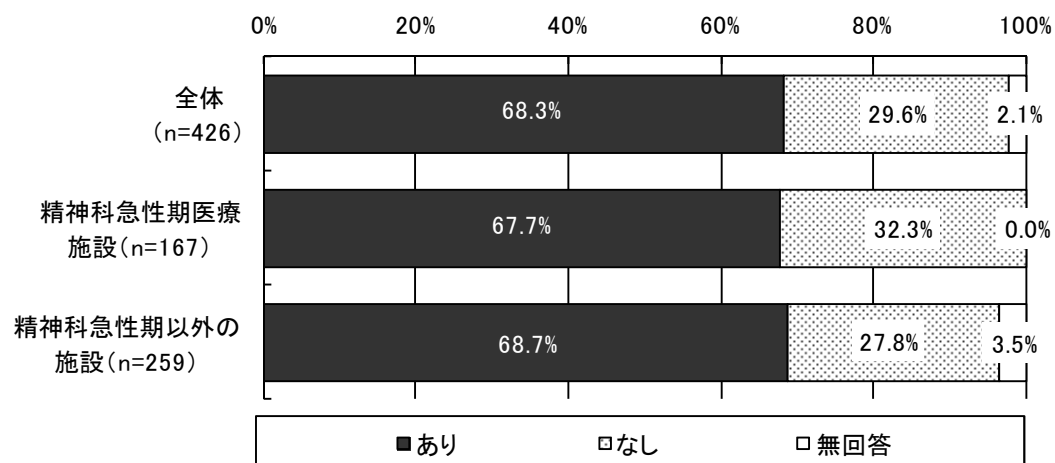
	施設数	割合
～平成 21 年 3 月	47	42.0%
平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月	9	8.0%
平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	7	6.3%
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	15	13.4%
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	6	5.4%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	12	10.7%
平成 26 年 4 月～	10	8.9%
不明	6	5.4%
合計	112	100.0%

3) 精神科身体合併症管理加算

図表 40 精神科身体合併症管理加算の届出の有無



図表 41 精神科身体合併症管理加算の届出の有無（算定可能な病棟を有する施設）

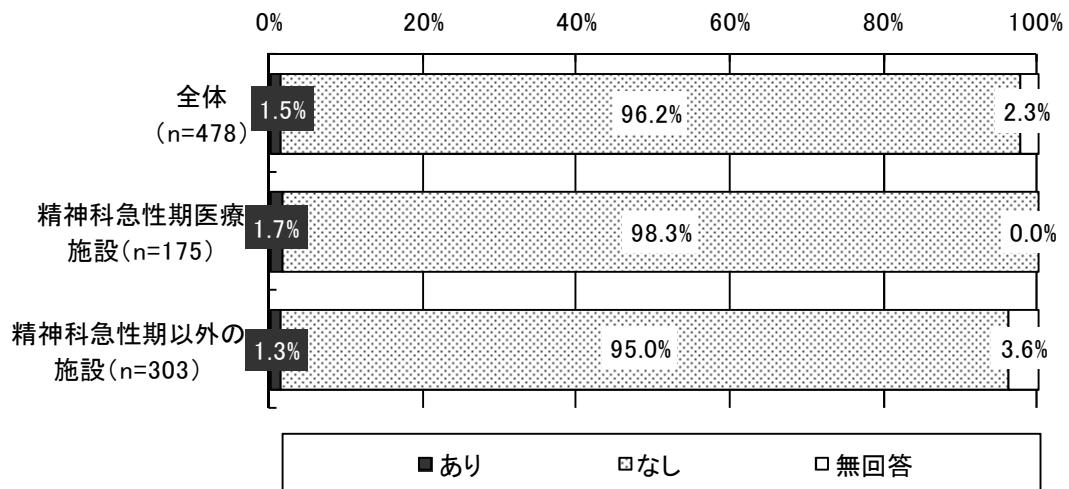


図表 42 精神科身体合併症管理加算の届出時期

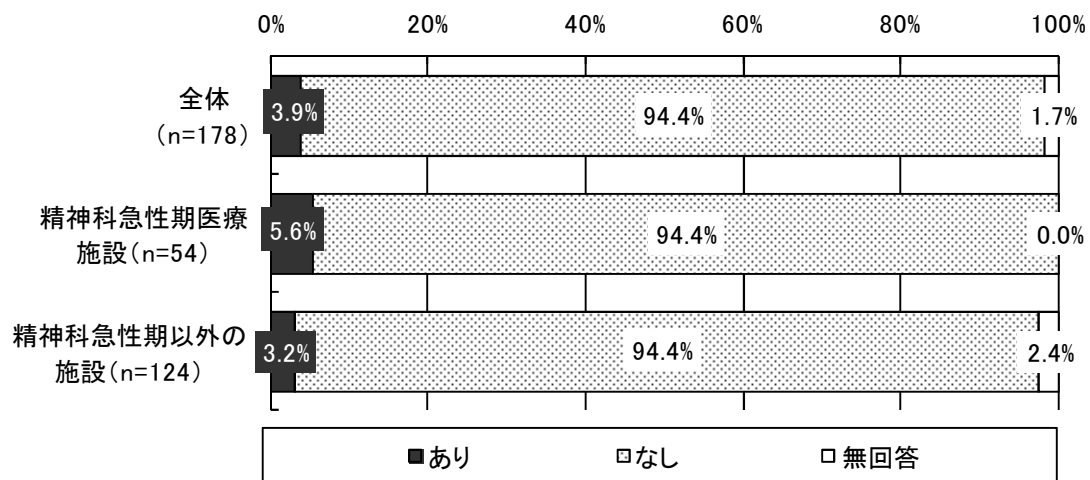
	施設数	割合
～平成 21 年 3 月	215	70.5%
平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月	17	5.6%
平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	22	7.2%
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	4	1.3%
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	12	3.9%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	16	5.2%
平成 26 年 4 月～	7	2.3%
不明	12	3.9%
合計	305	100.0%

4) 精神科リエゾンチーム加算

図表 43 精神科リエゾンチーム加算の届出の有無



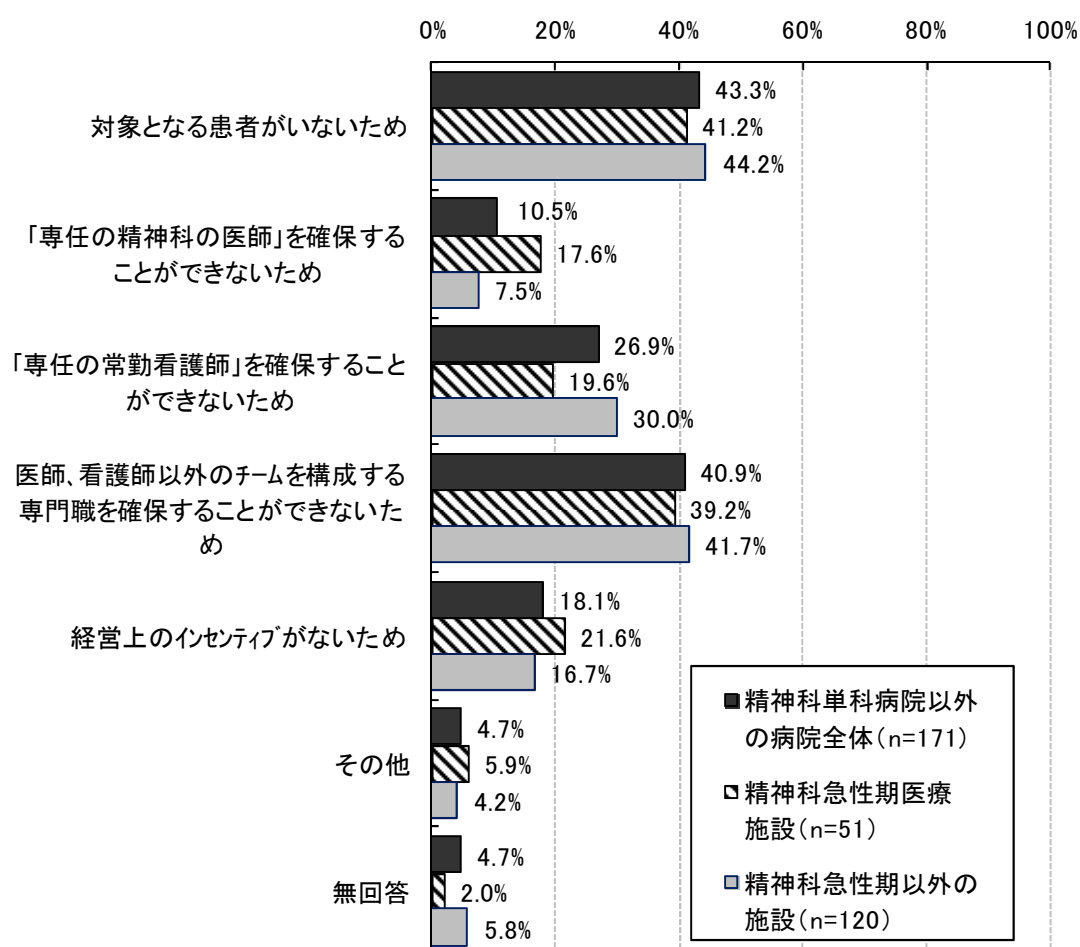
図表 44 精神科リエゾンチーム加算の届出の有無（精神科単科病院を除く）



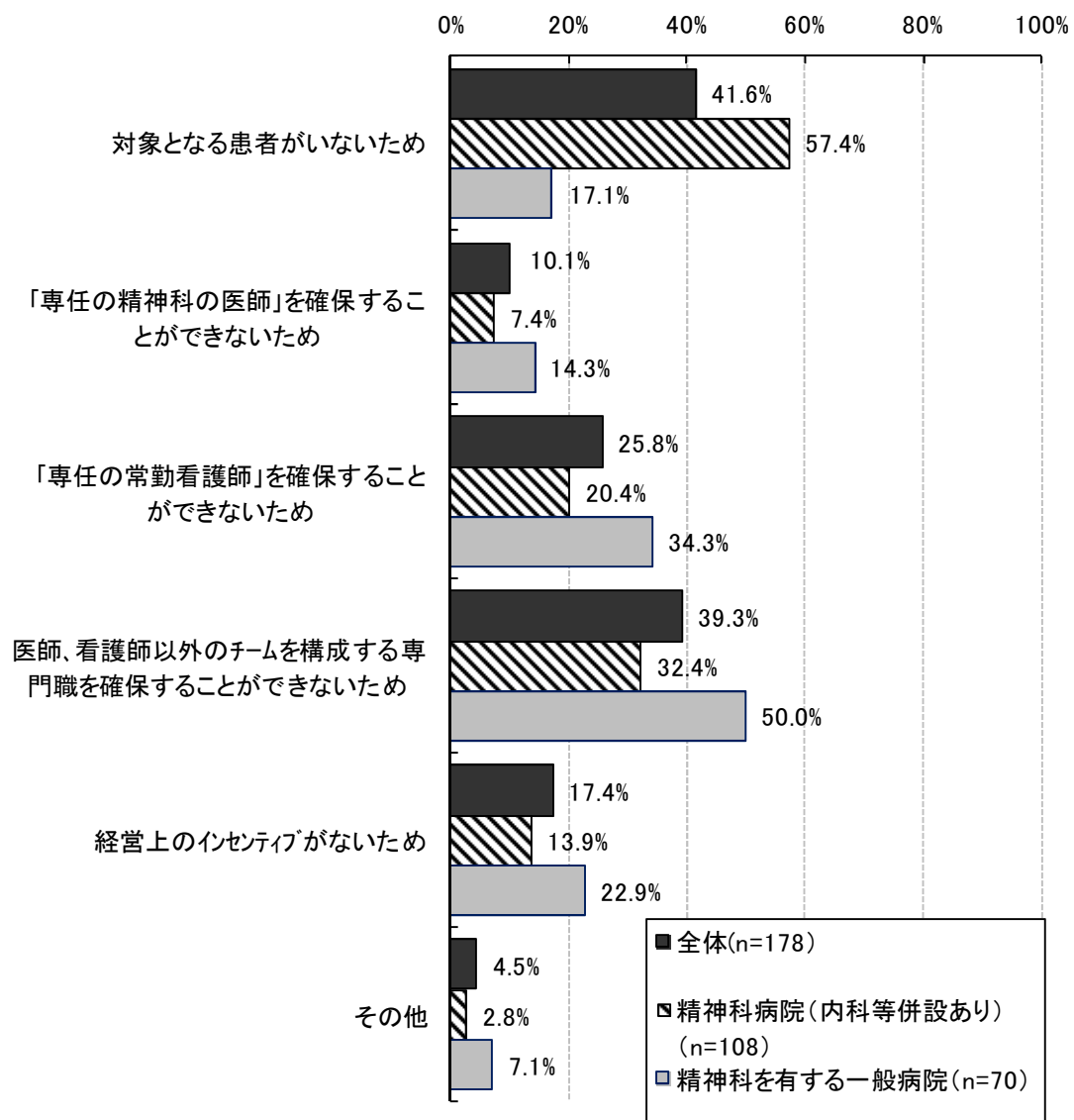
図表 45 精神科リエゾンチーム加算の届出時期

	施設数	割合
～平成 26 年 3 月	6	85.7%
平成 26 年 4 月～	1	14.3%
合計	7	100.0%

図表 46 精神科リエゾンチーム加算の届出をしていない理由
(届出をしていない施設(精神科単科病院を除く)、複数回答)

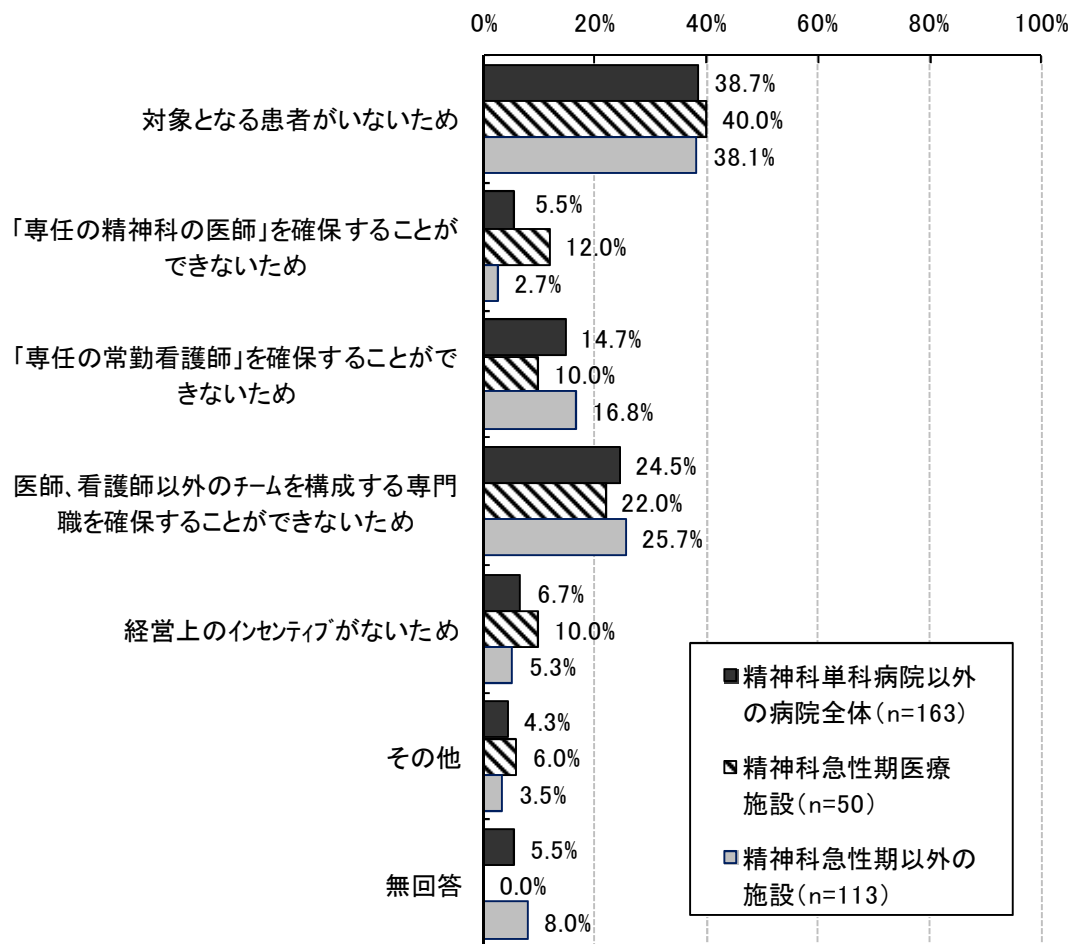


図表 47 精神科リエゾンチーム加算の届出をしていない理由
(病院種別別、届出をしていない施設(精神科単科病院を除く)、複数回答)

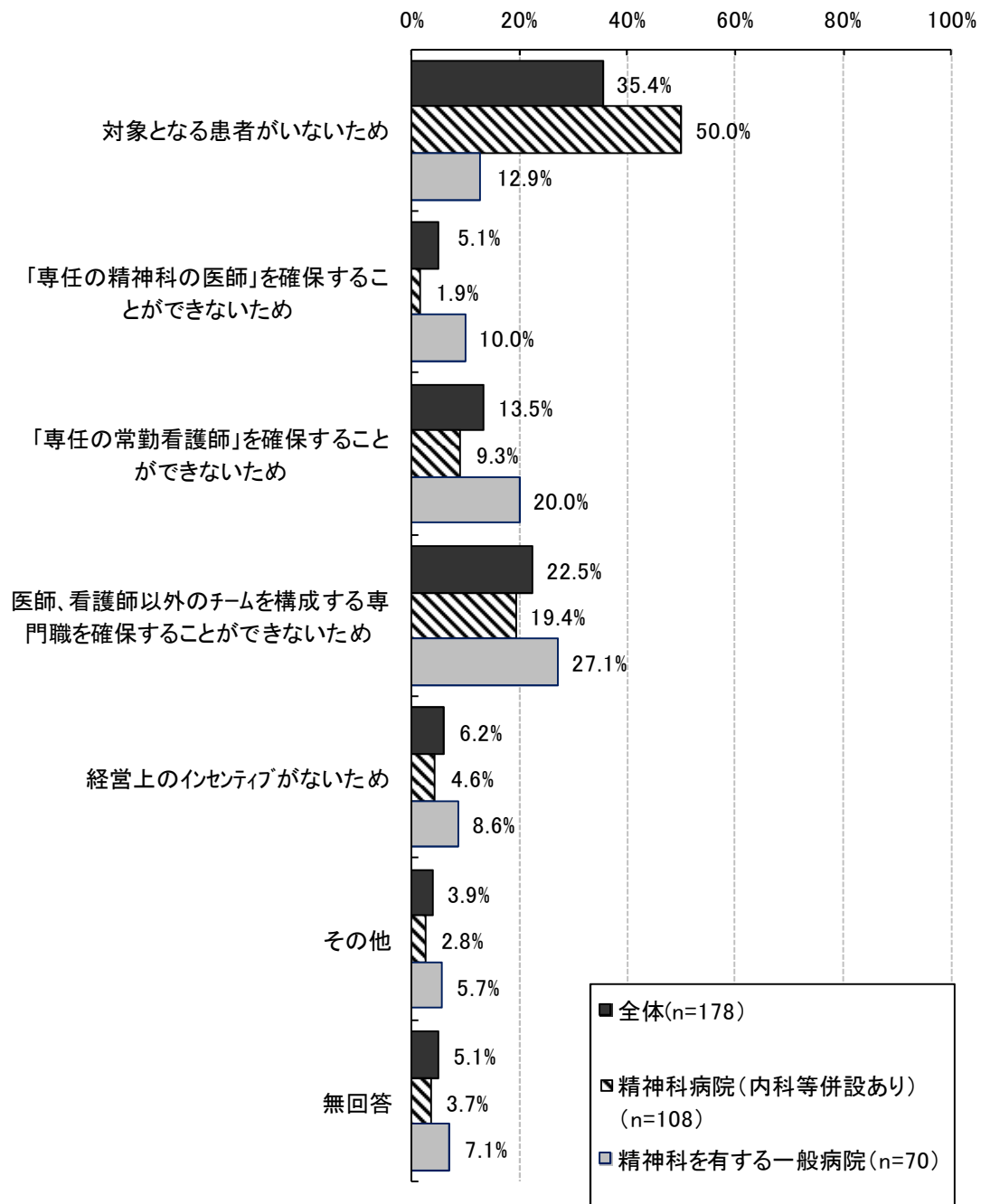


(注)「精神科を有する一般病院」には、精神科を有する特定機能病院3施設が含まれている。

図表 48 精神科リエゾンチーム加算の届出をしていない最大の理由
(届出をしていない施設(精神科単科病院を除く)、単数回答)



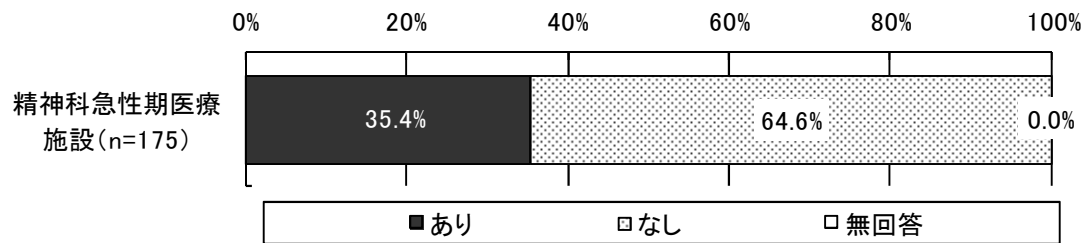
図表 49 精神科リエゾンチーム加算の届出をしていない最大の理由
(病院種別別、届出をしていない施設(精神科単科病院を除く)、単数回答)



(注)「精神科を有する一般病院」には、精神科を有する特定機能病院3施設が含まれている。

5) 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算

図表 50 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算の届出の有無

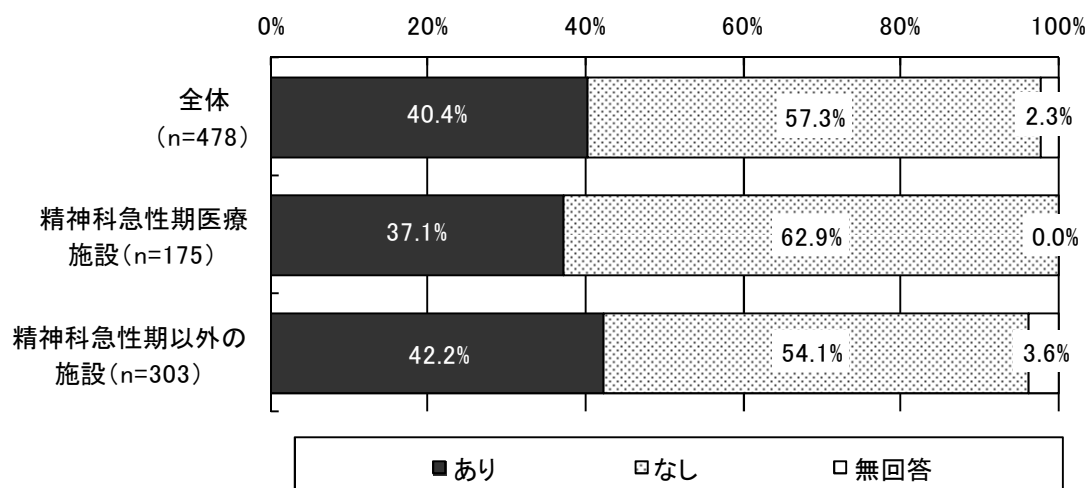


図表 51 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算の届出時期

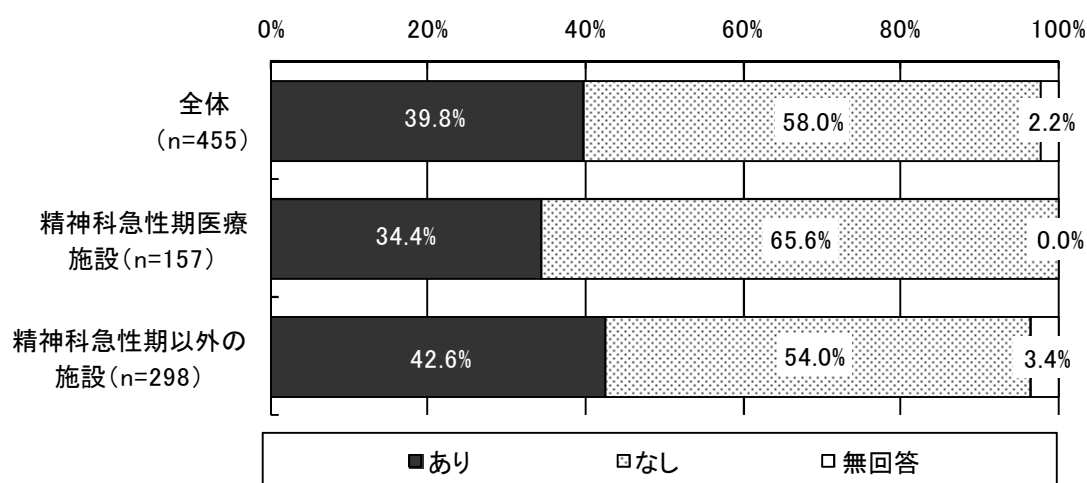
	施設数	割合
～平成 25 年 3 月	58	93.5%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	2	3.2%
平成 26 年 4 月～	2	3.2%
合計	62	100.0%

6) 精神科救急搬送患者地域連携受入加算

図表 52 精神科救急搬送患者地域連携受入加算の届出の有無



図表 53 精神科救急搬送患者地域連携受入加算の届出の有無
(届出可能な病棟を有する施設)

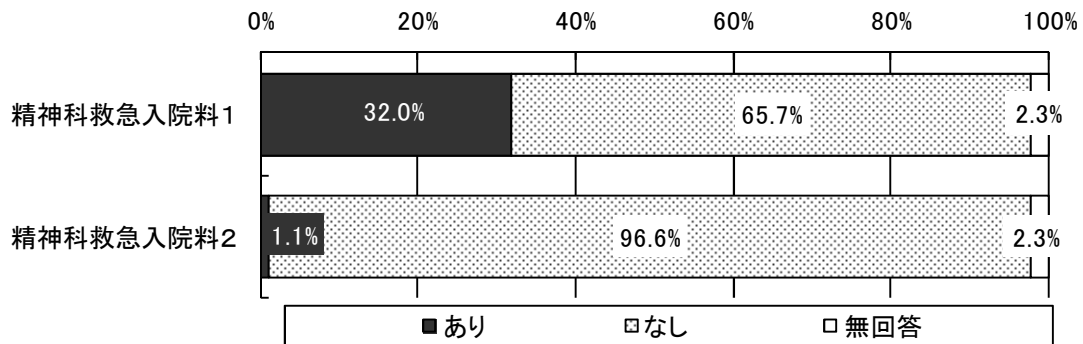


図表 54 精神科救急搬送患者地域連携受入加算の届出時期

	施設数	割合
～平成 25 年 3 月	170	93.9%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	5	2.8%
平成 26 年 4 月～	1	0.6%
不明	5	2.8%
合計	181	100.0%

7) 精神科救急入院料

図表 55 精神科救急入院料の届出の有無（精神科急性期医療施設、n=175）



図表 56 精神科救急入院料1の届出時期

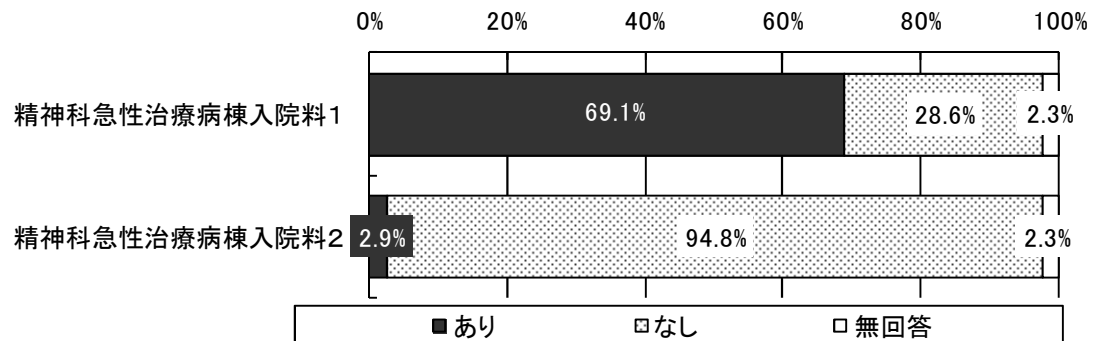
	施設数(件)	割合
～平成 21 年 3 月	18	32.1%
平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月	7	12.5%
平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	4	7.1%
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	7	12.5%
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	5	8.9%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	4	7.1%
平成 26 年 4 月～	11	19.6%
合計	56	100.0%

図表 57 精神科救急入院料2の届出時期

	施設数(件)	割合
平成 23 年 6 月	1	50.0%
平成 26 年 11 月	1	50.0%
合計	2	100.0%

8) 精神科急性期治療病棟入院料

図表 58 精神科急性期治療病棟入院料の届出の有無（精神科急性期医療施設、n=175）



図表 59 精神科急性期治療病棟入院料 1 の届出時期

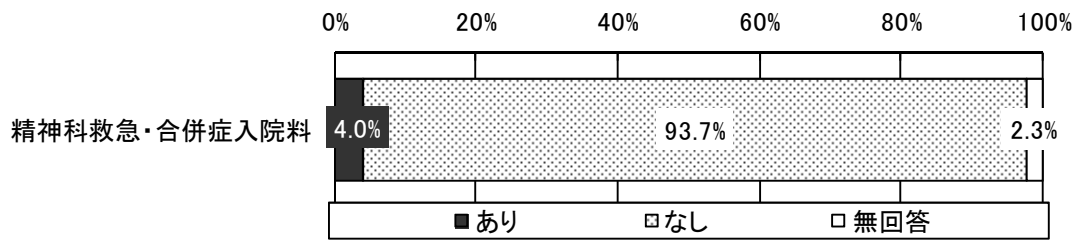
	施設数	割合
～平成 16 年 3 月	14	11.6%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	8	6.6%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	24	19.8%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	23	19.0%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	15	12.4%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	22	18.2%
平成 26 年 4 月～	11	9.1%
不明	4	3.3%
合計	121	100.0%

図表 60 精神科急性期治療病棟入院料 2 の届出時期

	施設数	割合
～平成 22 年 3 月	2	40.0%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	2	40.0%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	0	0.0%
平成 26 年 4 月～	1	20.0%
合計	5	100.0%

9) 精神科救急・合併症入院料

図表 61 精神科救急・合併症入院料の届出の有無（精神科急性期医療施設、n=175）

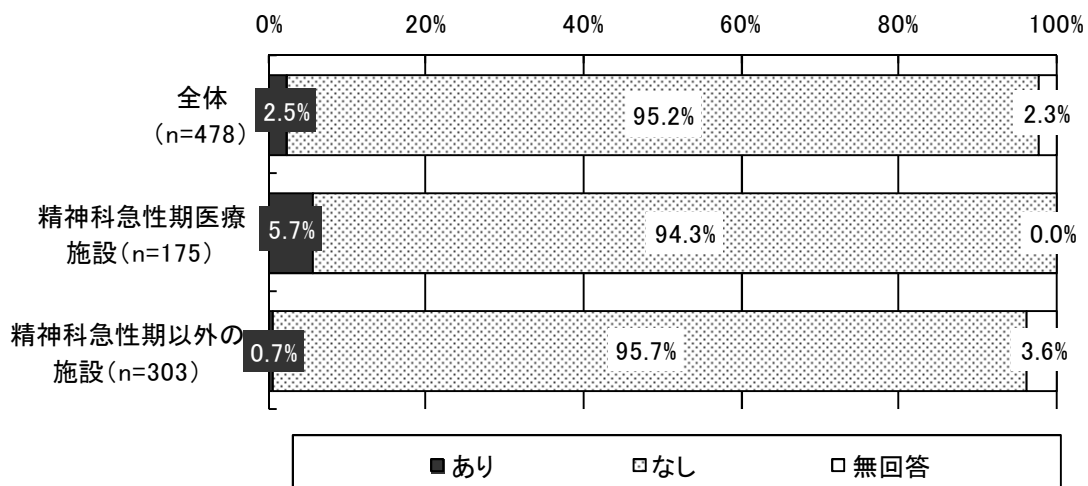


図表 62 精神科救急・合併症入院料の届出時期

	施設数	割合
～平成 22 年 3 月	2	28.6%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	1	14.3%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	2	28.6%
平成 26 年 4 月～	1	14.3%
不明	1	14.3%
合計	7	100.0%

10) 児童・思春期精神科入院医療管理料

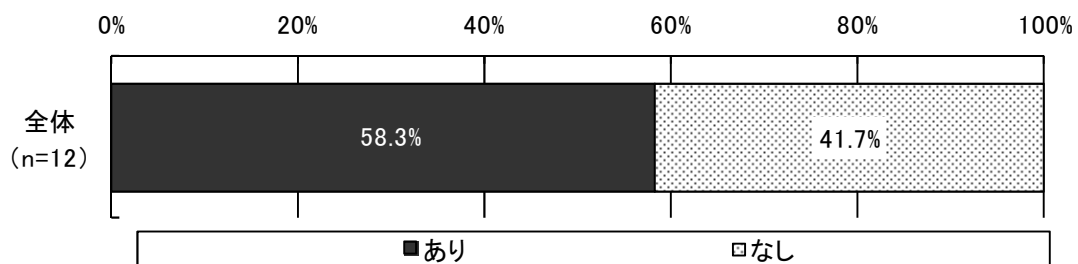
図表 63 児童・思春期精神科入院医療管理料の届出の有無



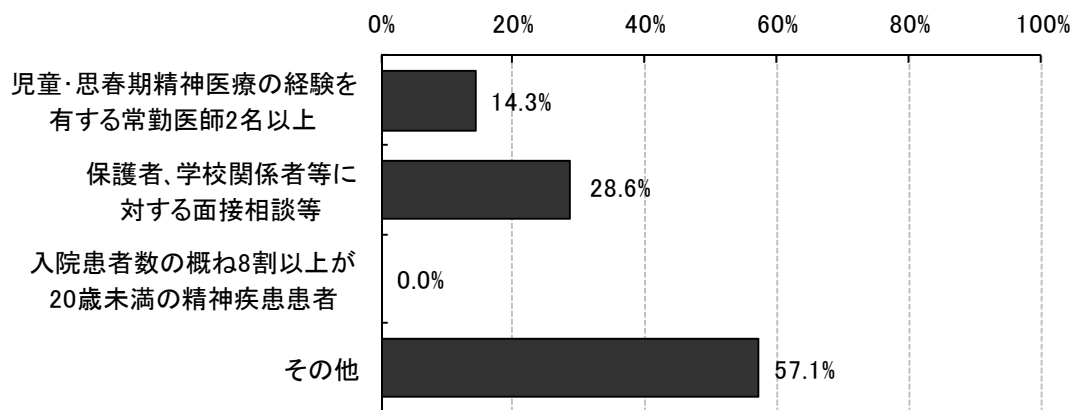
図表 64 児童・思春期精神科入院医療管理料の届出時期

	施設数	割合
～平成 25 年 3 月	9	75.0%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	2	16.7%
平成 26 年 4 月～	1	8.3%
合計	12	100.0%

図表 65 児童・思春期精神科入院医療管理料の施設基準の中で改善が必要と思われる要件の有無（届出のある施設）



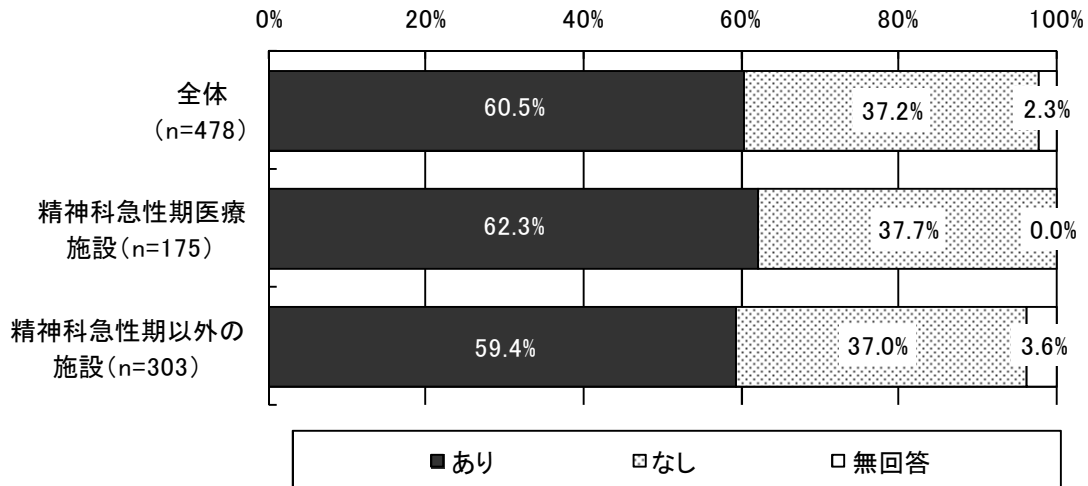
図表 66 児童・思春期精神科入院医療管理料の施設基準の中で改善が必要と思われる要件（届出のある施設のうち、改善が必要と思われる要件が「ある」と回答した施設、単数回答、n=7）



（注）「その他」は複数を選択したもの。

11) 精神療養病棟入院料

図表 67 精神療養病棟入院料の届出の有無

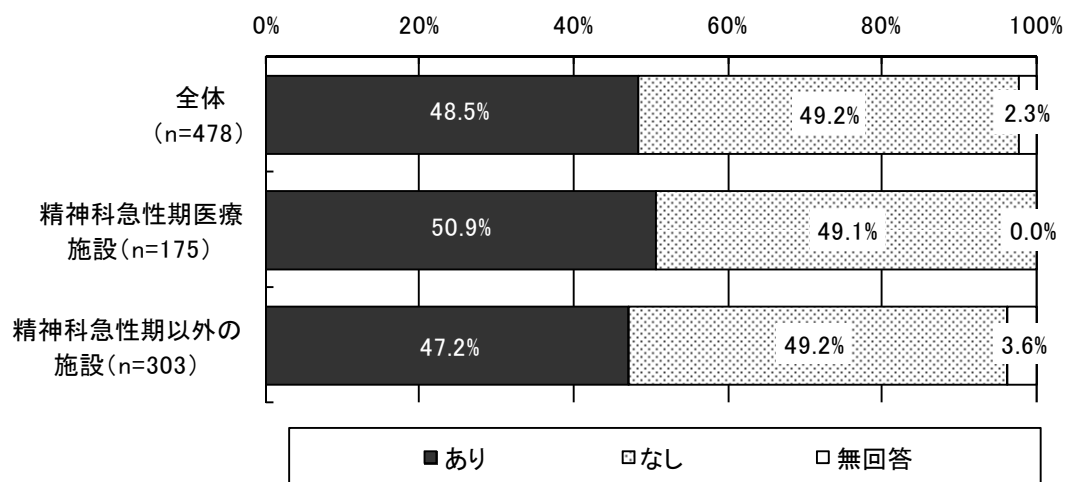


図表 68 精神療養病棟入院料の届出時期

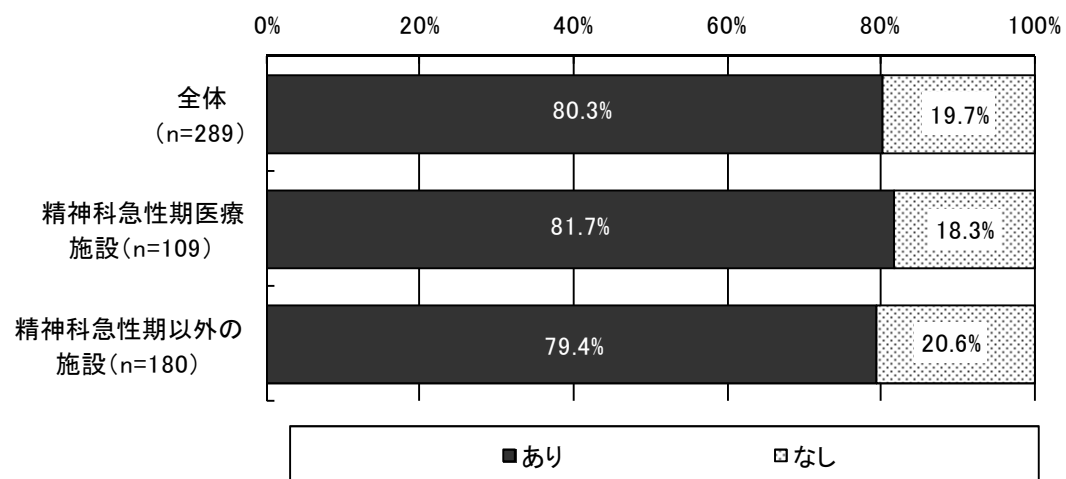
	施設数	割合
～平成 12 年 3 月	44	15.2%
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	32	11.1%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	49	17.0%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	30	10.4%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	32	11.1%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	19	6.6%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	6	2.1%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	16	5.5%
平成 26 年 4 月～	33	11.4%
不明	28	9.7%
合計	289	100.0%

12) 精神療養病棟入院料 重症者加算 1

図表 69 精神療養病棟入院料 重症者加算 1 の届出の有無



図表 70 精神療養病棟入院料 重症者加算 1 の届出の有無
(精神療養病棟入院料の届出がある施設)

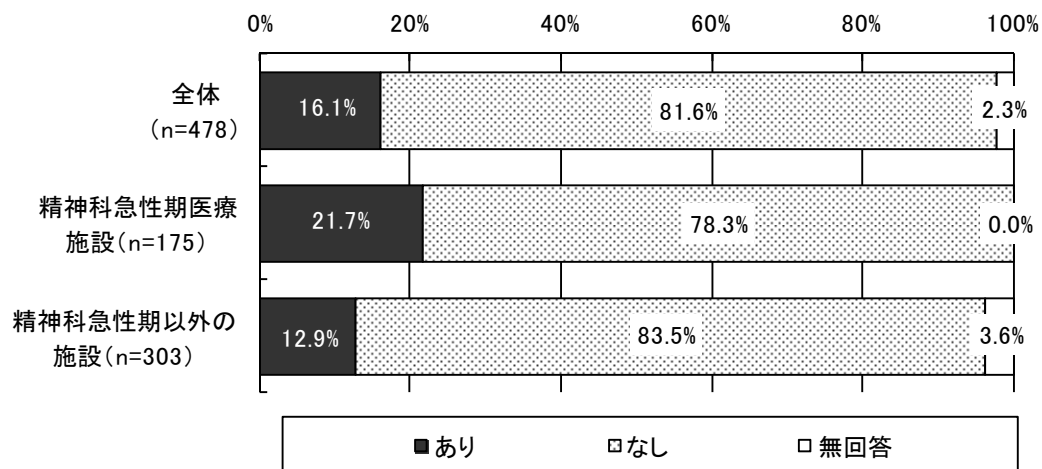


図表 71 精神療養病棟入院料 重症者加算 1 の届出時期

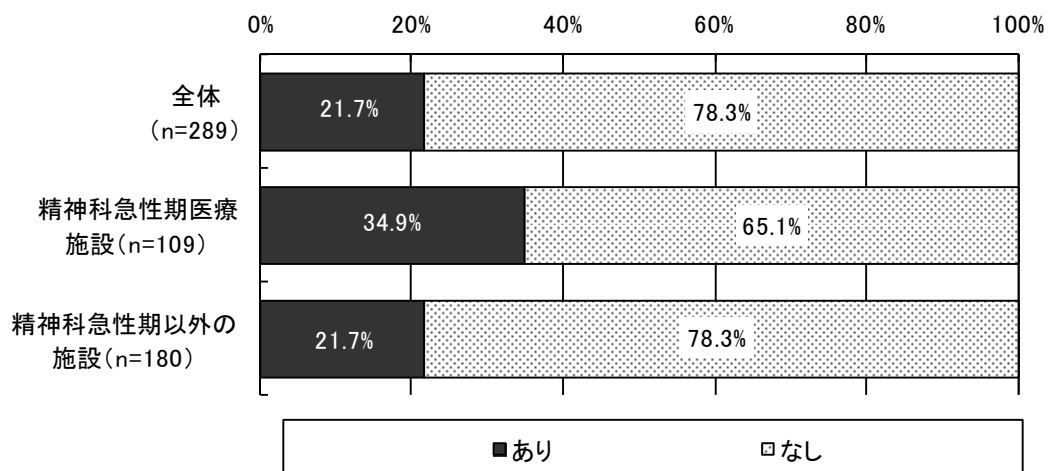
	施設数	割合
～平成 22 年 3 月	11	4.7%
平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	16	6.9%
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	1	0.4%
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	65	28.0%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	77	33.2%
平成 26 年 4 月～	46	19.8%
不明	16	6.9%
合計	232	100.0%

13) 精神療養病棟入院料 退院調整加算

図表 72 精神療養病棟入院料 退院調整加算の届出の有無



図表 73 精神療養病棟入院料 退院調整加算の届出の有無
(精神療養病棟入院料の届出がある施設)

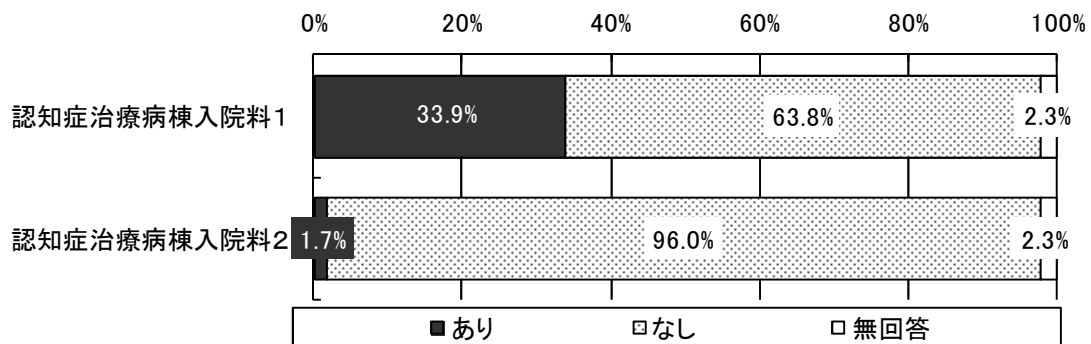


図表 74 精神療養病棟入院料 退院調整加算の届出時期

	施設数	割合
～平成 22 年 3 月	2	2.6%
平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	3	3.9%
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	1	1.3%
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	43	55.8%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	7	9.1%
平成 26 年 4 月～	19	24.7%
不明	2	2.6%
合計	77	100.0%

14) 認知症治療病棟入院料

図表 75 認知症治療病棟入院料の届出の有無（全体、n=475）



図表 76 認知症治療病棟入院料1の届出時期

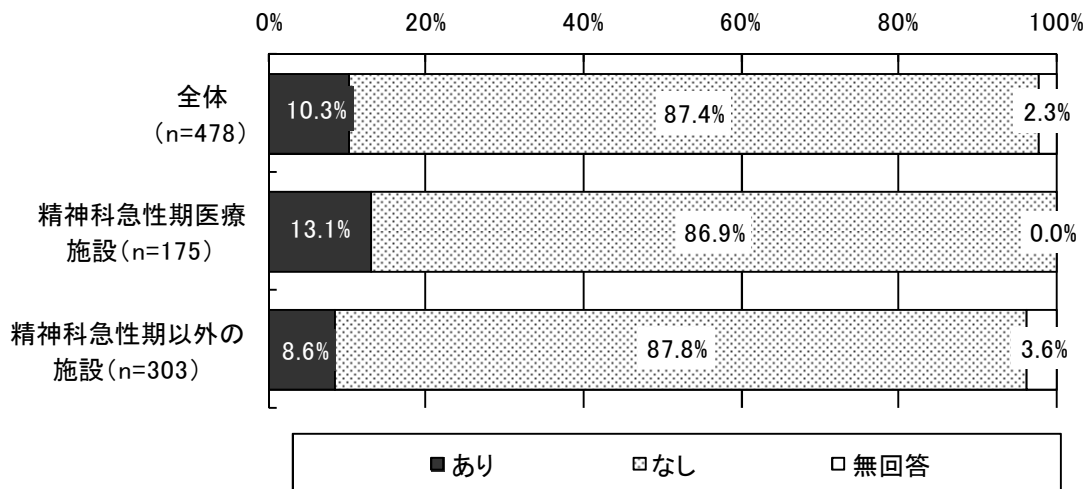
	施設数	割合
～平成12年3月	10	6.2%
平成12年4月～平成14年3月	3	1.9%
平成14年4月～平成16年3月	6	3.7%
平成16年4月～平成18年3月	8	4.9%
平成18年4月～平成20年3月	41	25.3%
平成20年4月～平成22年3月	26	16.0%
平成22年4月～平成24年3月	17	10.5%
平成24年4月～平成26年3月	32	19.8%
平成26年4月～	8	4.9%
不明	11	6.8%
合計	162	100.0%

図表 77 認知症治療病棟入院料2の届出時期

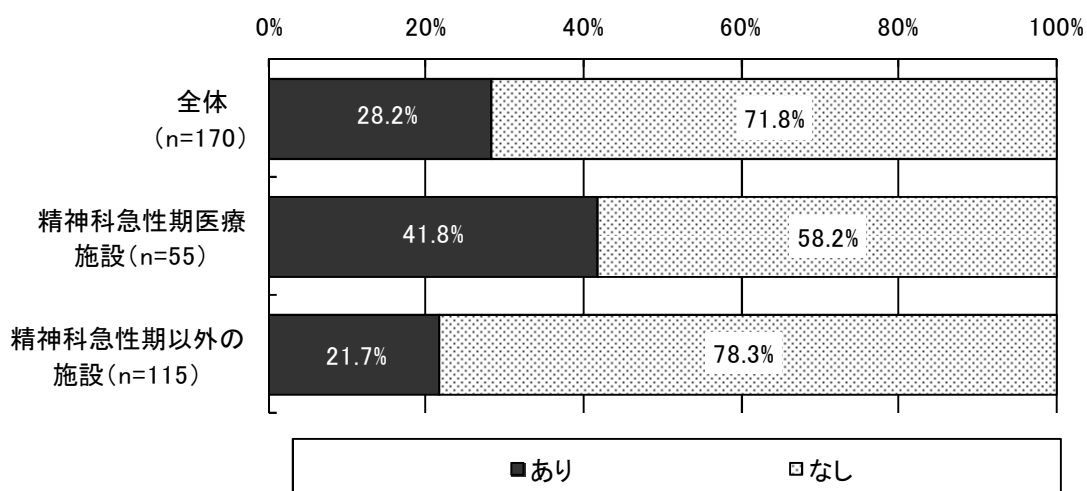
	施設数	割合
～平成18年3月	3	37.5%
平成18年4月～平成20年3月	3	37.5%
平成20年4月～平成22年3月	0	0.0%
平成22年4月～平成24年3月	1	12.5%
平成24年4月～平成26年3月	1	12.5%
平成26年4月～	0	0.0%
合計	8	100.0%

15) 認知症治療病棟入院料 退院調整加算

図表 78 認知症治療病棟入院料 退院調整加算の届出の有無



図表 79 認知症治療病棟入院料 退院調整加算の届出の有無
(認知症治療病棟入院料の届出施設)

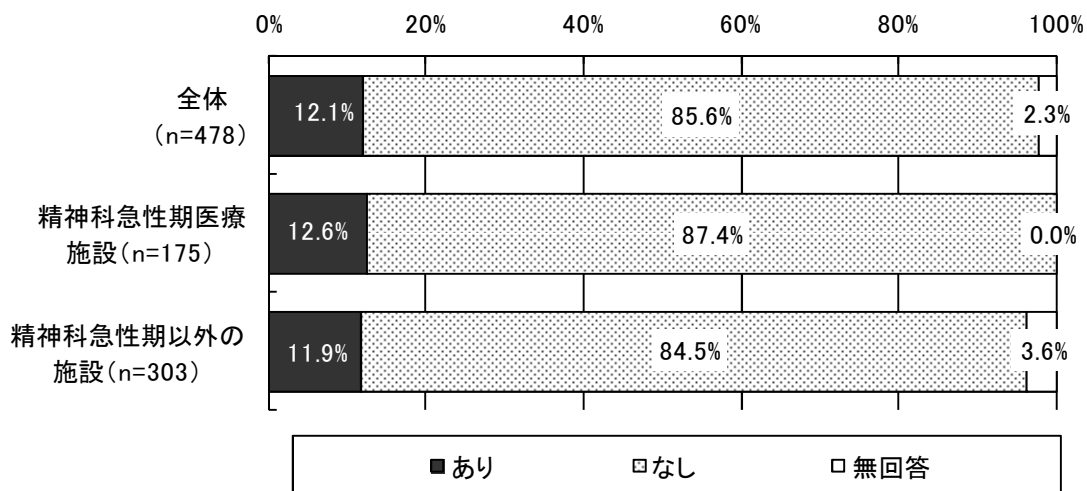


図表 80 認知症治療病棟入院料 退院調整加算の届出時期

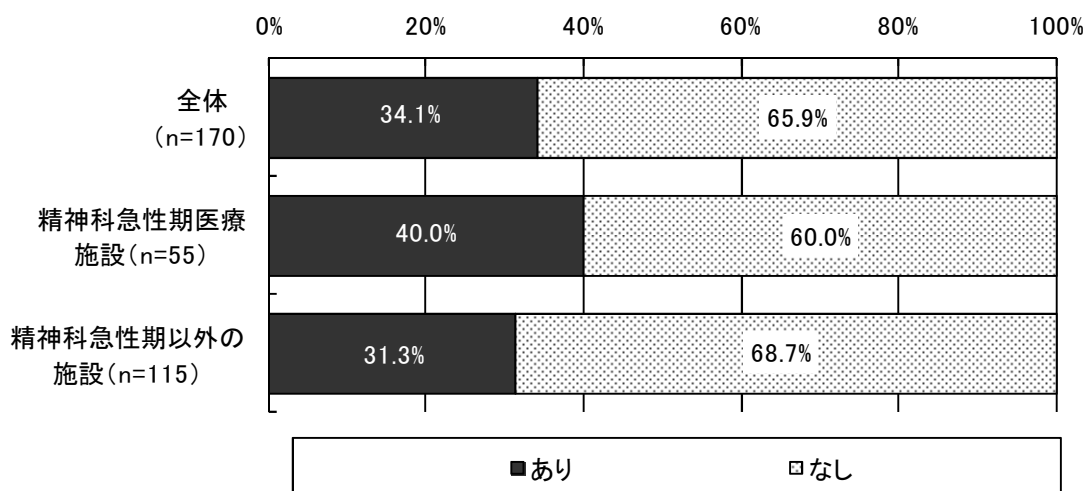
	施設数	割合
平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月	16	32.7%
平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月	1	2.0%
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月	23	46.9%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	3	6.1%
平成 26 年 4 月～	6	12.2%
合計	49	100.0%

16) 認知症治療病棟入院料 認知症夜間対応加算

図表 81 認知症治療病棟入院料 認知症夜間対応加算の届出の有無



認知症治療病棟入院料 認知症夜間対応加算の届出の有無
(認知症治療病棟入院料の届出施設)

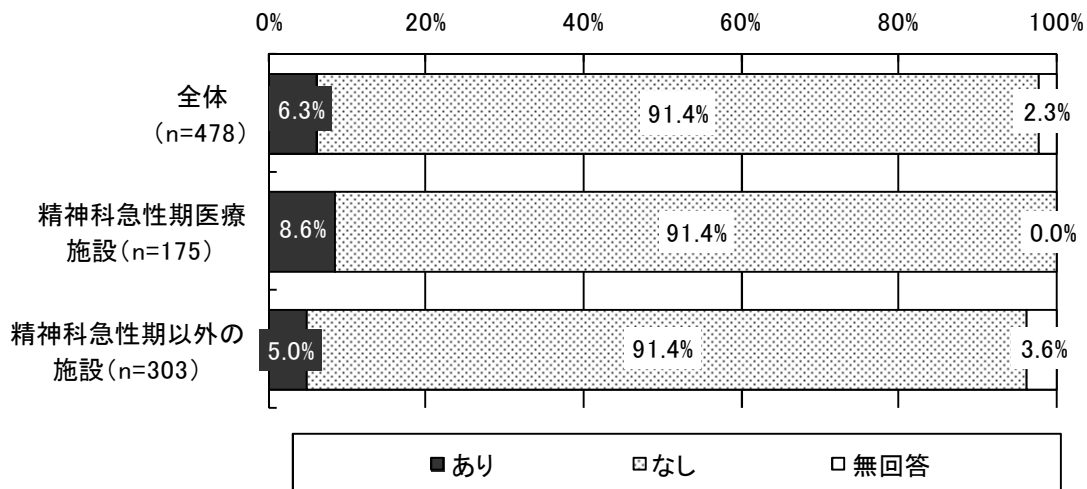


図表 82 認知症治療病棟入院料 認知症夜間対応加算の届出時期

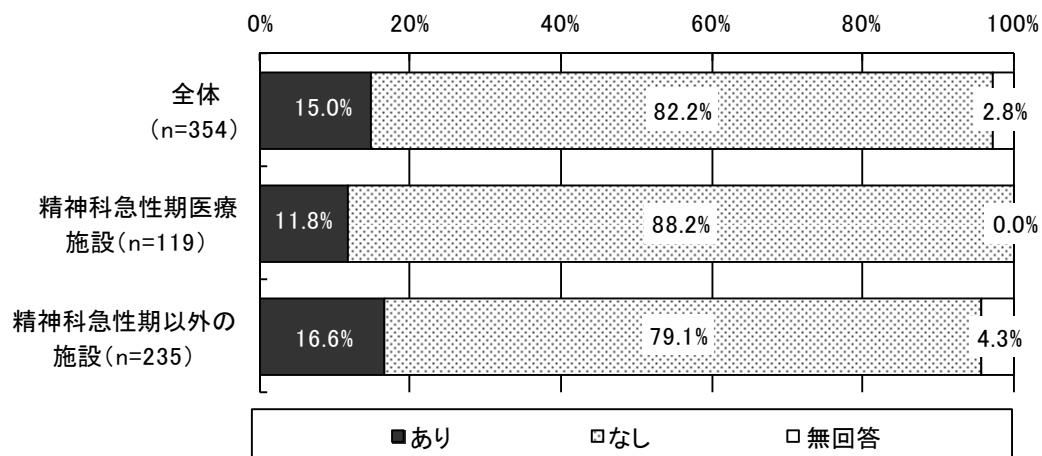
	施設数	割合
～平成 25 年 3 月	43	74.1%
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	5	8.6%
平成 26 年 4 月～	8	13.8%
不明	2	3.4%
合計	58	100.0%

18) 精神病棟入院基本料 重度認知症加算

図表 83 精神病棟入院基本料 重度認知症加算の届出の有無



図表 84 精神病棟入院基本料 重度認知症加算の届出の有無
(精神病棟入院基本料の届出のある施設)

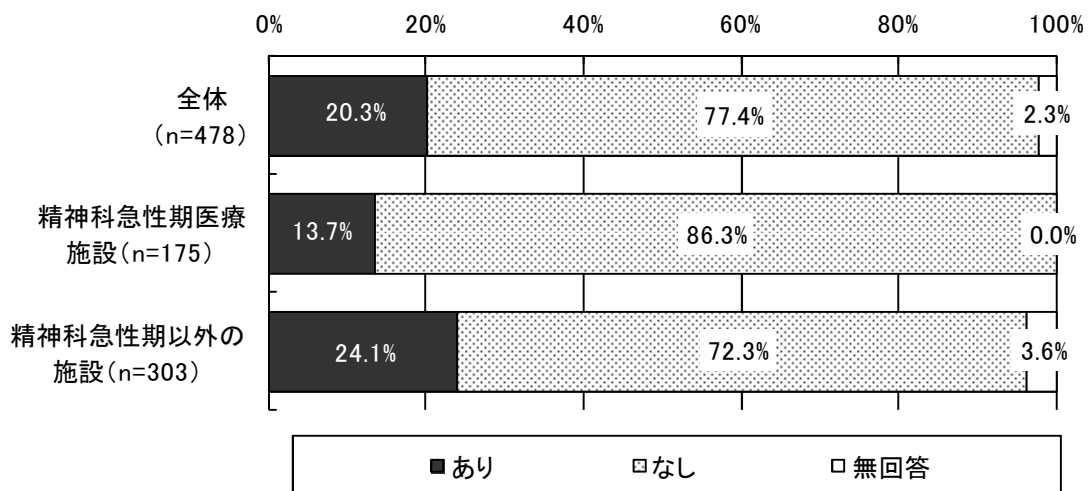


図表 85 精神病棟入院基本料 重度認知症加算の届出時期

	施設数	割合
～平成 18 年 3 月	4	7.1%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	18	32.1%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	5	8.9%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	4	7.1%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	8	14.3%
平成 26 年 4 月～	5	8.9%
不明	12	21.4%
合計	56	100.0%

19) 精神科ショート・ケア

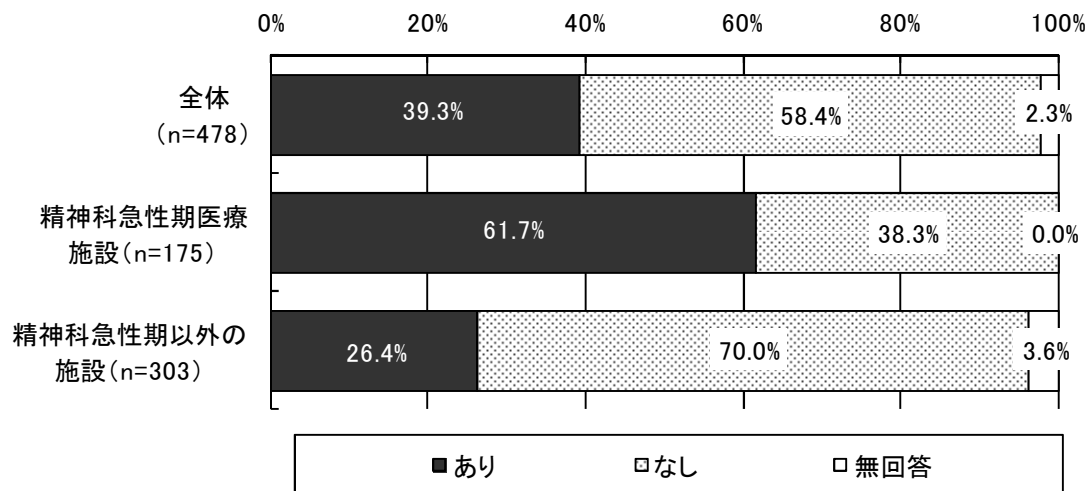
図表 86 精神科ショート・ケア（小規模なもの）の届出の有無



図表 87 精神科ショート・ケア（小規模なもの）の届出時期

	施設数	割合
～平成 18 年 3 月	8	8.2%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	41	42.3%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	15	15.5%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	10	10.3%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	13	13.4%
平成 26 年 4 月～	4	4.1%
不明	6	6.2%
合計	97	100.0%

図表 88 精神科ショート・ケア（大規模なもの）の届出の有無

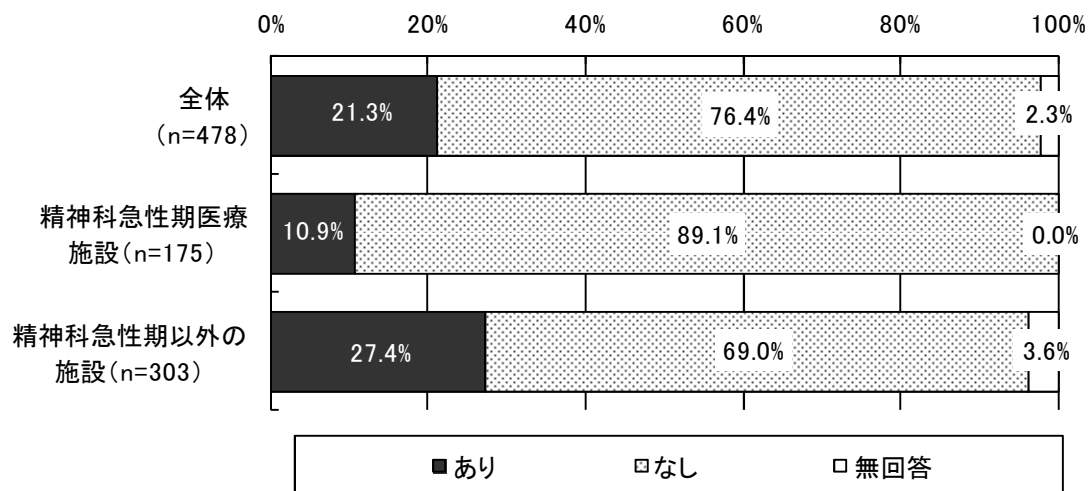


図表 89 精神科ショート・ケア（大規模なもの）の届出時期

	施設数	割合
～平成 18 年 3 月	5	2.7%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	99	52.7%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	14	7.4%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	25	13.3%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	31	16.5%
平成 26 年 4 月～	5	2.7%
不明	9	4.8%
合計	188	100.0%

20) 精神科デイ・ケア

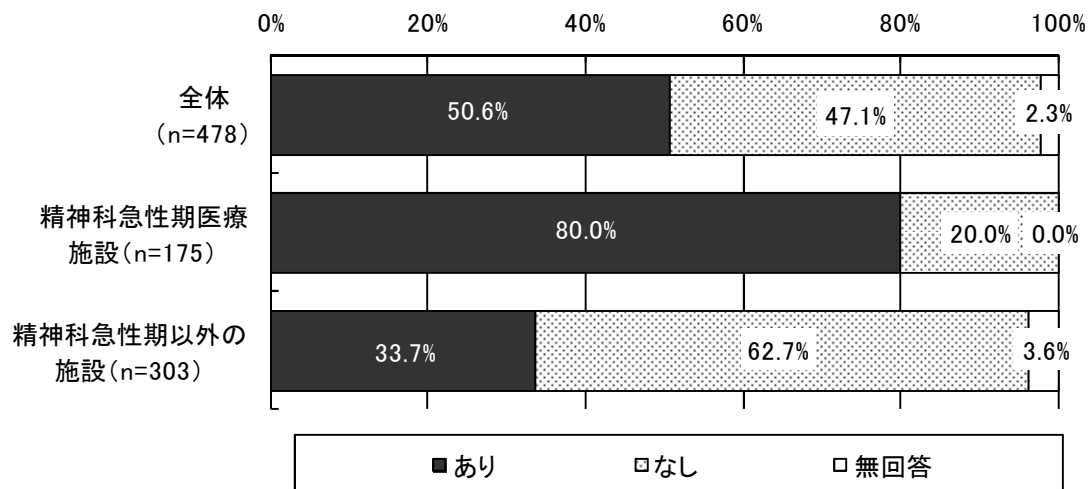
図表 90 精神科デイ・ケア（小規模なもの）の届出の有無



図表 91 精神科デイ・ケア（小規模なもの）の届出時期

	施設数	割合
～平成 12 年 3 月	24	23.5%
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	7	6.9%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	11	10.8%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	10	9.8%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	10	9.8%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	11	10.8%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	6	5.9%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	12	11.8%
平成 26 年 4 月～	5	4.9%
不明	6	5.9%
合計	102	100.0%

図表 92 精神科デイ・ケア（大規模なもの）の届出の有無

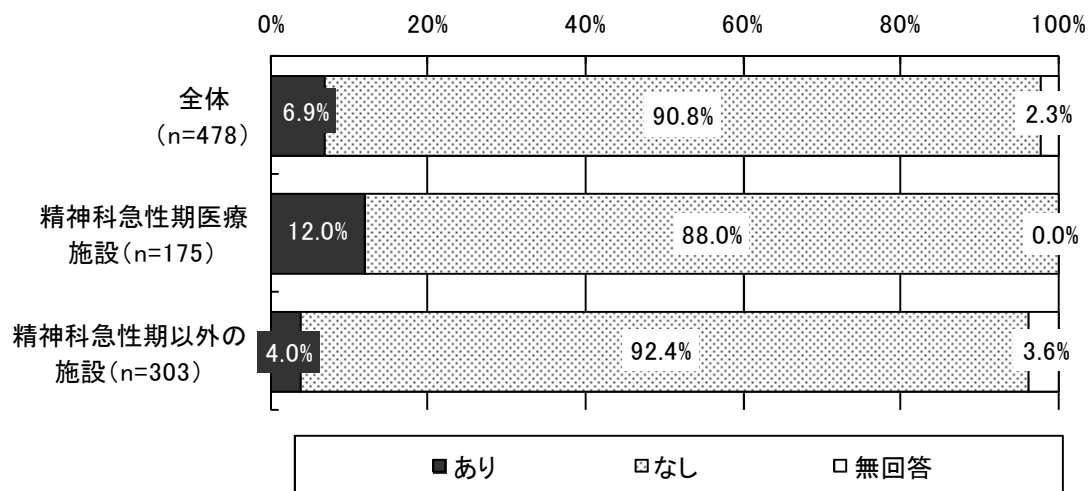


図表 93 精神科デイ・ケア（大規模なもの）の届出時期

	施設数	割合
～平成 12 年 3 月	68	28.1%
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	13	5.4%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	33	13.6%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	21	8.7%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	30	12.4%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	15	6.2%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	24	9.9%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	23	9.5%
平成 26 年 4 月～	4	1.7%
不明	11	4.5%
合計	242	100.0%

21) 精神科ナイト・ケア

図表 94 精神科ナイト・ケアの届出の有無

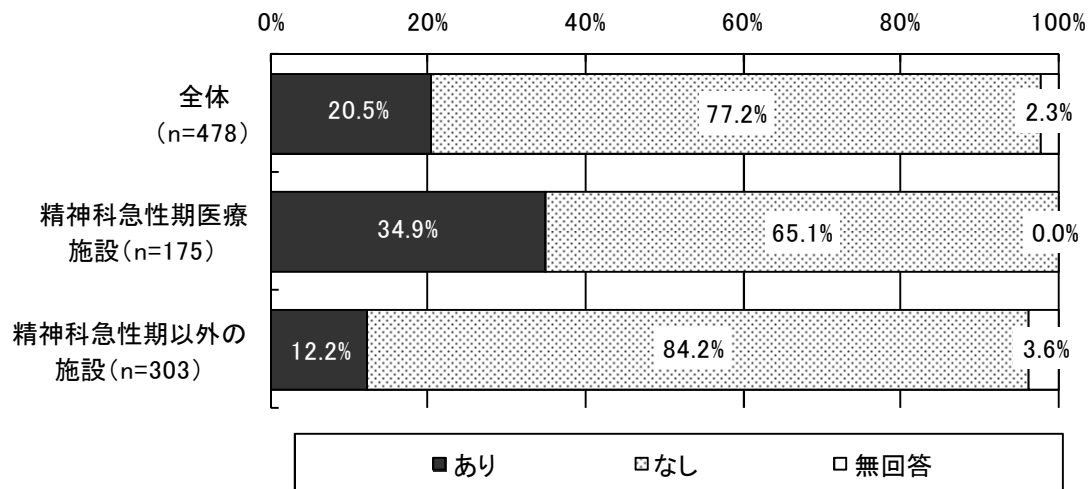


図表 95 精神科ナイト・ケアの届出時期

	施設数	割合
～平成 12 年 3 月	6	18.2%
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	2	6.1%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	5	15.2%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	7	21.2%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	3	9.1%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	5	15.2%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	3	9.1%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	1	3.0%
平成 26 年 4 月～	0	0.0%
不明	1	3.0%
合計	33	100.0%

22) 精神科デイ・ナイト・ケア

図表 96 精神科デイ・ナイト・ケアの届出の有無

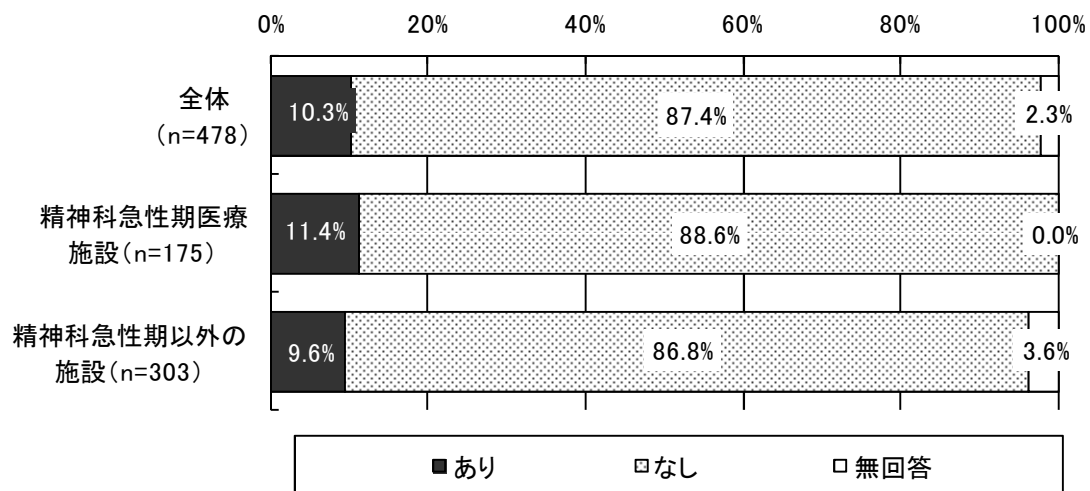


図表 97 精神科デイ・ナイト・ケアの届出時期

	施設数	割合
～平成 12 年 3 月	10	10.2%
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	5	5.1%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	10	10.2%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	21	21.4%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	16	16.3%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	16	16.3%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	11	11.2%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	5	5.1%
平成 26 年 4 月～	1	1.0%
不明	3	3.1%
合計	98	100.0%

23) 重度認知症患者デイ・ケア料

図表 98 重度認知症患者デイ・ケア料の届出の有無

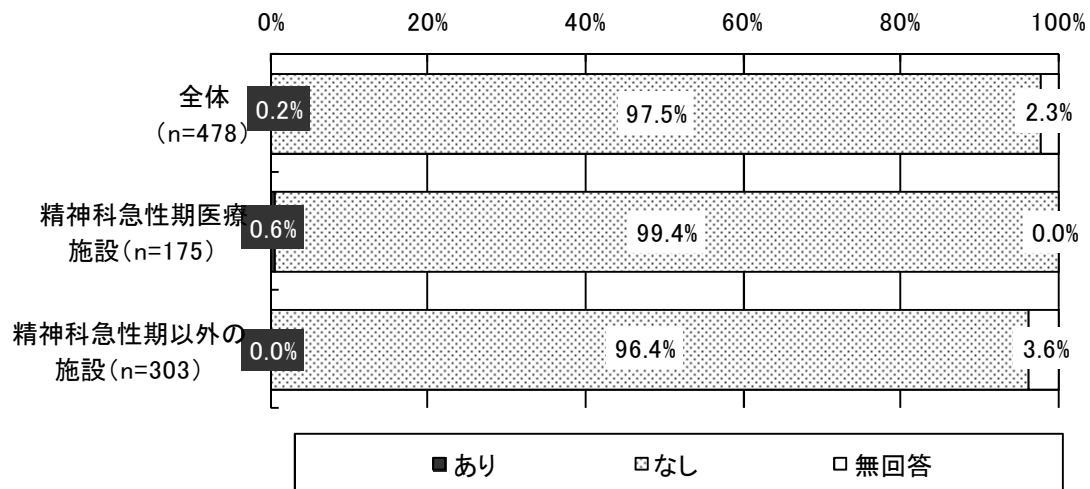


図表 99 重度認知症患者デイ・ケア料の届出時期

	施設数	割合
～平成 12 年 3 月	4	8.2%
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	1	2.0%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	1	2.0%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	4	8.2%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	25	51.0%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	5	10.2%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	2	4.1%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	4	8.2%
平成 26 年 4 月～	1	2.0%
不明	2	4.1%
合計	49	100.0%

24) 重度認知症患者デイ・ケア料 夜間加算

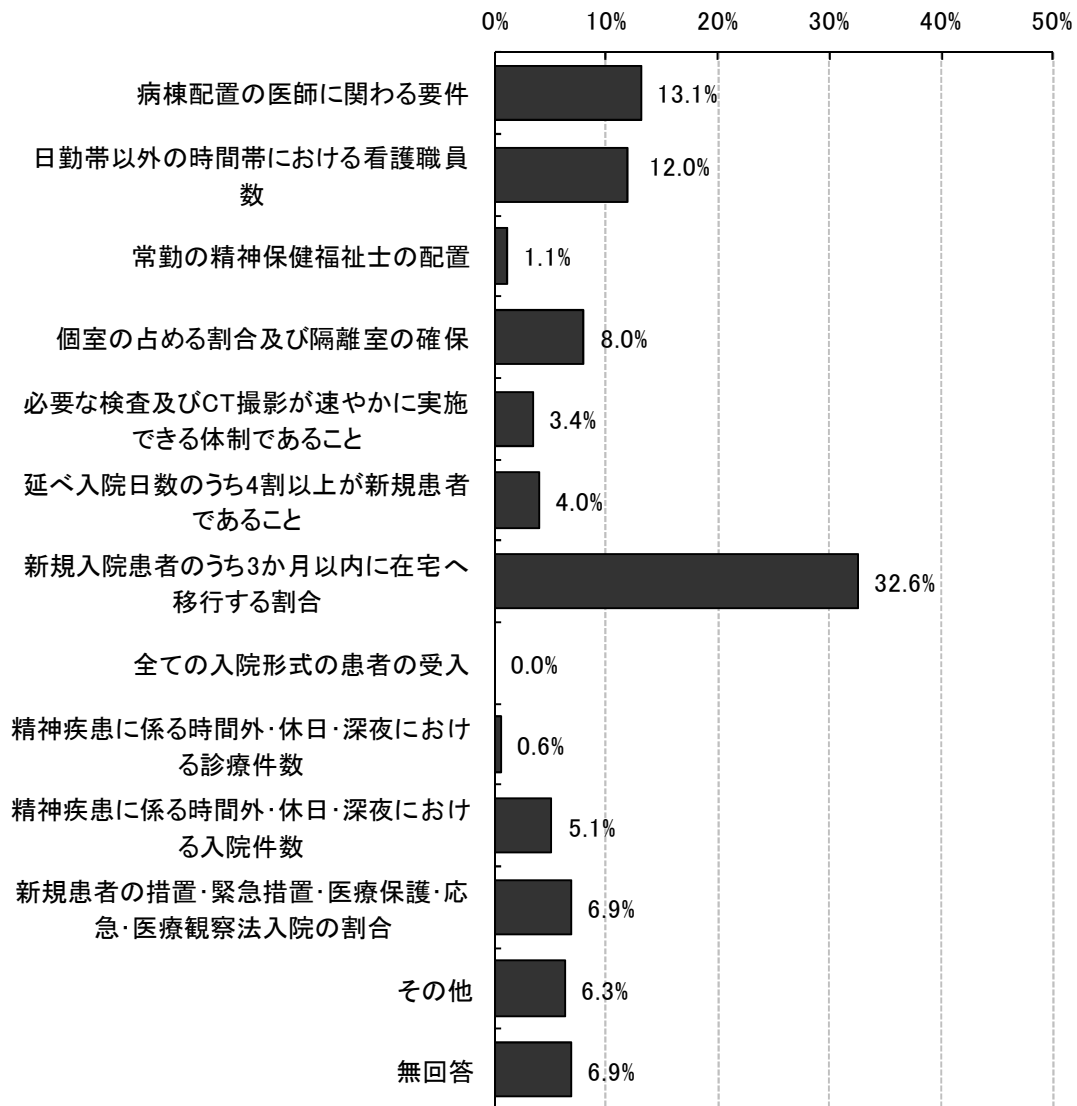
図表 100 重度認知症患者デイ・ケア料 夜間加算の届出の有無



(注) 重度認知症患者デイ・ケア料 夜間加算の届出施設は 1 施設であり、その届出時期は「平成 24 年 5 月」であった。

②精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料に関する最も厳しい施設基準

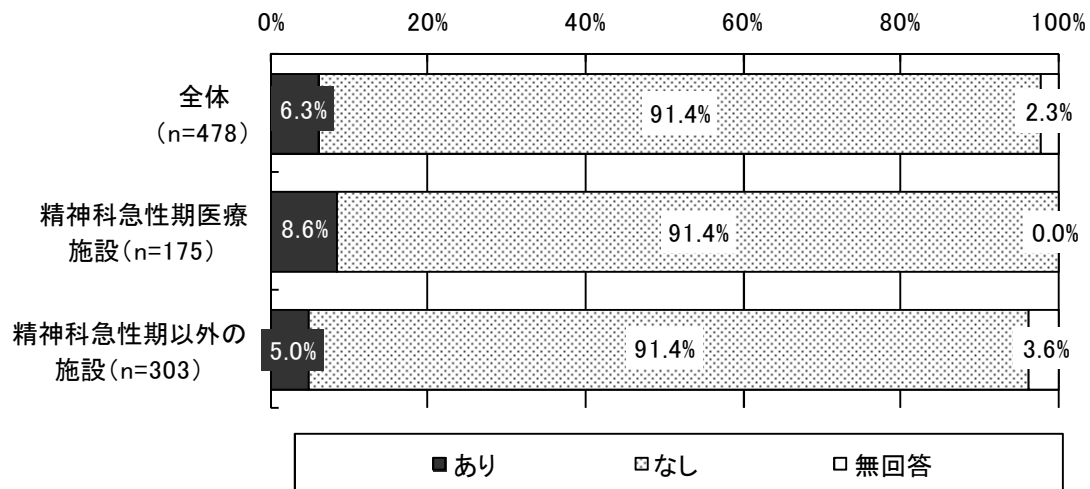
図表 101 精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料に関する最も厳しい施設基準（いずれかの施設基準の届出のある施設、単数回答、n=175）



③認知症患者リハビリテーション料の実施状況等

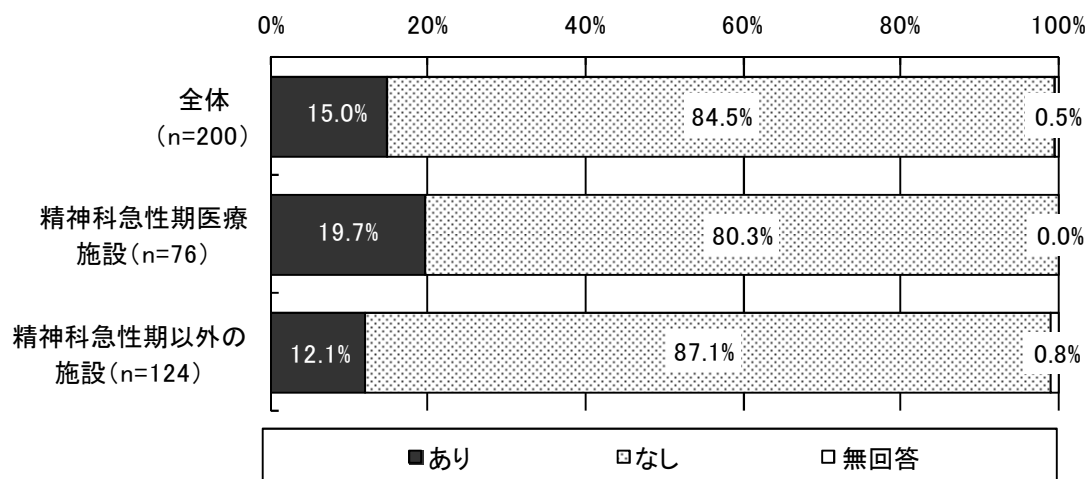
1) 施設基準の届出状況

図表 102 認知症患者リハビリテーション料の届出の有無



図表 103 認知症患者リハビリテーション料の届出の有無

(認知症治療病棟入院料の届出のある施設、または認知症疾患医療センターの指定を受けている施設)



図表 104 認知症患者リハビリテーション料の届出時期

	施設数	割合
平成 26 年 4 月	21	70.0%
平成 26 年 5 月	1	3.3%
平成 26 年 6 月	4	13.3%
平成 26 年 7 月	0	0.0%
平成 26 年 8 月	0	0.0%
平成 26 年 9 月	1	3.3%
平成 26 年 10 月	2	6.7%
不明	1	3.3%
合計	30	100.0%

2) 平均在院日数

図表 105 認知症治療病棟の平均在院日数

(認知症患者リハビリテーション料の届出の有無別)

(単位：日)

	施設数	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
		平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
全体	155	647.2	730.5	433.0	654.0	673.2	421.0
認知症患者リハビリテーション料の届出がある施設	25	476.0	356.6	408.0	449.4	259.3	431.0
認知症患者リハビリテーション料の届出がない施設	130	680.1	778.9	439.0	693.3	720.4	420.5

3) 実施体制

図表 106 認知症患者リハビリテーション料の実施体制（実人数）

(認知症患者リハビリテーション料の届出施設、n=30)

(単位：人)

	常勤		非常勤	
	専従	専任	専従	専任
医師	0.07	1.39	0.03	0.23
認知症患者の診療の経験を 5 年以上有する医師	0.07	1.09	0.03	0.07
認知症患者のリハビリテーションに関し適切な研修を修了した医師	0.00	0.23	0.00	0.00
理学療法士	0.37	0.93	0.00	0.00
作業療法士	0.73	1.97	0.00	0.02
言語聴覚士	0.17	0.23	0.00	0.00
その他	0.00	0.03	0.00	0.00

4) 算定患者数

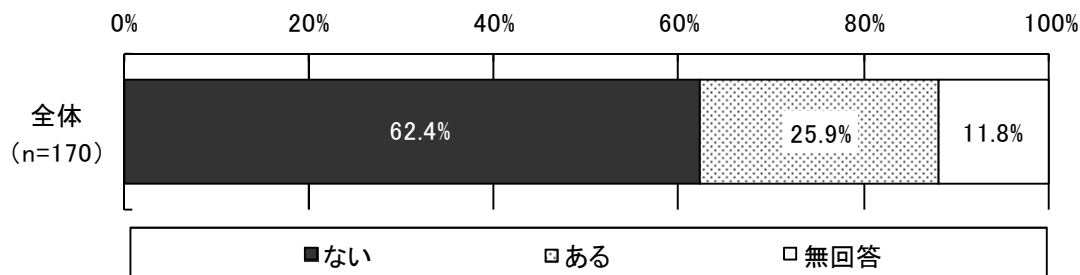
図表 107 認知症患者リハビリテーション料の算定患者数（平成 26 年 10 月 1 か月間）
（認知症患者リハビリテーション料の届出施設、n=28）

（単位：人）

平均値	標準偏差	中央値
7.6	10.5	3.0

5) 届出のない施設における今後の意向

図表 108 認知症患者リハビリテーション料の施設基準の届出意向の有無
（認知症治療病棟入院料の届出をしている、または認知症疾患医療センターの指定を受けているが、認知症患者リハビリテーション料の届出をしていない施設）



④各診療報酬項目の算定患者数と算定回数

1) 精神科身体合併症管理加算

図表 109 精神科身体合併症管理加算の算定患者数（届出のある施設）

（単位：人）

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
精神科身体合併症管理加算 1 7 日以内	施設数	253	263
	平均値	7.7	7.9
	標準偏差	12.1	13.9
	中央値	4.0	4.0
精神科身体合併症管理加算 2 8 日以上 10 日以内	施設数		239
	平均値		5.1
	標準偏差		15.8
	中央値		2.0

2) 精神病棟入院基本料 重度認知症加算

図表 110 精神病棟入院基本料 重度認知症加算の算定患者数（届出のある施設）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
施設数	45	46
平均値	22.1	10.2
標準偏差	78.6	29.0
中央値	4.0	3.0

3) 通院精神療法

図表 111 通院精神療法の算定患者数

（単位：人）

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
通院精神療法 イ	施設数	367	371
	平均値	20.8	19.8
	標準偏差	23.3	21.1
	中央値	14.0	13.0
通院精神療法 ロ(1)30 分以上の場合	施設数	393	408
	平均値	34.6	33.6
	標準偏差	48.1	47.4
	中央値	21.0	19.0
通院精神療法 ロ(2)30 分未満の場合	施設数	401	412
	平均値	696.9	699.7
	標準偏差	615.4	621.8
	中央値	527.0	535.5
通院精神療法 20 歳未満加算	施設数	328	344
	平均値	17.0	18.8
	標準偏差	45.5	58.6
	中央値	4.0	3.0
通院精神療法 特定薬剤副作用評価加算	施設数	229	241
	平均値	0.8	1.0
	標準偏差	6.0	5.8
	中央値	0.0	0.0

図表 112 通院精神療法の算定回数

(単位：回)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
通院精神療法 イ	施設数	375	381
	平均値	21.0	20.3
	標準偏差	23.5	21.5
	中央値	15.0	13.0
通院精神療法 ロ(1)30 分以上の場合	施設数	410	426
	平均値	44.8	44.7
	標準偏差	63.3	66.5
	中央値	26.0	25.0
通院精神療法 ロ(2)30 分未満の場合	施設数	420	432
	平均値	955.1	953.2
	標準偏差	883.3	878.2
	中央値	709.5	706.5
通院精神療法 20 歳未満加算	施設数	341	356
	平均値	23.8	25.7
	標準偏差	64.8	78.8
	中央値	5.0	5.0
通院精神療法 特定薬剤副作用評価加算	施設数	232	243
	平均値	1.8	1.9
	標準偏差	13.8	14.4
	中央値	0.0	0.0

4) 在宅精神療法

図表 113 在宅精神療法の算定患者数

(単位：人)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
在宅精神療法 イ	施設数	211	220
	平均値	0.1	0.2
	標準偏差	1.7	1.8
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ロ	施設数		214
	平均値		0.0
	標準偏差		0.2
	中央値		0.0
在宅精神療法 ハ(1)30 分以上の場合	施設数	221	230
	平均値	0.3	0.2
	標準偏差	1.8	0.9
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ハ(2)30 分未満の場合	施設数	224	234
	平均値	5.7	7.9
	標準偏差	41.5	43.0
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ニ 20 歳未満加算	施設数	219	226
	平均値	0.2	0.2
	標準偏差	2.4	1.8
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ホ 特定薬剤副作用評価加算	施設数	214	219
	平均値	0.0	0.0
	標準偏差	0.0	0.0
	中央値	0.0	0.0

図表 114 在宅精神療法の算定回数

(単位：回)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
在宅精神療法 イ	施設数	211	220
	平均値	0.1	0.2
	標準偏差	1.7	1.8
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ロ	施設数		214
	平均値		0.0
	標準偏差		0.3
	中央値		0.0
在宅精神療法 ハ(1)30 分以上の場合	施設数	221	232
	平均値	0.3	0.3
	標準偏差	1.8	1.4
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ハ(2)30 分未満の場合	施設数	224	234
	平均値	8.7	10.9
	標準偏差	68.8	69.6
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ニ 20 歳未満加算	施設数	219	227
	平均値	0.7	0.5
	標準偏差	9.4	5.3
	中央値	0.0	0.0
在宅精神療法 ホ 特定薬剤副作用評価加算	施設数	214	219
	平均値	0.0	0.0
	標準偏差	0.0	0.0
	中央値	0.0	0.0

5) 心身医学療法

図表 115 心身医学療法の算定患者数

(単位：人)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
心身医学療法 入院中の患者	施設数	201	204
	平均値	0.4	0.3
	標準偏差	4.8	4.5
	中央値	0.0	0.0
	20 歳未満加算	施設数	190
		平均値	0.0
		標準偏差	0.0
		中央値	0.0
心身医学療法 イ 初診時	施設数	202	205
	平均値	0.0	0.0
	標準偏差	0.3	0.3
	中央値	0.0	0.0
	20 歳未満加算	施設数	189
		平均値	0.0
		標準偏差	0.0
		中央値	0.0
心身医学療法 ロ 再診時	施設数	207	211
	平均値	0.7	0.8
	標準偏差	5.1	5.2
	中央値	0.0	0.0
	20 歳未満加算	施設数	190
		平均値	0.1
		標準偏差	0.8
		中央値	0.0

図表 116 心身医学療法の算定回数

(単位：回)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
心身医学療法 入院中の患者	施設数	203	206
	平均値	2.6	2.6
	標準偏差	20.8	21.8
	中央値	0.0	0.0
	20 歳未満加算	施設数	190
		平均値	0.0
		標準偏差	0.0
		中央値	0.0
心身医学療法 イ 初診時	施設数	202	205
	平均値	0.0	0.0
	標準偏差	0.3	0.3
	中央値	0.0	0.0
	20 歳未満加算	施設数	189
		平均値	0.0
		標準偏差	0.0
		中央値	0.0
心身医学療法 ロ 再診時	施設数	208	211
	平均値	1.4	1.4
	標準偏差	13.8	12.6
	中央値	0.0	0.0
	20 歳未満加算	施設数	190
		平均値	0.1
		標準偏差	1.1
		中央値	0.0

6) 精神科継続外来支援・指導料

図表 117 精神科継続外来支援・指導料の算定患者数

(単位：人)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
精神科継続外来支援・指導料	施設数	317	320
	平均値	31.1	28.8
	標準偏差	71.3	60.4
	中央値	7.0	7.0
	療養生活環境整備支援加算	施設数	231
		平均値	6.1
		標準偏差	29.2
		中央値	0.0
	特定薬剤副作用評価加算	施設数	210
		平均値	0.5
		標準偏差	2.4
		中央値	0.0

図表 118 精神科継続外来支援・指導料の算定回数

(単位：回)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
精神科継続外来支援・指導料	施設数	322	324
	平均値	36.3	33.6
	標準偏差	79.4	68.1
	中央値	9.0	9.0
	療養生活環境整備支援加算	施設数	231
		平均値	6.2
		標準偏差	28.2
		中央値	0.0
	特定薬剤副作用評価加算	施設数	210
		平均値	0.5
		標準偏差	2.4
		中央値	0.0

7) 精神科ショート・ケア等

図表 119 精神科ショート・ケア等の算定患者数

(単位：人)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
精神科ショート・ケア 小規模なもの	施設数	237	242
	平均値	3.8	5.2
	標準偏差	8.1	23.1
	中央値	0.0	0.0
精神科ショート・ケア 大規模なもの	施設数	273	278
	平均値	19.3	22.6
	標準偏差	29.2	38.2
	中央値	7.0	9.0
精神科デイ・ケア 小規模なもの	施設数	244	245
	平均値	10.8	10.2
	標準偏差	26.3	26.5
	中央値	0.0	0.0
精神科デイ・ケア 大規模なもの	施設数	304	307
	平均値	55.0	55.6
	標準偏差	73.0	67.3
	中央値	46.0	46.0
精神科ナイト・ケア	施設数	211	213
	平均値	3.0	2.4
	標準偏差	22.7	17.0
	中央値	0.0	0.0
精神科デイ・ナイト・ケア	施設数	249	252
	平均値	20.5	20.4
	標準偏差	78.6	87.9
	中央値	0.0	0.0

図表 120 精神科ショート・ケア等の算定回数

(単位：回)

		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
精神科ショート・ケア 小規模なもの	施設数	241	246
	平均値	13.3	15.2
	標準偏差	34.2	43.8
	中央値	0.0	0.0
精神科ショート・ケア 大規模なもの	施設数	278	287
	平均値	75.8	94.4
	標準偏差	152.1	222.9
	中央値	20.0	23.0
精神科デイ・ケア 小規模なもの	施設数	249	251
	平均値	86.9	87.4
	標準偏差	153.3	154.7
	中央値	0.0	0.0
精神科デイ・ケア 大規模なもの	施設数	311	318
	平均値	451.3	452.1
	標準偏差	505.6	459.9
	中央値	386.0	406.5
精神科ナイト・ケア	施設数	211	213
	平均値	8.2	6.9
	標準偏差	36.9	32.0
	中央値	0.0	0.0
精神科デイ・ナイト・ケア	施設数	251	254
	平均値	199.5	191.9
	標準偏差	387.0	387.1
	中央値	0.0	0.0

8) 精神科退院指導料

図表 121 精神科退院指導料の算定患者数

(単位：人)

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 10 月	388	11.4	11.9	8.0
平成 26 年 10 月	393	11.6	11.9	8.0

9) 精神科退院前訪問指導料

図表 122 精神科退院前訪問指導料の算定患者数

(単位：人)

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 10 月	323	1.9	3.4	1.0
平成 26 年 10 月	330	2.2	3.7	1.0

図表 123 精神科退院前訪問指導料の算定回数

(単位：回)

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 10 月	323	3.1	6.3	1.0
平成 26 年 10 月	330	3.5	6.6	1.0

10) 精神科訪問看護指示料

図表 124 精神科訪問看護指示料の算定患者数

(単位：人)

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 10 月	296	9.3	27.4	0.0
平成 26 年 10 月	309	11.5	30.2	1.0

⑤精神科薬物療法の状況等

図表 125 精神科薬物療法の状況等 (n=409)

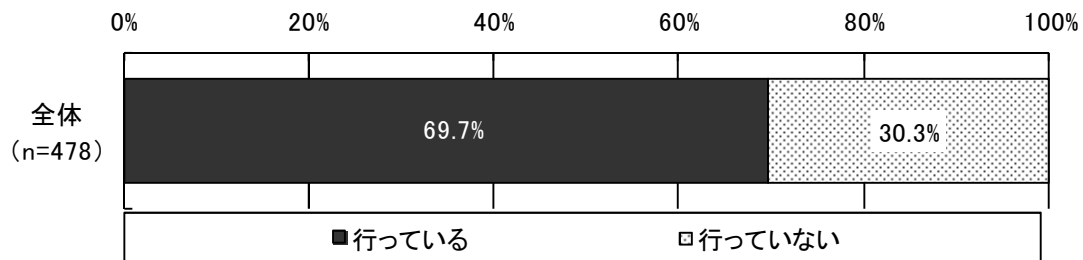
	平均値	標準偏差	中央値
1)外来患者数(初診＋再診延べ患者数)(人)	1,837.7	1,620.6	1,486.0
2)上記 1)のうち、精神科薬物療法を行った患者数(人)	1,066.5	976.1	856.0
3)上記 2)のうち、処方せん料(30 点)・処方料(20 点)を算定した患者数(人)	215.8	598.9	27.0
4) 外来患者に占める精神科薬物療法を行った患者の割合 (2)/1)	58.0%		
5) 精神科薬物療法を行った患者に占める向精神薬多剤投与患者 数の割合 (3)/2))	20.2%		

(注) 上記 1) ～3) のすべての項目について記入のあった 409 施設を集計対象とした。

(4) 精神科訪問看護の実施状況等

①精神科訪問看護の実施状況等

図表 126 精神科訪問看護の実施状況



②精神科訪問看護の開始時期

図表 127 精神科訪問看護の開始時期

	施設数	割合
～平成 4 年 3 月	30	9.0%
平成 4 年 4 月～平成 6 年 3 月	12	3.6%
平成 6 年 4 月～平成 8 年 3 月	20	6.0%
平成 8 年 4 月～平成 10 年 3 月	13	3.9%
平成 10 年 4 月～平成 12 年 3 月	18	5.4%
平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月	27	8.1%
平成 14 年 4 月～平成 16 年 3 月	17	5.1%
平成 16 年 4 月～平成 18 年 3 月	38	11.4%
平成 18 年 4 月～平成 20 年 3 月	38	11.4%
平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月	25	7.5%
平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	15	4.5%
平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月	18	5.4%
平成 26 年 4 月～	4	1.2%
不明	58	17.4%
合計	333	100.0%

③精神科訪問看護に携わる職員数

図表 128 精神科訪問看護に携わる職員数（常勤換算）

（単位：人）

		平成 25 年 10 月 (n=315)	平成 26 年 10 月 (n=322)
保健師・看護師	平均値	2.59	2.77
	標準偏差	3.11	3.18
	中央値	2.00	2.00
准看護師	平均値	0.28	0.34
	標準偏差	1.38	1.57
	中央値	0.00	0.00
作業療法士	平均値	0.35	0.35
	標準偏差	0.99	0.94
	中央値	0.00	0.00
精神保健福祉士	平均値	1.59	1.52
	標準偏差	1.91	1.86
	中央値	1.00	1.00
看護補助者	平均値	0.04	0.04
	標準偏差	0.25	0.24
	中央値	0.00	0.00

（注）すべての職種について回答のあった施設を集計対象とした。

④精神科訪問看護利用者数

図表 129 精神科訪問看護利用者数（平成 26 年 10 月 1 か月間、実人数）

（単位：人）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
精神科訪問看護利用者数	327	51.9	52.9	34.0
うち、新規の利用者数	318	1.5	2.5	1.0
うち、退院当日に訪問看護を実施した利用者数	317	0.0	0.3	0.0

図表 130 精神科訪問看護利用者数(平成 26 年 10 月 1 か月間の訪問日数別、実人数、n=280)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
5 日以内	43.68	42.78	29.00
6～12 日	3.07	6.47	0.00
13～15 日	0.66	2.89	0.00
16～20 日	0.07	0.66	0.00
21～25 日	0.09	0.78	0.00
26 日以上	0.12	1.06	0.00

⑤精神科訪問看護・指導料の算定利用者数と算定回数

1) 精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）

図表 131 精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）の算定利用者数(平成 26 年 10 月 1 か月間、n=311)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
30 分未満	4.7	14.6	0.0
30 分以上	42.3	46.6	26.0
合計	47.0	49.1	30.0

図表 132 精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）の算定回数(平成 26 年 10 月 1 か月間、n=321)

(単位：回)

	平均値	標準偏差	中央値
30 分未満	10.6	34.3	0.0
30 分以上	105.3	118.5	72.0
合計	115.9	123.9	79.0

2) 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）

図表 133 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）の算定利用者数(平成 26 年 10 月 1 か月間、n=311)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
30 分未満	1.9	8.4	0.0
30 分以上	3.7	8.1	0.0
合計	5.6	13.7	0.0

図表 134 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）の算定回数（平成 26 年 10 月 1 か月間、n=320）

（単位：回）

	平均値	標準偏差	中央値
30 分未満	7.4	39.0	0.0
30 分以上	11.7	35.7	0.0
合計	19.2	61.2	0.0

図表 135 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）の施設への訪問延べ日数・対象利用者数・算定回数

（平成 26 年 10 月 1 か月間、n=327）

	平均値	標準偏差	中央値
施設への訪問延べ日数（日）	1.10	4.04	0.00
対象利用者数（人）	1.06	3.49	0.00
算定回数（合計）（回）	2.79	12.04	0.00

⑥精神科訪問看護・指導料の各加算の算定利用者数と算定患者数

図表 136 精神科訪問看護・指導料の各加算の算定利用者数と算定回数

（平成 26 年 10 月 1 か月間、n=324）

	平均値	標準偏差	中央値
【算定利用者数】（人）			
長時間精神科訪問看護・指導加算	0.54	3.40	0.00
夜間・早朝訪問看護加算	0.04	0.49	0.00
深夜訪問看護加算	0.00	0.06	0.00
精神科緊急訪問看護加算	0.09	1.10	0.00
【算定回数】（回）			
長時間精神科訪問看護・指導加算	1.07	7.91	0.00
夜間・早朝訪問看護加算	0.27	4.51	0.00
深夜訪問看護加算	0.00	0.06	0.00
精神科緊急訪問看護加算	0.10	1.12	0.00

⑦複数回の精神科訪問看護を行った利用者数

図表 137 1日に複数回の訪問看護を行った利用者数（加算の有無は問わず、実人数、n=270）

（単位：人）

	平均値	標準偏差	中央値
平成 25 年 10 月	0.41	4.71	0.00
平成 26 年 10 月	0.43	4.93	0.00

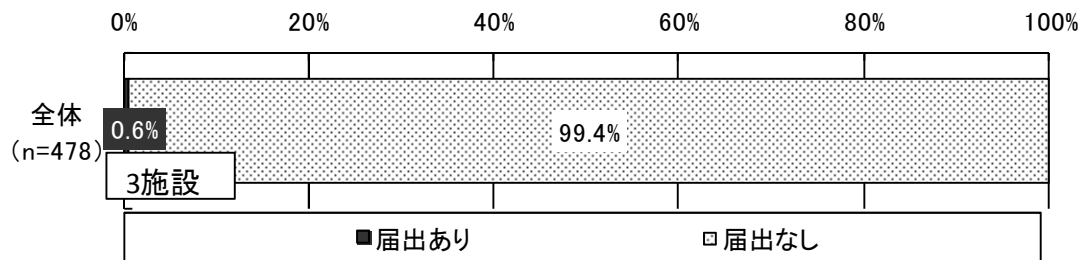
図表 138 複数回訪問看護加算の算定利用者数と算定回数（n=262）

	平均値	標準偏差	中央値
【算定利用者数】（人）			
1 日に 2 回	0.15	2.47	0.00
1 日 3 回以上	0.03	0.49	0.00
【算定回数】（回）			
1 日に 2 回	0.22	3.58	0.00
1 日 3 回以上	0.13	2.04	0.00

(5) 精神科重症患者早期集中支援管理料の実施状況等

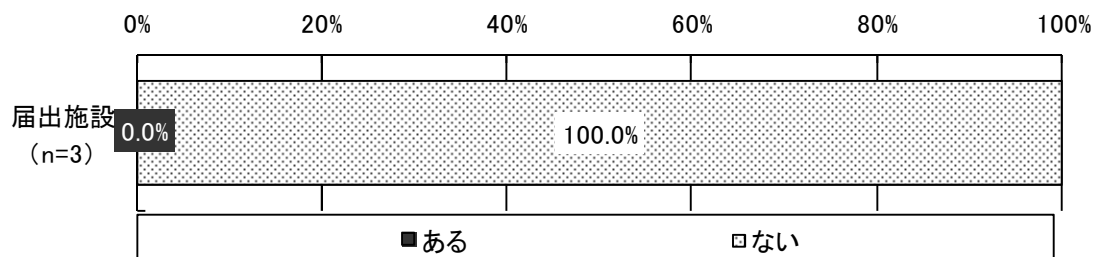
①精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出状況

図表 139 精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出状況



②精神科重症患者早期集中支援管理料を実施する上で、連携する訪問看護ステーションの有無

図表 140 精神科重症患者早期集中支援管理料を実施する上で、連携する訪問看護ステーションの有無（届出施設）



③精神科重症患者早期集中支援管理料を実施する際の職員の体制

図表 141 精神科重症患者早期集中支援管理料を実施する際の職員の体制（届出施設、n=3）

（単位：人）

		常勤		非常勤	
		専従	専任	専従	専任
医師	平均値	0.00	1.00	1.00	0.00
	標準偏差	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央値	0.00	1.00	1.00	0.00
	【再掲】精神保健指定医	平均値	0.00	1.00	0.00
		標準偏差	0.00	0.00	0.00
		中央値	0.00	1.00	0.00
看護師（保健師含む）	平均値	0.33	0.67	0.67	0.00
	標準偏差	0.58	0.58	0.58	0.00
	中央値	0.00	1.00	1.00	0.00
作業療法士	平均値	0.33	0.67	0.67	0.00
	標準偏差	0.58	0.58	0.58	0.00
	中央値	0.00	1.00	1.00	0.00
精神保健福祉士	平均値	0.67	0.33	0.33	0.00
	標準偏差	0.58	0.58	0.58	0.00
	中央値	1.00	0.00	0.00	0.00
その他	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00
	標準偏差	0.00	0.00	0.00	0.00
	中央値	0.00	0.00	0.00	0.00

④精神科重症患者早期集中支援管理料を算定した患者数

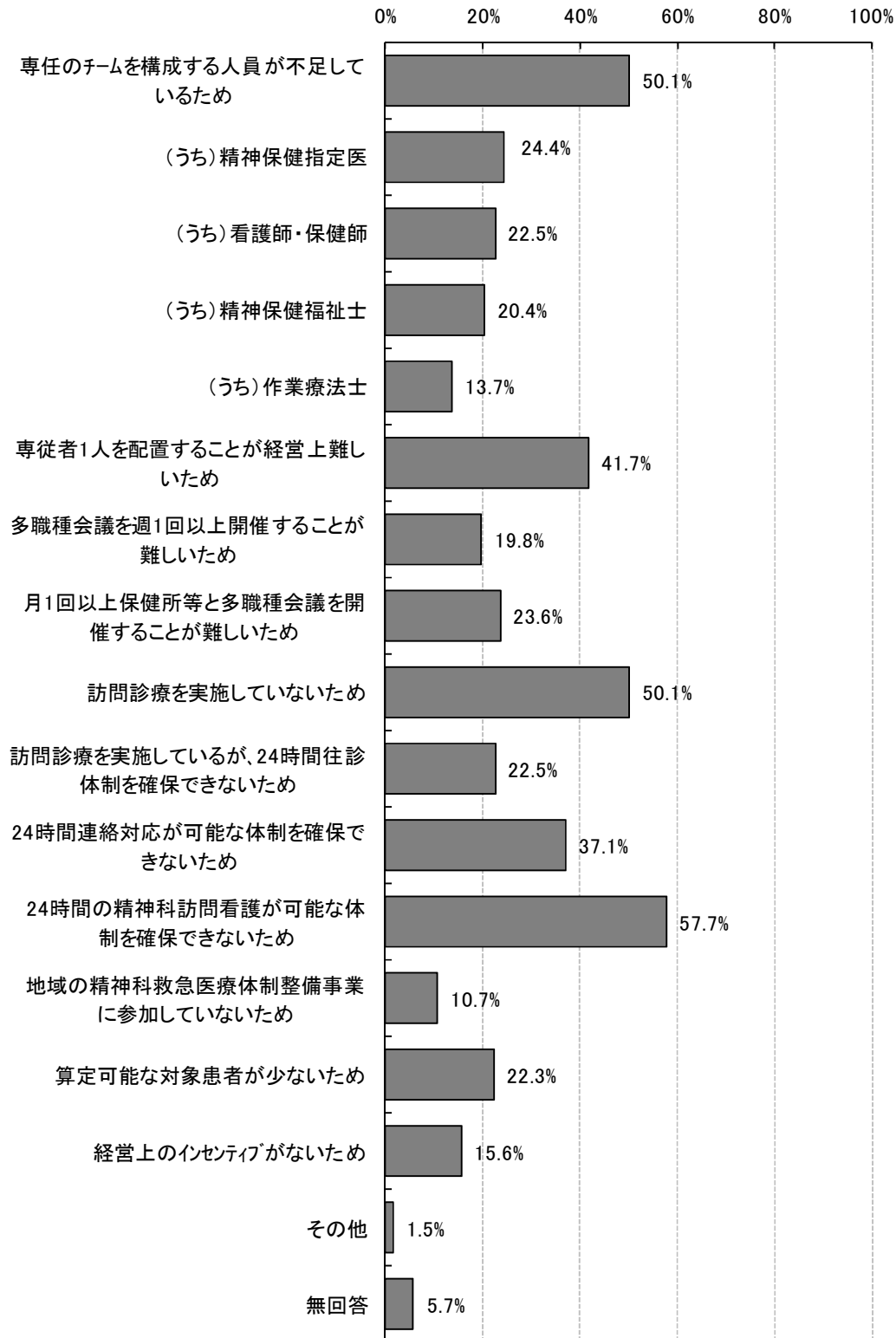
図表 142 精神科重症患者早期集中支援管理料を算定した患者数（届出施設、n=3）

（単位：人）

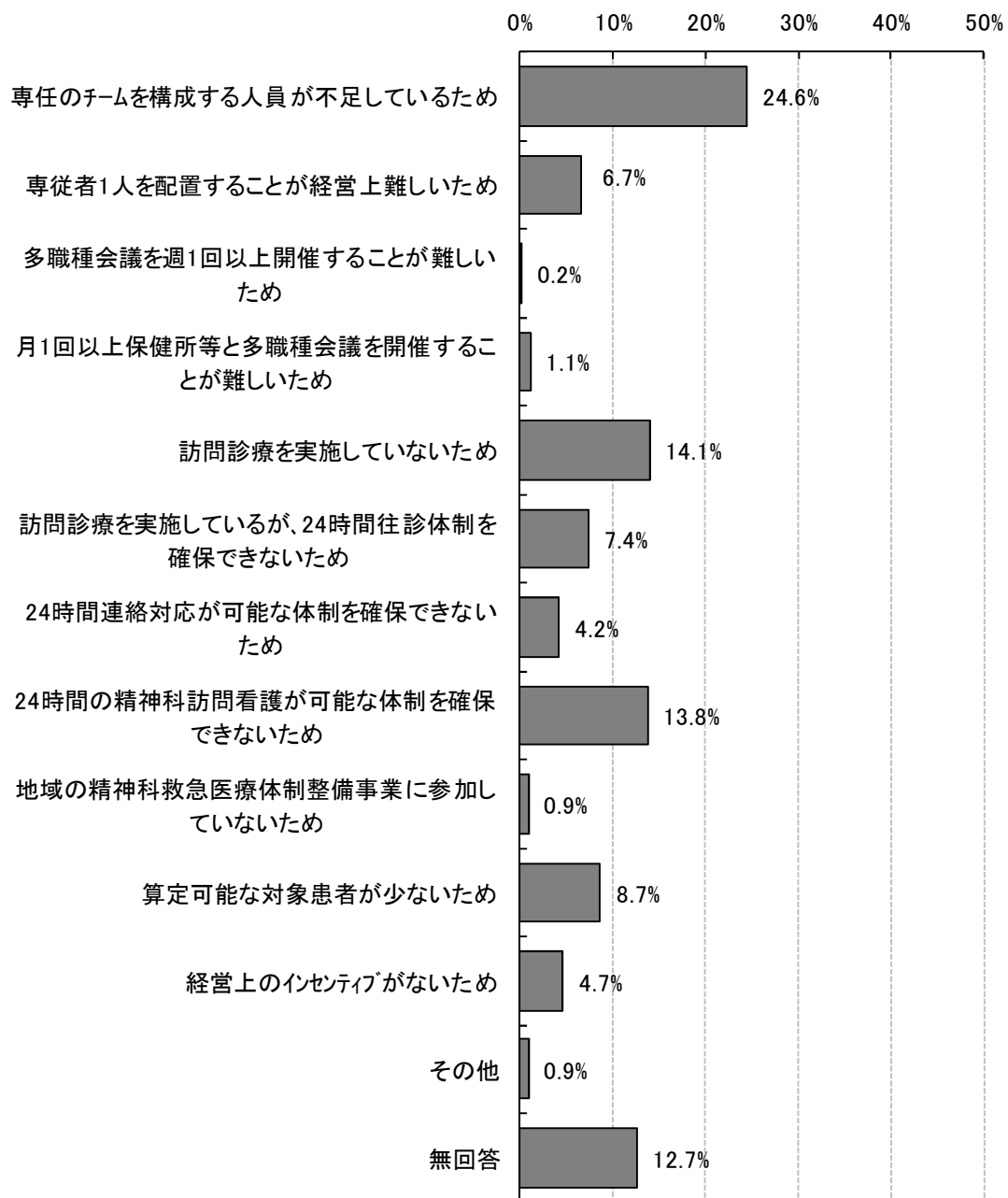
	平均値	標準偏差	中央値
精神科重症患者早期集中支援管理料 1 同一建物居住者以外	0.67	1.15	0.00
精神科重症患者早期集中支援管理料 1 同一建物居住者・特定施設等	0.00	0.00	0.00
精神科重症患者早期集中支援管理料 1 同一建物居住者・特定施設以外	0.00	0.00	0.00
精神科重症患者早期集中支援管理料 2 同一建物居住者以外	0.00	0.00	0.00
精神科重症患者早期集中支援管理料 2 同一建物居住者・特定施設等	0.00	0.00	0.00
精神科重症患者早期集中支援管理料 2 同一建物居住者・特定施設以外	0.00	0.00	0.00

⑤精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出を行っていない理由

図表 143 精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出を行っていない理由
(届出のない施設、複数回答、n=475)

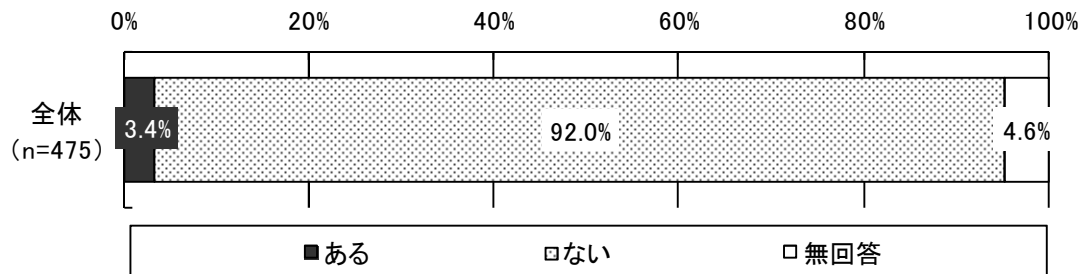


図表 144 精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出を行っていない
最大の理由（届出のない施設、単数回答、n=475）



⑥精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出意向

図表 145 精神科重症患者早期集中支援管理料の施設基準の届出意向
(届出のない施設)



3. 病棟調査の結果

【調査対象等】

○病棟調査

施設調査を補完するため、施設調査の対象施設に対して以下の病棟調査を実施した。

調査対象：①精神病棟入院基本料算定病棟票

②精神療養病棟票

③精神科救急入院料算定病棟票

④精神科救急・合併症入院料算定病棟票

⑤精神科急性期治療病棟入院料算定病棟票

回 答 数：①372 施設、②289 施設、③55 施設、④6 施設、⑤122 施設

回 答 者：管理者

(1) 精神病棟入院基本料算定病棟

①病棟数・許可病床数

図表 146 病棟数・許可病床数（精神病棟入院基本料算定病棟、n=367）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
病棟数(病棟)	2.3	1.5	2.0	2.4	2.5	2.0
許可病床数(床)	127.1	86.3	102.0	126.0	86.3	102.0

(注) 病棟数、許可病床数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 367 施設を集計対象とした。

②月末在院患者数

図表 147 月末在院患者数（精神病棟入院基本料算定病棟、n=361）

(単位：人)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
月末在院患者数	109.3	77.4	90.0	107.3	77.0	89.0

(注) 月末在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 361 施設を集計対象とした。

③年齢階級別在院患者数

図表 148 年齢階級別在院患者数（精神病棟入院基本料算定病棟、n=350）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
20 歳未満	0.6	0.6%	0.7	0.7%
20 歳以上 40 歳未満	9.8	9.0%	9.2	8.6%
40 歳以上 65 歳未満	46.3	42.2%	43.8	40.9%
65 歳以上 75 歳未満	26.3	24.0%	26.8	25.0%
75 歳以上	26.7	24.3%	26.6	24.8%
合計	109.8	100.0%	107.1	100.0%

(注) 年齢階級別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 350 施設を集計対象とした。

④主たる疾患別在院患者数

図表 149 主たる疾患別在院患者数（精神病棟入院基本料算定病棟、n=346）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
症状性を含む器質性精神障害	18.4	16.7%	18.0	16.8%
精神作用物質による精神及び行動の障害	4.6	4.2%	4.7	4.4%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	67.9	61.8%	65.7	61.2%
気分[感情]障害	10.6	9.7%	10.7	10.0%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.8	1.7%	1.8	1.6%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.4	0.3%	0.4	0.3%
成人の人格及び行動の障害	0.6	0.5%	0.6	0.5%
知的障害(精神遅滞)	2.2	2.0%	2.2	2.0%
心理的発達の障害	0.5	0.5%	0.7	0.6%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.2	0.2%	0.2	0.2%
詳細不明の精神障害	0.2	0.2%	0.2	0.2%
その他	2.4	2.2%	2.3	2.2%
合計	109.9	100.0%	107.4	100.0%

(注) 主たる疾患別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 346 施設を集計対象とした。

⑤GAF 尺度別在院患者数

図表 150 GAF 尺度別在院患者数（精神病棟入院基本料算定病棟、n=125）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
91～100	0.1	0.1%	0.0	0.0%
81～90	0.6	0.6%	0.7	0.7%
71～80	2.0	2.1%	2.1	2.2%
61～70	5.2	5.3%	4.8	5.1%
51～60	8.6	8.8%	8.4	9.0%
41～50	9.8	9.9%	9.4	10.1%
31～40	17.7	18.0%	17.8	19.0%
21～30	27.3	27.8%	26.8	28.6%
11～20	13.4	13.6%	13.0	13.9%
1～10	6.4	6.5%	6.3	6.8%
0	0.1	0.1%	0.1	0.1%
不明	7.2	7.3%	4.3	4.5%
合計	98.3	100.0%	93.8	100.0%

（注）GAF 尺度別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった施設を集計対象とした。ただし、すべて「不明」とした施設は集計対象外とした。

⑥向精神薬使用数別患者数

図表 151 向精神薬使用数別患者数（精神病棟入院基本料算定病棟、n=264）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	82.8	100.0%	80.1	100.0%
向精神薬使用数/1 種	20.8	25.1%	20.3	25.3%
向精神薬使用数/2 種	20.2	24.4%	20.3	25.3%
向精神薬使用数/3 種	16.4	19.8%	16.7	20.8%
向精神薬使用数/4 種	10.5	12.7%	10.0	12.5%
向精神薬使用数/5 種以上	14.9	17.9%	12.9	16.1%

（注）向精神薬使用数別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 264 施設を集計対象とした。

⑦在院期間別在院患者数

図表 152 在院期間別在院患者数（精神病棟入院基本料算定病棟、n=331）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1 か月未満	9.8	8.9%	9.6	8.9%
1 か月以上～3 か月未満	11.8	10.7%	12.4	11.5%
3 か月以上～6 か月未満	10.5	9.5%	10.3	9.6%
6 か月以上～1 年未満	10.7	9.7%	10.5	9.8%
1 年以上～5 年未満	31.3	28.3%	30.5	28.4%
5 年以上～10 年未満	14.3	13.0%	13.6	12.6%
10 年以上～20 年未満	11.5	10.4%	11.0	10.2%
20 年以上	10.5	9.5%	9.8	9.1%
合計	110.4	100.0%	107.6	100.0%

（注）在院期間別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 331 施設を集計対象とした。

⑧平成 26 年 10 月 1 か月間における新規入院患者数

図表 153 平成 26 年 10 月 1 か月間における新規入院患者数
（精神病棟入院基本料算定病棟、n=368）

（単位：人）

	平均値	標準偏差	中央値
精神病棟入院基本料算定病床における新規入院患者数	11.84	11.41	9.00
（うち）救急搬送・警察搬送患者数	0.58	2.54	0.00
（うち）緊急措置入院患者数	0.01	0.12	0.00
（うち）措置入院患者数	0.19	0.65	0.00
（うち）応急入院患者数	0.13	1.01	0.00
（うち）任意入院患者数	6.82	7.34	5.00

（注）平成 26 年 10 月 1 か月間における当該病床への新規入院患者数について記入のあった 368 施設を集計対象とした。

⑨平成 26 年 10 月 1 か月間における退院患者数

図表 154 平成 26 年 10 月 1 か月間における退院・転院患者数
(精神病棟入院基本料算定病棟、n=369)

(単位：人)

	平均値	標準 偏差	中央値
1 か月間における精神病棟入院基本料病棟からの退院患者数	11.22	10.39	8.00
(うち)入院期間が 1 年以内の患者数	9.41	9.77	6.00
(うち)主たる疾患が「症状性を含む器質性精神障害」の患者数	1.76	3.43	1.00
(うち)主たる疾患が「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者数	3.99	4.42	3.00
1 か月間における精神病棟入院基本料病棟からの転院患者数	2.26	3.29	1.00
(うち)入院期間が 1 年以内の患者数	1.54	2.91	1.00
(うち)主たる疾患が「症状性を含む器質性精神障害」の患者数	0.51	1.12	0.00
(うち)主たる疾患が「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者数	0.93	1.49	0.00

(注) 平成 26 年 10 月 1 か月間における当該病床からの退院・転院患者数について記入のあった 369 施設を集計対象とした。

⑩病棟の診療体制

図表 155 病棟の診療体制（精神病棟入院基本料算定病棟、n=338）

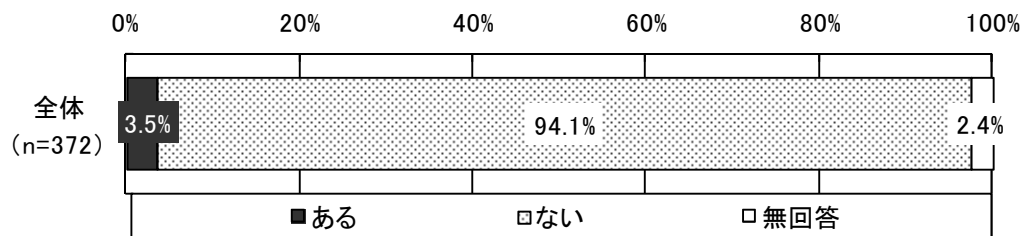
（単位：人）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	1.40	3.03	1.33	2.99
（うち）精神科医	1.03	2.56	0.97	2.53
看護師（保健師を含む）	26.84	2.36	26.74	2.41
准看護師	12.73	1.01	12.06	1.00
看護補助者	11.70	0.87	11.54	0.81
薬剤師	0.20	0.62	0.20	0.61
作業療法士	0.44	0.88	0.45	0.94
臨床心理技術者	0.08	0.31	0.10	0.34
精神保健福祉士	0.50	0.77	0.50	0.85
社会福祉士	0.01	0.04	0.01	0.03
事務職員	0.19	0.19	0.19	0.19
その他の職員	0.95	1.08	0.98	1.11
合計	55.05	11.17	54.10	11.28

（注）すべての職種について記入のあった 338 施設を集計対象とした。

⑪精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無

図表 156 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無
(精神病棟入院基本料算定病棟)

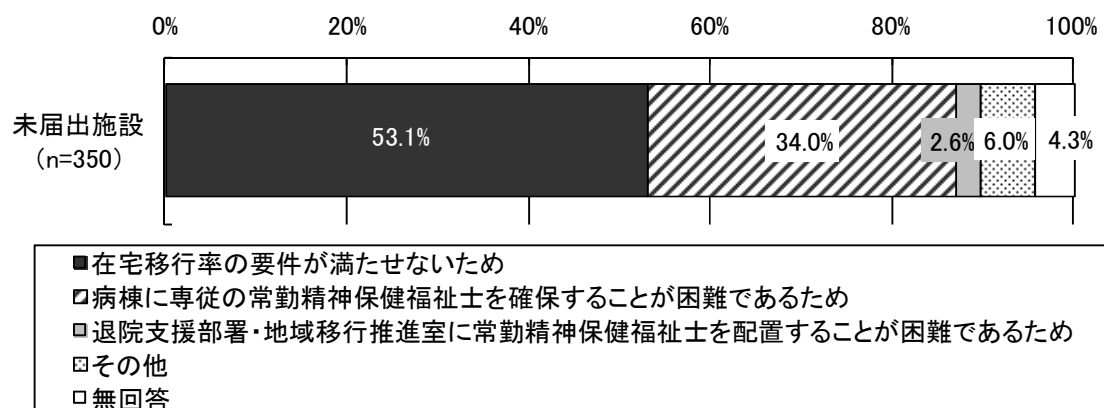


図表 157 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出時期 (精神病棟入院基本料算定病棟)

	施設数	割合
平成 26 年 4 月	10	76.9%
平成 26 年 5 月	0	0.0%
平成 26 年 6 月	1	7.7%
平成 26 年 7 月	1	7.7%
平成 26 年 8 月	1	7.7%
合計	13	100.0%

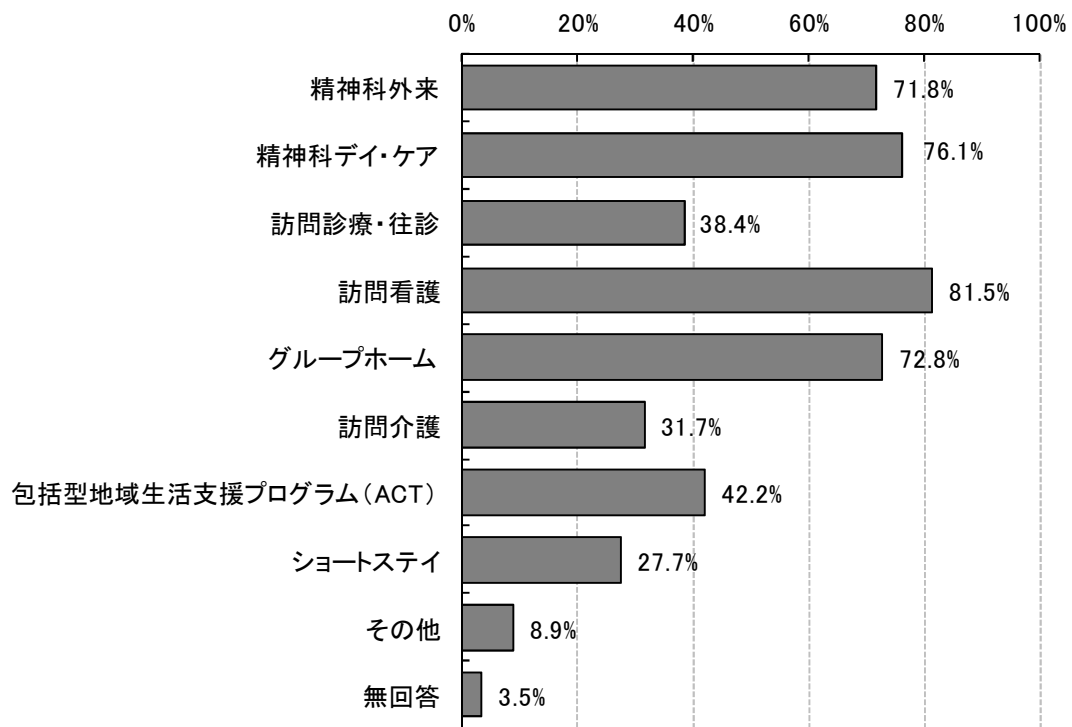
⑫精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出をしていない最大の理由

図表 158 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出をしていない最大の理由
(精神病棟入院基本料算定病棟、届出をしていない施設)



⑬精神病棟入院基本料算定病棟の入院患者が、地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等

図表 159 精神病棟入院基本料病棟の入院患者が、地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等（精神病棟入院基本料算定病棟、複数回答、n=372）



(2) 精神療養病棟入院料算定病棟

①病棟数・許可病床数

図表 160 病棟数・許可病床数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=283）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
病棟数(病棟)	2.2	1.2	2.0	2.2	1.2	2.0
許可病床数(床)	123.1	68.4	112.0	119.8	67.0	110.0

(注) 病棟数、許可病床数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 283 施設を集計対象とした。

②月末在院患者数

図表 161 月末在院患者数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=283）

(単位：人)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
月末在院患者数	116.5	65.1	105.0	112.3	64.2	102.0

(注) 月末在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 283 施設を集計対象とした。

③年齢階級別在院患者数

図表 162 年齢階級別在院患者数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=278）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
20 歳未満	0.1	0.1%	0.2	0.2%
20 歳以上 40 歳未満	6.1	5.2%	5.2	4.7%
40 歳以上 65 歳未満	49.1	42.2%	46.4	41.4%
65 歳以上 75 歳未満	33.8	29.1%	33.8	30.2%
75 歳以上	27.3	23.5%	26.4	23.6%
合計	116.3	100.0%	112.1	100.0%

(注) 年齢階級別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 278 施設を集計対象とした。

④主たる疾患別在院患者数

図表 163 主たる疾患別在院患者数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=275）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
症状性を含む器質性精神障害	12.9	11.1%	12.2	11.0%
精神作用物質による精神及び行動の障害	3.8	3.2%	3.4	3.1%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	83.1	71.6%	80.0	71.7%
気分[感情]障害	8.4	7.2%	8.2	7.3%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.8	1.6%	1.8	1.6%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.2	0.2%	0.3	0.2%
成人の人格及び行動の障害	0.5	0.4%	0.5	0.4%
知的障害(精神遅滞)	2.9	2.5%	2.8	2.5%
心理的発達の障害	0.2	0.2%	0.2	0.1%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.1	0.1%	0.1	0.1%
詳細不明の精神障害	0.2	0.2%	0.2	0.2%
その他	1.9	1.7%	1.9	1.7%
合計	116.1	100.0%	111.6	100.0%

（注）主たる疾患別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 275 施設を集計対象とした。

⑤GAF 尺度別在院患者数

図表 164 GAF 尺度別在院患者数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=247）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
91～100	0.0	0.0%	0.0	0.0%
81～90	0.1	0.0%	0.1	0.1%
71～80	0.5	0.5%	0.6	0.5%
61～70	0.3	0.3%	0.2	0.2%
51～60	0.9	0.7%	0.7	0.6%
41～50	2.8	2.4%	2.6	2.3%
31～40	22.8	19.7%	21.9	19.6%
21～30	58.2	50.4%	56.5	50.6%
11～20	20.9	18.1%	21.3	19.1%
1～10	6.7	5.8%	6.1	5.5%
0	0.4	0.4%	0.4	0.3%
不明	2.0	1.7%	1.4	1.2%
合計	115.5	100.0%	111.8	100.0%

(注) GAF 尺度別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 247 施設を集計対象とした。

⑥向精神薬使用数別患者数

図表 165 向精神薬使用数別患者数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=223）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	96.8	100.0%	94.5	100.0%
向精神薬使用数/1 種	28.6	29.5%	28.0	29.6%
向精神薬使用数/2 種	28.3	29.3%	28.2	29.9%
向精神薬使用数/3 種	18.8	19.4%	18.3	19.4%
向精神薬使用数/4 種	10.1	10.4%	9.8	10.4%
向精神薬使用数/5 種以上	11.1	11.4%	10.1	10.7%

(注) 向精神薬使用数別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 223 施設を集計対象とした。

⑦在院期間別在院患者数

図表 166 在院期間別在院患者数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=271）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1 か月未満	2.5	2.2%	2.3	2.1%
1 か月以上～3 か月未満	4.1	3.5%	3.9	3.5%
3 か月以上～6 か月未満	6.1	5.2%	5.7	5.1%
6 か月以上～1 年未満	8.5	7.2%	8.2	7.3%
1 年以上～5 年未満	37.0	31.6%	35.8	31.8%
5 年以上～10 年未満	21.3	18.2%	20.6	18.3%
10 年以上～20 年未満	18.6	15.9%	17.9	15.9%
20 年以上	18.9	16.1%	18.1	16.1%
合計	117.0	100.0%	112.6	100.0%

（注）在院期間別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 271 施設を集計対象とした。

図表 167 平成 26 年 4 月 1 日以降に精神療養病棟に入院した患者数

（精神療養病棟入院料算定病棟、n=248）

	平均値	標準偏差	中央値
【再掲】平成 26 年 4 月 1 日以降に当該病棟に入院した患者数	21.8	30.2	11.0

⑧平成 26 年 10 月 1 か月間における新規入院患者数

図表 168 平成 26 年 10 月 1 か月間における新規入院患者数
(精神療養病棟入院料算定病棟、n=280)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
精神療養病棟における新規入院患者数	2.60	3.58	1.00
(うち)救急搬送・警察搬送患者数	0.03	0.21	0.00
(うち)緊急措置入院患者数	0.00	0.00	0.00
(うち)措置入院患者数	0.04	0.49	0.00
(うち)応急入院患者数	0.01	0.10	0.00
(うち)任意入院患者数	2.01	3.40	1.00

(注) 平成 26 年 10 月 1 か月間における当該病床への新規入院患者数について記入のあった 280 施設を集計対象とした。

⑨平成 26 年 10 月 1 か月間における退院・転院患者数

図表 169 平成 26 年 10 月 1 か月間における退院・転院患者数
(精神療養病棟入院料算定病棟、n=288)

(単位：人)

	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間における精神療養病棟からの退院患者数	3.82	4.59	2.00
(うち)入院期間が 1 年以内の患者数	2.66	3.86	1.00
(うち)主たる疾患が「症状性を含む器質性精神障害」の患者数	0.56	1.29	0.00
(うち)主たる疾患が「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者数	1.87	2.55	1.00
1 か月間における精神療養病棟からの転院患者数	1.26	1.86	1.00
(うち)入院期間が 1 年以内の患者数	0.48	0.96	0.00
(うち)主たる疾患が「症状性を含む器質性精神障害」の患者数	0.23	0.59	0.00
(うち)主たる疾患が「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者数	0.67	1.09	0.00

(注) 平成 26 年 10 月 1 か月間における当該病床からの退院・転院患者数について記入のあった 288 施設を集計対象とした。

⑩病棟の診療体制

図表 170 病棟の診療体制（精神療養病棟入院料算定病棟、n=277）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	1.13	1.94	1.05	2.02
（うち）精神科医	1.06	1.74	0.92	1.84
看護師（保健師を含む）	14.33	1.26	14.04	1.25
准看護師	13.51	1.18	12.46	1.04
看護補助者	18.04	1.14	16.06	1.14
薬剤師	0.13	0.42	0.13	0.36
作業療法士	1.04	0.64	1.06	0.66
臨床心理技術者	0.03	0.10	0.04	0.10
精神保健福祉士	0.46	0.75	0.57	0.84
社会福祉士	0.01	0.03	0.01	0.04
事務職員	0.18	0.17	0.17	0.16
その他の職員	0.61	0.57	0.64	0.60
合計	49.47	8.21	46.22	8.20

（注）すべての職種について記入のあった 277 施設を集計対象とした。

⑪精神療養病棟における退院支援相談

図表 171 精神療養病棟における退院支援相談員数（精神療養病棟入院料算定病棟、n=269）

（単位：人）

	専従			専任		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神保健福祉士	0.5	1.1	0.0	1.4	1.7	1.0
その他の職員数	0.3	1.5	0.0	1.3	5.5	0.0
合計	0.9	1.8	0.0	2.7	5.5	2.0

図表 172 患者 1 人あたりの 1 か月間における退院支援委員会の平均開催数

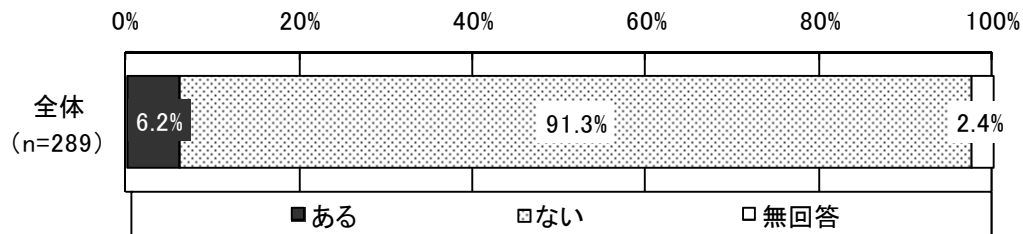
（精神療養病棟入院料算定病棟、n=269）

（単位：回）

平均値	標準偏差	中央値
1.26	1.07	1.00

⑫精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無

図表 173 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出の有無
(精神療養病棟入院料算定病棟)

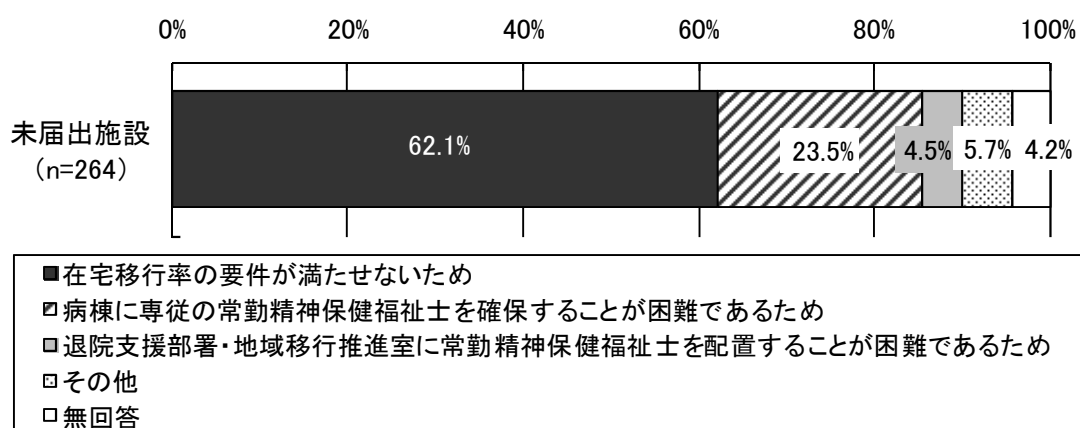


図表 174 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出時期 (精神療養病棟入院料算定病棟)

	施設数	割合
平成 26 年 4 月	13	72.2%
平成 26 年 5 月	0	0.0%
平成 26 年 6 月	1	5.6%
平成 26 年 7 月	2	11.1%
平成 26 年 8 月	0	0.0%
平成 26 年 9 月	1	5.6%
不明	1	5.6%
合計	18	100.0%

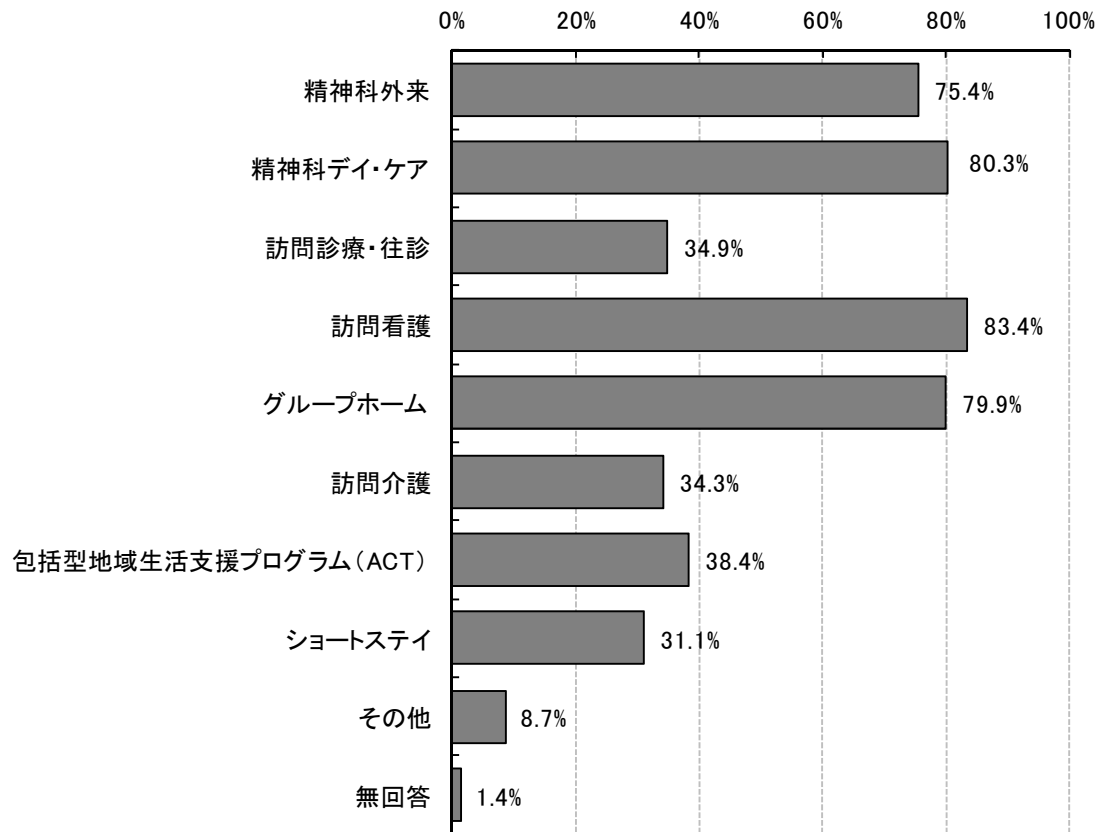
⑬精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出をしていない最大の理由

図表 175 精神保健福祉士配置加算の施設基準の届出をしていない最大の理由
(精神療養病棟入院料算定病棟、届出をしていない施設)



⑭精神療養病棟の入院患者が、地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等

図表 176 精神療養病棟の入院患者が、地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等
(精神療養病棟入院料算定病棟、複数回答、n=289)



(3) 精神科救急入院料算定病棟

①病棟数・許可病床数

図表 177 病棟数・許可病床数（精神科救急入院料算定病棟、n=55）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
病棟数(病棟)	1.2	0.5	1.0	1.3	0.6	1.0
許可病床数(床)	55.5	26.1	50.0	62.4	26.2	50.0

(注) 病棟数、許可病床数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 55 施設を集計対象とした。

②月末在院患者数

図表 178 月末在院患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=55）

(単位：人)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
月末在院患者数	47.7	23.9	41.0	53.1	24.4	45.0

(注) 月末在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 55 施設を集計対象とした。

③年齢階級別在院患者数

図表 179 年齢階級別在院患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=49）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
20 歳未満	1.2	2.3%	1.6	2.9%
20 歳以上 40 歳未満	14.9	29.4%	16.0	29.0%
40 歳以上 65 歳未満	22.7	44.7%	24.0	43.6%
65 歳以上 75 歳未満	6.7	13.1%	8.6	15.5%
75 歳以上	5.3	10.4%	5.0	9.0%
合計	50.8	100.0%	55.1	100.0%

(注) 年齢階級別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 49 施設を集計対象とした。

④主たる疾患別在院患者数

図表 180 主たる疾患別在院患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=50）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
症状性を含む器質性精神障害	4.2	8.4%	3.8	7.0%
精神作用物質による精神及び行動の障害	2.7	5.4%	3.6	6.6%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	25.9	51.0%	26.3	47.9%
気分[感情]障害	12.0	23.6%	14.0	25.5%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2.0	3.9%	2.0	3.6%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.3	0.7%	0.2	0.4%
成人の人格及び行動の障害	0.6	1.2%	1.1	1.9%
知的障害(精神遅滞)	0.9	1.7%	1.1	2.0%
心理的発達障害	0.8	1.6%	1.2	2.2%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.2	0.4%	0.2	0.4%
詳細不明の精神障害	0.2	0.5%	0.4	0.8%
その他	0.9	1.8%	0.9	1.7%
合計	50.7	100.0%	55.0	100.0%

（注）主たる疾患別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 50 施設を集計対象とした。

⑤GAF 尺度別在院患者数

図表 181 GAF 尺度別在院患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=30）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
91～100	0.0	0.0%	0.0	0.0%
81～90	0.2	0.3%	0.1	0.3%
71～80	0.9	1.8%	1.0	1.9%
61～70	1.9	3.8%	1.5	2.8%
51～60	3.0	6.0%	4.4	8.3%
41～50	3.1	6.3%	4.2	7.9%
31～40	6.2	12.4%	7.6	14.4%
21～30	11.4	23.0%	11.0	20.7%
11～20	4.1	8.3%	4.1	7.7%
1～10	1.1	2.2%	1.6	3.0%
0	0.1	0.3%	0.0	0.0%
不明	17.6	35.6%	17.6	33.2%
合計	49.6	100.0%	53.0	100.0%

(注) GAF 尺度別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 30 施設を集計対象とした。

⑥向精神薬使用数別患者数

図表 182 向精神薬使用数別患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=30）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	44.2	100.0%	46.5	100.0%
向精神薬使用数/1 種	12.3	27.7%	11.7	25.1%
向精神薬使用数/2 種	10.8	24.3%	12.5	27.0%
向精神薬使用数/3 種	8.3	18.7%	10.2	21.9%
向精神薬使用数/4 種	6.2	14.0%	6.2	13.3%
向精神薬使用数/5 種以上	6.7	15.2%	6.0	12.8%

(注) 向精神薬使用数別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 30 施設を集計対象とした。

⑦在院期間別在院患者数

図表 183 在院期間別在院患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=47）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1 か月未満	24.1	48.0%	26.7	48.7%
1 か月以上～3 か月未満	21.0	41.9%	24.0	43.7%
3 か月以上～6 か月未満	3.3	6.6%	2.4	4.4%
6 か月以上～1 年未満	0.9	1.8%	0.6	1.2%
1 年以上～5 年未満	0.7	1.4%	0.8	1.4%
5 年以上～10 年未満	0.1	0.2%	0.2	0.4%
10 年以上～20 年未満	0.0	0.0%	0.1	0.2%
20 年以上	0.0	0.0%	0.0	0.0%
合計	50.3	100.0%	54.9	100.0%

（注）在院期間別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 47 施設を集計対象とした。

⑧1 か月間における新規入院患者数

図表 184 1 か月間における新規入院患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=51）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病床における新規入院患者数	33.67	15.87	30.00	33.37	14.37	29.00
（うち）救急搬送・警察搬送患者数	4.12	4.97	3.00	3.57	4.07	2.00
（うち）緊急措置入院患者数	0.98	1.89	0.00	0.75	1.62	0.00
（うち）措置入院患者数	2.22	2.59	1.00	2.55	2.72	2.00
（うち）応急入院患者数	1.49	2.45	0.00	1.08	1.68	0.00
（うち）他の精神科病院からの転院患者数	0.31	0.65	0.00	0.41	1.59	0.00
（うち）他の一般病院からの転院患者数	1.37	2.85	0.00	1.08	1.90	0.00
身体合併症の治療のために、救命救急センター等の他院の一般病床に入院していたが、治療を終えて、自施設に再入院となった患者数	0.25	0.72	0.00	0.08	0.27	0.00
（うち）自院の一般病床からの転棟患者数	0.20	0.63	0.00	0.20	0.66	0.00
【別掲】院内標準診療計画書を策定した患者数				5.84	15.35	0.00

（注）当該病床への新規入院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 51 施設を集計対象とした。

⑨1 か月間における退院・転院患者数

図表 185 1 か月間における退院・転院患者数（精神科救急入院料算定病棟、n=28）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間に当該病床から退院・転院・転棟した患者数	31.46	18.85	26.00	33.00	16.04	27.50
（うち）自宅退院患者数 （障害者施設等含む）	23.43	12.61	21.00	24.64	12.84	21.00
（うち）自院の他の精神病床に転棟した患者数	4.93	8.02	2.50	5.25	6.18	4.00
（うち）自院の他の一般病床に転棟した患者数	0.43	1.43	0.00	0.21	0.79	0.00
（うち）他院の精神病床に転院した患者数	1.11	1.83	0.00	1.21	2.45	0.00
連携の取り決めのある医療機関への転院患者数	0.21	0.83	0.00	0.21	0.79	0.00
（うち）他院の一般病床に転院した患者数	0.71	1.01	0.00	0.68	1.25	0.00
【別掲】入院期間が 1 年以内の患者数	29.00	19.87	24.00	30.96	17.34	27.00
【別掲】認知症の患者数	2.71	4.92	1.00	2.54	4.50	1.00
【別掲】統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者数	13.18	7.43	12.00	14.07	7.23	14.00
【別掲】気分[感情]障害の患者数	7.11	6.09	5.00	7.29	4.98	6.50
【別掲】院内標準診療計画加算を算定した患者数				2.89	8.49	0.00
【別掲】精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者数				0.64	1.25	0.00

（注）平成 26 年 10 月 1 か月間における当該病床からの退院・転院患者数について記入のあった 28 施設を集計対象とした。

図表 186 精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者の平均在院日数

（精神科救急入院料算定病棟、n=8）

（単位：日）

	平均値	標準偏差	中央値
精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者の平均在院日数	55.4	87.5	33.0

（注）精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者数が 1 名以上であった 8 施設を集計対象とした。

⑩病棟の診療体制

図表 187 病棟の診療体制（精神科救急入院料算定病棟、n=49）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	1.46	3.62	1.75	3.57
（うち）精神科医	1.26	3.37	1.35	3.39
看護師（保健師を含む）	27.61	3.04	30.46	2.96
准看護師	0.26	0.00	0.42	0.00
看護補助者	3.15	0.18	3.60	0.13
薬剤師	0.04	1.25	0.04	1.25
作業療法士	0.14	1.15	0.20	1.15
臨床心理技術者	0.08	0.43	0.16	0.43
精神保健福祉士	1.47	1.14	1.69	1.18
社会福祉士	0.00	0.04	0.00	0.04
事務職員	0.18	0.02	0.18	0.02
その他の職員	0.04	0.06	0.05	0.03
合計	34.45	10.93	38.56	10.78

（注）すべての職種について記入のあった 277 施設を集計対象とした。

(4) 精神科救急・合併症入院料算定病棟

①病棟数・許可病床数

図表 188 病棟数・許可病床数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=6）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
病棟数(病棟)	0.8	0.4	1.0	1.0	0.0	1.0
許可病床数(床)	35.3	18.5	39.0	43.7	7.2	45.0

(注) 病棟数、許可病床数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 6 施設を集計対象とした。

②月末在院患者数

図表 189 月末在院患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=6）

(単位：人)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
月末在院患者数	30.0	15.9	33.5	34.2	7.0	36.0

(注) 月末在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 6 施設を集計対象とした。

③年齢階級別在院患者数

図表 190 年齢階級別在院患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=5）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
20 歳未満	1.0	2.8%	1.2	3.6%
20 歳以上 40 歳未満	7.2	20.0%	7.0	20.8%
40 歳以上 65 歳未満	14.4	40.0%	11.2	33.3%
65 歳以上 75 歳未満	6.6	18.3%	9.6	28.6%
75 歳以上	6.8	18.9%	4.6	13.7%
合計	36.0	100.0%	33.6	100.0%

(注) 年齢階級別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 5 施設を集計対象とした。

④主たる疾患別在院患者数

図表 191 主たる疾患別在院患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=4）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
症状性を含む器質性精神障害	4.8	12.6%	2.0	5.5%
精神作用物質による精神及び行動の障害	2.0	5.3%	1.3	3.4%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11.0	29.1%	12.8	34.9%
気分[感情]障害	10.3	27.2%	10.0	27.4%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2.5	6.6%	4.0	11.0%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.3	0.7%	0.3	0.7%
成人の人格及び行動の障害	0.5	1.3%	0.0	0.0%
知的障害(精神遅滞)	0.3	0.7%	0.8	2.1%
心理的発達の障害	0.0	0.0%	0.3	0.7%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.0	0.0%	0.0	0.0%
詳細不明の精神障害	1.3	3.3%	0.8	2.1%
その他	5.0	13.2%	4.5	12.3%
合計	37.8	100.0%	36.5	100.0%

（注）主たる疾患別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 4 施設を集計対象とした。

⑤GAF 尺度別在院患者数

図表 192 GAF 尺度別在院患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=4）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
91～100	0.0	0.0%	0.0	0.0%
81～90	0.3	0.7%	0.3	0.7%
71～80	0.5	1.3%	0.5	1.4%
61～70	1.0	2.6%	1.5	4.1%
51～60	5.8	15.2%	2.8	7.5%
41～50	5.3	13.9%	3.0	8.2%
31～40	5.8	15.2%	3.5	9.6%
21～30	10.3	27.2%	9.8	26.7%
11～20	6.8	17.9%	6.8	18.5%
1～10	1.8	4.6%	1.5	4.1%
0	0.0	0.0%	0.0	0.0%
不明	0.5	1.3%	7.0	19.2%
合計	37.8	100.0%	36.5	100.0%

(注) GAF 尺度別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 4 施設を集計対象とした。

⑥向精神薬使用数別患者数

図表 193 向精神薬使用数別患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=4）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	26.5	100.0%	28.5	100.0%
向精神薬使用数/1 種	12.3	46.2%	14.0	49.1%
向精神薬使用数/2 種	7.5	28.3%	6.8	23.7%
向精神薬使用数/3 種	3.5	13.2%	3.8	13.2%
向精神薬使用数/4 種	2.3	8.5%	1.3	4.4%
向精神薬使用数/5 種以上	1.0	3.8%	2.8	9.6%

(注) 向精神薬使用数別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 4 施設を集計対象とした。

⑦在院期間別在院患者数

図表 194 在院期間別在院患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=5）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1 か月未満	19.4	53.9%	15.4	45.8%
1 か月以上～3 か月未満	10.8	30.0%	12.8	38.1%
3 か月以上～6 か月未満	3.6	10.0%	3.4	10.1%
6 か月以上～1 年未満	1.0	2.8%	0.6	1.8%
1 年以上～5 年未満	1.2	3.3%	1.4	4.2%
5 年以上～10 年未満	0.0	0.0%	0.0	0.0%
10 年以上～20 年未満	0.0	0.0%	0.0	0.0%
20 年以上	0.0	0.0%	0.0	0.0%
合計	36.0	100.0%	33.6	100.0%

(注) 在院期間別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 5 施設を集計対象とした。

⑧1 か月間における新規入院患者数

図表 195 1 か月間における新規入院患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=5）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急・合併症入院料算定病床における新規入院患者数	24.40	7.99	23.00	19.80	7.40	17.00
（うち）救急搬送・警察搬送患者数	4.00	5.10	2.00	5.60	5.68	5.00
（うち）緊急措置入院患者数	0.40	0.55	0.00	0.60	0.89	0.00
（うち）措置入院患者数	0.80	1.79	0.00	0.80	1.30	0.00
（うち）応急入院患者数	1.80	4.02	0.00	0.20	0.45	0.00
（うち）精神科単科病院からの転院してきた身体合併症患者数	1.20	1.64	0.00	1.20	1.64	1.00
（うち）精神科救急・合併症入院料を算定した後に、手術等により一時期 ICU 等で治療を受け、再入棟した患者数	0.20	0.45	0.00	0.60	0.89	0.00
特定集中治療室管理料算定病床から再入院した患者数	0.20	0.45	0.00	0.60	0.89	0.00
ハイケアユニット入院医療管理料算定病床から再入院した患者数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
脳卒中ケアユニット入院医療管理料算定病床から再入院した患者数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
小児特定集中治療管理料算定病床から再入院した患者数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総合周産期特定集中治療室管理料算定病床から再入院した患者数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（うち）自院の一般病床からの転棟患者数	1.40	0.55	1.00	3.00	3.67	1.00
【別掲】院内標準診療計画書を策定した患者数				4.40	7.37	0.00

（注）当該病床への新規入院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 5 施設を集計対象とした。

⑨1 か月間における退院・転院患者数

図表 196 1 か月間における退院・転院患者数（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=5）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準 偏差	中央値	平均値	標準 偏差	中央値
1 か月間に当該病床から退院・転院・転棟した患者数	22.00	12.98	25.00	19.20	10.38	23.00
（うち）自宅退院患者数 （障害者施設等含む）	18.40	10.69	24.00	14.60	9.18	14.00
（うち）自院の他の精神病床に転棟した患者数	0.20	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00
（うち）自院の他の一般病床に転棟した患者数	0.20	0.45	0.00	1.20	1.30	1.00
（うち）他院の精神病床に転院した患者数	2.20	3.49	0.00	2.60	2.79	2.00
連携の取り決めのある医療機関への転院患者数	0.20	0.45	0.00	0.40	0.89	0.00
（うち）他院の一般病床に転院した患者数	0.40	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00
【別掲】入院期間が 1 年以内の患者数	21.80	12.87	25.00	18.80	11.21	23.00
【別掲】認知症の患者数	2.20	2.59	1.00	1.20	1.10	2.00
【別掲】統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者数	9.40	7.02	10.00	6.60	5.50	5.00
【別掲】気分[感情]障害の患者数	5.20	3.42	6.00	3.00	2.55	3.00
【別掲】院内標準診療計画加算を算定した患者数				0.60	1.34	0.00

（注）平成 26 年 10 月 1 か月間における当該病床からの退院・転院患者数について記入のあった 5 施設を集計対象とした。

⑩病棟の診療体制

図表 197 病棟の診療体制（精神科救急・合併症入院料算定病棟、n=5）

（単位：人）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	5.82	1.50	5.24	1.40
（うち）精神科医	5.02	0.50	4.44	0.60
看護師（保健師を含む）	26.60	0.20	26.08	0.20
准看護師	0.20	0.00	0.20	0.00
看護補助者	2.20	0.00	2.40	0.00
薬剤師	0.48	0.20	0.48	0.20
作業療法士	0.00	0.20	0.20	0.20
臨床心理技術者	1.10	0.08	1.30	0.04
精神保健福祉士	0.96	0.80	1.10	0.80
社会福祉士	0.40	0.00	0.60	0.00
事務職員	0.40	0.00	0.40	0.00
その他の職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	38.16	2.98	38.00	2.84

（注）すべての職種について記入のあった 5 施設を集計対象とした。

(5) 精神科急性期治療病棟入院料算定病棟

①病棟数・許可病床数

図表 198 病棟数・許可病床数（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=122）

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
病棟数(病棟)	1.7	5.5	1.0	1.5	5.3	1.0
許可病床数(床)	48.6	19.4	49.5	50.0	17.3	49.5

(注) 病棟数、許可病床数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 122 施設を集計対象とした。

②在院患者数

図表 199 月末在院患者数（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=121）

(単位：人)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
月末在院患者数	39.3	17.0	38.0	40.0	16.7	37.0

(注) 月末在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 121 施設を集計対象とした。

③年齢階級別在院患者数

図表 200 年齢階級別在院患者数（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=108）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
20 歳未満	0.8	2.0%	0.9	2.1%
20 歳以上 40 歳未満	9.5	23.1%	9.4	22.4%
40 歳以上 65 歳未満	18.6	45.3%	18.4	43.9%
65 歳以上 75 歳未満	6.0	14.6%	6.6	15.9%
75 歳以上	6.1	14.9%	6.6	15.7%
合計	41.1	100.0%	41.8	100.0%

(注) 年齢階級別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 108 施設を集計対象とした。

④主たる疾患別在院患者数

図表 201 主たる疾患別在院患者数（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=113）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
症状性を含む器質性精神障害	4.4	10.7%	4.3	10.4%
精神作用物質による精神及び行動の障害	3.9	9.5%	4.0	9.6%
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	18.9	46.1%	18.3	44.3%
気分[感情]障害	9.8	24.0%	10.6	25.6%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.6	3.9%	1.7	4.1%
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0.4	0.9%	0.3	0.8%
成人の人格及び行動の障害	0.5	1.2%	0.4	1.0%
知的障害(精神遅滞)	0.6	1.6%	0.7	1.6%
心理的発達の障害	0.3	0.7%	0.5	1.1%
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0.2	0.4%	0.1	0.2%
詳細不明の精神障害	0.0	0.1%	0.1	0.1%
その他	0.4	0.9%	0.4	1.0%
合計	40.9	100.0%	41.4	100.0%

（注）主たる疾患別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 113 施設を集計対象とした。

⑤GAF 尺度別在院患者数

図表 202 GAF 尺度別在院患者数（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=65）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
91～100	0.0	0.1%	0.1	0.2%
81～90	0.5	1.3%	0.6	1.5%
71～80	0.9	2.1%	0.9	2.1%
61～70	1.5	3.6%	1.8	4.2%
51～60	3.2	7.7%	4.0	9.4%
41～50	3.4	8.3%	3.3	7.6%
31～40	5.1	12.3%	5.4	12.6%
21～30	5.7	13.7%	6.5	15.1%
11～20	2.1	5.1%	2.2	5.2%
1～10	0.3	0.7%	0.5	1.2%
0	0.0	0.1%	0.0	0.0%
不明	18.6	44.9%	17.7	41.0%
合計	41.4	100.0%	43.1	100.0%

(注) GAF 尺度別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 65 施設を集計対象とした。

⑥向精神薬使用数別患者数

図表 203 向精神薬使用数別患者数（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=75）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	34.8	100.0%	35.3	100.0%
向精神薬使用数/1 種	9.0	25.9%	9.4	26.6%
向精神薬使用数/2 種	9.8	28.3%	10.1	28.7%
向精神薬使用数/3 種	6.6	18.9%	7.2	20.5%
向精神薬使用数/4 種	3.9	11.3%	4.1	11.6%
向精神薬使用数/5 種以上	5.4	15.6%	4.4	12.6%

(注) 向精神薬使用数別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 75 施設を集計対象とした。

⑦在院期間別在院患者数

図表 204 在院期間別在院患者数（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=111）

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合
1 か月未満	17.0	41.2%	16.8	40.4%
1 か月以上～3 か月未満	16.6	40.4%	18.4	44.1%
3 か月以上～6 か月未満	4.0	9.7%	3.4	8.1%
6 か月以上～1 年未満	1.5	3.6%	1.3	3.1%
1 年以上～5 年未満	1.4	3.3%	1.2	2.9%
5 年以上～10 年未満	0.4	0.9%	0.3	0.7%
10 年以上～20 年未満	0.3	0.7%	0.2	0.5%
20 年以上	0.1	0.3%	0.1	0.1%
合計	41.1	100.0%	41.6	100.0%

(注) 在院期間別の在院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 111 施設を集計対象とした。

⑧1 か月間における新規入院患者数

図表 205 1 か月間における新規入院患者数
(精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=100)

(単位：人)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科急性期治療病棟入院料算定病床における新規入院患者数	22.13	10.30	20.00	21.70	10.26	20.00
(うち)救急搬送・警察搬送患者数	1.04	1.71	0.00	0.86	1.28	0.00
(うち)緊急措置入院患者数	0.08	0.39	0.00	0.01	0.10	0.00
(うち)措置入院患者数	0.50	1.10	0.00	0.36	0.80	0.00
(うち)応急入院患者数	0.14	0.43	0.00	0.11	0.58	0.00
(うち)他の精神科病院からの転院患者数	0.49	1.11	0.00	0.39	1.05	0.00
(うち)他の一般病院からの転院患者数	0.87	1.38	0.00	0.80	1.61	0.00
身体合併症の治療のために、救命救急センター等の他院の一般病床に入院していたが、治療を終えて、自施設に再入院となった患者数	0.19	0.53	0.00	0.25	0.59	0.00
(うち)自院の一般病床からの転棟患者数	0.46	2.94	0.00	0.49	3.06	0.00
【別掲】院内標準診療計画書を策定した患者数				2.94	7.42	0.00

(注) 当該病床への新規入院患者数について、平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月ともに記入のあった 100 施設を集計対象とした。

⑨1 か月間における退院・転院患者数

図表 206 1 か月間における退院・転院患者数
(精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=79)

(単位：人)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間に当該病床から退院・転院・転棟した患者数	22.76	12.36	21.00	22.70	11.02	22.00
(うち)自宅退院患者数 (障害者施設等含む)	16.96	10.44	15.00	16.89	9.34	16.00
(うち)自院の他の精神病床に転棟した患者数	3.97	4.93	3.00	3.58	5.49	2.00
(うち)自院の他の一般病床に転棟した患者数	0.13	0.54	0.00	0.20	0.77	0.00
(うち)他院の精神病床に転院した患者数	0.47	1.52	0.00	0.41	1.01	0.00
連携の取り決めのある医療機関への転院患者数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(うち)他院の一般病床に転院した患者数	0.65	0.93	0.00	0.71	1.04	0.00
【別掲】入院期間が1年以内の患者数	19.63	11.95	20.00	20.53	11.50	20.00
【別掲】認知症の患者数	1.84	2.54	1.00	1.67	2.98	1.00
【別掲】統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者数	8.30	6.90	7.00	8.99	6.63	8.00
【別掲】気分[感情]障害の患者数	5.81	4.91	5.00	6.04	5.46	5.00
【別掲】院内標準診療計画加算を算定した患者数				1.24	4.09	0.00
【別掲】精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者数				0.67	2.01	0.00

(注) 平成 26 年 10 月 1 か月間における当該病床からの退院・転院患者数について記入のあった 79 施設を集計対象とした。

図表 207 精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者の平均在院日数
(精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=17)

(単位：日)

	平均値	標準偏差	中央値
精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者の平均在院日数	57.9	120.6	28.0

(注) 精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者数が 1 名以上であった 17 施設を集計対象とした。

⑩病棟の診療体制

図表 208 病棟の診療体制（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、n=109）

（単位：人）

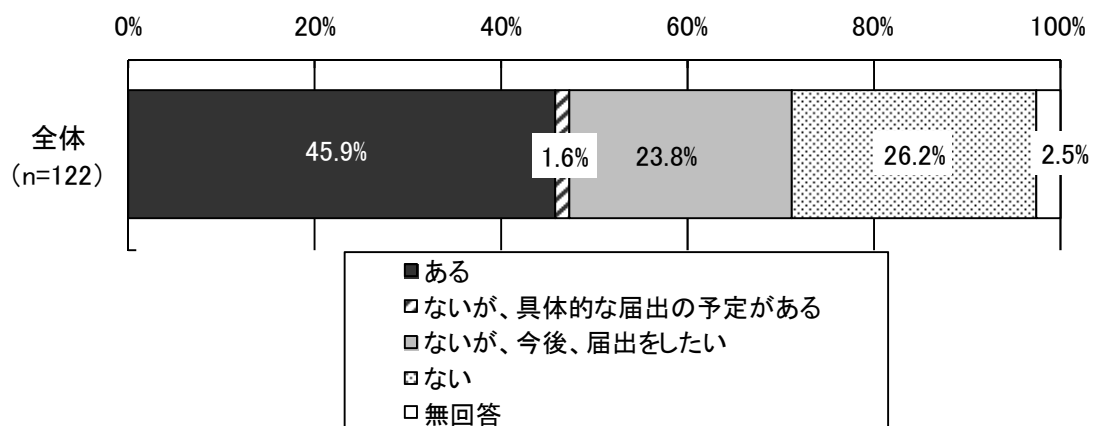
	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	専従	専任	専従	専任
医師	1.03	1.71	1.38	1.96
（うち）精神科医	0.88	1.55	1.24	1.79
看護師（保健師を含む）	14.71	2.16	14.84	2.28
准看護師	4.27	0.70	4.04	0.64
看護補助者	5.33	0.76	5.27	0.82
薬剤師	0.15	0.20	0.15	0.20
作業療法士	0.19	0.47	0.20	0.50
臨床心理技術者	0.09	0.30	0.09	0.32
精神保健福祉士	0.70	0.46	0.87	0.45
社会福祉士	0.00	0.00	0.00	0.00
事務職員	0.10	0.06	0.10	0.06
その他の職員	0.27	0.11	0.26	0.11
合計	26.84	6.93	27.20	7.34

（注）すべての職種について記入のあった 109 施設を集計対象とした。

⑪精神科急性期医師配置加算の施設基準の届出状況

図表 209 精神科急性期医師配置加算の施設基準の届出状況

（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟）

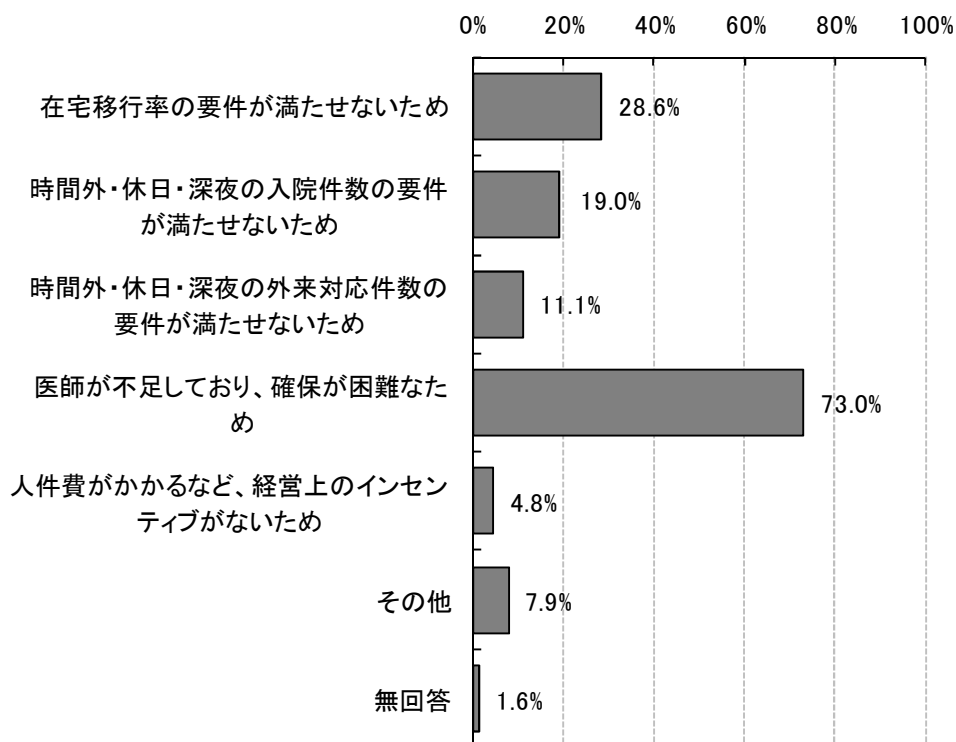


図表 210 精神科急性期医師配置加算の施設基準の届出時期
(精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、届出が「ある」と回答した施設)

	施設数	割合
平成 26 年 4 月	30	53.6%
平成 26 年 5 月	6	10.7%
平成 26 年 6 月	3	5.4%
平成 26 年 7 月	3	5.4%
平成 26 年 8 月	8	14.3%
平成 26 年 9 月	2	3.6%
平成 26 年 10 月	3	5.4%
不明	1	1.8%
合計	56	100.0%

(参考)「ないが、具体的な予定がある」と回答した施設の届出予定時期は「平成 27 年 4 月」が 1 施設、不明が 1 施設であった。

図表 211 精神科急性期医師配置加算の施設基準の届出をしていない理由
(精神科急性期治療病棟入院料算定病棟、未届出施設、複数回答、n=63)



4. 患者調査の結果

【調査対象等】

調査対象：①入院患者（精神科救急入院料、精神科救急・合併症入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神療養病棟入院料を算定している病棟の入院患者）

②外来患者

回答数：①入院患者：2,379 人

②外来患者：1,826 人

回答者：①入院患者：対象患者を担当する看護師等

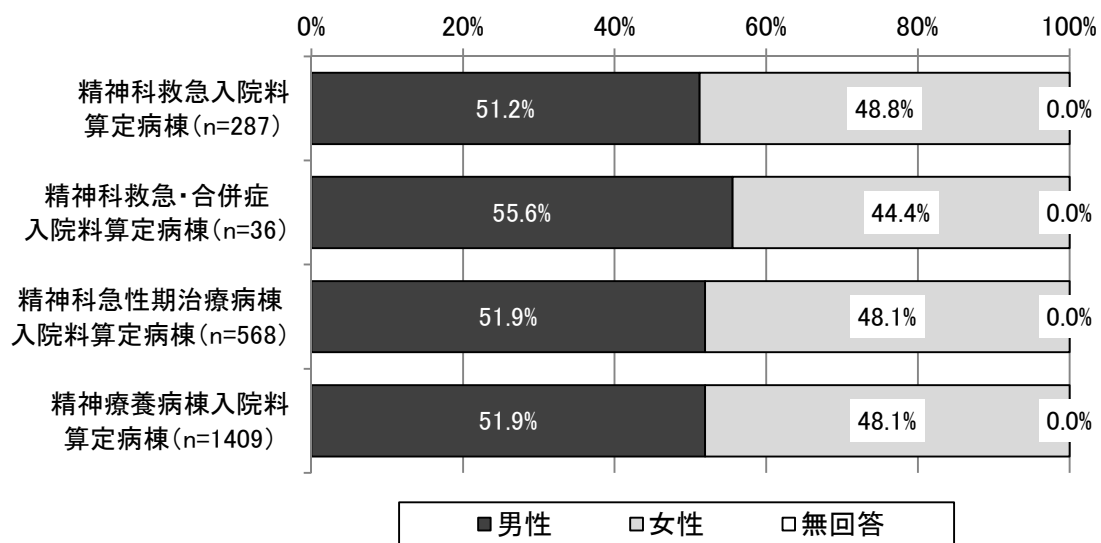
②外来患者：対象患者を担当する看護師・精神保健福祉士等

（１）入院患者

①患者の基本的事項

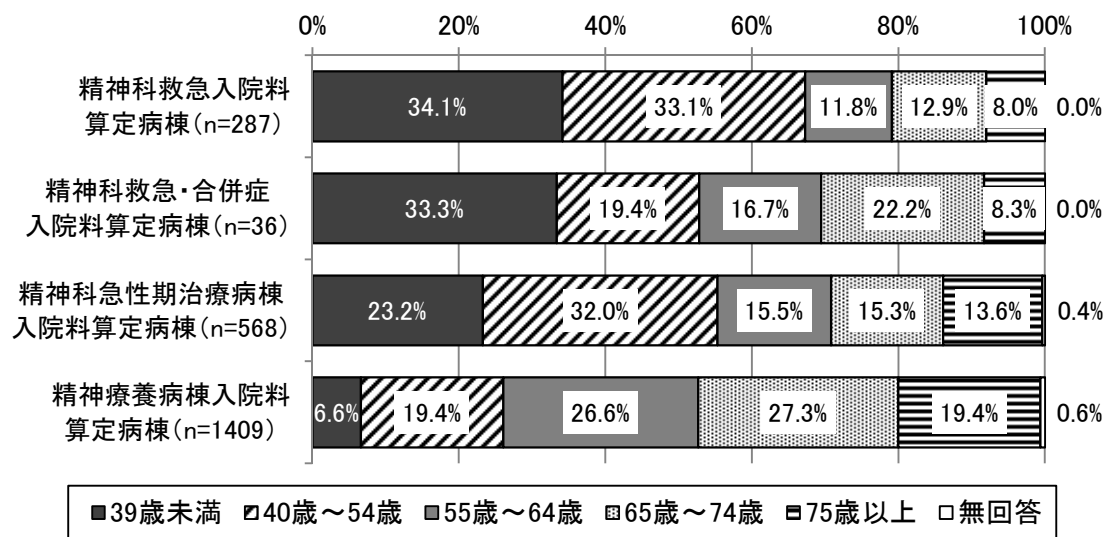
1) 性別

図表 212 性別



2) 年齢

図表 213 年齢階級別分布



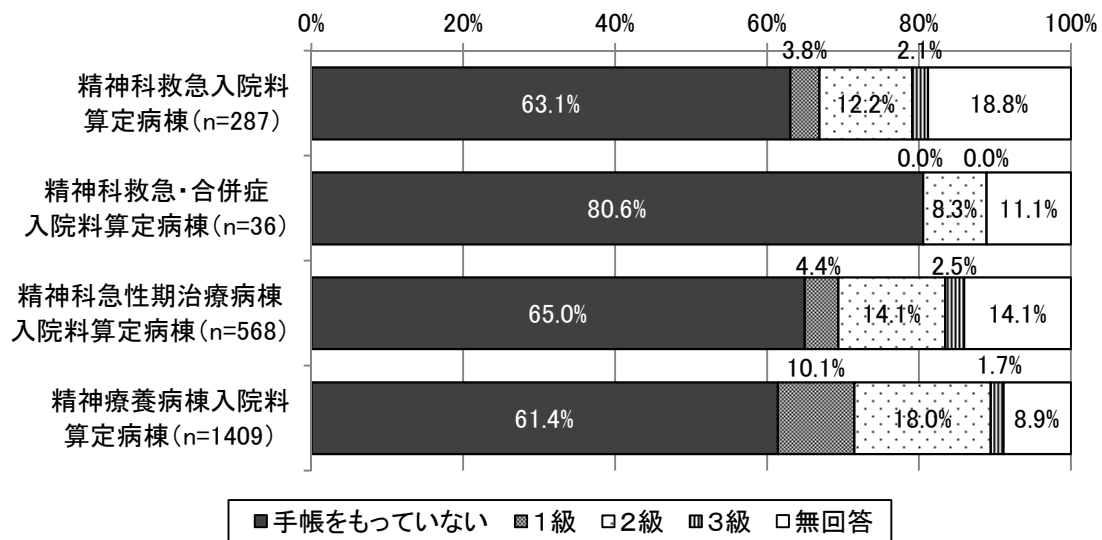
図表 214 年齢

(単位：歳)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病棟	287	48.0	17.4	47.0
精神科救急・合併症入院料算定病棟	36	50.0	21.1	54.0
精神科急性期治療病棟入院料算定病棟	566	52.9	17.9	51.0
精神療養病棟入院料算定病棟	1400	62.5	14.0	64.0

3) 精神障害者福祉手帳

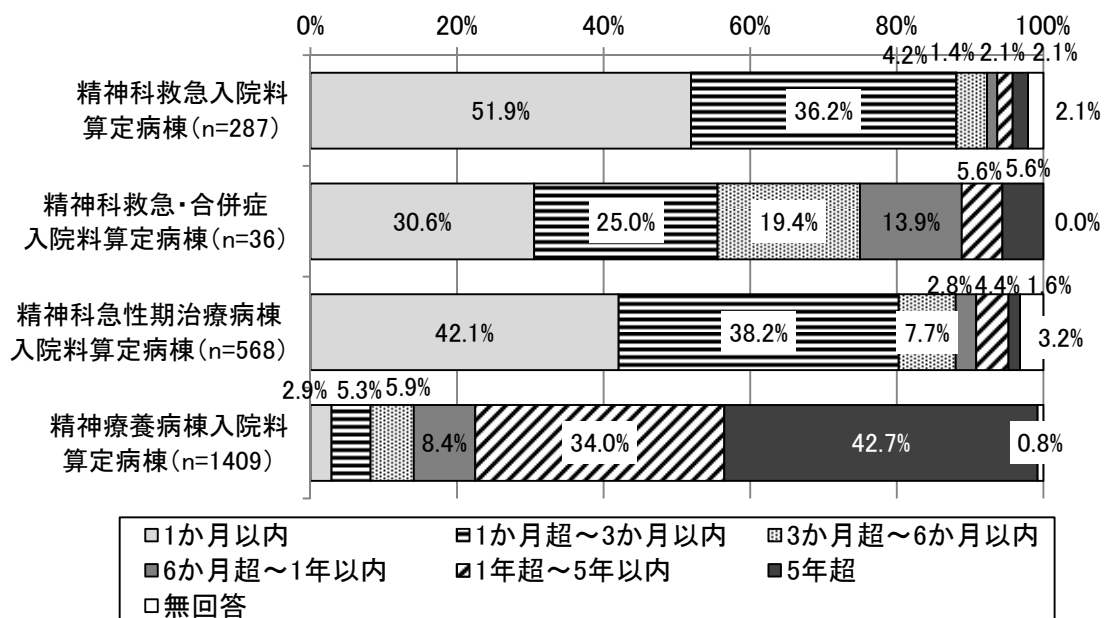
図表 215 精神障害者福祉手帳



②入院の状況

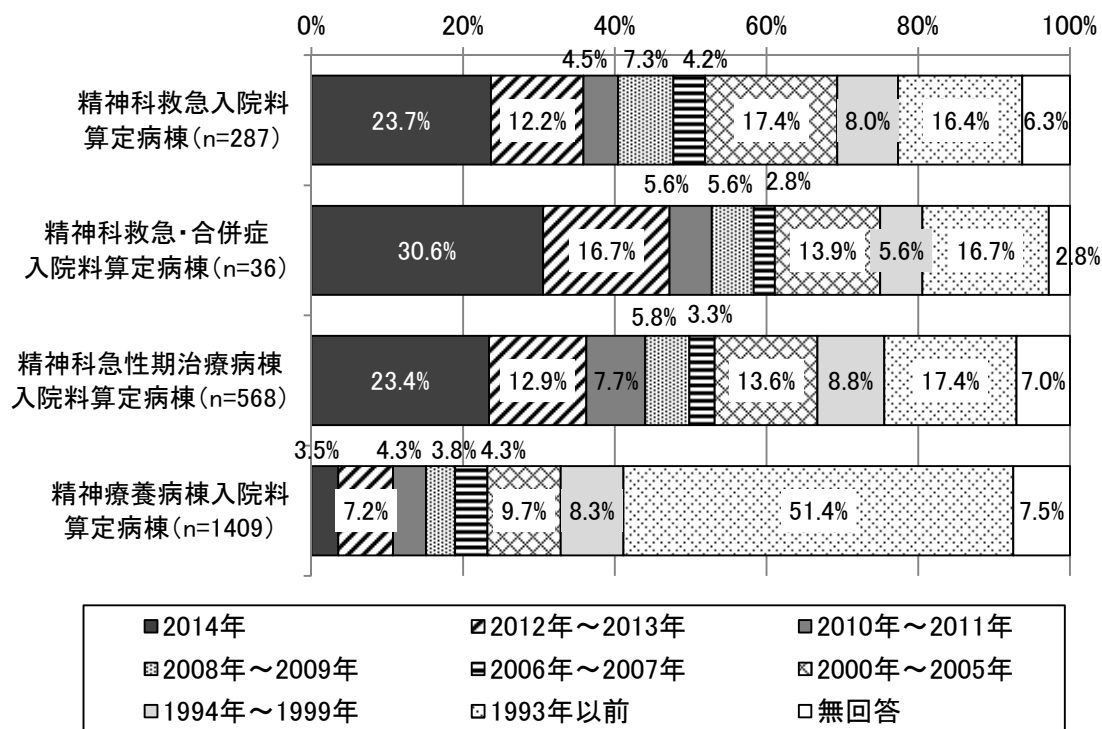
1) 入院日からの期間

図表 216 入院日からの期間



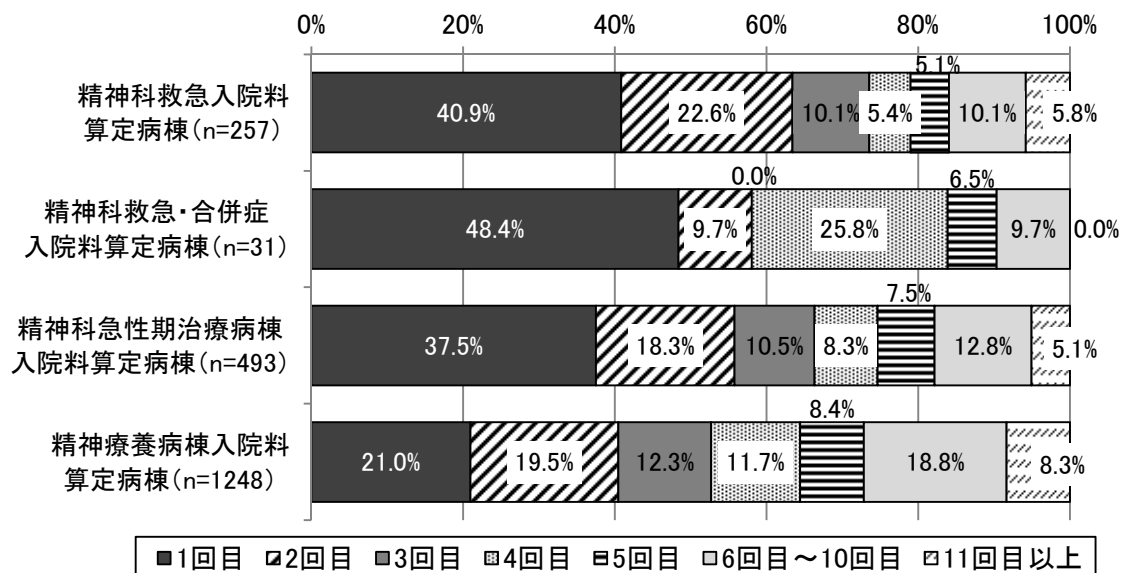
2) 初診日

図表 217 初診日（他の医療機関を含む）

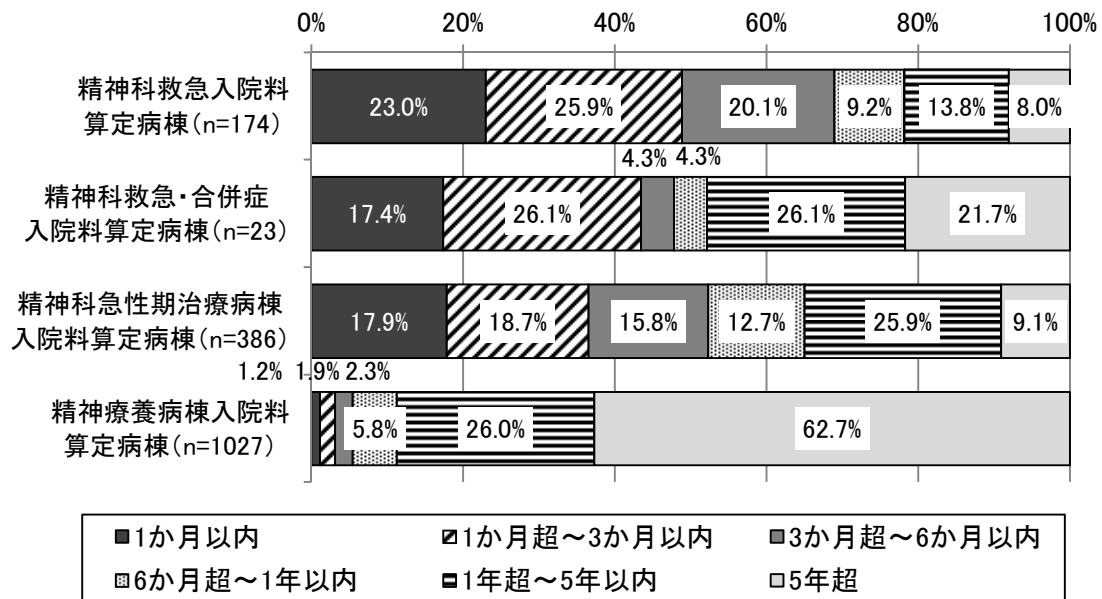


3) 精神科・神経科への通算入院回数・入院期間

図表 218 精神科・神経科への通算入院回数（無回答者を除く）

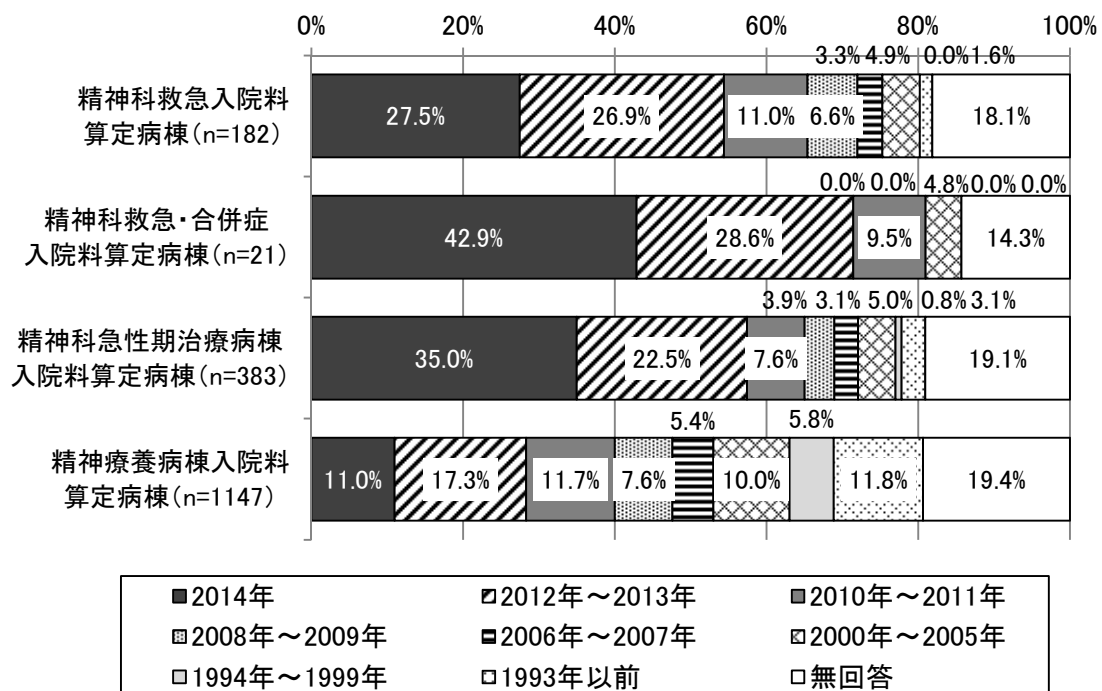


図表 219 精神科・神経科への通算入院期間（無回答者を除く）



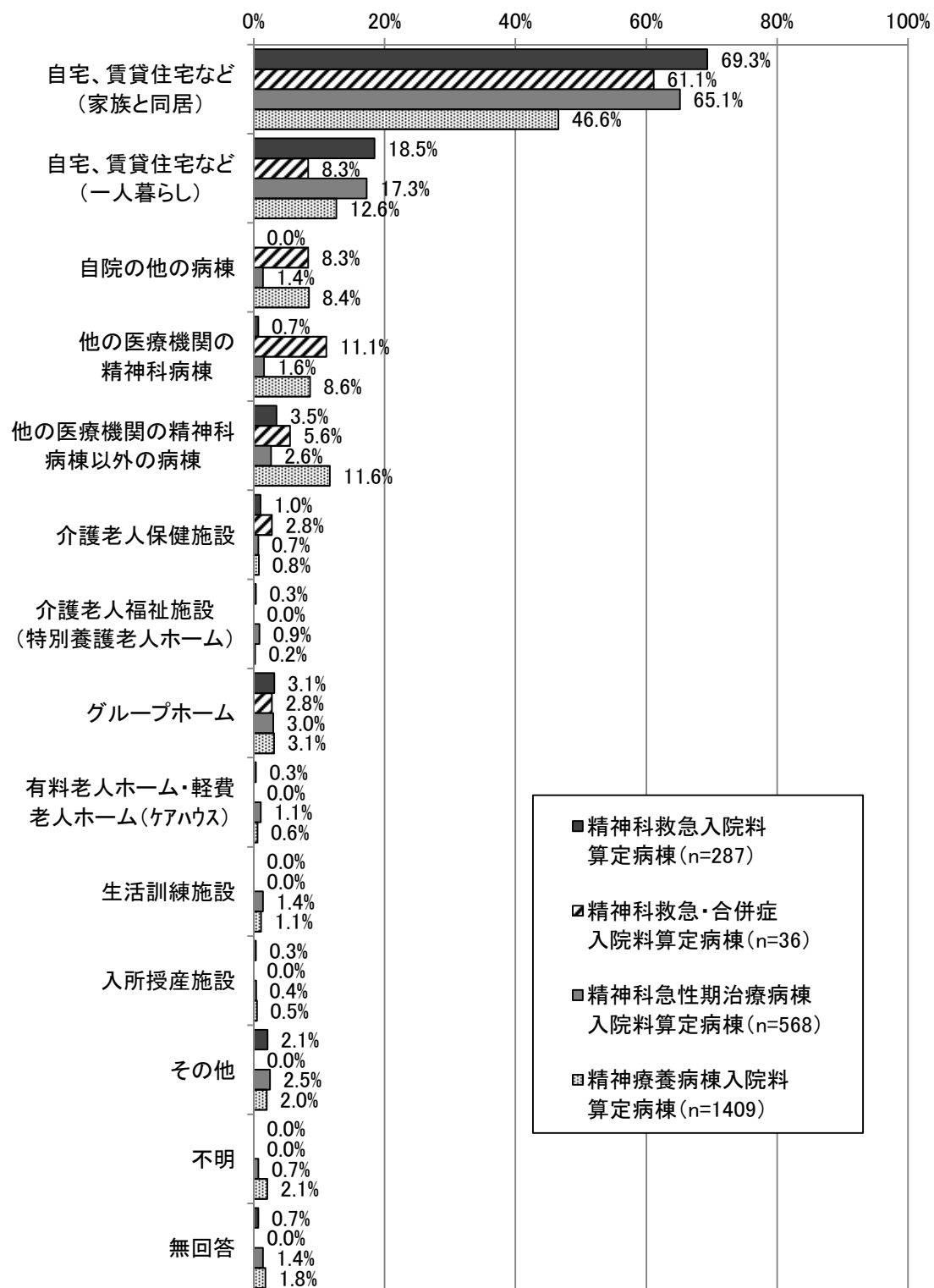
4) 直近の退院日

図表 220 直近の退院日（初回の入院患者を除く）



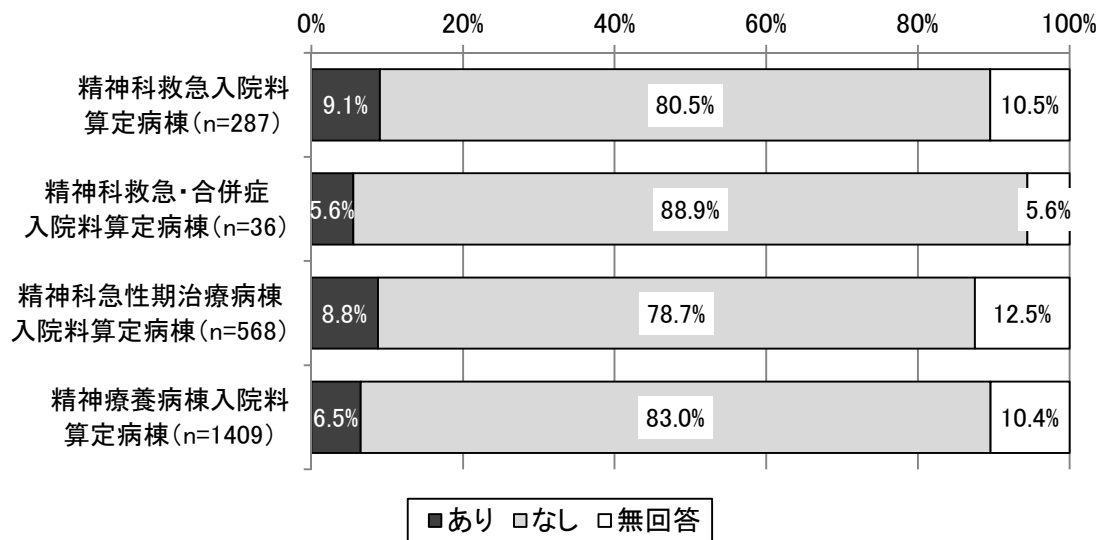
5) 入棟前の居場所

図表 221 入棟前の居場所（単数回答）



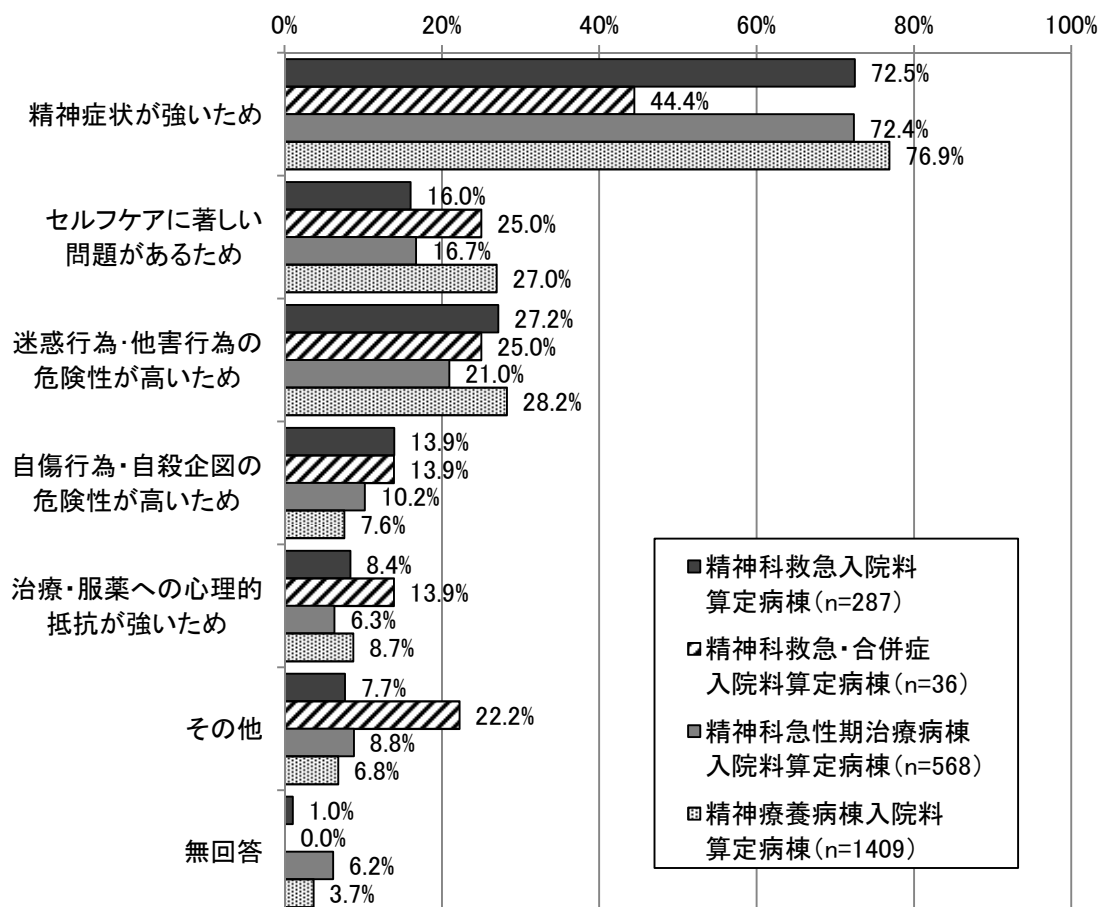
6) 直近の在宅療養期間における、精神科訪問看護の利用の有無

図表 222 直近の在宅療養期間における、精神科訪問看護の利用の有無



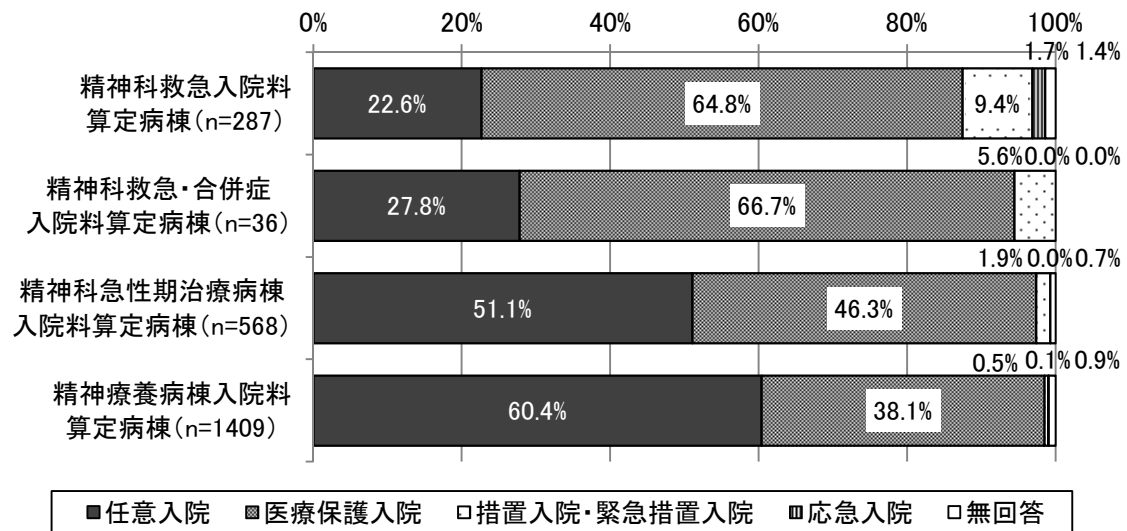
7) 入院の理由

図表 223 入院の理由（複数回答）



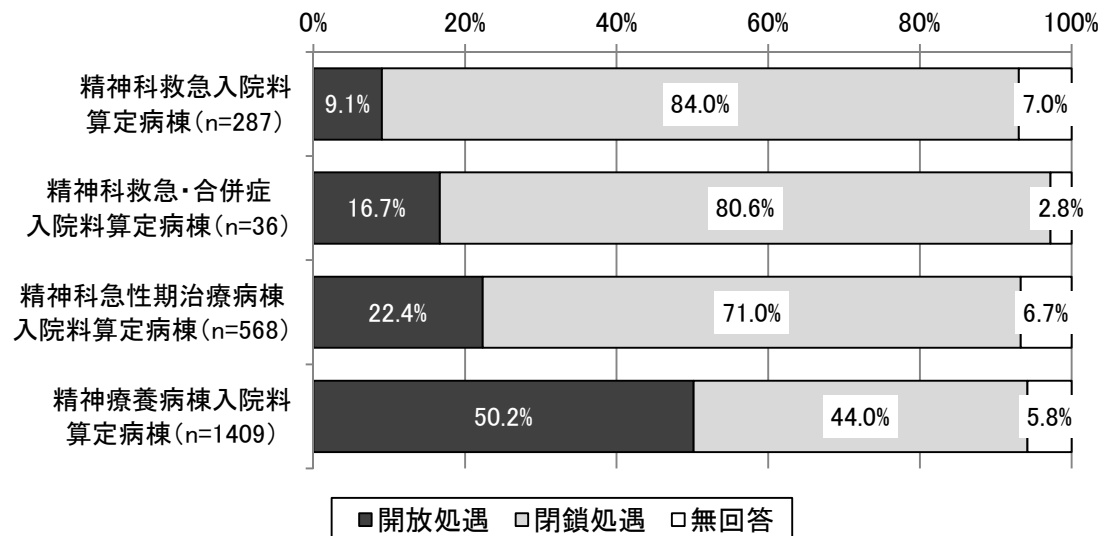
8) 入院形態

図表 224 入院形態



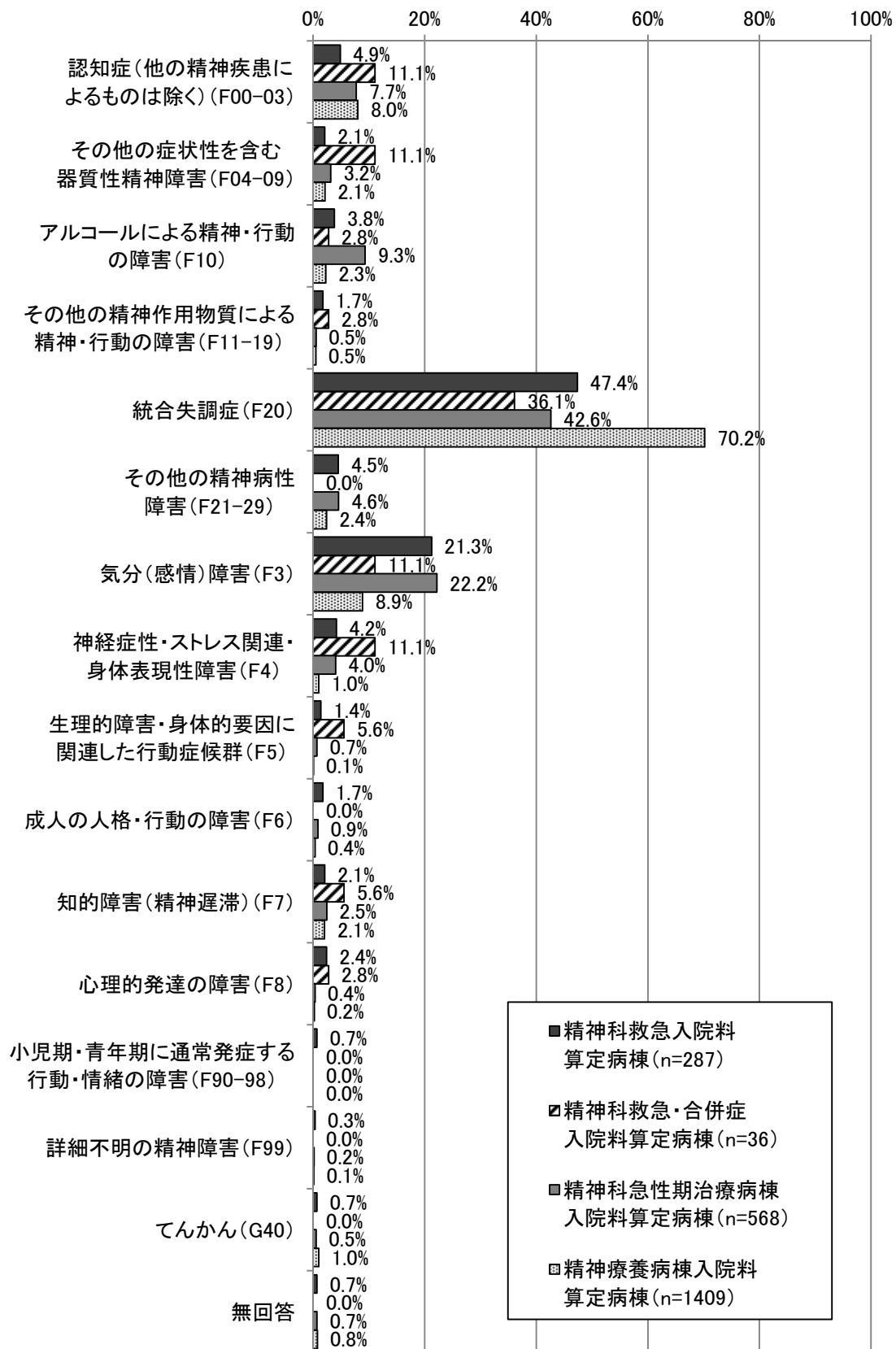
9) 処遇

図表 225 処遇



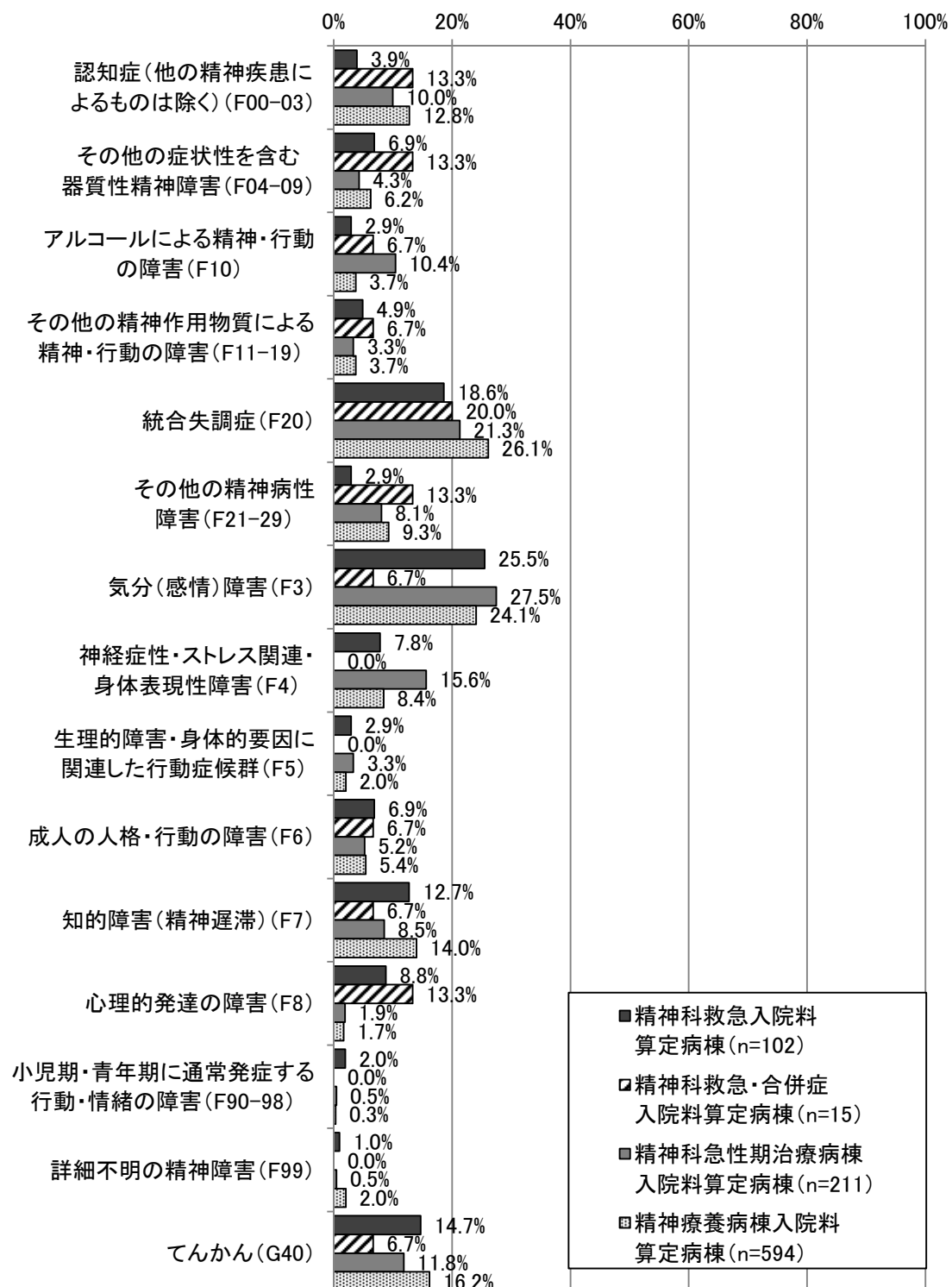
10) 主傷病

図表 226 主傷病（単数回答）



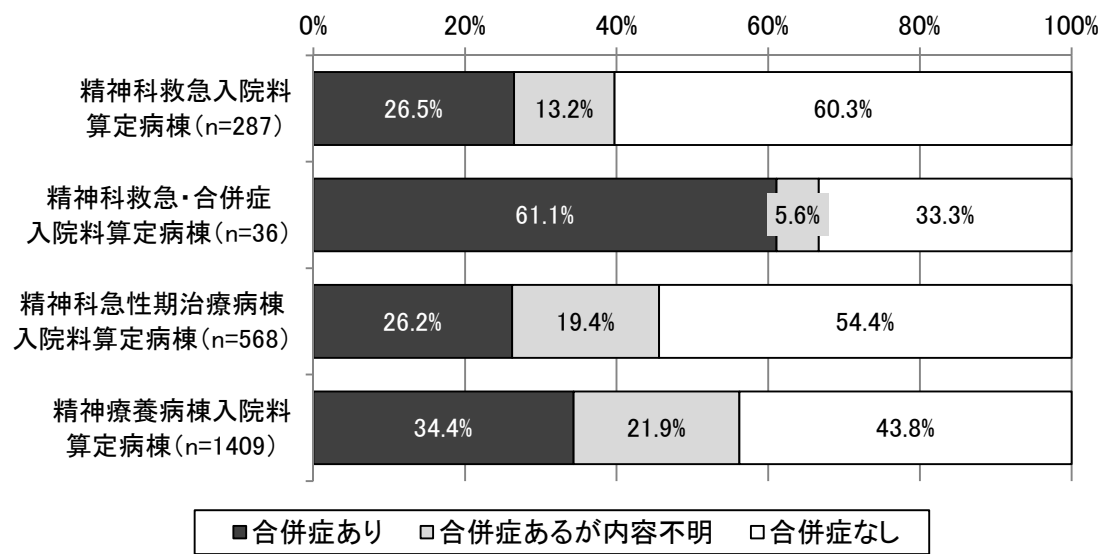
11) その他の精神疾患の傷病

図表 227 その他の精神疾患の傷病（複数回答、無回答者を除く）

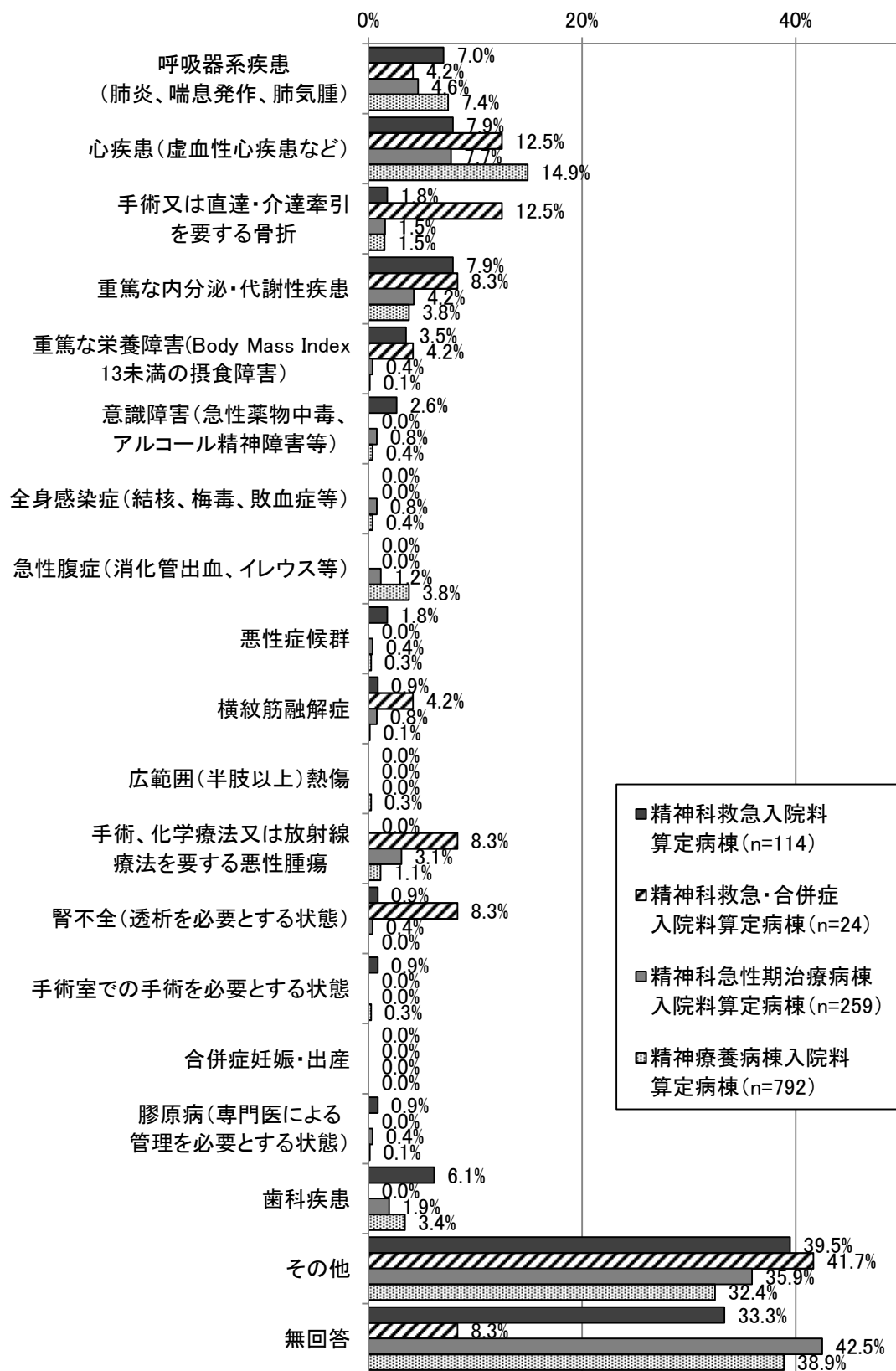


12) 身体合併症

図表 228 身体合併症の有無



図表 229 身体合併症の内容（身体合併症のある患者、複数回答）

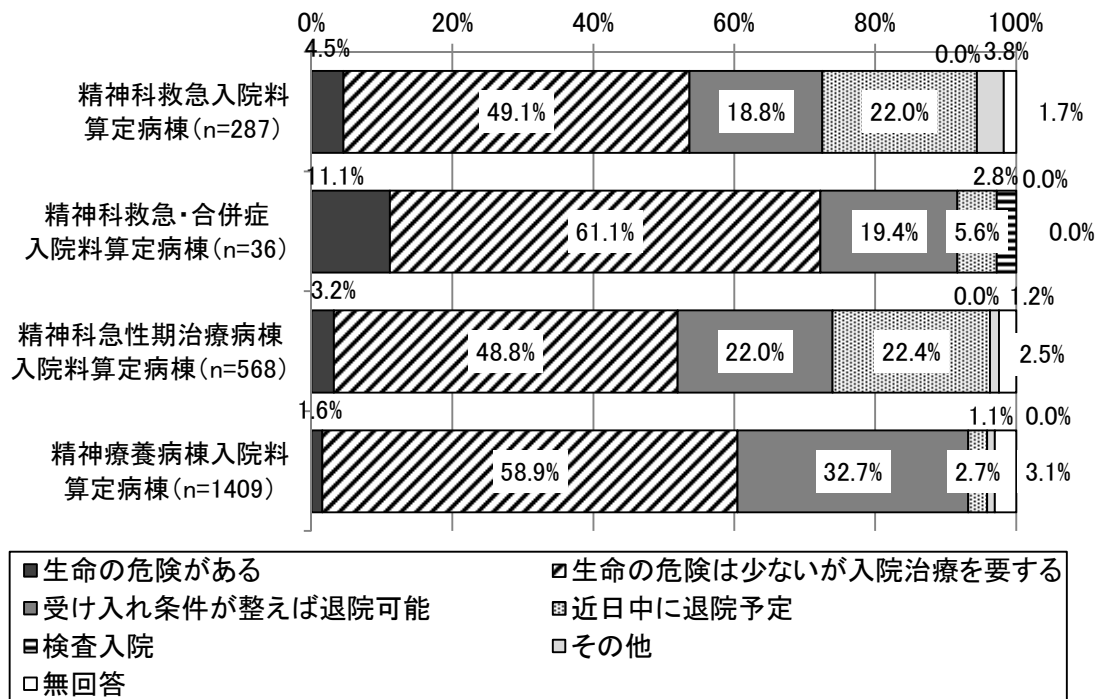


(注)「その他」の内容として、「糖尿病」(同旨含め 58 件)、「高血圧」(同旨含め 41 件)、「パーキンソン病」(同旨含め 11 件)、「高脂血症」(同旨含め 9 件)等が挙げられた。

③患者の状態等

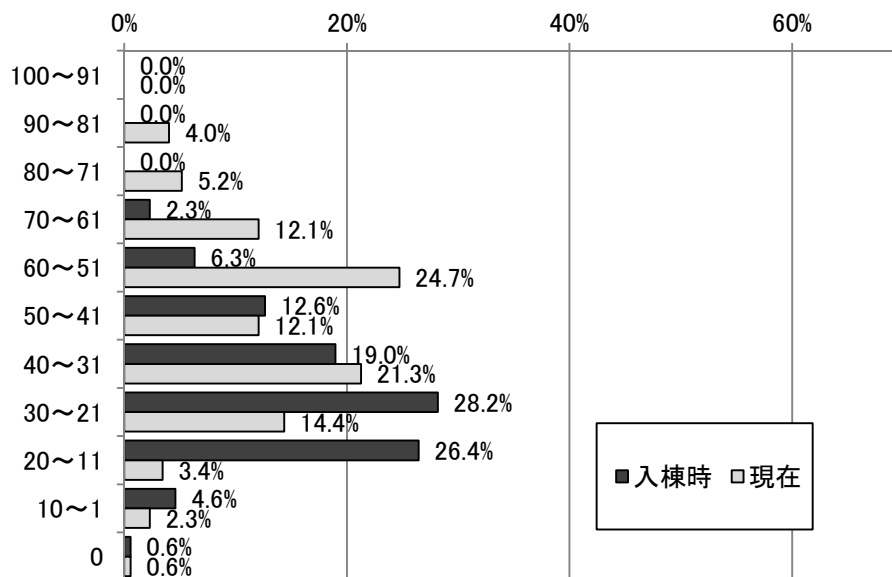
1) 症状の程度

図表 230 症状の程度



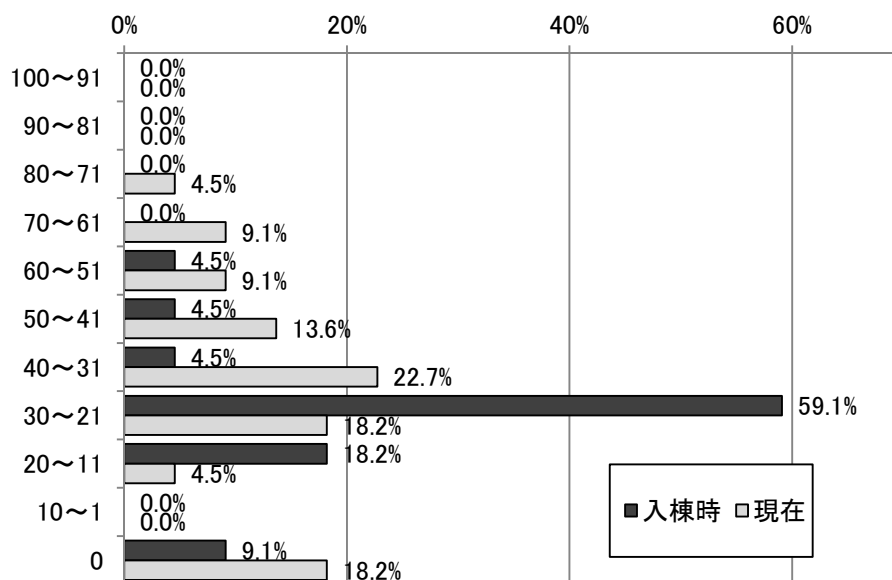
2) GAF スコア

図表 231 GAF スコア（精神科救急入院料算定病棟）
（無回答者を除く、n=174）



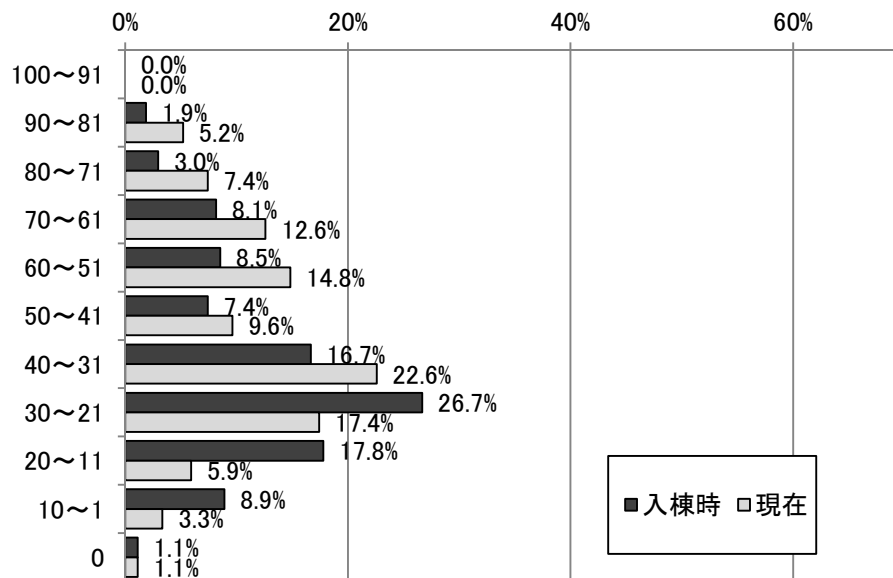
（注）入棟時と現在の両方で回答のあった 174 人を集計対象とした。

図表 232 GAF スコア（精神科救急・合併症入院料算定病棟）
（無回答者を除く、n=22）



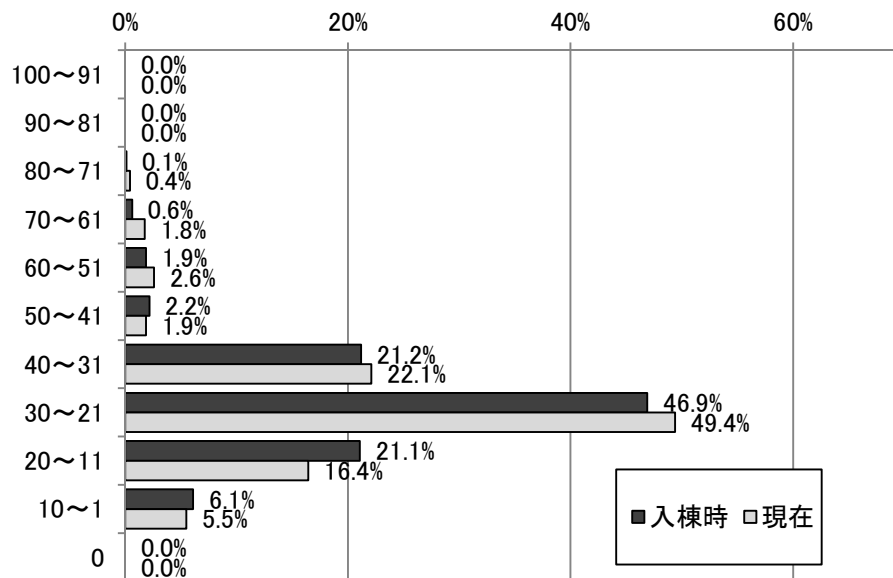
（注）入棟時と現在の両方で回答のあった 22 人を集計対象とした。

図表 233 GAF スコア（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟）
（無回答者を除く、n=270）



（注）入棟時と現在の両方で回答のあった 270 人を集計対象とした。

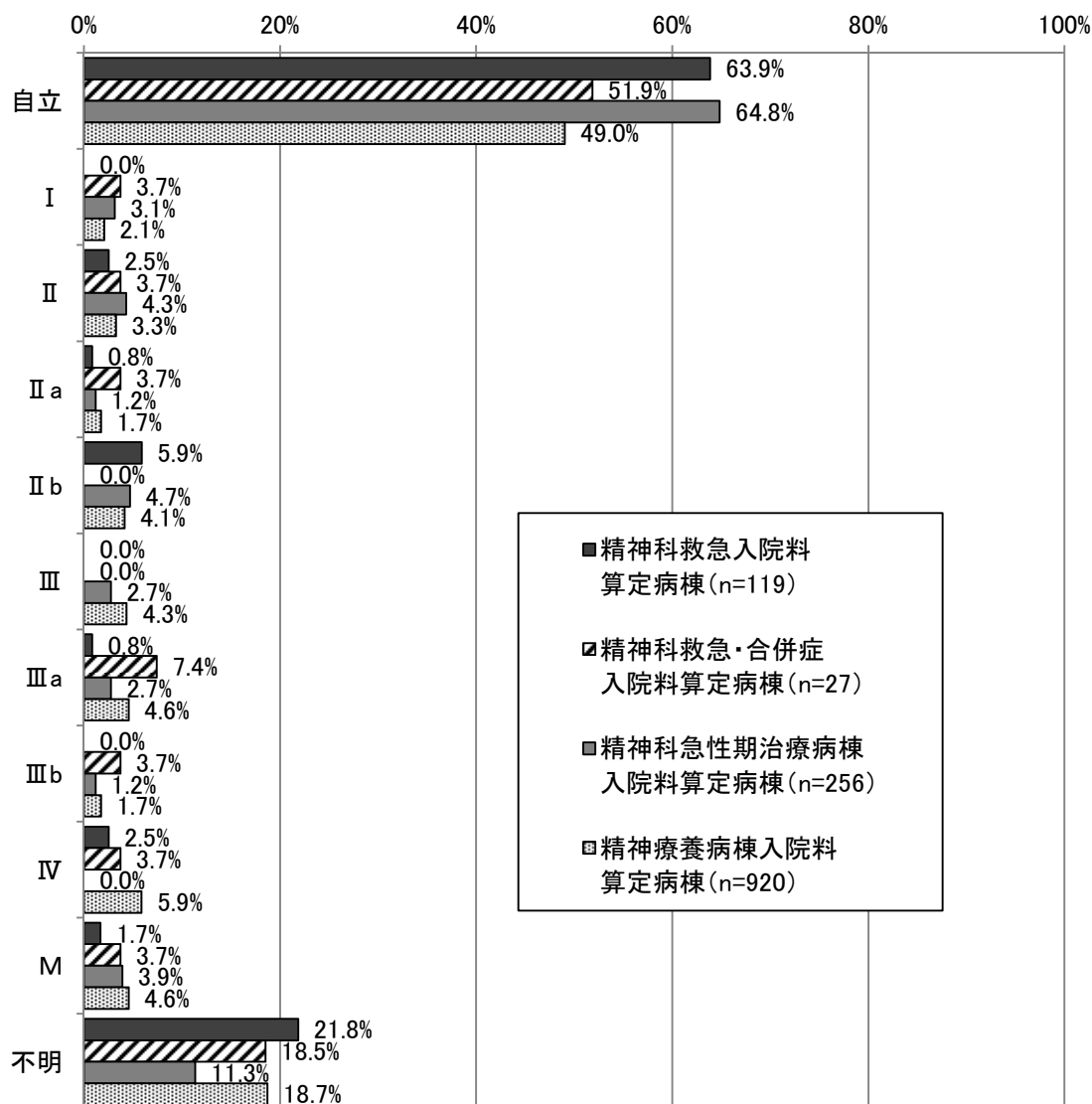
図表 234 GAF スコア（精神療養病棟入院料算定病棟）
（無回答者を除く、n=968）



（注）入棟時と現在の両方で回答のあった 968 人を集計対象とした。

3) 認知症高齢者の日常生活自立度

図表 235 認知症高齢者の日常生活自立度（単数回答、無回答者を除く）



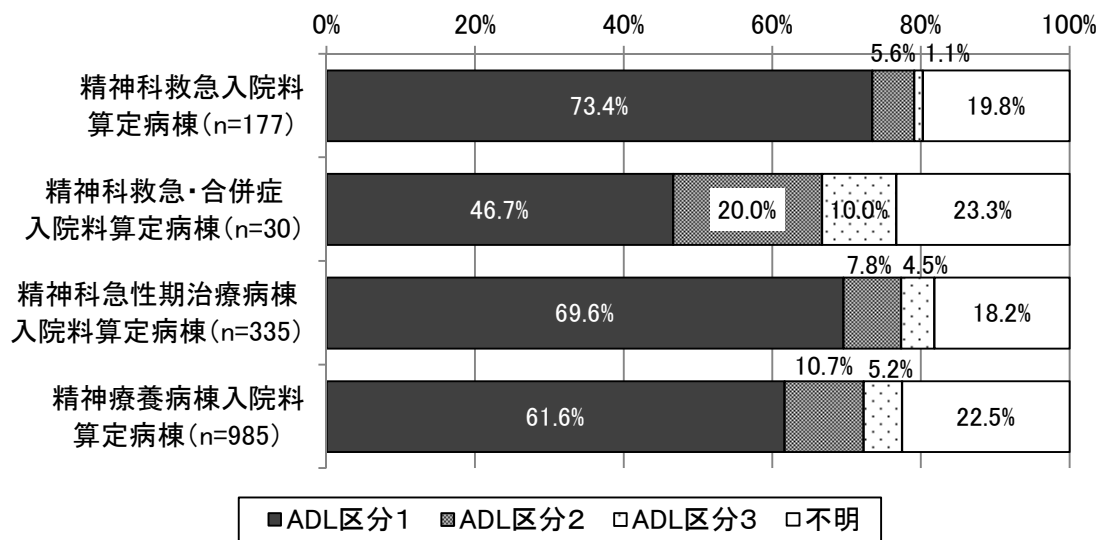
（注）認知症高齢者の日常生活自立度の判断基準は以下のとおり。

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応答や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	

Ⅲa	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない・時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
Ⅲb	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる。	ランクⅢaに同じ
Ⅳ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクⅢに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

4) ADL 区分

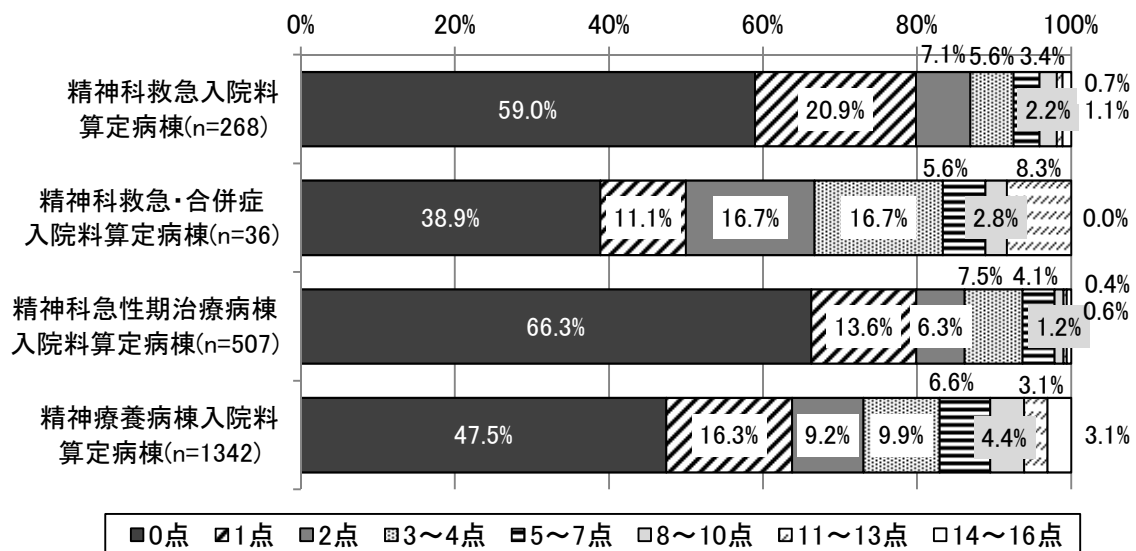
図表 236 ADL 区分（無回答者を除く）



(注) 診療報酬点数表の「別紙様式 2」に基づき、ADL 得点 0～10 点を ADL 区分 1、ADL 得点 11～22 点を ADL 区分 2、ADL 得点 23～24 点を ADL 区分 3 とした。

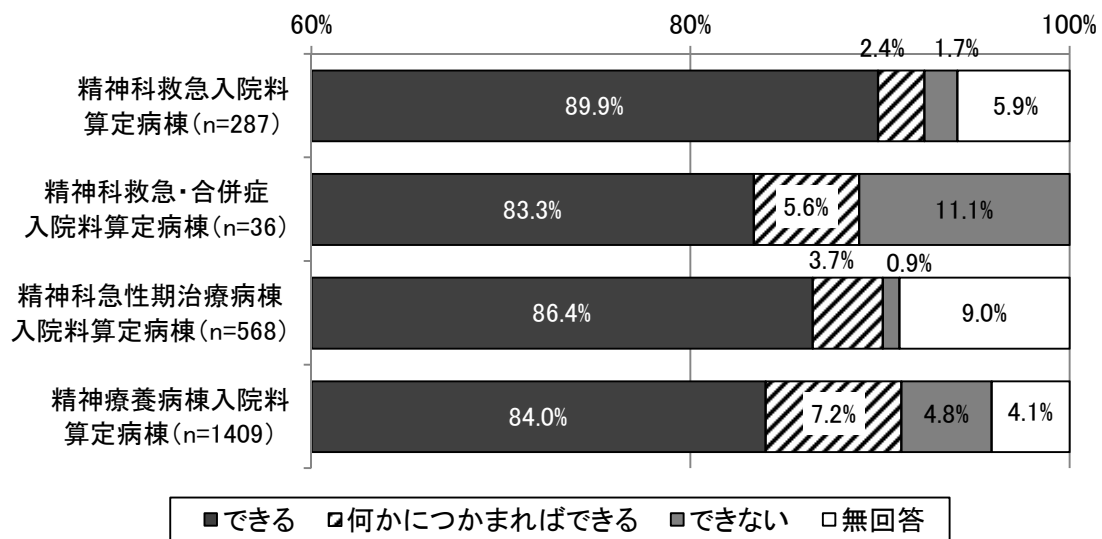
5) 患者の状況等

図表 237 患者の状況等（IADL の点数化）

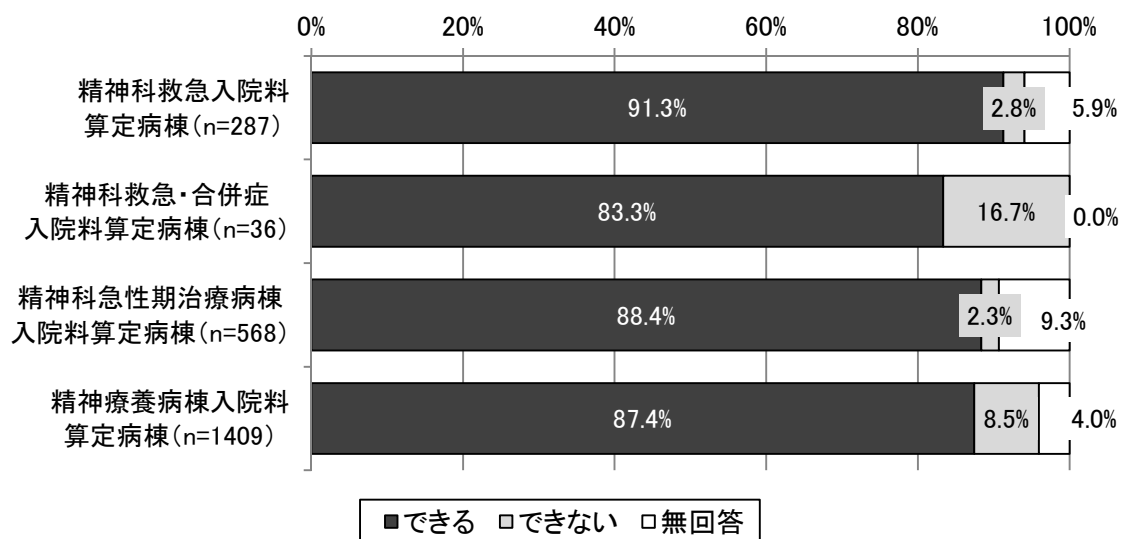


(注) ・寝返り、起き上がり、座位保持、移乗、口腔清潔、食事摂取、衣服の着脱、他者への意思伝達、診療・療養上の指示が通じる、危険行動への対応（過去 1 か月）の 10 項目について、診療報酬点数表の別紙様式 10「日常生活機能評価表」に基づき 0 点～16 点で点数化した。
・全 10 項目で回答のあった人を集計対象とした。

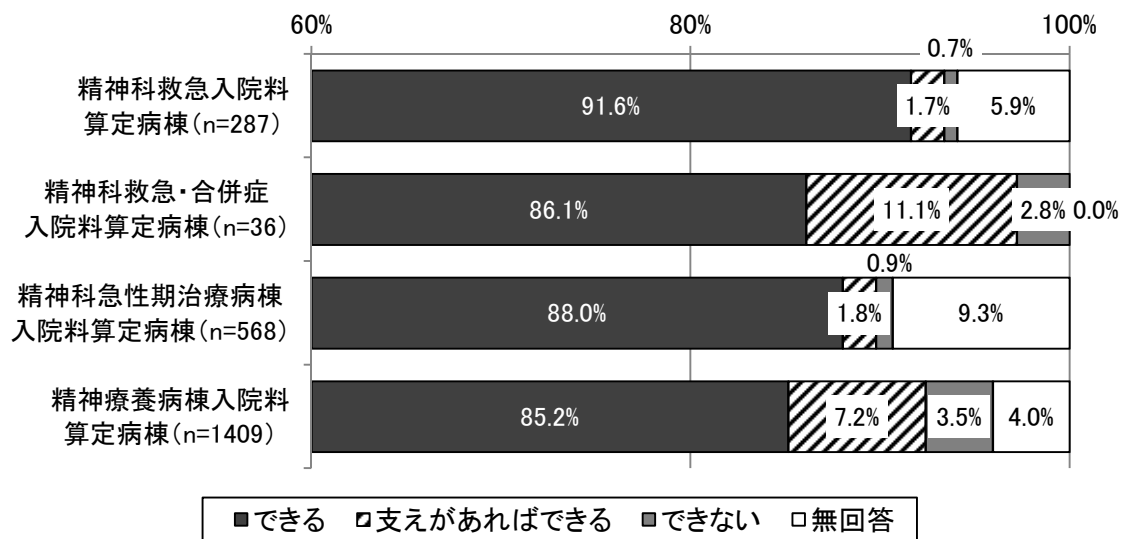
図表 238 患者の状況等～a. 寝返り～



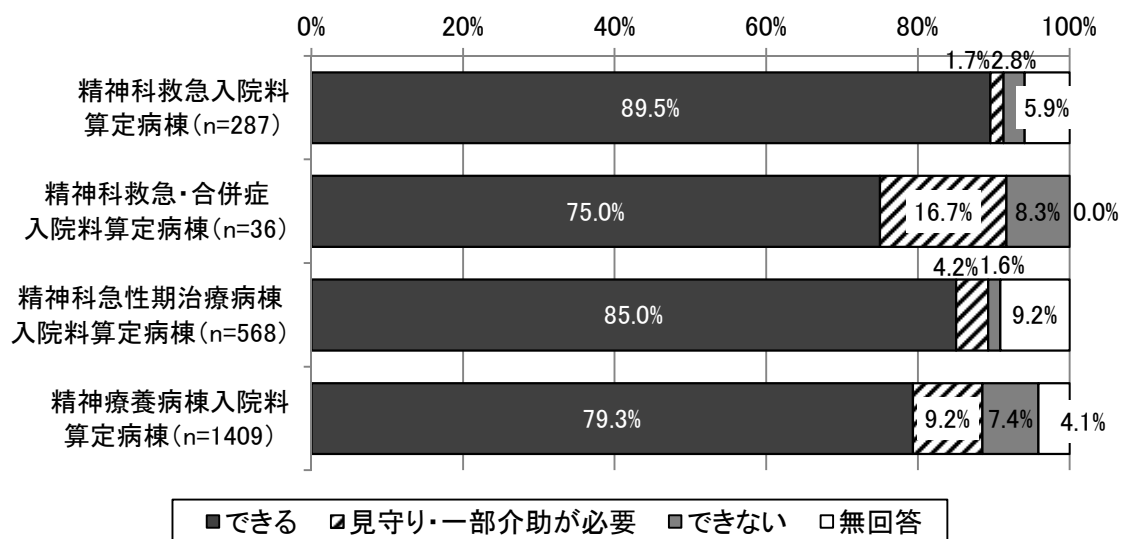
図表 239 患者の状況等～b. 起き上がり～



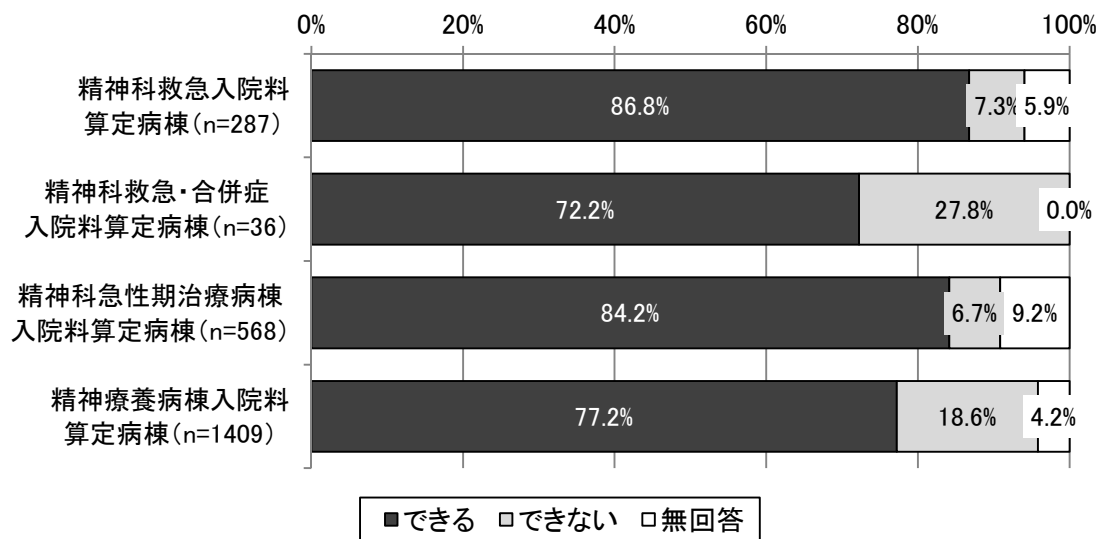
図表 240 患者の状況等～c. 座位保持～



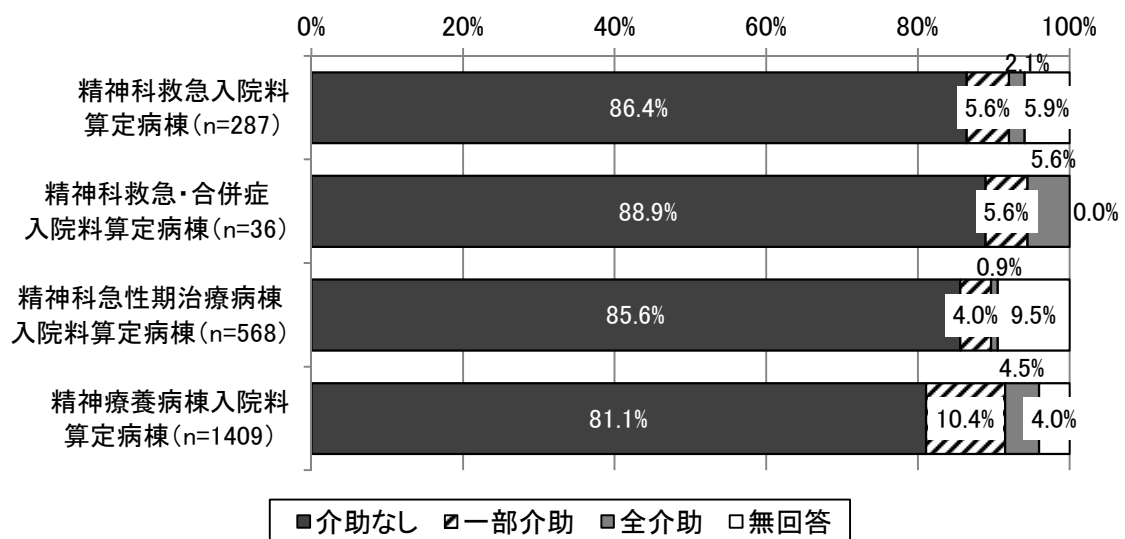
図表 241 患者の状況等～d. 移乗～



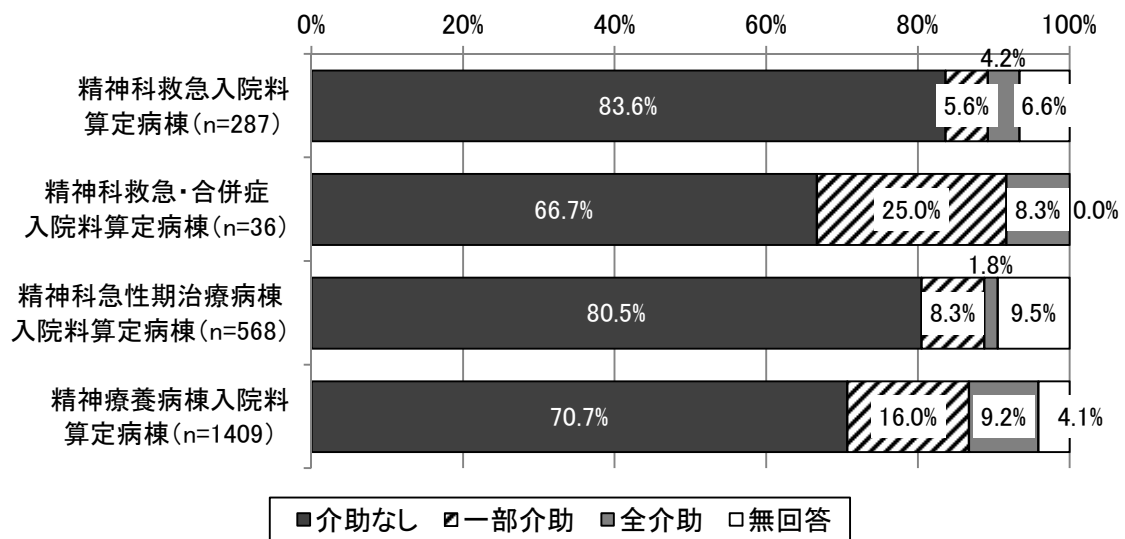
図表 242 患者の状況等～e. 口腔清潔～



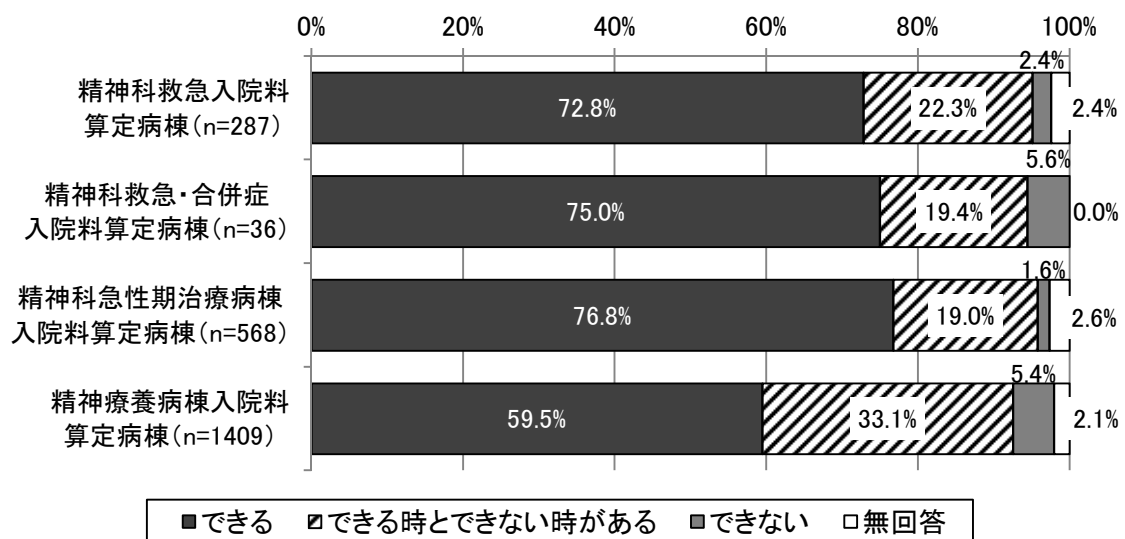
図表 243 患者の状況等～f. 食事摂取～



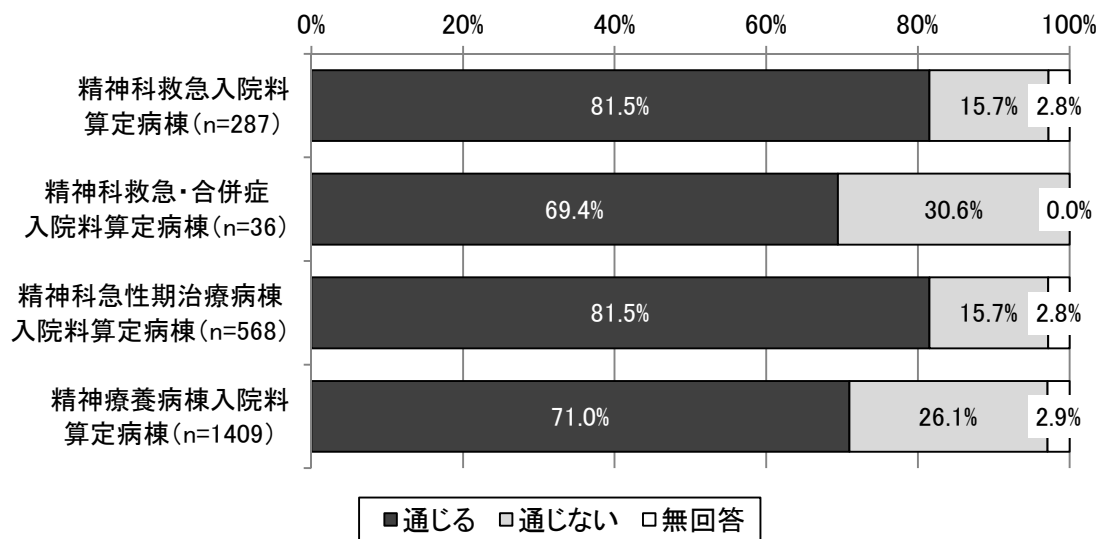
図表 244 患者の状況等～g. 衣服の着脱～



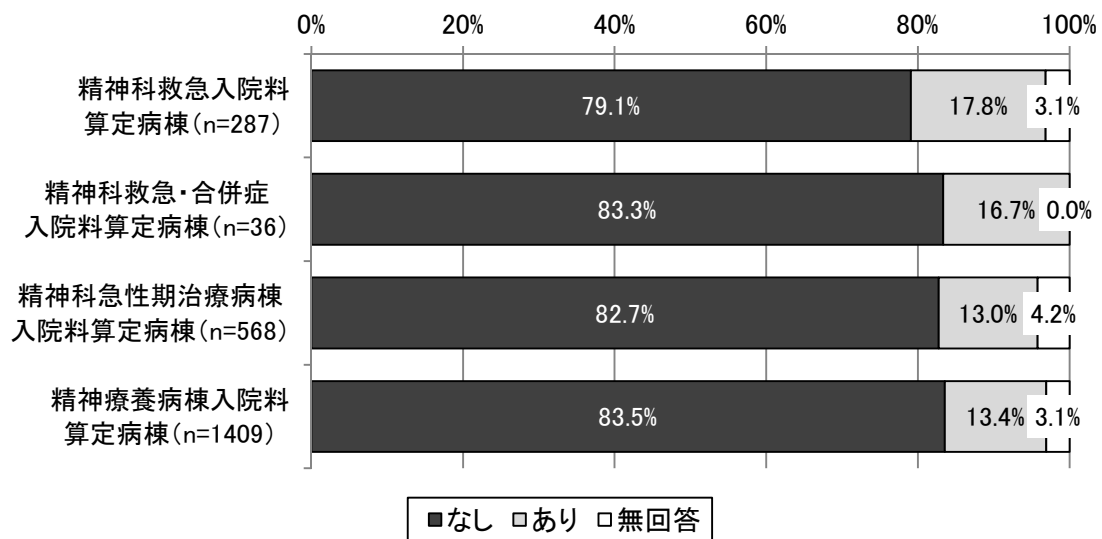
図表 245 患者の状態～a 他者への意思伝達～



図表 246 患者の状態～b 診療・療養上の指示が通じる～



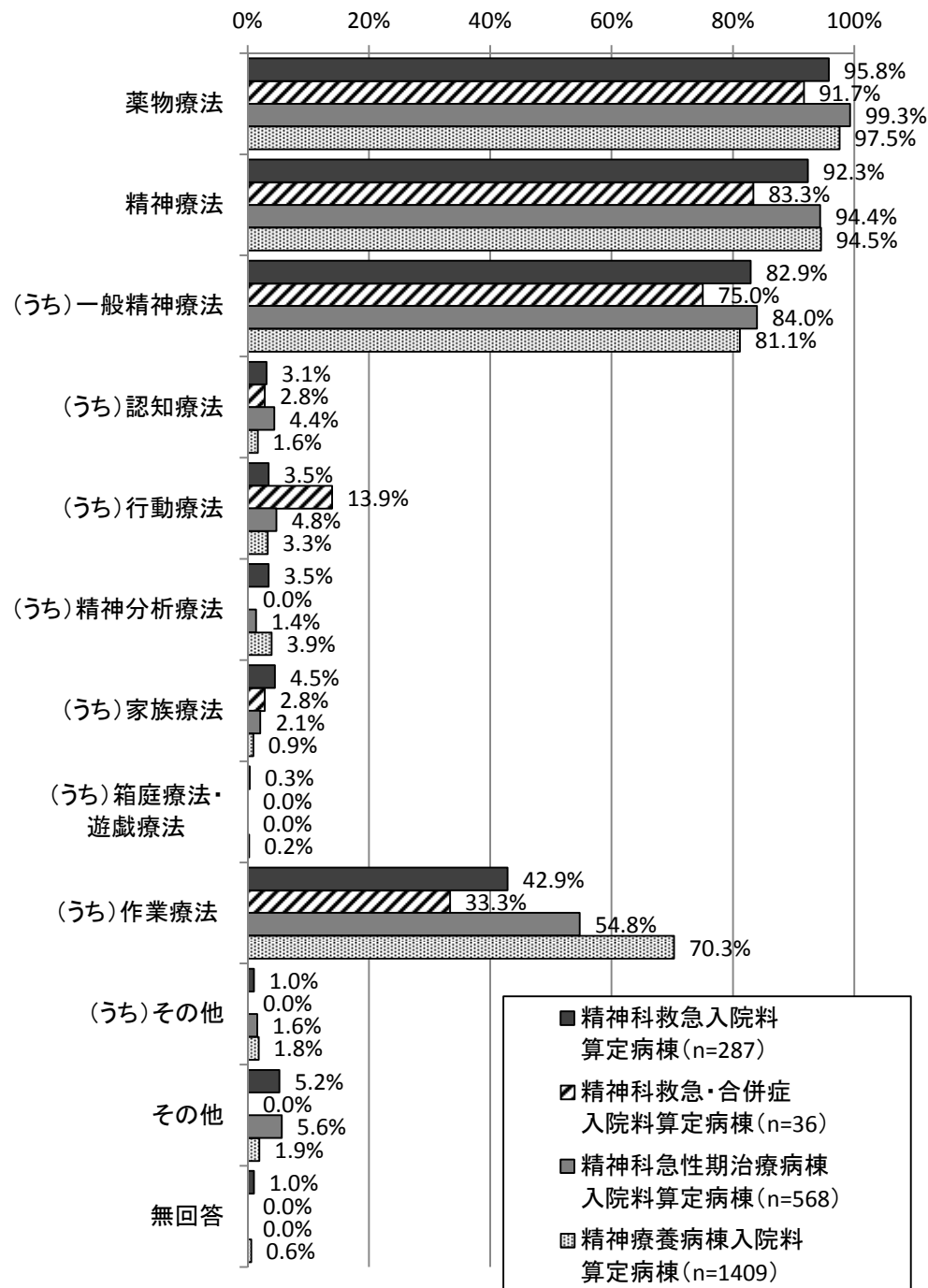
図表 247 患者の状態～c 危険行動への対応（過去 1 か月）～



④治療の状況

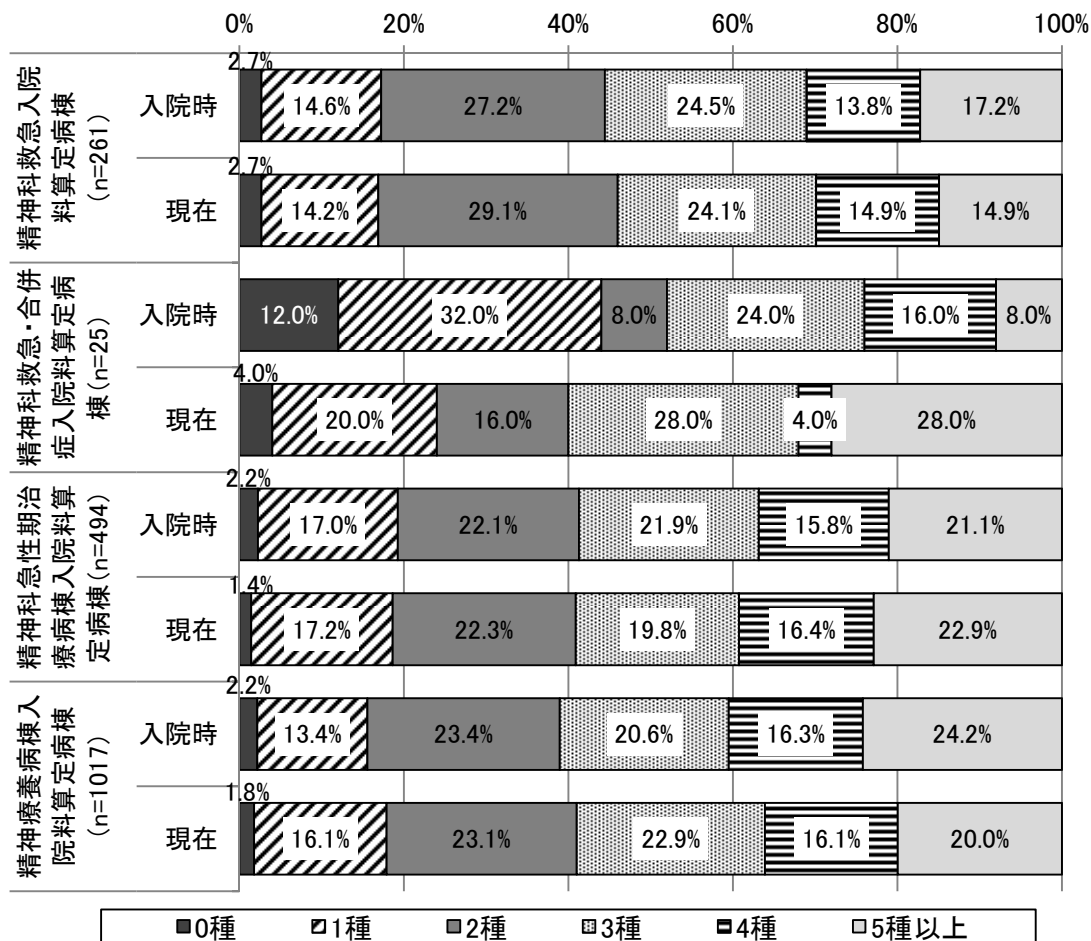
1) 主傷病に対して実施している診療内容

図表 248 主傷病に対して実施している診療内容（複数回答）



2) 向精神薬の処方内容

図表 249 薬物療法で使用している向精神薬の使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）



（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

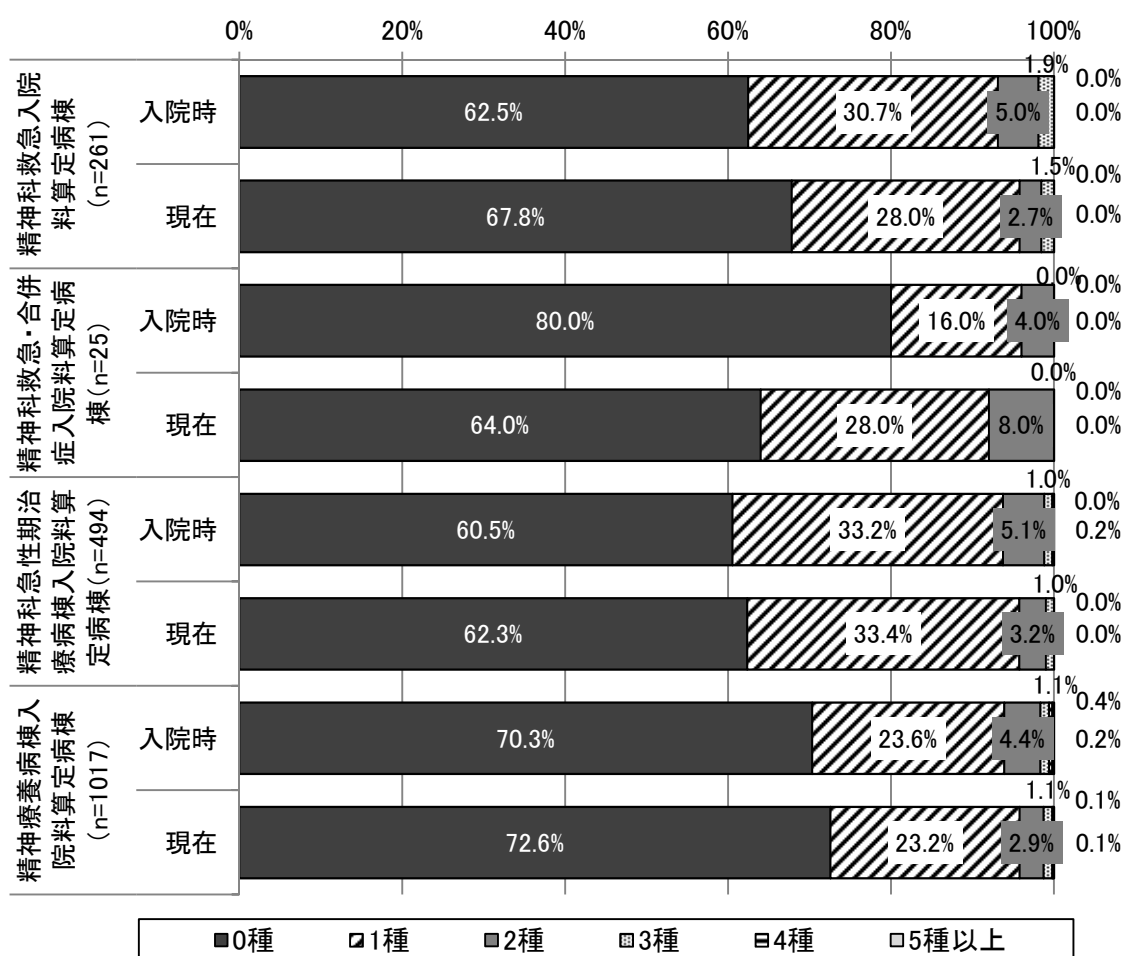
図表 250 薬物療法で使用している向精神薬の使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）

（単位：種類）

	入院時			現在		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病棟 (n=261)	2.93	1.59	3.00	2.89	1.54	3.00
精神科救急・合併症入院料算定病棟 (n=25)	2.32	1.73	2.00	3.04	1.81	3.00
精神科急性期治療病棟入院料算定病棟 (n=494)	3.22	2.15	3.00	3.24	2.04	3.00
精神療養病棟入院料算定病棟 (n=1017)	3.35	1.95	3.00	3.14	1.83	3.00

（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を対象とした。

図表 251 薬物療法で使用している抗不安薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）



（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

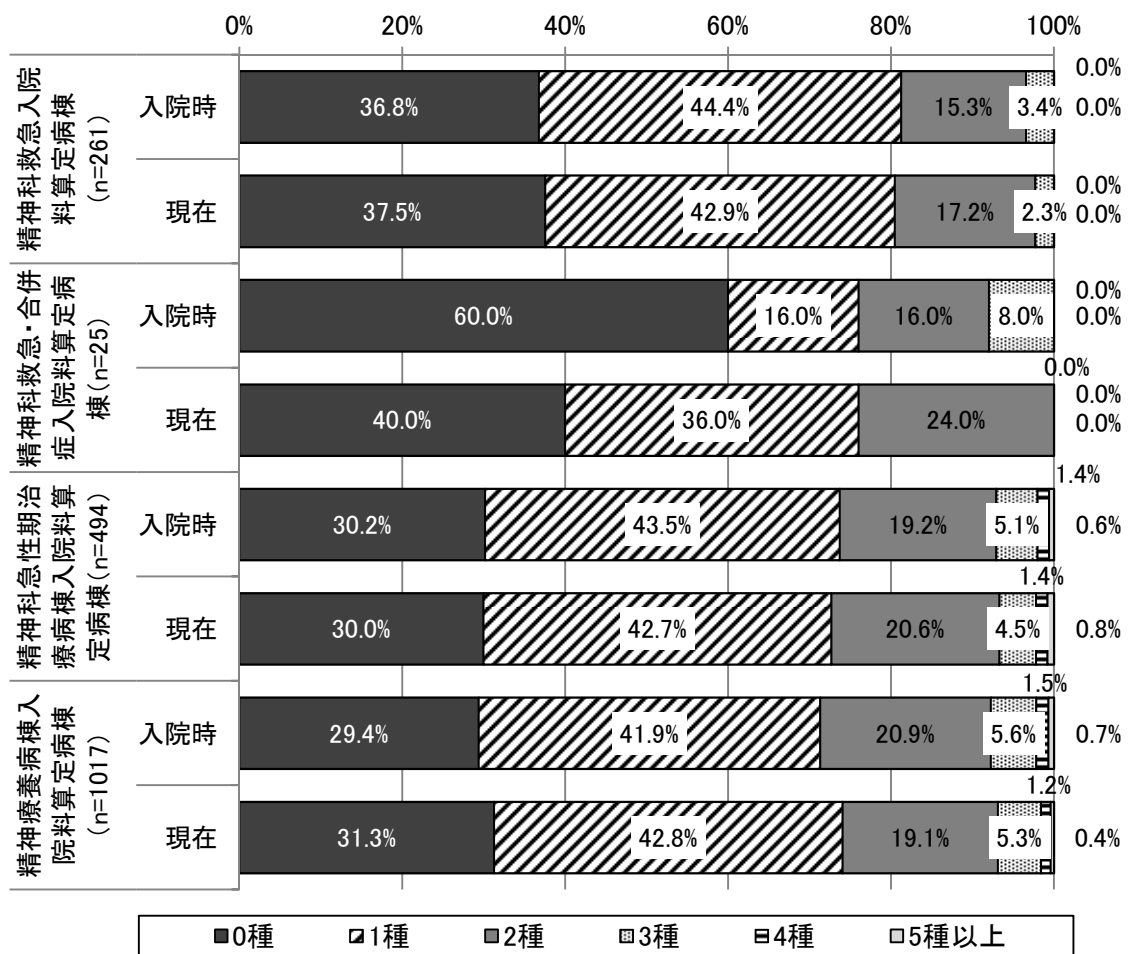
図表 252 薬物療法で使用している抗不安薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）

（単位：種類）

	入院時			現在		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病棟 (n=261)	0.46	0.68	0.00	0.38	0.62	0.00
精神科救急・合併症入院料算定病棟 (n=25)	0.24	0.52	0.00	0.44	0.65	0.00
精神科急性期治療病棟入院料算定病棟 (n=494)	0.47	0.67	0.00	0.43	0.61	0.00
精神療養病棟入院料算定病棟 (n=1017)	0.38	0.69	0.00	0.33	0.62	0.00

（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

図表 253 薬物療法で使用している睡眠薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）



（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

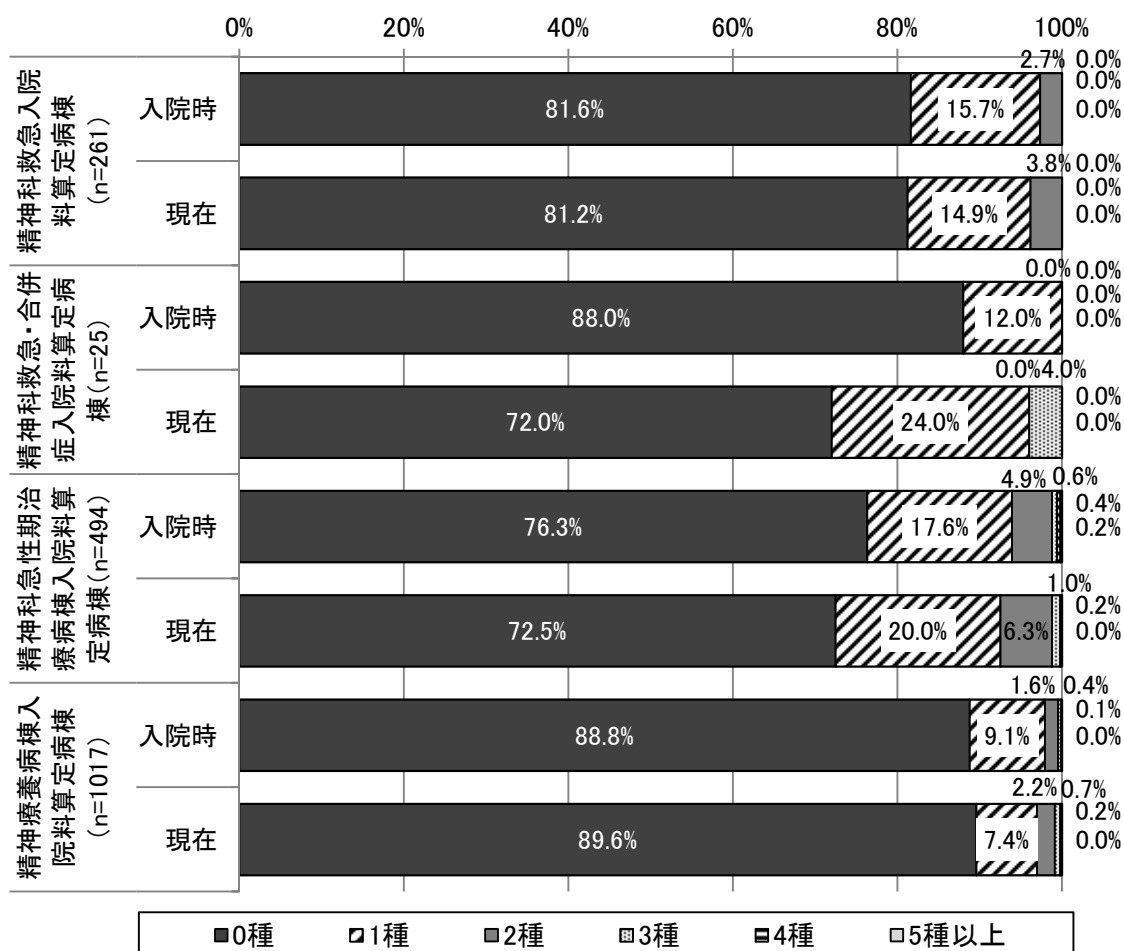
図表 254 薬物療法で使用している睡眠薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）

（単位：種類）

	入院時			現在		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病棟 (n=261)	0.85	0.80	1.00	0.84	0.79	1.00
精神科救急・合併症入院料算定病棟 (n=25)	0.72	1.02	0.00	0.84	0.80	1.00
精神科急性期治療病棟入院料算定病棟 (n=494)	1.07	1.06	1.00	1.08	1.03	1.00
精神療養病棟入院料算定病棟 (n=1017)	1.10	0.99	1.00	1.04	0.96	1.00

（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

図表 255 薬物療法で使用している抗うつ薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）



（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

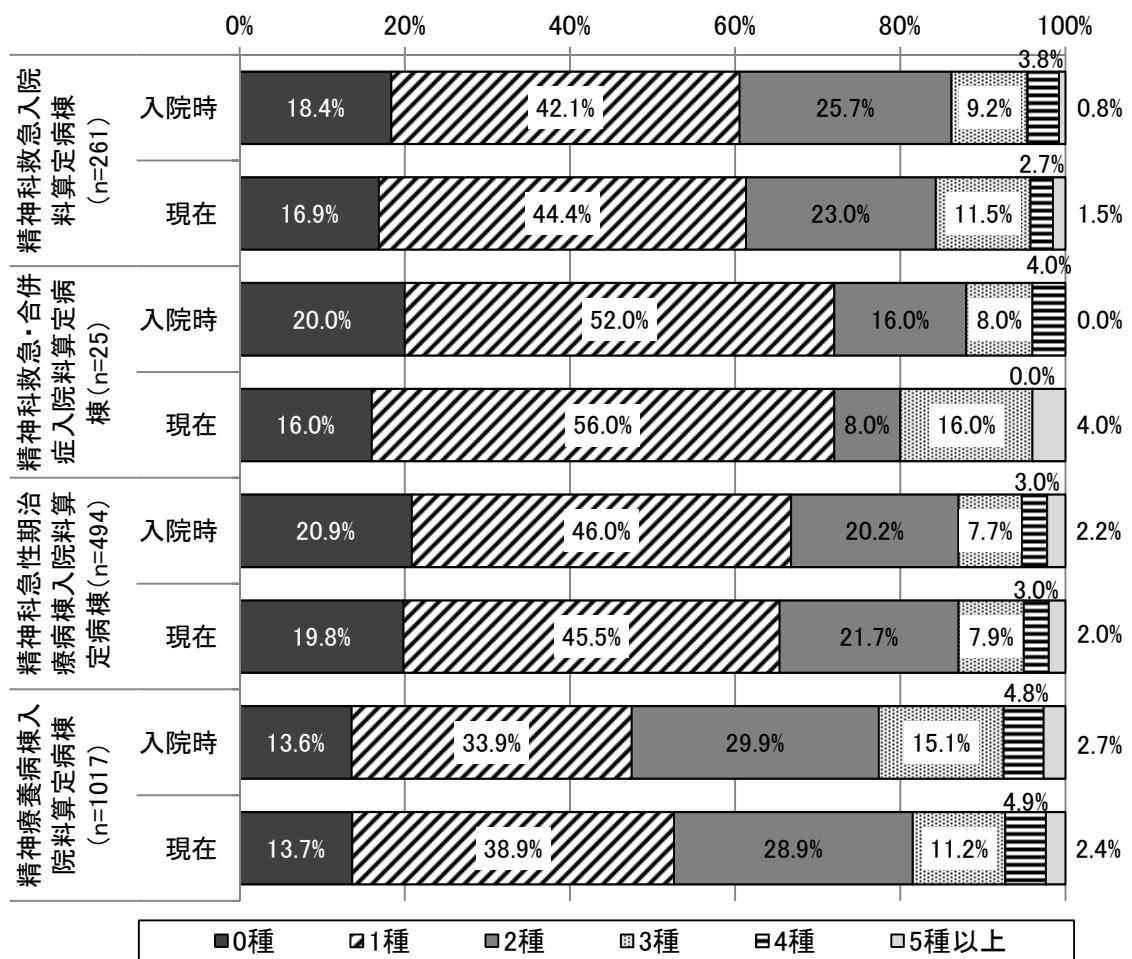
図表 256 薬物療法で使用している抗うつ薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）

（単位：種類）

	入院時			現在		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病棟 (n=261)	0.21	0.47	0.00	0.23	0.50	0.00
精神科救急・合併症入院料算定病棟 (n=25)	0.12	0.33	0.00	0.36	0.70	0.00
精神科急性期治療病棟入院料算定病棟 (n=494)	0.32	0.66	0.00	0.36	0.67	0.00
精神療養病棟入院料算定病棟 (n=1017)	0.14	0.43	0.00	0.15	0.48	0.00

（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

図表 257 薬物療法で使用している抗精神病薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）



（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

図表 258 薬物療法で使用している抗精神病薬使用数（入院時、現在）
（主傷病に対して薬物療法を行っている患者）

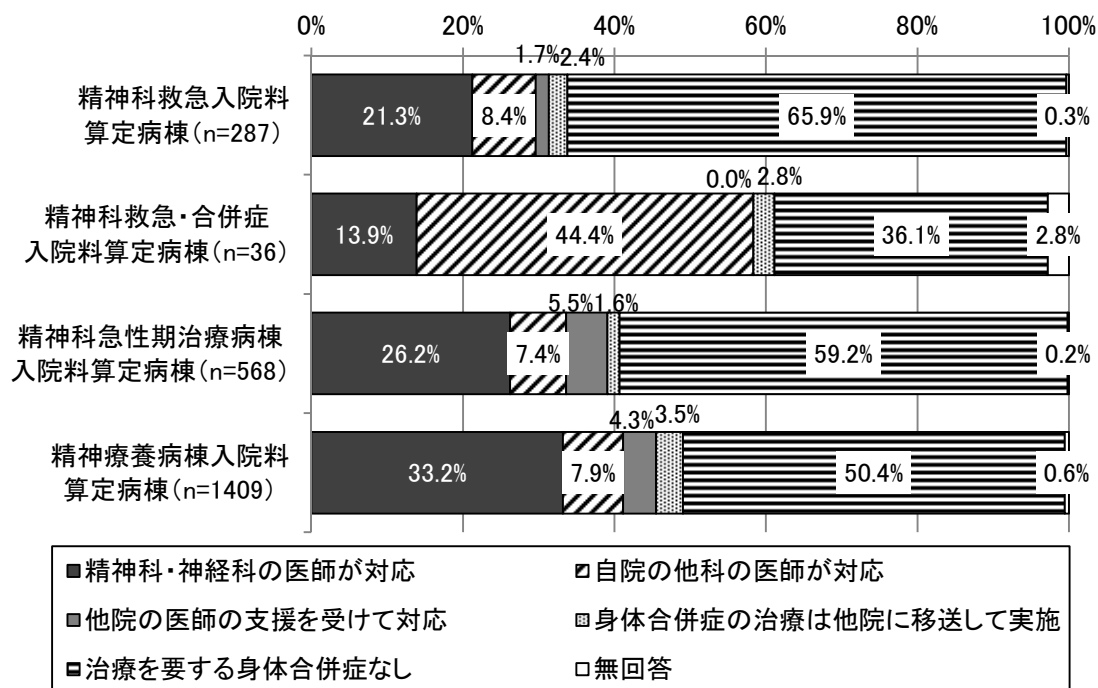
（単位：種類）

	入院時			現在		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病棟 (n=261)	1.40	1.06	1.00	1.44	1.09	1.00
精神科救急・合併症入院料算定病棟 (n=25)	1.24	1.01	1.00	1.40	1.19	1.00
精神科急性期治療病棟入院料算定病棟 (n=494)	1.35	1.21	1.00	1.37	1.21	1.00
精神療養病棟入院料算定病棟 (n=1017)	1.73	1.21	2.00	1.62	1.16	1.00

（注）入院時、現在の両方に回答のあった人を集計対象とした。

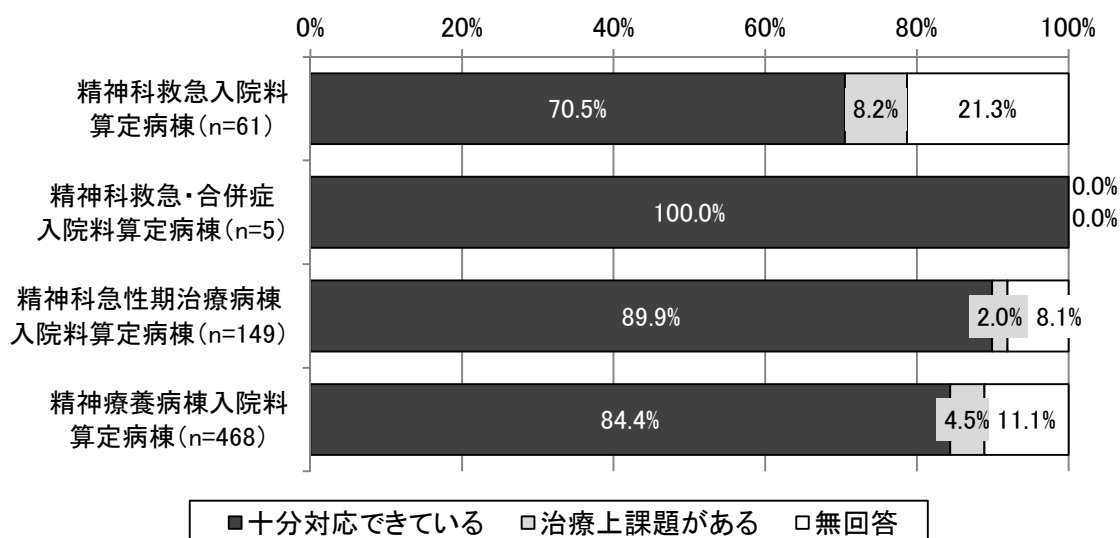
3) 身体合併症に対する対応状況

図表 259 身体合併症に対する対応状況（単数回答）

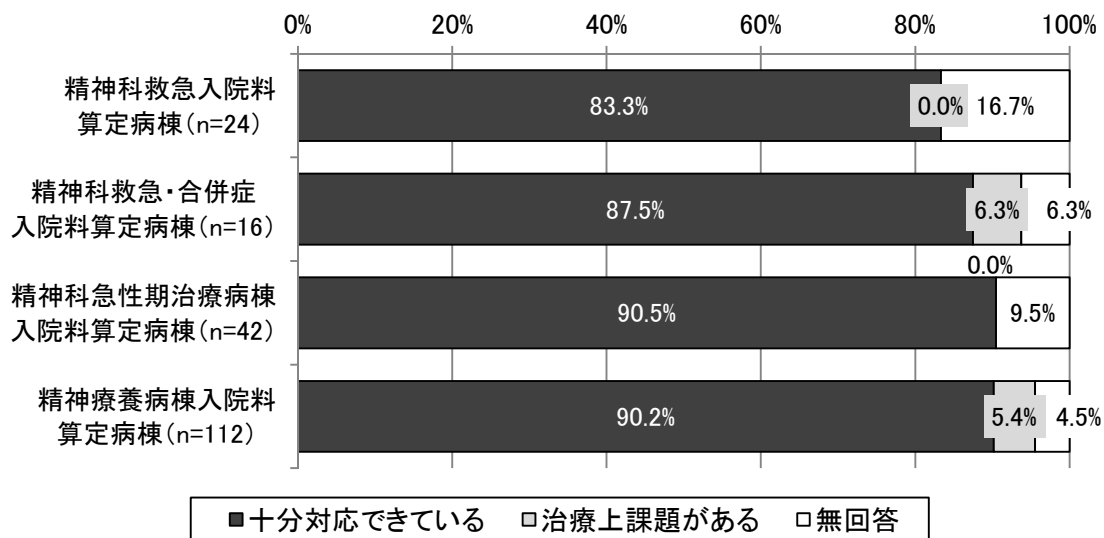


図表 260 身体合併症に対する対応状況の評価

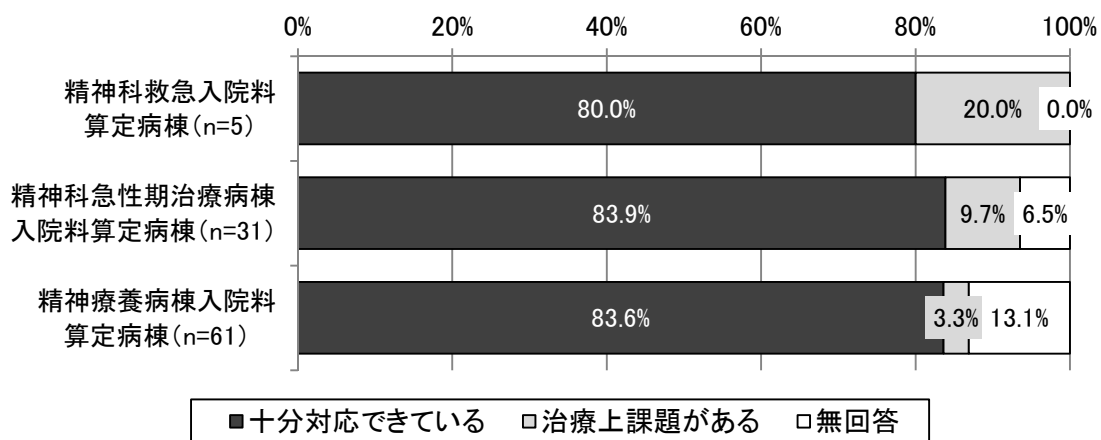
～精神科・神経科の医師が対応～（精神科・神経科の医師が対応した患者）



図表 261 身体合併症に対する対応状況の評価
～自院の他科の医師が対応～（自院の他科の医師が対応した患者）

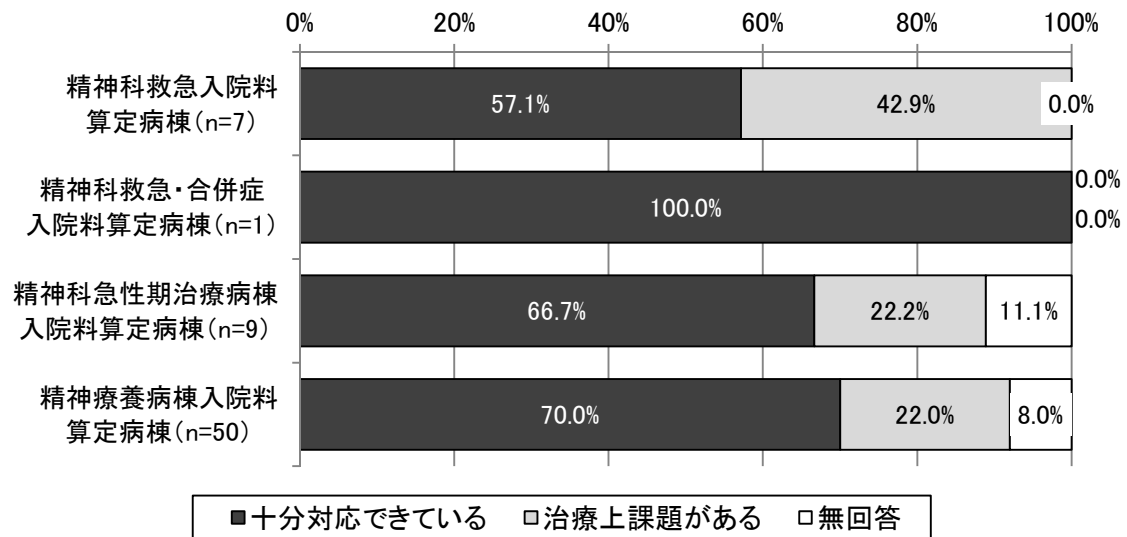


図表 262 身体合併症に対する対応状況の評価
～他院の医師の支援を受けて対応～（他院の医師の支援を受けて対応した患者）



（注）精神科救急・合併症入院料算定病棟は他院の医師の支援を受けて対応した患者は0人であった。

図表 263 身体合併症に対する対応状況の評価
～身体合併症の治療は他院に移送して実施～
(身体合併症の治療は他院に移送して実施した患者)

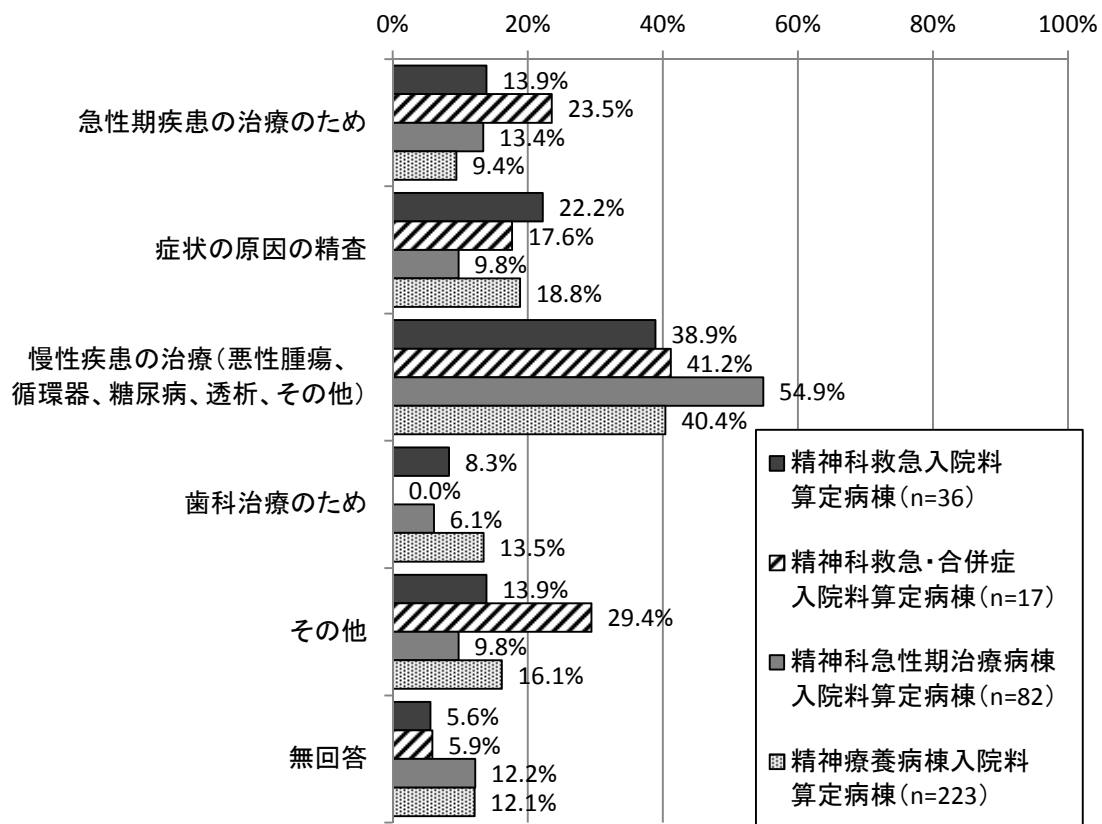


図表 264 身体合併症について他の科が診療した回数
(身体合併症の治療に精神科・神経科の医師以外が対応した患者)

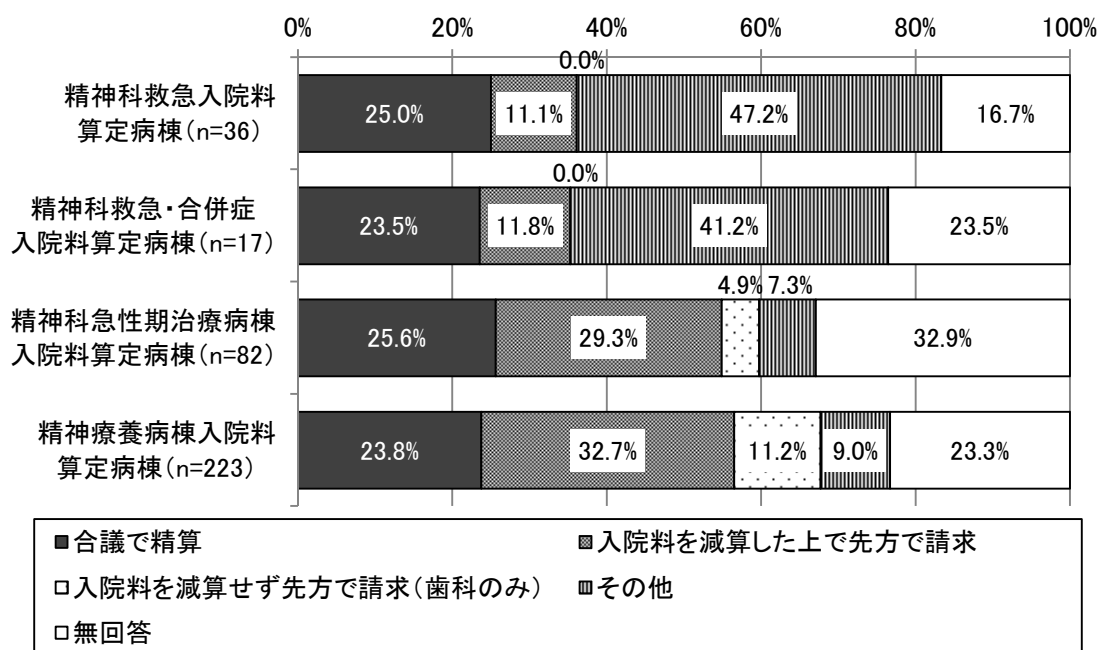
(回)

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
精神科救急入院料算定病棟	31	2.4	2.5	2.0
精神科救急・合併症入院料算定病棟	17	2.0	1.5	1.0
精神科急性期治療病棟入院料算定病棟	65	2.0	2.3	1.0
精神療養病棟入院料算定病棟	191	1.5	1.6	1.0

図表 265 身体合併症について他の科が診療した目的
(身体合併症の治療に精神科・神経科の医師以外が対応した患者)



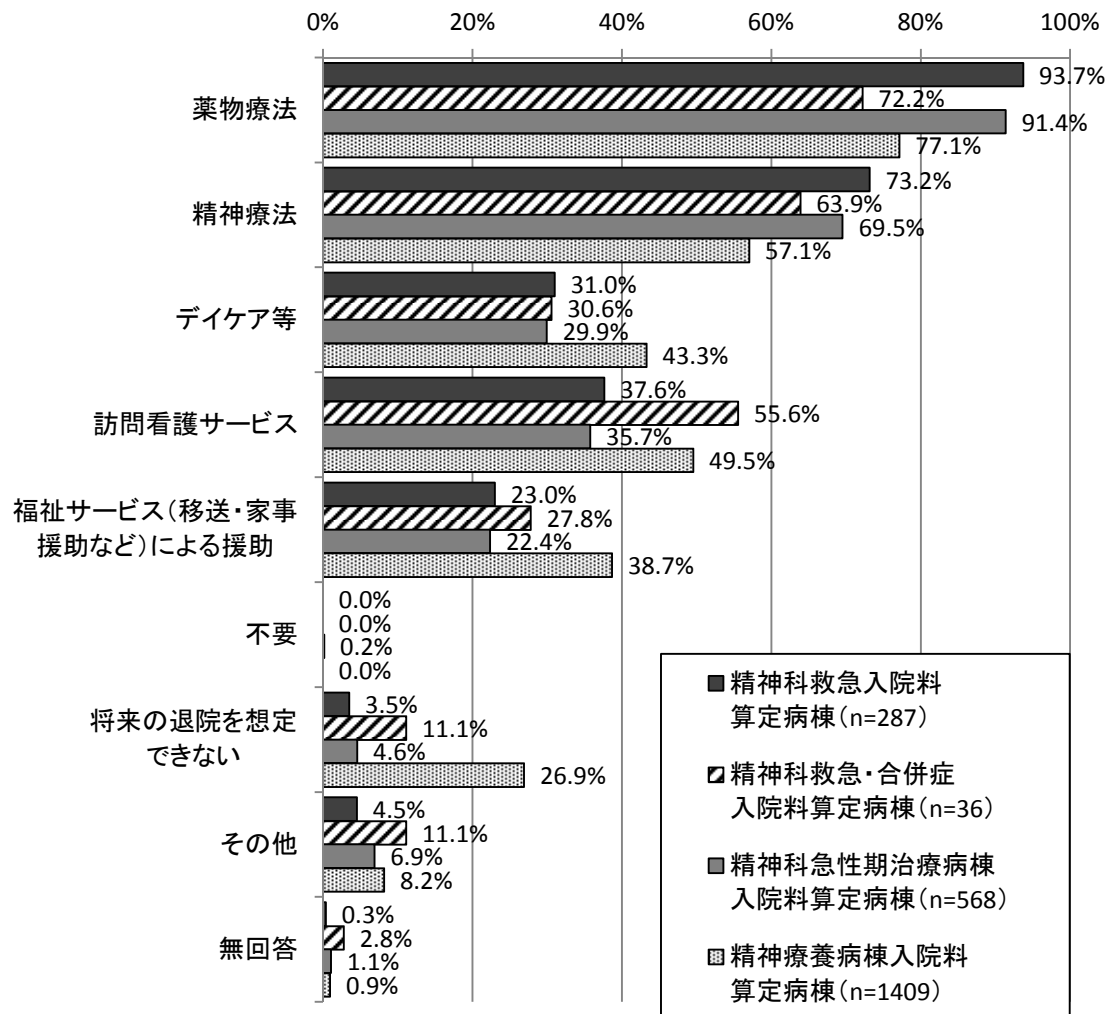
図表 266 身体合併症について費用の請求方法
(身体合併症の治療に精神科・神経科の医師以外が対応した患者)



⑤患者の社会的状況と退院の見通し

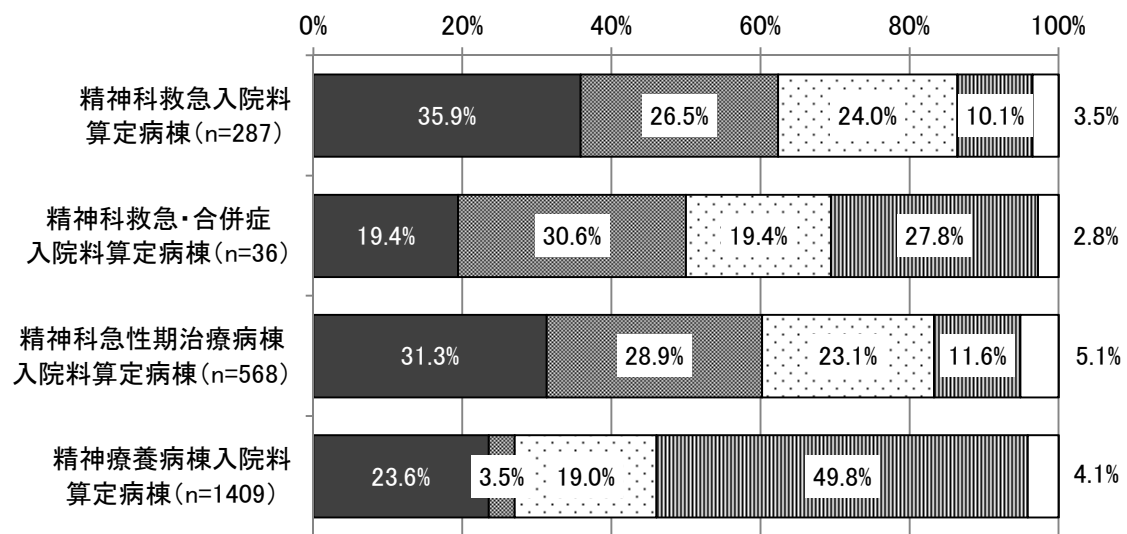
1) 退院後に生活を継続するために必要な支援

図表 267 退院後に生活を継続するために必要な支援（複数回答）



2) 退院の見通し

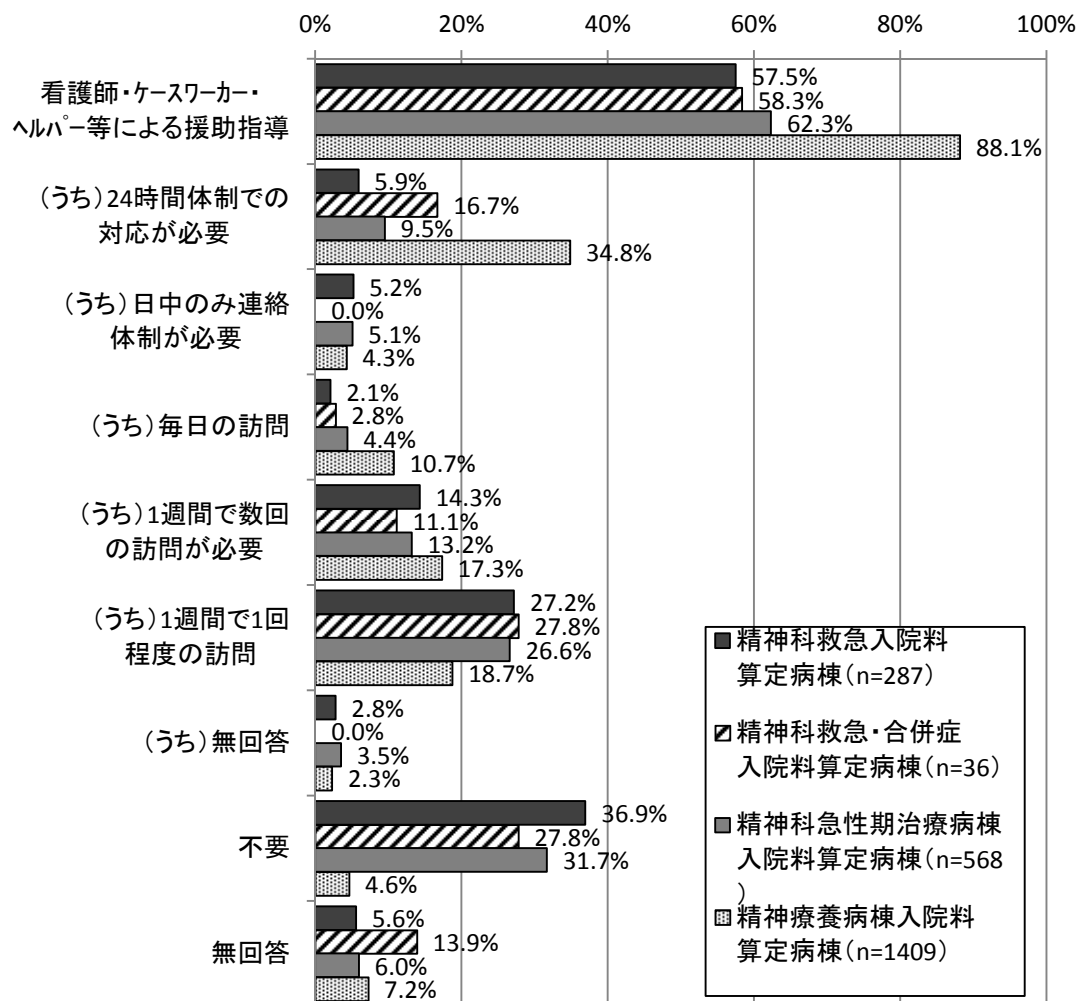
図表 268 退院の見通し



- 現在の状態でも在宅サービスの支援体制が整えば退院可能
- 在宅サービスの支援体制が新たに整わずとも近い将来退院可能
- 在宅サービスの支援体制が整えば近い将来に退院可能
- 状態の改善が見込まれず将来の退院を見込めない
- 無回答

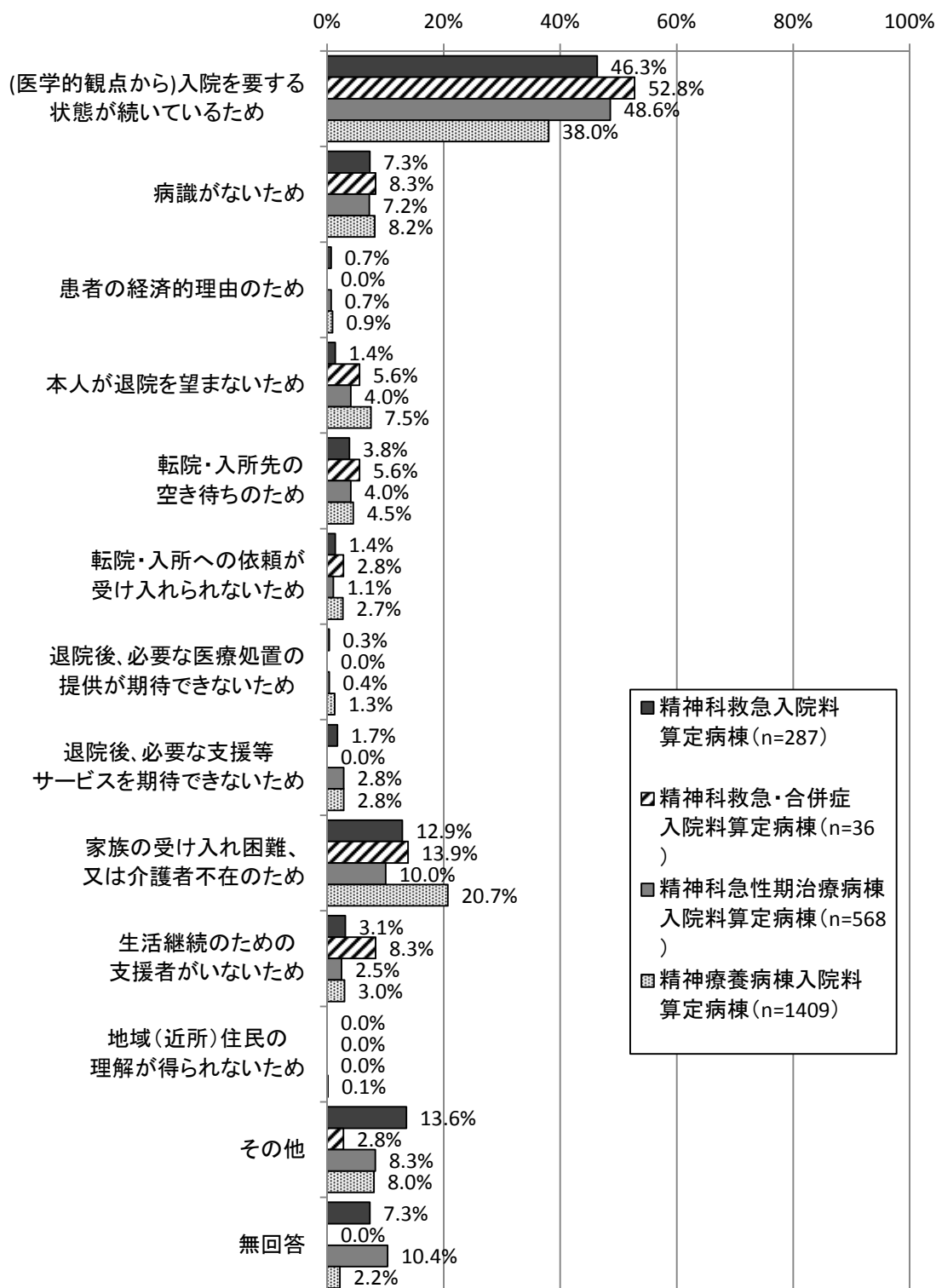
3) 退院した場合の支援として重要なもの

図表 269 退院した場合の支援として重要なもの（単数回答）



4) 現在退院できない場合の理由

図表 270 現在退院できない最大の理由（単数回答）

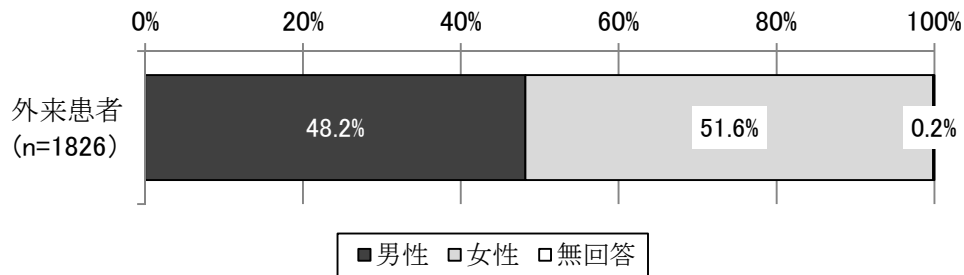


(2) 外来患者

①患者の基本的事項

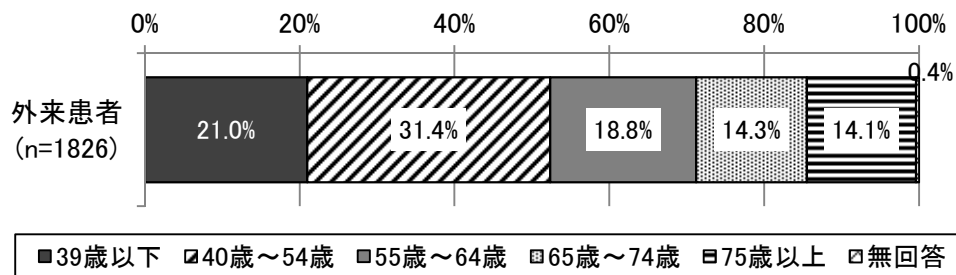
1) 性別

図表 271 性別



2) 年齢

図表 272 年齢階級別分布

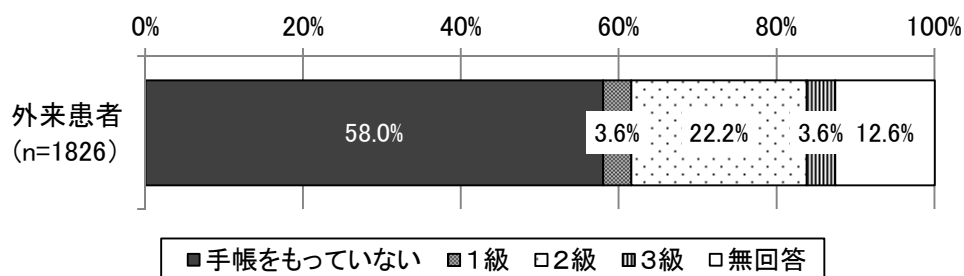


図表 273 年齢

	人数(人)	平均値	標準偏差	中央値
年齢(歳)	1819	54.0	17.4	53.0

3) 精神障害者福祉手帳

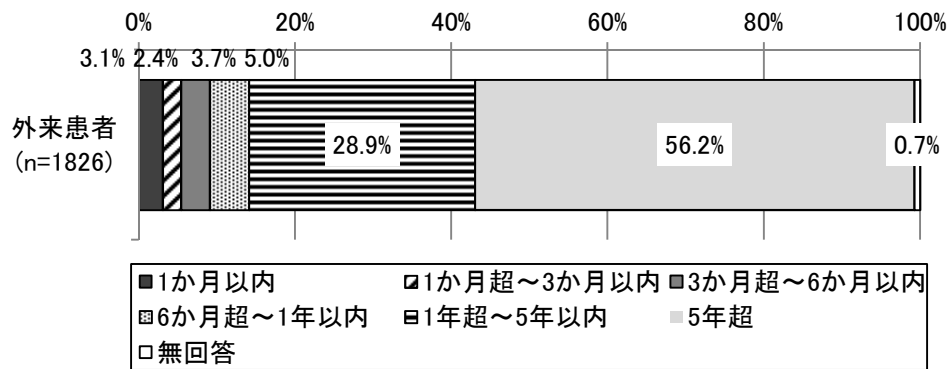
図表 274 精神障害者福祉手帳



②精神療法開始前後の状況

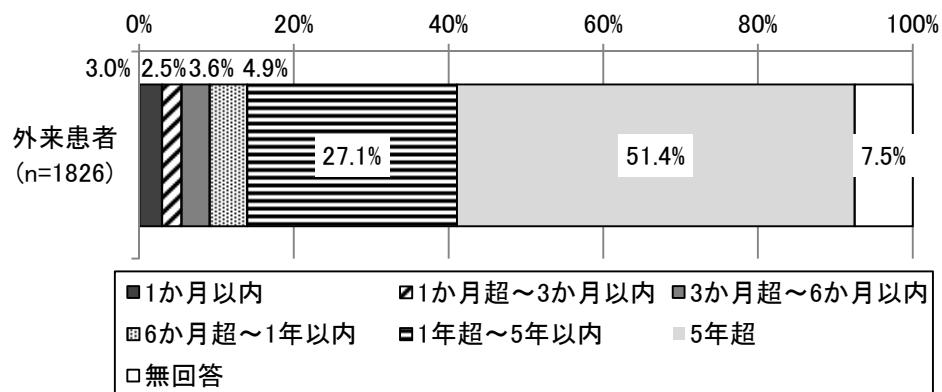
1) 通院開始日からの期間

図表 275 通院開始日からの期間



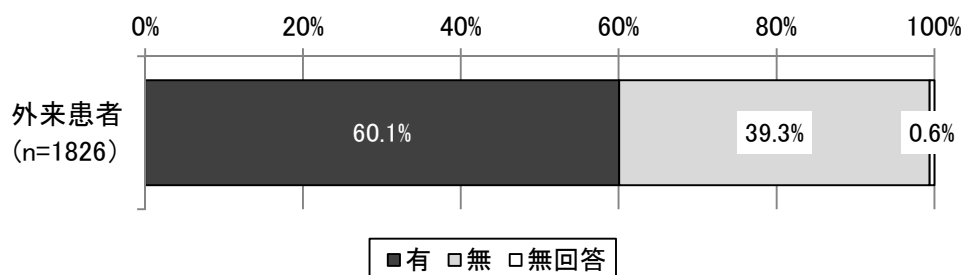
2) 精神療法開始日からの期間

図表 276 精神療法開始日からの期間



3) 精神科での入院

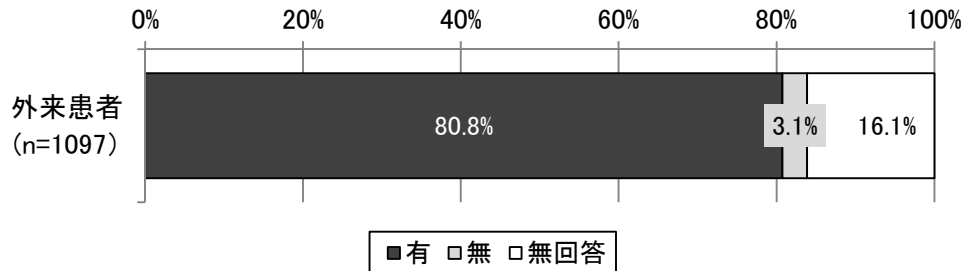
図表 277 精神科での入院の有無



図表 278 過去 2 年間における通算入院回数 (n=1053)

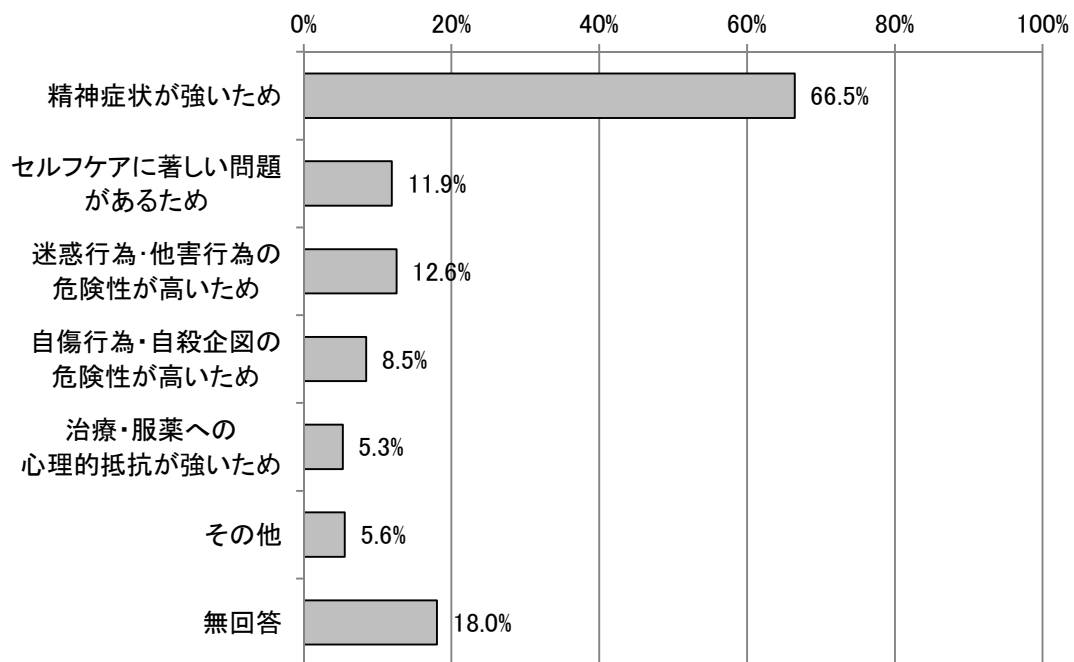
	平均値	標準偏差	中央値
過去 2 年間における通算入院回数(回)	0.89	1.85	1.00

図表 279 入院中の精神療法等実施の有無



4) 直近の入院の理由

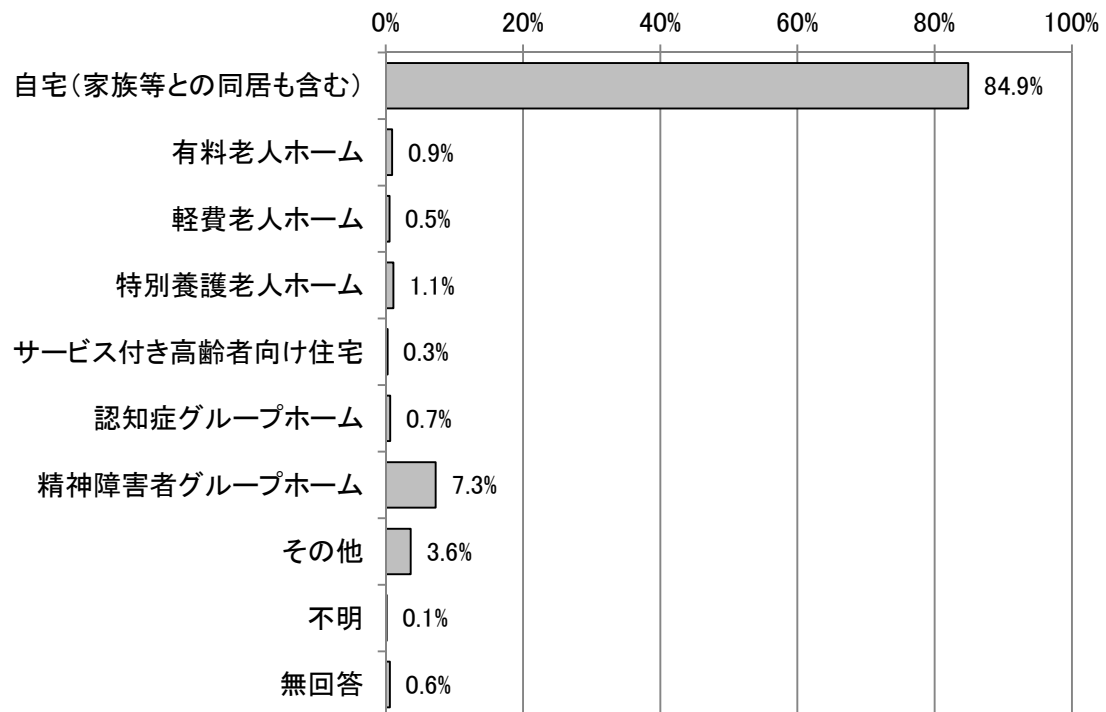
図表 280 直近の入院の理由 (複数回答、n=1097)



③患者の現況

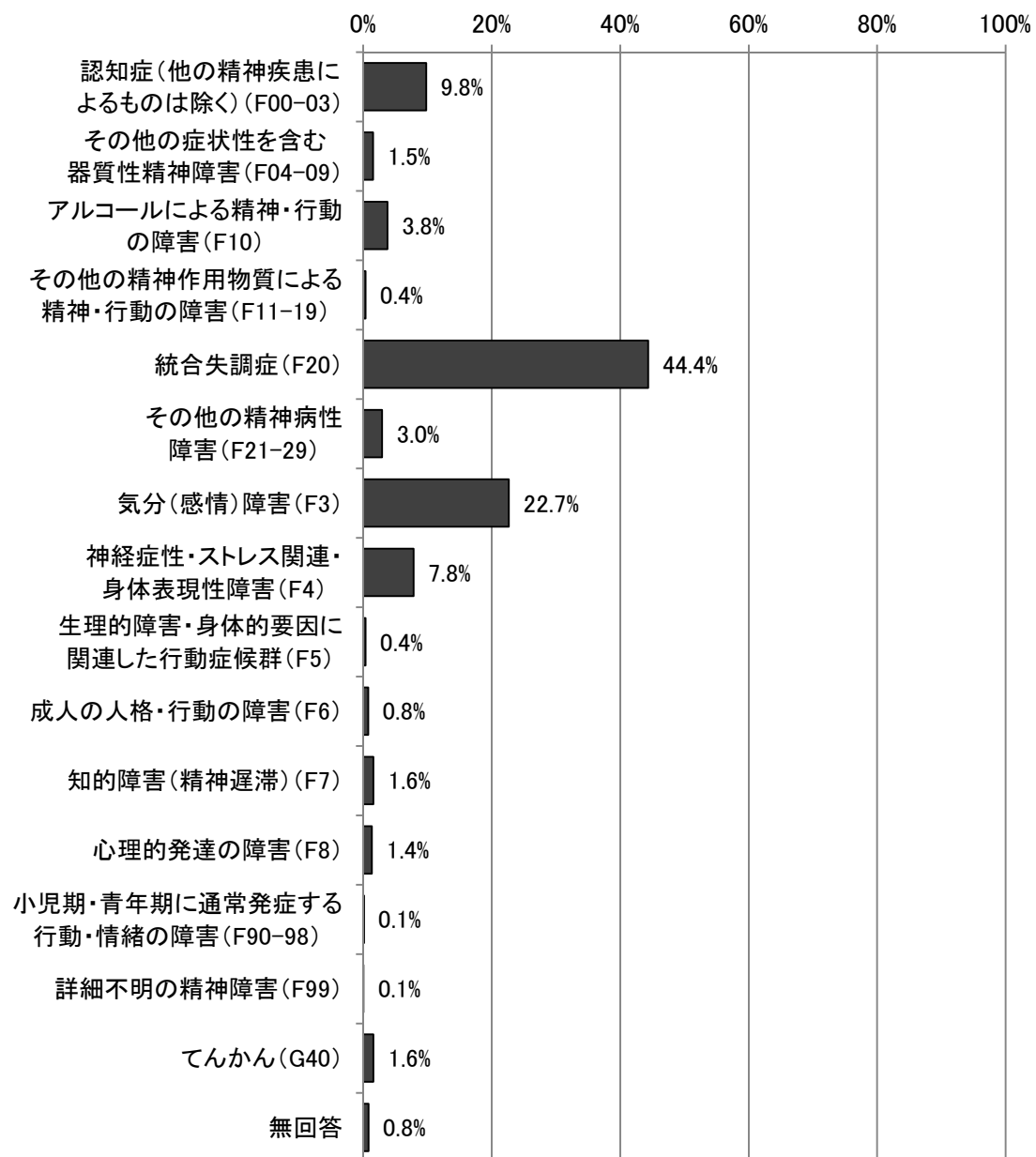
1) 現在の居場所

図表 281 現在の居場所（単数回答、n=1826）

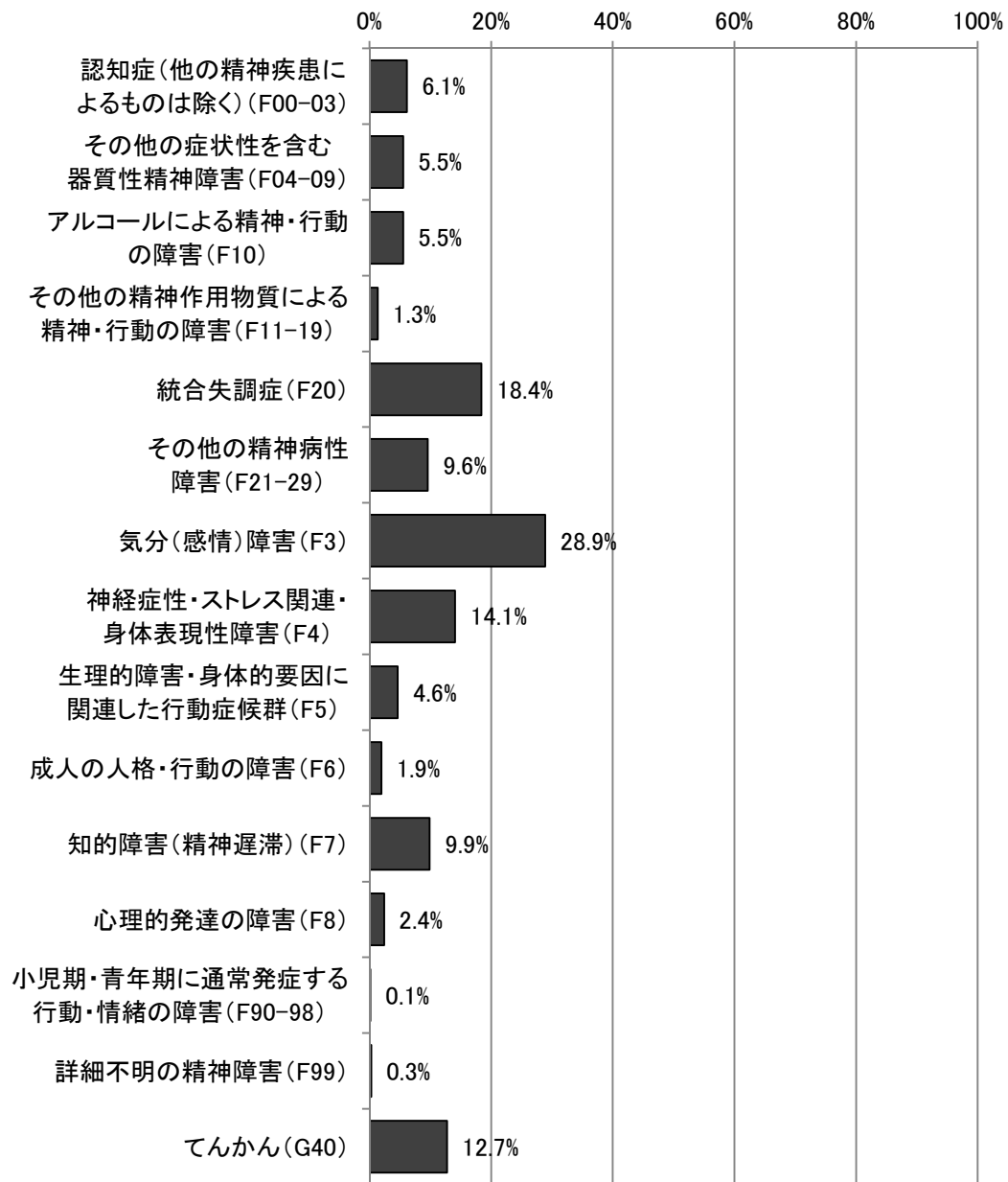


2) 主傷病、その他の傷病（精神疾患）

図表 282 主傷病（単数回答、n=1826）

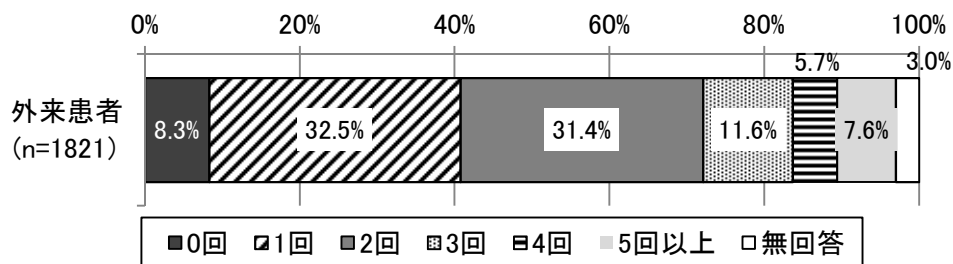


図表 283 その他の傷病（精神疾患）（複数回答、無回答者を除く、n=668）



3) 精神療法の実施回数

図表 284 精神療法の実施回数（平成 26 年 10 月 1 か月間）



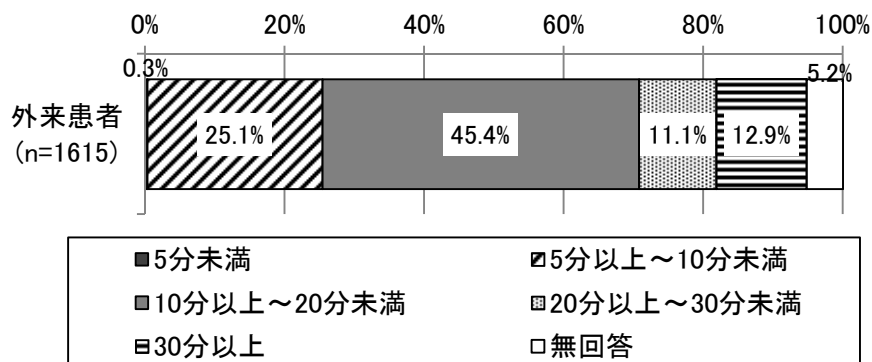
図表 285 精神療法の実施回数（平成 26 年 10 月 1 か月間）（n=1766）

	平均値	標準偏差	中央値
精神療法の実施回数(回)	2.3	3.1	2.0

4) 精神療法の平均実施時間

図表 286 精神療法の平均実施時間（平成 26 年 10 月 1 か月間）

（平成 26 年 10 月 1 か月間で精神療法の実施があった患者）



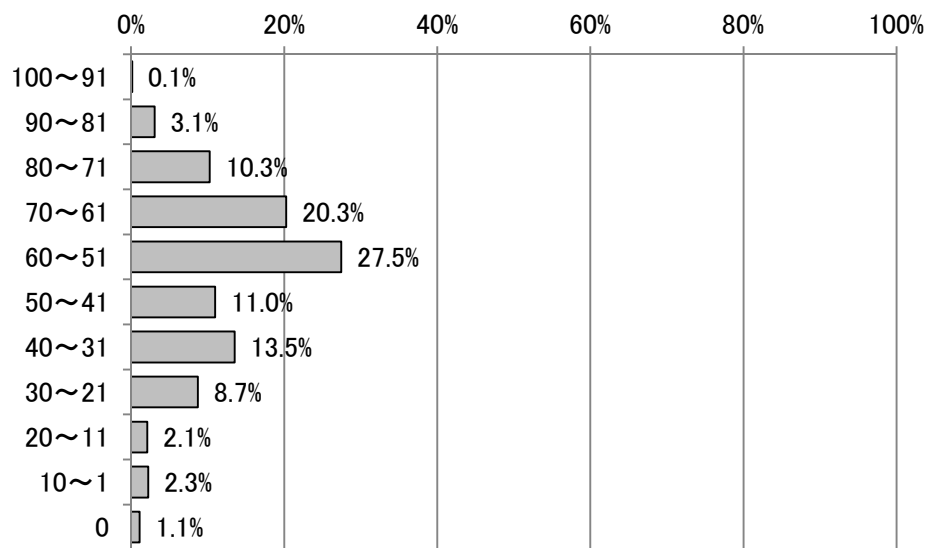
図表 287 精神療法の平均実施時間（平成 26 年 10 月 1 か月間）

（平成 26 年 10 月 1 か月間で精神療法の実施があった患者、n=1531）

	平均値	標準偏差	中央値
精神療法の平均実施時間(分)	15.0	13.2	10.0

5) GAF スコア

図表 288 GAF スコア（単数回答、n=710）



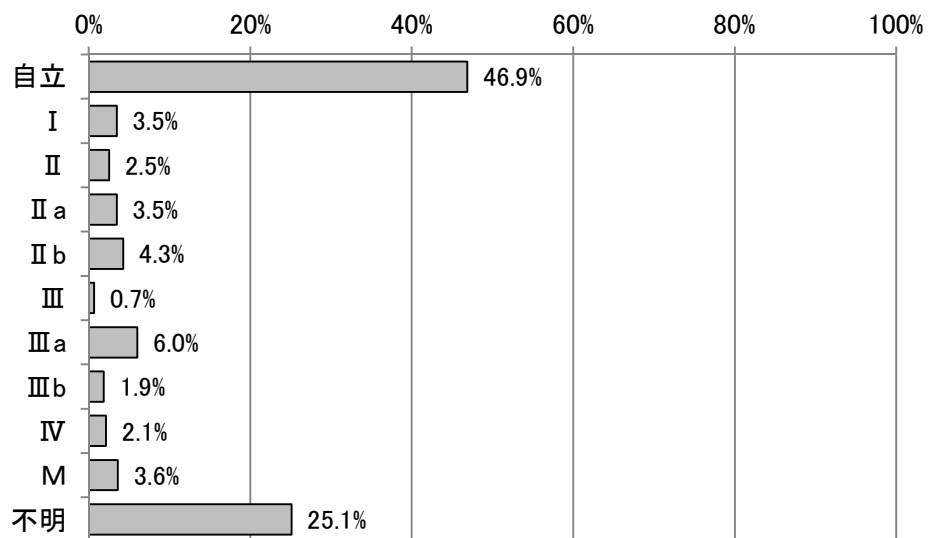
6) 改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）

図表 289 改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）（n=167）

	平均値	標準偏差	中央値
改訂長谷川式簡易知能評価スケール(点)	17.0	8.4	18.0

7) 認知症高齢者の日常生活自立度

図表 290 認知症高齢者の日常生活自立度（単数回答、n=749）

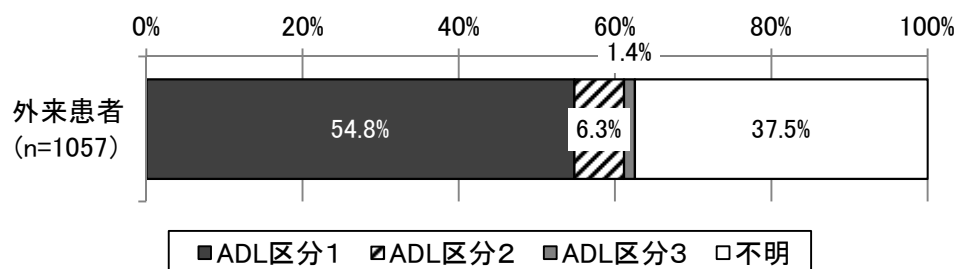


(注) 認知症高齢者の日常生活自立度の判断基準は以下のとおり。

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応答や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない・時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

8) ADL 区分

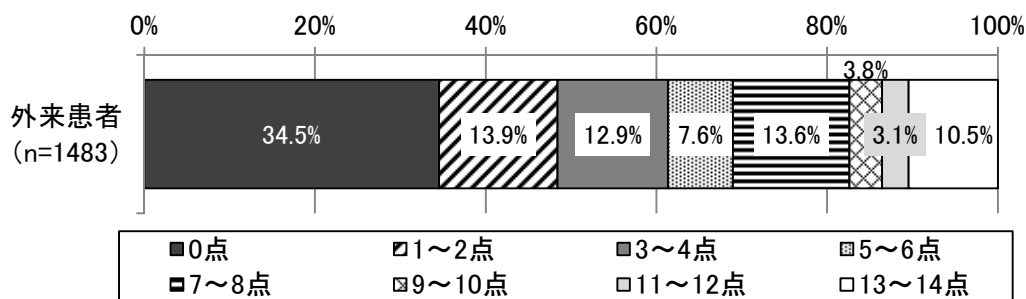
図表 291 ADL 区分（無回答者を除く）



(注) 診療報酬点数表の「別紙様式 2」に基づき、ADL 得点 0～10 点を ADL 区分 1、ADL 得点 11～22 点を ADL 区分 2、ADL 得点 23～24 点を ADL 区分 3 とした。

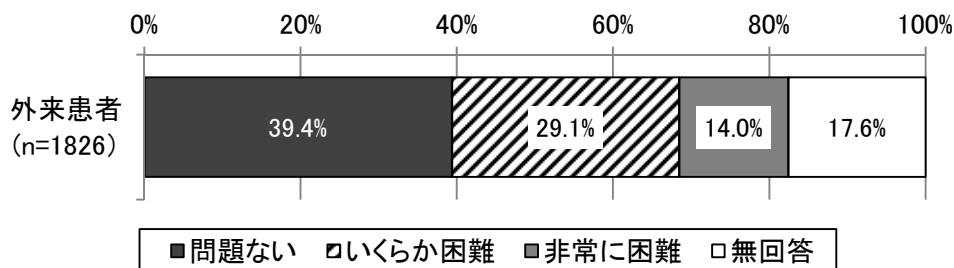
9) IADL の困難度

図表 292 IADL の困難度（点数化）

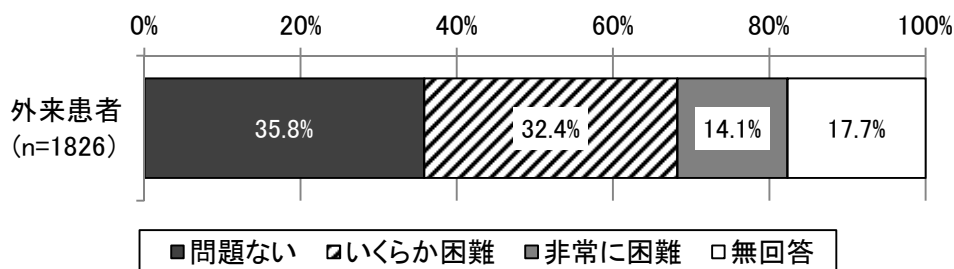


(注)・食事の用意、家事一般、金銭管理、薬の管理、電話の利用、買い物、交通手段の利用の7項目について、問題ない(0点)～非常に困難(2点)として0点～14点で点数化した。
・全7項目で回答のあった1483人を集計対象とした。

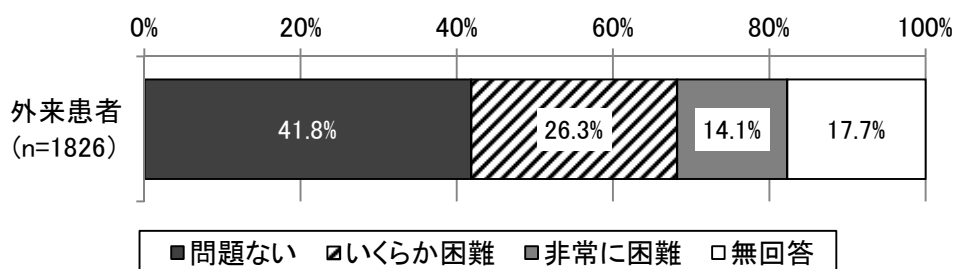
図表 293 IADL の困難度～a. 食事の用意～



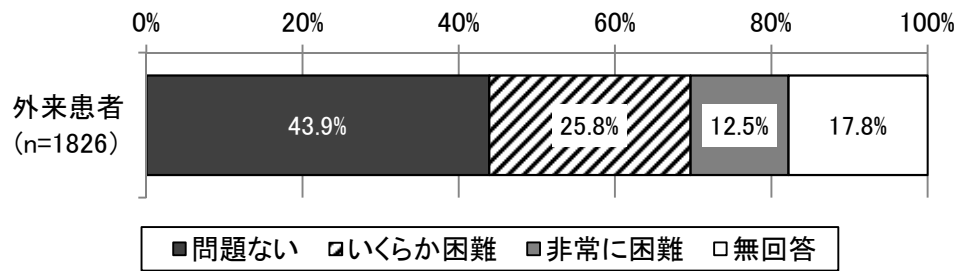
図表 294 IADL の困難度～b. 家事一般～



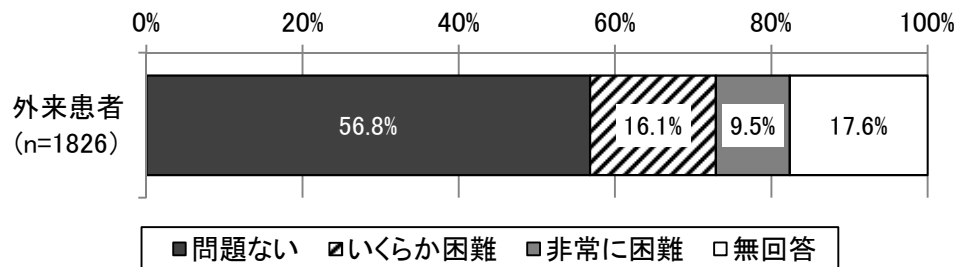
図表 295 IADL の困難度～c. 金銭管理～



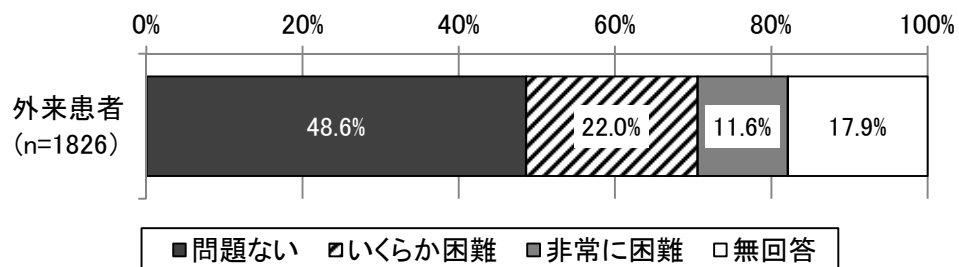
図表 296 IADL の困難度～d. 薬の管理～



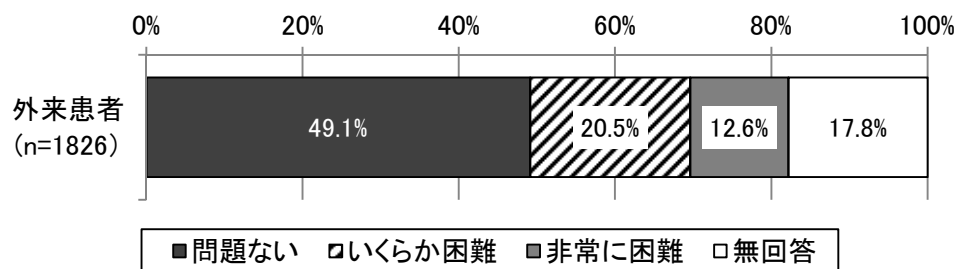
図表 297 IADL の困難度～e. 電話の利用～



図表 298 IADL の困難度～f. 買い物～

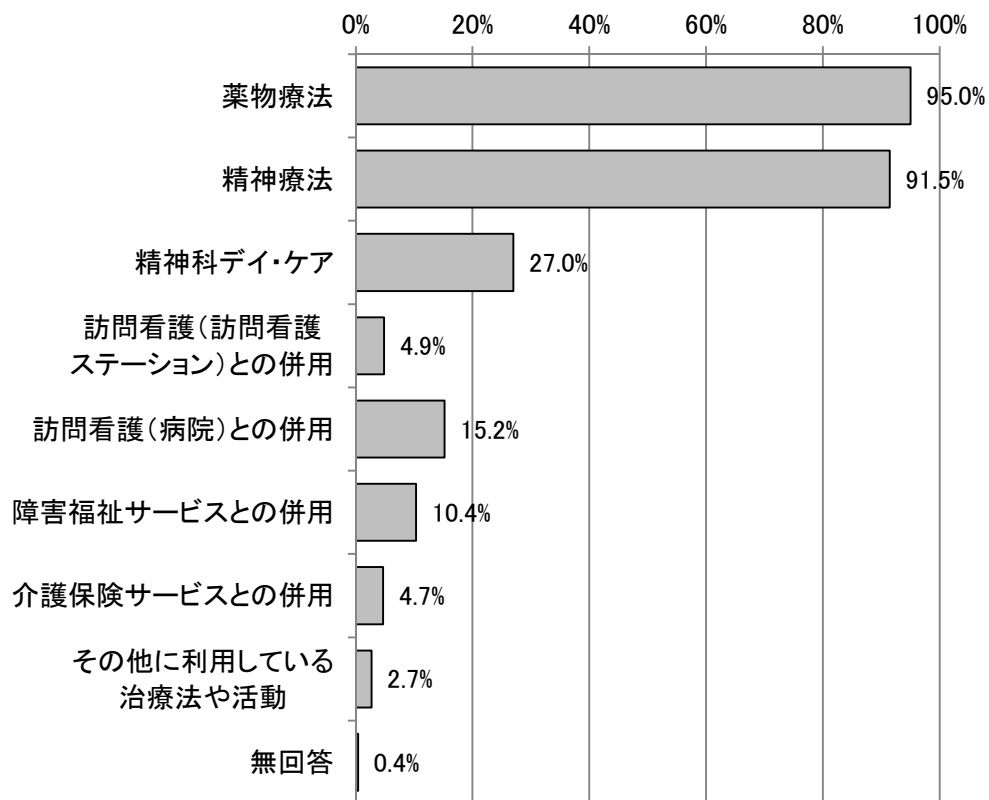


図表 299 IADL の困難度～g. 交通手段の利用～



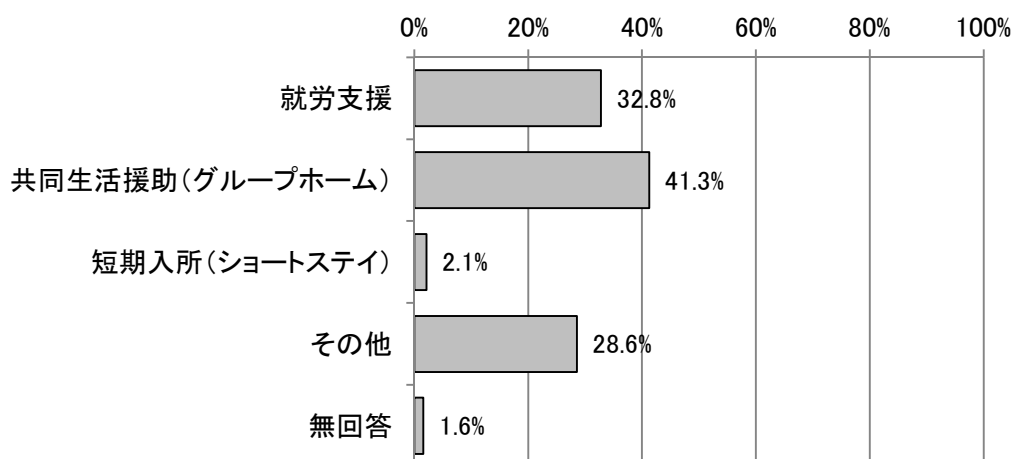
10) 利用している診療内容等

図表 300 利用している診療内容等（複数回答、n=1826）

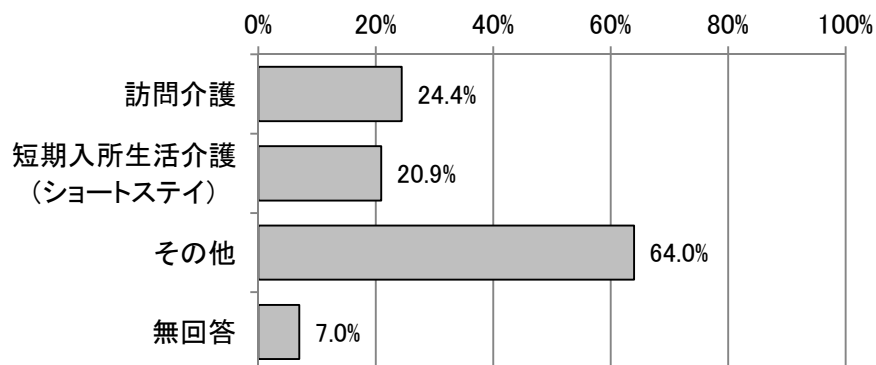


図表 301 障害福祉サービスとの併用内容

(障害福祉サービスとの併用をしている患者、複数回答、n=189)

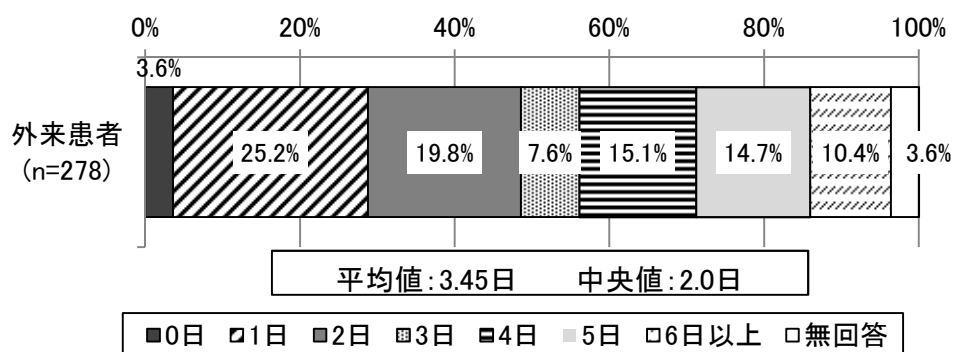


図表 302 介護保険サービスとの併用内容
(介護保険サービスとの併用をしている患者、複数回答、n=86)

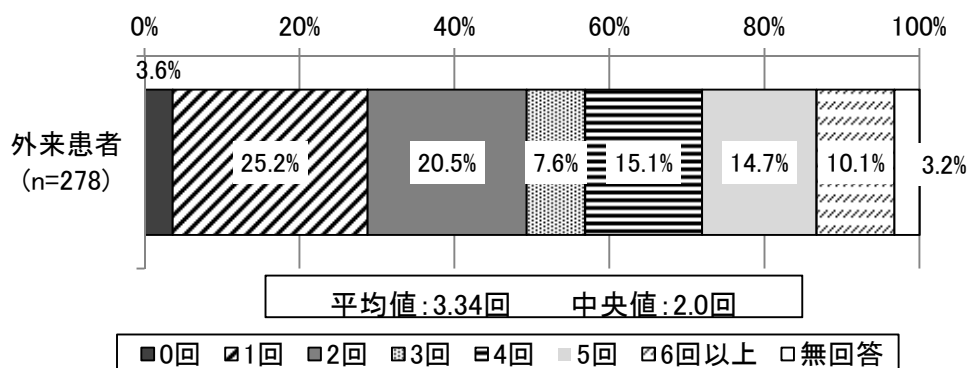


11) 訪問看護の利用状況 (平成 26 年 10 月 1 か月間)

図表 303 訪問した日数 (訪問看護 (病院) との併用をしている患者、n=278)



図表 304 訪問した回数 (訪問看護 (病院) との併用をしている患者、n=278)



図表 305 長時間精神科訪問看護・指導加算を算定した回数
(訪問看護(病院)との併用をしている患者、n= 155)

	平均値	標準偏差	中央値
長時間精神科訪問看護・指導加算を算定した回数(回)	0.21	0.85	0.0

図表 306 夜間・早朝訪問看護加算を算定した回数
(訪問看護(病院)との併用をしている患者、n= 156)

	平均値	標準偏差	中央値
夜間・早朝訪問看護加算を算定した回数(回)	0.00	0.00	0.0

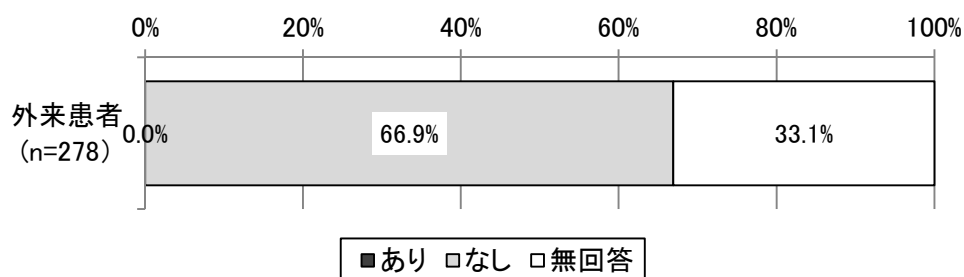
図表 307 深夜訪問看護加算を算定した回数
(訪問看護(病院)との併用をしている患者、n= 156)

	平均値	標準偏差	中央値
深夜訪問看護加算を算定した回数(回)	0.00	0.00	0.0

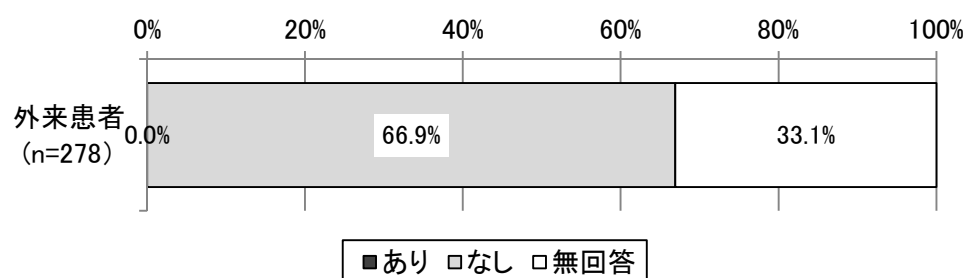
図表 308 精神科緊急訪問看護加算を算定した回数
(訪問看護(病院)との併用をしている患者、n= 156)

	平均値	標準偏差	中央値
精神科緊急訪問看護加算を算定した回数(回)	0.00	0.00	0.0

図表 309 精神科重症患者早期集中支援管理料の算定の有無
(訪問看護(病院)との併用をしている患者、n= 278)

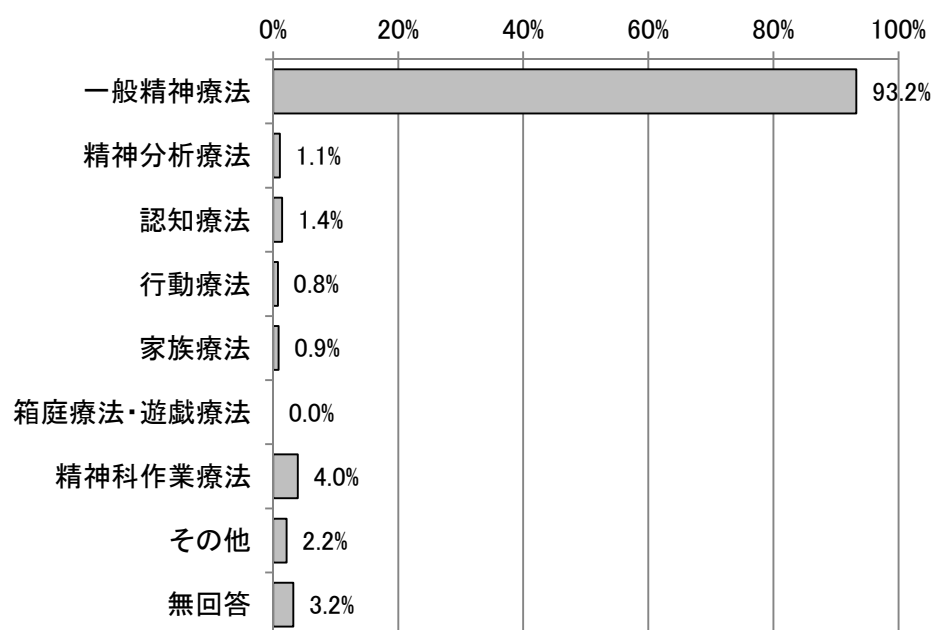


図表 310 急性増悪による週4回以上の訪問看護の実施の有無
(訪問看護(病院)との併用をしている患者、n=278)



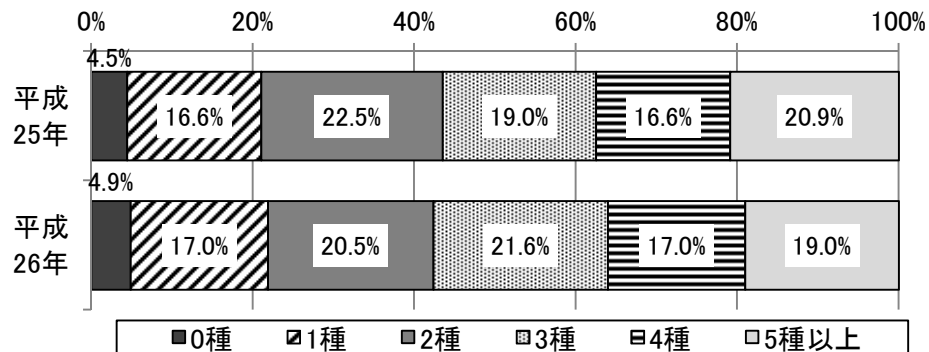
12) 精神療法の内容

図表 311 精神療法の内容(精神療法を行っている患者、複数回答、n=1670)



13) 向精神薬の処方内容

図表 312 薬物療法で使用している向精神薬の使用数
(平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月) (薬物療法を行っている患者、n=1393)



(注) 平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月の両方に回答のあった 1393 人を集計対象とした。

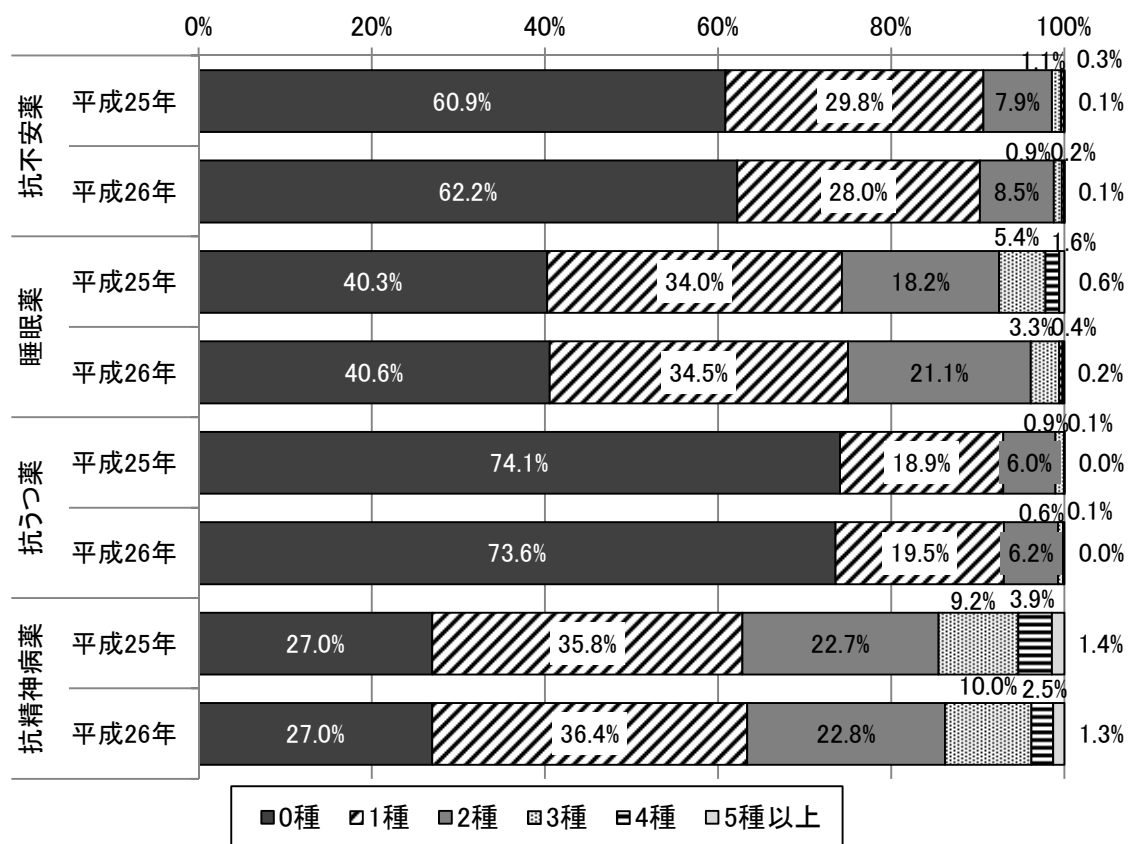
図表 313 薬物療法で使用している向精神薬の使用数
(平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月) (薬物療法を行っている患者、n=1393)

(単位：種類)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
向精神薬の使用数	3.12	1.97	3.00	3.02	1.81	3.00

(注) 平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月の両方に回答のあった 1393 人を集計対象とした。

図表 314 薬物療法で使用している向精神薬の種類別使用数
(平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月) (薬物療法を行っている患者、n=1393)



(注) 平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月の両方に回答のあった 1393 人を集計対象とした。

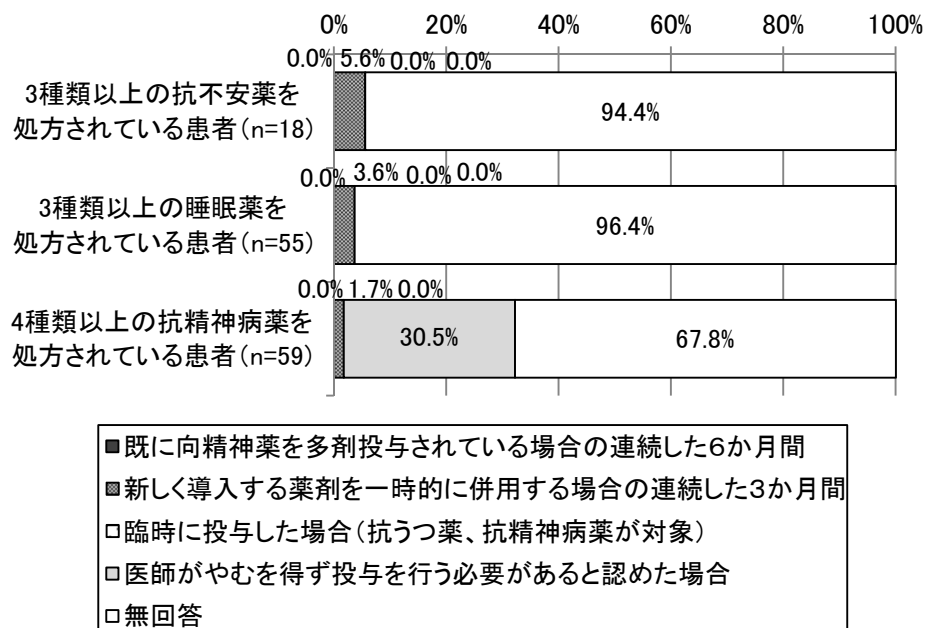
図表 315 薬物療法で使用している向精神薬の種類別使用数
(平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月) (薬物療法を行っている患者、n=1393)

(単位：種類)

	平成 25 年 10 月			平成 26 年 10 月		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
抗不安薬の使用数	0.50	0.72	0.00	0.49	0.72	0.00
睡眠薬の使用数	0.96	1.03	1.00	0.89	0.90	1.00
抗うつ薬の使用数	0.34	0.64	0.00	0.34	0.63	0.00
抗精神病薬の使用数	1.32	1.18	1.00	1.29	1.13	1.00

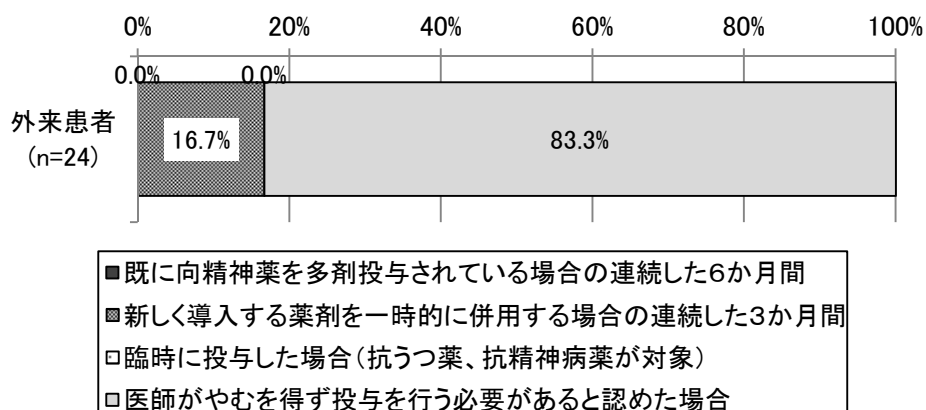
(注) 平成 25 年 10 月、平成 26 年 10 月の両方に回答のあった 1393 人を集計対象とした。

図表 316 向精神薬の多剤投与の除外規定対象となる場合の内容
(多剤投与の可能性のある患者)



- (注) ・ 3 種類以上の抗不安薬、3 種類以上の睡眠薬、4 種類以上の抗うつ薬又は 4 種類以上の抗精神病薬を処方されている患者を集計対象とした。向精神薬の多剤投与の除外規定対象となるかは不明である。
- ・ 3 種類以上の抗不安薬、3 種類以上の睡眠薬を処方されている患者については、「臨時に投与した場合 (抗うつ薬、抗精神病薬が対象)」「医師がやむを得ず投与を行う必要があると認めた場合」を選択した患者は除いた。
- ・ 4 種類以上の抗うつ薬を処方されている患者は 4 名で全て「無回答」であった。

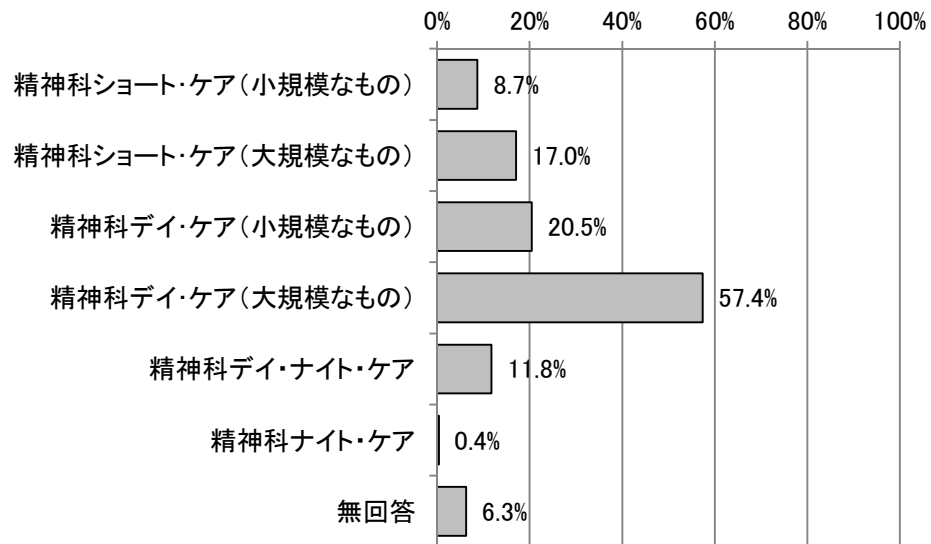
図表 317 向精神薬の多剤投与の除外規定対象となる場合の内容
(多剤投与の可能性のある患者、無回答者を除く、n=24)



- (注) 3 種類以上の抗不安薬、3 種類以上の睡眠薬、4 種類以上の抗うつ薬又は 4 種類以上の抗精神病薬を処方されている患者で、回答のあった 24 人を集計対象とした。

14) 現在利用している精神科デイケア等

図表 318 現在利用している精神科デイケア等
(精神科デイ・ケアを利用している患者、複数回答、n=493)



平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）

精神医療の実施状況調査

施設票

※ 以下のラベルに、電話番号をご記入ください。また、施設名と施設の所在地をご確認の上、記載内容に不備等がございましたら、赤書きで修正してください。

※この施設票は、医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設における精神医療の診療体制や精神医療の実施状況等についてお伺いするものです。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「○（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。

※特に断りのない質問については、平成26年10月31日時点の状況についてご記入ください。

※「平成25年10月」と記載の質問については平成25年10月31日時点または平成25年10月1か月間の状況を、「平成26年10月」と記載の質問については平成26年10月31日時点または平成26年10月1か月間の状況をご記入ください。

1. 貴施設の概要についてお伺いします。

①開設者 ※○は1つだけ	1. 国 5. 医療法人	2. 公立 6. 個人	3. 公的 7. 学校法人	4. 社会保険関係団体 8. その他の法人
②同一法人または関連法人が運営する施設・事業所 ※○は1つだけ	1. 該当なし 2. 介護老人保健施設 3. 介護老人福祉施設 4. 訪問看護ステーション 5. 居宅介護支援事業所 6. 地域包括支援センター 7. 訪問介護事業所 8. 小規模多機能事業所 9. 通所介護事業所 10. その他（具体的に			
③病院種別 ※○は1つだけ	1. 精神科病院（単科） 2. 精神科病院（内科等併設あり） 3. 精神科を有する特定機能病院 4. 精神科を有する一般病院			
④貴施設の救急医療体制についてお答えください。				
1) 救急告示の有無 ※○は1つだけ	1. あり 2. なし			
2) 救急医療体制 ※○は1つだけ	1. 三次救急（高次救命救急センター） 2. 三次救急（救命救急センター） 3. 二次救急（入院を要する救急医療施設） 4. 該当なし			
⑤精神医療に関する指定等の状況 ※あてはまる番号すべてに○	1. 措置入院指定病院 2. 応急入院指定病院 3. 精神科救急医療施設 ^{※1} 4. 認知症疾患医療センター 5. いずれも該当しない			

注1. 精神科救急医療体制整備事業に参加している医療機関

⑥貴施設では、精神科救急医療体制整備事業に参加していますか。※○は1つだけ また、参加していない場合はその理由をお書きください。	
1. 常時対応型の基幹的病院として参加 3. その他の形で参加（具体的に 4. 参加していない（参加していない理由：	2. 輪番病院として参加 ） ）→2ページの質問⑦へ
⑥-1 貴施設では、平成26年10月1か月間に精神科救急医療体制整備事業の当番日は何日ありましたか。また、その診療実績をご記入ください。	
当番日：（ ）日／月 → 1) 入院：（ ）件 2) 外来診療のみ：（ ）件	

⑥-2 精神科救急医療体制整備事業の当番日における医師当直体制はどのようになっていますか。※○は1つだけ								
1. 精神保健指定医が常に当直 2. 精神科医師が常に当直（精神保健指定医がオンコールになることがある） 3. 精神科以外の医師が当直することあり（精神保健指定医はオンコール対応） 4. その他（具体的に								
⑦貴施設では、平成25年4月～平成26年3月までの1年間に、以下の対応件数は何件ありましたか。								
1) 時間外、休日又は深夜の入院件数（精神疾患にかかるもの）：() 件 2) 時間外、休日又は深夜の診療（電話再診を除く）件数（精神疾患にかかるもの）：() 件								
⑧貴施設では、 特定入院料（例：精神療養病棟入院料等） に含まれて評価されている診療行為や検査等を実施した場合に、その診療行為等の項目・回数などの情報（いわゆる「出来高情報」）を記録・保管していますか。 ※○は1つだけ								
1. 記録・保管している 2. 記録・保管していない 3. わからない								
⑨平成25年10月及び平成26年10月における、1) 病棟数、2) 許可病床数、3) 病床利用率 ^{注2} 、4) 平均在院日数 ^{注3} をそれぞれご記入ください。 「精神科救急入院料」「精神科急性期治療病棟入院料」「認知症治療病棟入院料」については（1・2）のどちらか該当する番号を○で囲んでください。 ※該当病床がない場合は、病棟数と許可病床数には「0」、病床利用率と平均在院日数には「/」をご記入ください。								
	平成25年10月				平成26年10月			
	1) 病棟数	2) 許可病床数	3) 病床利用率 ^{注2}	4) 平均在院日数 ^{注3}	1) 病棟数	2) 許可病床数	3) 病床利用率	4) 平均在院日数
精神病床	棟	床	%	日	棟	床	%	日
精神病棟入院基本料 特定機能病院入院基本料（精神病棟）	棟	床	%	日	棟	床	%	日
精神科救急入院料 （1・2）※どちらかに○	棟	床	%	日	棟	床	%	日
精神科救急・合併症入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
精神科急性期治療病棟入院料 （1・2）※どちらかに○	棟	床	%	日	棟	床	%	日
児童・思春期精神科入院医療管理料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
精神療養病棟入院料	棟	床	%	日	棟	床	%	日
認知症治療病棟入院料 （1・2）※どちらかに○	棟	床	%	日	棟	床	%	日
その他の精神科病棟	棟	床	/	/	棟	床	/	/
一般病床	棟	床	%	日	棟	床	%	日
療養病床	棟	床	/	/	棟	床	/	/
結核病床	棟	床	/	/	棟	床	/	/
感染症病床	棟	床	/	/	棟	床	/	/
病院全体	棟	床	%	日	棟	床	%	日

注2. 病床利用率は平成25年8月～10月、平成26年8月～10月のそれぞれ3か月の病床利用率をご記入ください。なお、精神病床の内訳については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者（算定要件に該当しない患者を含む）をもとに算出してください。

病床利用率＝（8月～10月の在院患者延べ数）÷ {（月間日数×月末病床数）の8月～10月の合計}

注3. 平均在院日数は平成25年8月～10月、平成26年8月～10月のそれぞれ3か月の平均在院日数をご記入ください。平均在院日数の計算式は、以下の通りです。

平均在院日数＝（8月～10月の在院患者延べ在院日数）÷（8月～10月の在院患者延べ数）

また、転棟患者についても、在院患者数に含めて算出してください。

なお、精神病床の内訳については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者（算定要件に該当しない患者を含む）をもとに算出してください。 平均在院日数＝（8月～10月の在院患者延べ数）÷ {（8～10月の新入院患者数＋8～10月の退院患者数）×0.5}

2. 貴施設の精神科の診療体制等についてお伺いします。

①精神科の外来を担当している医師数（常勤換算※）をご記入ください。 ※平成 25 年 10 月末時点と平成 26 年 10 月末時点				
	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
1) 外来を担当している医師数	人	人	人	人
2) 上記 1) のうち、外来専従の医師数	人	人	人	人

※常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第 1 位までお答えください。

■1 週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間）

■1 か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間×4）

②精神科の外来を担当している医師が実際に外来診療に従事した時間 ^{注1} の 1 週間の総合計時間をご記入ください。		
	常勤	非常勤
平成 26 年 10 月 19 日～10 月 25 日	（ ）時間（ ）分／週	（ ）時間（ ）分／週

注 1. 外来診療に従事した時間とは、実際に患者の診療を行った時間です。精神科の外来を担当した医師全員の、外来患者の診療を行った時間の総合計時間をご記入ください。

③精神科の外来を受診した患者数（初診＋再診延べ患者数） ^{注2} をご記入ください。 ※平成 26 年 10 月 19 日～10 月 25 日	人／週
---	-----

注 2. 1 週間における、精神科の標榜診療時間に外来受診した患者の延べ人数をご記入ください。

④精神科病棟に従事している職員数（常勤換算※）をお書きください。精神科病院の場合、病棟勤務の職員数をご記入ください。※平成 25 年 10 月末時点と平成 26 年 10 月末時点		
	平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月
1) 医師	人	人
（うち）精神保健指定医	人	人
（うち）精神科特定医師	人	人
（うち）上記以外の精神科医	人	人
（うち）内科医	人	人
（うち）外科医	人	人
2) 看護師（保健師を含む）	人	人
（うち）精神看護専門看護師＊	人	人
（うち）認知症看護認定看護師＊	人	人
（うち）精神科認定看護師＊＊	人	人
3) 准看護師	人	人
4) 看護補助者	人	人
5) 薬剤師	人	人
6) 作業療法士	人	人
7) 臨床心理技術者	人	人
8) 精神保健福祉士	人	人
9) 社会福祉士（上記 8）を除く）	人	人
10) 事務職員（精神科病棟専従者に限る）	人	人
11) その他の職員（精神科病棟専従者に限る）	人	人
12) 精神科病棟職員数合計	人	人

※常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第 1 位までお答えください。

■1 週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間）

■1 か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間×4）

＊日本看護協会の認定した者 ＊＊日本精神科看護協会の認定した者

⑤貴施設が平成 25 年 10 月末時点と平成 26 年 10 月末時点で届出を行っている 精神病棟の入院基本料 としてあてはまる番号に○をつけてください。			
	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月
1) 精神病棟入院基本料	1. 1 0 対 1 3. 1 5 対 1 5. 2 0 対 1 7. 届出なし	2. 1 3 対 1 4. 1 8 対 1 6. 特別	1. 1 0 対 1 3. 1 5 対 1 5. 2 0 対 1 7. 届出なし
2) 【特定機能病院のみ】 特定機能病院入院基本料 (精神病棟)	1. 7 対 1 3. 1 3 対 1 5. 届出なし	2. 1 0 対 1 4. 1 5 対 1	1. 7 対 1 3. 1 3 対 1 5. 届出なし

3. 精神医療・認知症医療の実施状況等についてお伺いします。

①次の施設基準等について「届出があるもの」の該当数字を○で囲んでください。また、届出がある場合、「届出時期」についてお答えください。		
	届出のあるもの	届出時期 ※初回の届出
1) 精神病棟入院時医学管理加算	1	平成 () 年 () 月
2) 精神科地域移行実施加算	2	平成 () 年 () 月
3) 精神科身体合併症管理加算	3	平成 () 年 () 月
4) 精神科リエゾンチーム加算	4	平成 () 年 () 月
5) 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算	5	平成 () 年 () 月
6) 精神科救急搬送患者地域連携受入加算	6	平成 () 年 () 月
7) 精神科救急入院料 1	7	平成 () 年 () 月
8) 精神科救急入院料 2	8	平成 () 年 () 月
9) 精神科急性期治療病棟入院料 1	9	平成 () 年 () 月
10) 精神科急性期治療病棟入院料 2	10	平成 () 年 () 月
11) 精神科救急・合併症入院料	11	平成 () 年 () 月
12) 児童・思春期精神科入院医療管理料	12	平成 () 年 () 月
13) 精神療養病棟入院料	13	平成 () 年 () 月
14) 精神療養病棟入院料 重症者加算 1	14	平成 () 年 () 月
15) 精神療養病棟入院料 退院調整加算	15	平成 () 年 () 月
16) 認知症治療病棟入院料 1	16	平成 () 年 () 月
17) 認知症治療病棟入院料 2	17	平成 () 年 () 月
18) 認知症治療病棟入院料 退院調整加算	18	平成 () 年 () 月
19) 認知症治療病棟入院料 認知症夜間対応加算	19	平成 () 年 () 月
20) 認知症患者リハビリテーション料	20	平成 2 6 年 () 月
21) 精神病棟入院基本料 重度認知症加算 ※特定機能病院入院基本料 (精神病棟)	21	平成 () 年 () 月
22) 精神科ショート・ケア 小規模なもの	22	平成 () 年 () 月
23) 精神科ショート・ケア 大規模なもの	23	平成 () 年 () 月
24) 精神科デイ・ケア 小規模なもの	24	平成 () 年 () 月
25) 精神科デイ・ケア 大規模なもの	25	平成 () 年 () 月
26) 精神科ナイト・ケア	26	平成 () 年 () 月
27) 精神科デイ・ナイト・ケア	27	平成 () 年 () 月
28) 重度認知症患者デイ・ケア料	28	平成 () 年 () 月
29) 重度認知症患者デイ・ケア料夜間加算	29	平成 () 年 () 月

【4 ページ ①の 4)「精神科リエゾンチーム加算」の届出をしていない施設の方】

②貴施設では、精神科リエゾンチーム加算の施設基準の届出をしないのはなぜですか。※あてはまる番号すべてに○

1. 対象となる患者がいらないため（一般病床がない場合も含む）
2. 「5年以上の勤務経験を有する専任の精神科の医師」を確保することができないため
3. 「精神科等の経験を5年以上有する、所定の研修を修了した専任の常勤看護師」を確保することができないため
4. 医師、看護師以外のチームを構成する専門職（薬剤師・作業療法士・精神保健福祉士・臨床心理技術者）を確保することができないため
5. 経営上のインセンティブがないため
6. その他（具体的に _____）

②-1 上記②でお選びになった理由のうち、最も大きな理由としてあてはまる番号を1つだけご記入ください。

【全ての施設の方】

③貴施設には、「精神科救急入院料」、「精神科救急・合併症入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」のいずれか1つでも施設基準の届出をしている病棟がありますか。 ※○は1つだけ

1. ある →質問③-1へ
2. ない →質問④へ

③-1 施設基準の中で、貴施設にとって最も厳しいと考える要件は何ですか。 ※○は1つだけ

1. 病棟配置の医師に関わる要件（具体的に _____）
2. 日勤帯以外の時間帯における看護職員数
3. 常勤の精神保健福祉士の配置
4. 個室の占める割合及び隔離室の確保
5. 必要な検査及びCT撮影が必要に応じて速やかに実施できる体制であること
6. 延べ入院日数のうち4割以上が新規患者であること
7. 新規入院患者のうち3か月以内に在宅へ移行する割合
8. 全ての入院形式の患者の受入
9. 精神疾患に係る時間外・休日・深夜における診療件数
10. 精神疾患に係る時間外・休日・深夜における入院件数
11. 新規患者における措置入院、緊急措置入院、医療保護入院、応急入院、医療観察法入院の割合
12. その他（具体的に _____）

【4 ページ①の 12)「児童・思春期精神科入院医療管理料」の届出をしている施設の方】

④「児童・思春期精神科入院医療管理料」の施設基準の中で、改善が必要と思われる要件がありますか。※○は1つだけ

1. ある
2. ない→6 ページの質問⑤へ

④-1 最も改善が必要な要件は何ですか。※○は1つだけ

1. 児童・思春期精神医療の経験を有する常勤医師2名以上（うち1名は精神保健指定医）
2. 保護者、学校関係者等に対する面接相談等
3. 直近1か月間の入院患者数の概ね8割以上が20歳未満の精神疾患患者
4. その他（具体的に _____）

【4 ページ①の 20)「認知症患者リハビリテーション料」の届出をしている施設の方】					
⑤「認知症患者リハビリテーション料」を実施している職員の体制について職種別の実人数をご記入ください。					
		常 勤		非常勤	
		専 従 ^注	専 任 ^注	専 従	専 任
1) 医師		人	人	人	人
	認知症患者の診療の経験を 5 年以上有する医師	人	人	人	人
	認知症患者のリハビリテーションに関し適切な研修を修了した医師	人	人	人	人
2) 理学療法士		人	人	人	人
3) 作業療法士		人	人	人	人
4) 言語聴覚士		人	人	人	人
5) その他		人	人	人	人

注. 専従とは、原則として当該部署の業務のみに従事することをいいます。

専任とは、当該部署での業務とその他の部署等での業務を兼務していることをいいます。

【認知症治療病棟入院料の届出をしている、または認知症疾患医療センターの指定を受けている施設であるが、「認知症患者リハビリテーション料」の届出をしていない施設の方】	
⑥今後、貴施設では、「認知症患者リハビリテーション料」の施設基準の届出を行う意向がありますか。※○は1つだけ	
1. ない	2. ある→質問⑦へ

⑥-1 届出をしないのはなぜですか。具体的にお書きください。

⑦次の精神医療に関する各診療報酬項目の算定患者数と算定回数をご記入ください。				
	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	算定患者数	算定回数	算定患者数	算定回数
1) 精神科身体合併症管理加算 1 7 日以内 (450 点)	人		人	
2) 精神科身体合併症管理加算 2 8 日以上 10 日以内 (225 点)			人	
3) 精神病棟入院基本料・特定機能病院入院基本料 (精神病棟) 重度認知症加算 (300 点)	人		人	
4) 認知症患者リハビリテーション料 (240 点)			人	
5) 通院精神療法 イ (600 点)	人	回	人	回
6) 通院精神療法 ロ (1)30 分以上の場合 (400 点)	人	回	人	回
7) 通院精神療法 ロ (2)30 分未満の場合 (330 点)	人	回	人	回
8) 通院精神療法 20 歳未満加算 (350 点)	人	回	人	回
9) 通院精神療法 特定薬剤副作用評価加算 (25 点)	人	回	人	回
10) 在宅精神療法 イ (600 点)	人	回	人	回
11) 在宅精神療法 ロ (540 点)			人	回
12) 在宅精神療法 ハ (1)30 分以上の場合 (400 点)	人	回	人	回
13) 在宅精神療法 ハ (2)30 分未満の場合 (330 点)	人	回	人	回
14) 在宅精神療法 20 歳未満加算 (350 点)	人	回	人	回
15) 在宅精神療法 特定薬剤副作用評価加算 (25 点)	人	回	人	回

	平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
	算定患者数	算定回数	算定患者数	算定回数
16) 心身医学療法 入院中の患者 (150 点)	人	回	人	回
20 歳未満加算	人	回	人	回
17) 心身医学療法 イ 初診時 (110 点)	人	回	人	回
20 歳未満加算	人	回	人	回
18) 心身医学療法 ロ 再診時 (80 点)	人	回	人	回
20 歳未満加算	人	回	人	回
19) 精神科継続外来支援・指導料 (55 点)	人	回	人	回
療養生活環境整備支援加算 (40 点)	人	回	人	回
特定薬剤副作用評価加算 (25 点)	人	回	人	回
20) 精神科ショート・ケア 小規模なもの	人	回	人	回
21) 精神科ショート・ケア 大規模なもの	人	回	人	回
22) 精神科デイ・ケア 小規模なもの	人	回	人	回
23) 精神科デイ・ケア 大規模なもの	人	回	人	回
24) 精神科ナイト・ケア	人	回	人	回
25) 精神科デイ・ナイト・ケア	人	回	人	回
26) 精神科退院指導料	人		人	
27) 精神科退院前訪問指導料	人	回	人	回
28) 精神科訪問看護指示料	人		人	

() の診療報酬点数は平成 26 年度

⑧貴施設における精神科の外来患者数についてご記入ください。※平成 26 年 10 月 1 か月間		
1) 外来患者数 (初診＋再診延べ患者数)		人
2) 上記 1) のうち、精神科薬物療法を行った患者数 (延べ患者数)		人
3) 上記 2) のうち、処方せん料 (30 点)・処方料 (20 点) を算定した患者数 (延べ患者数)		人

⑨適切な向精神薬の使用推進を図る上での課題があれば、できるだけ具体的にお書きください。

4. 精神疾患をもつ患者の地域移行と地域定着に向けた取組についてお伺いします。

(1) 精神科訪問看護の状況についてお伺いします。

①貴施設では精神科訪問看護を行っていますか。		1. 行っている 2. 行っていない→9ページの(2)へ			
②精神科訪問看護を開始した時期		平成()年()月			
③精神科訪問看護に携わる職員数(常勤換算*)をお答えください。					
	保健師・看護師	准看護師	作業療法士	精神保健福祉士	看護補助者
平成 25 年 10 月	.	.	.	.	.
平成 26 年 10 月	.	.	.	.	.
*非常勤職員・兼務職員の「常勤換算」は以下の方法で計算してください。(小数点以下第1位まで)					
■1週間に数回勤務の場合:(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)					
■1か月に数回勤務の場合:(非常勤職員の1か月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)					
④24時間対応体制加算・連絡体制加算の届出(医療保険)の有無 ※○は1つ		1. 24時間対応体制加算 2. 24時間連絡体制加算 3. なし			
⑤平成26年10月1か月間の精神科訪問看護利用者数(実人数)					人
⑥上記⑤のうち、新規の利用者数(実人数)					人
⑦上記⑥のうち、退院当日に訪問看護を実施した利用者数(実人数)					人
⑧上記⑤の精神科訪問看護利用者数について、平成26年10月1か月間に訪問した日数別に利用者数(実人数)をお答えください。					
5日以内	6～12日	13～15日	16～20日	21～25日	26日以上
人	人	人	人	人	人
⑨平成26年10月1か月間の精神科訪問看護の時間区分ごとの算定利用者数(人)と算定回数(回)			30分未満	30分以上	合計
		精神科訪問看護・指導料(I)	人 回	人 回	人 回
		精神科訪問看護・指導料(Ⅲ)(同一建物居住者)	人 回	人 回	人 回
⑩精神科訪問看護・指導料(Ⅱ)について、1)施設への訪問延べ日数、2)対象としている利用者数(対象人員)、3)算定回数(合計)をご記入ください。 ※平成26年10月1か月間					
1) 施設への訪問延べ日数		2) 対象人員		3) 算定回数(合計)	
日		人		回	
⑪精神科訪問看護・指導料の加算を算定した利用者数と算定回数をご記入ください。 ※平成26年10月1か月間					
	1) 長時間精神科訪問看護・指導加算	2) 夜間・早朝訪問看護加算	3) 深夜訪問看護加算	4) 精神科緊急訪問看護加算	
算定利用者数	人	人	人	人	
算定回数	回	回	回	回	
⑫精神科訪問看護の利用者のうち、1日に複数回の訪問看護を行った利用者数(実人数) ※加算の有無は問いません			平成25年10月		人
			平成26年10月		人
⑬平成26年10月における精神科訪問看護の利用者(上記⑤の利用者数)のうち、精神科複数回訪問加算を算定した利用者数と算定回数			1) 算定利用者数		2) 算定回数
			1日に2回		人 回
			1日3回以上		人 回

(2) 精神科重症患者早期集中支援管理料についてお伺いします。

①貴施設では、「精神科重症患者早期集中支援管理料」の施設基準の届出を行っていますか。※〇は1つだけ

1. 届出あり

2. 届出なし→質問⑤へ

②「精神科重症患者早期集中支援管理料」を実施する上で、連携する訪問看護ステーションがありますか。※〇は1つだけ

1. ある→連携事業所 (a. 特別の関係^{注1}にあるもの b. それ以外)

2. ない

注 1. 「特別の関係」とは、①開設者が同一、②代表者が同一、③代表者同士が親族等、④役員等のうち他の保険医療機関の役員等の親族等が3割超、⑤人事、資金等の関係により互いに重要な影響を与えうる場合をいいます。

③「精神科重症患者早期集中支援管理料」を実施している職員の体制（貴施設のみ）について職種別の実人数をご記入ください。

	常勤		非常勤	
	専 従 ^{注2}	専 任 ^{注2}	専 従	専 任
1) 医師	人	人	人	人
【再掲】精神保健指定医	人	人	人	人
2) 看護師（保健師含む）	人	人	人	人
3) 作業療法士	人	人	人	人
4) 精神保健福祉士	人	人	人	人
5) その他	人	人	人	人

注 2. 専従とは、原則として当該部署の業務のみに従事することをいいます。

専任とは、当該部署での業務とその他の部署等での業務を兼務していることをいいます。

④「精神科重症患者早期集中支援管理料」を算定した患者数をご記入ください。 ※平成 26 年 10 月 1 か月間

	同一建物 居住者以外	同一建物居住者	
		特定施設等	特定施設以外
1) 精神科重症患者早期集中支援管理料 1	人	人	人
2) 精神科重症患者早期集中支援管理料 2	人	人	人

→ 10 ページの質問 5. へ

【届出のない施設の方】

⑤貴施設が「精神科重症患者早期集中支援管理料」の施設基準の届出を行っていないのはなぜですか。

※あてはまる番号すべてに〇

- 専任のチームを構成する人員が不足しているため
→不足している人材：(a. 精神保健指定医 b. 看護師・保健師 c. 精神保健福祉士 d. 作業療法士)
- 専従者 1 人を配置することが経営上難しいため
- 多職種会議を週 1 回以上開催することが難しいため
- 月 1 回以上保健所または精神保健福祉センター等と多職種会議を開催することが難しいため
- 訪問診療を実施していないため
- 訪問診療を実施しているが、24 時間往診体制を確保できないため
- 24 時間連絡対応が可能な体制を確保できないため
- 24 時間の看護師・保健師による精神科訪問看護が可能な体制を確保できないため（連携も含めて）
- 地域の精神科救急医療体制整備事業に参加していないため
- 算定可能な対象患者が少ないため
- 経営上のインセンティブがないため
- その他（具体的に _____）

⑤-1 上記⑤でお選びになった理由のうち、最も大きな理由として
あてはまる番号を 1 つだけご記入ください。

【届出のない施設の方】

⑥貴施設では、「精神科重症患者早期集中支援管理料」の施設基準の届出意向がありますか。※○は1つだけ

1. ある

2. ない

5. 精神疾患を有する患者の地域移行と地域定着を推進するため、今後、どのような取組が必要とお考えになりますか。

施設票の質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

精神医療の実施状況調査

精神病棟入院基本料病棟票

※本調査票は、精神病棟入院基本料を算定している施設の方にお伺いするものです。当該病棟のない施設の方は本調査票にご回答いただく必要はございません。

1. 精神病棟入院基本料病棟（精神病棟入院基本料のみを算定している病棟）の患者についてお伺いします。

① 平成25年10月末、平成26年10月末時点で貴施設の精神病棟入院基本料病棟に在院している全ての患者について、年齢階級、主たる疾患、GAF尺度のスコア、向精神薬使用数、在院期間別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。
 なお、年齢階級別①～⑤の合計、主たる疾患別①～⑫の合計、GAF尺度のスコア別①～⑫の合計は、「3）精神病棟入院基本料病棟の在院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成25年10月	平成26年10月
1) 精神病棟入院基本料病棟数		棟	棟
2) 精神病棟入院基本料病床数		床	床
3) 精神病棟入院基本料病棟の在院患者数		人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
主たる疾患別 注1	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害（精神遅滞）	人	人
	⑨ 心理的発達障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
GAF尺度のスコア別	① 91～100	人	人
	② 81～90	人	人
	③ 71～80	人	人
	④ 61～70	人	人
	⑤ 51～60	人	人
	⑥ 41～50	人	人
	⑦ 31～40	人	人
	⑧ 21～30	人	人
	⑨ 11～20	人	人
	⑩ 1～10	人	人
	⑪ 0	人	人
	⑫ 不明	人	人
向精神薬使用数	主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	人	人
	① 1種	人	人
	② 2種	人	人
	③ 3種	人	人
	④ 4種	人	人
	⑤ 5種以上	人	人

在 院 期 間 別 注2	① 1か月未満	人	人
	② 1か月以上3か月未満	人	人
	③ 3か月以上6か月未満	人	人
	④ 6か月以上1年未満	人	人
	⑤ 1年以上5年未満	人	人
	⑥ 5年以上10年未満	人	人
	⑦ 10年以上20年未満	人	人
	⑧ 20年以上	人	人
	【再掲】平成26年4月1日移行に当該病棟に入院した患者数		人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版（2003年改訂）の「精神および行動の障害」によるものとします。

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

②平成26年10月1か月間に精神病棟入院基本料病棟に入院した患者数をご記入ください。	
1) 精神病棟入院基本料算定病床における新規入院患者数	人
2) 上記1)のうち、救急搬送・警察搬送患者数	人
3) 上記1)のうち、緊急措置入院患者数	人
4) 上記1)のうち、措置入院患者数	人
5) 上記1)のうち、応急入院患者数	人
6) 上記1)のうち、任意入院患者数	人

③平成26年10月1か月間に精神病棟入院基本料病棟から退院・転院した患者（転棟患者除く）についてそれぞれご記入ください。		
	退院患者数	転院患者数
1) 1か月間における精神病棟入院基本料病棟からの退院患者数と転院患者数（※転棟患者除く）	人	人
2) 上記1)のうち、入院期間が1年以内の患者数	人	人
3) 上記1)のうち、主たる疾患が「症状性を含む器質性精神障害」の患者数	人	人
4) 上記1)のうち、主たる疾患が「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者数	人	人

2. 精神病棟入院基本料病棟（精神病棟入院基本料のみを算定している病棟）の体制等についてお伺いします。

①精神病棟入院基本料病棟に配置されている職員数（常勤換算※）をお書きください。				
	平成25年10月		平成26年10月	
	専従	専任	専従	専任
1) 医師	人	人	人	人
（うち）精神科医	人	人	人	人
2) 看護師（保健師を含む）	人	人	人	人
3) 准看護師	人	人	人	人
4) 看護補助者	人	人	人	人
5) 薬剤師	人	人	人	人
6) 作業療法士	人	人	人	人
7) 臨床心理技術者	人	人	人	人
8) 精神保健福祉士	人	人	人	人
9) 社会福祉士（上記8）を除く）	人	人	人	人
10) 事務職員（精神療養病棟専従者に限る）	人	人	人	人
11) その他の職員	人	人	人	人

※常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第1位までお答えください。

■1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）

■1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

②貴施設では、「精神保健福祉士配置加算」の施設基準の届出がありますか。※○は1つ

1. ある→届出時期：平成26年（ ）月
2. ない

②-1「精神保健福祉士配置加算」の施設基準の届出をしていない最大の理由は何ですか。 ※○は1つ

1. 在宅移行率の要件が満たせないため
2. 病棟に専従の常勤精神保健福祉士を確保することが困難であるため
3. 退院支援部署・地域移行推進室に常勤精神保健福祉士を配置することが困難であるため
4. その他（具体的に ）

③精神病棟入院基本料病棟の入院患者が、地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等は何ですか。※あてはまる番号すべてに○

- | | | |
|------------------------|-------------|------------|
| 1. 精神科外来 | 2. 精神科デイ・ケア | 3. 訪問診療・往診 |
| 4. 訪問看護 | 5. グループホーム | 6. 訪問介護 |
| 7. 包括型地域生活支援プログラム（ACT） | 8. ショートステイ | |
| 9. その他（具体的に | | ） |

④精神病棟入院基本料病棟に長期入院している患者を地域に移行させる上でどのような取組が有効と考えますか。

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）

精神医療の実施状況調査

精神療養病棟票

※本調査票は、精神療養病棟入院料を算定している施設の方にお伺いするものです。当該病棟のない施設の方は本調査票にご回答いただく必要はございません。

1. 精神療養病棟（精神療養病棟入院料を算定している病棟）の患者についてお伺いします。

① 平成25年10月末、平成26年10月末時点で貴施設の精神療養病棟に在院している全ての患者について、年齢階級、主たる疾患、GAF尺度のスコア、向精神薬使用数、在院期間別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。
 なお、年齢階級別①～⑤の合計、主たる疾患別①～⑫の合計、GAF尺度のスコア別①～⑫の合計は、「3）精神療養病棟の在院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成25年10月	平成26年10月
1) 精神療養病棟数		棟	棟
2) 精神療養病床数		床	床
3) 精神療養病棟の在院患者数		人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
主たる疾患別 ^{注1}	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害（精神遅滞）	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
GAF尺度のスコア別	① 91～100	人	人
	② 81～90	人	人
	③ 71～80	人	人
	④ 61～70	人	人
	⑤ 51～60	人	人
	⑥ 41～50	人	人
	⑦ 31～40	人	人
	⑧ 21～30	人	人
	⑨ 11～20	人	人
	⑩ 1～10	人	人
	⑪ 0	人	人
	⑫ 不明	人	人
向精神薬使用数	主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	人	人
	① 1種	人	人
	② 2種	人	人
	③ 3種	人	人
	④ 4種	人	人
	⑤ 5種以上	人	人

在 院 期 間 別 注2	① 1か月未満	人	人
	② 1か月以上3か月未満	人	人
	③ 3か月以上6か月未満	人	人
	④ 6か月以上1年未満	人	人
	⑤ 1年以上5年未満	人	人
	⑥ 5年以上10年未満	人	人
	⑦ 10年以上20年未満	人	人
	⑧ 20年以上	人	人
	【再掲】平成26年4月1日移行に当該病棟に入院した患者数		人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版（2003年改訂）の「精神および行動の障害」によるものとします。

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

②平成26年10月1か月間に精神療養病棟に入院した患者数をご記入ください。	
1) 精神療養病棟入院料算定病床における新規入院患者数	人
2) 上記1)のうち、救急搬送・警察搬送患者数	人
3) 上記1)のうち、緊急措置入院患者数	人
4) 上記1)のうち、措置入院患者数	人
5) 上記1)のうち、応急入院患者数	人
6) 上記1)のうち、任意入院患者数	人

③平成26年10月1か月間に精神療養病棟から退院・転院した患者（転棟患者除く）についてそれぞれご記入ください。		
	退院患者数	転院患者数
1) 1か月間における精神療養病棟からの退院患者数と転院患者数（※転棟患者除く）	人	人
2) 上記1)のうち、入院期間が1年以内の患者数	人	人
3) 上記1)のうち、主たる疾患が「症状性を含む器質性精神障害」の患者数	人	人
4) 上記1)のうち、主たる疾患が「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の患者数	人	人

2. 精神療養病棟（精神療養病棟入院料を算定している病棟）の体制等についてお伺いします。

①精神療養病棟に配置されている職員数（常勤換算※）をお書きください。				
	平成25年10月		平成26年10月	
	専従	専任	専従	専任
1) 医師	人	人	人	人
（うち）精神科医	人	人	人	人
2) 看護師（保健師を含む）	人	人	人	人
3) 准看護師	人	人	人	人
4) 看護補助者	人	人	人	人
5) 薬剤師	人	人	人	人
6) 作業療法士	人	人	人	人
7) 臨床心理技術者	人	人	人	人
8) 精神保健福祉士	人	人	人	人
9) 社会福祉士（上記8）を除く）	人	人	人	人
10) 事務職員（精神療養病棟専従者に限る）	人	人	人	人
11) その他の職員	人	人	人	人
※常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第1位までお答えください。				
■1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）				
■1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）				

②精神療養病棟における退院支援相談員数（実人数）をご記入ください。

	専従	専任
1) 精神保健福祉士	人	人
2) その他の職員	人	人
3) 合計	人	人

③患者1人あたりの1か月間における退院支援委員会の平均開催数

回／月

④貴施設では、「精神保健福祉士配置加算」の施設基準の届出がありますか。※〇は1つ

1. ある→届出時期：平成26年（ ）月
2. ない

④-1「精神保健福祉士配置加算」の施設基準の届出をしていない最大の理由は何ですか。 ※〇は1つ

1. 在宅移行率の要件が満たせないため
2. 病棟に専従の常勤精神保健福祉士を確保することが困難であるため
3. 退院支援部署・地域移行推進室に常勤精神保健福祉士を配置することが困難であるため
4. その他（具体的に ）

⑤精神療養病棟入院患者が地域へ移行する上で重要となる事業・サービス等は何ですか。※あてはまる番号すべてに〇

- | | | |
|------------------------|-------------|------------|
| 1. 精神科外来 | 2. 精神科デイ・ケア | 3. 訪問診療・往診 |
| 4. 訪問看護 | 5. グループホーム | 6. 訪問介護 |
| 7. 包括型地域生活支援プログラム（ACT） | 8. ショートステイ | |
| 9. その他（具体的に ） | | |

⑥精神療養病棟に長期入院している患者を地域に移行させる上でどのような取組が有効と考えますか。

精神医療の実施状況調査

精神科救急入院料病棟票

※本調査票は、精神科救急入院料を算定している施設の方にお伺いするものです。当該病棟のない施設の方は本調査票にご回答いただく必要はありません。

1. 精神科救急入院料算定病棟の患者についてお伺いします。

①平成25年10月末、平成26年10月末時点で貴施設の精神科救急入院料算定病棟に在院している全ての患者について、年齢階級、主たる疾患、在院期間、GAF尺度のスコア、向精神薬使用数別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。なお、年齢階級別①～⑤の合計、主たる疾患別①～⑫の合計、在院期間別①～⑧の合計、GAF尺度のスコア別①～⑫の合計は、「3）精神科救急入院料算定病棟の在院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成25年10月	平成26年10月
1) 精神科救急入院料算定病棟数		棟	棟
2) 精神科救急入院料算定病床数		床	床
3) 精神科救急入院料算定病棟の在院患者数		人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
主たる疾患別 注1	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害（精神遅滞）	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
在院期間別 注2	① 1か月未満	人	人
	② 1か月以上3か月未満	人	人
	③ 3か月以上6か月未満	人	人
	④ 6か月以上1年未満	人	人
	⑤ 1年以上5年未満	人	人
	⑥ 5年以上10年未満	人	人
	⑦ 10年以上20年未満	人	人
	⑧ 20年以上	人	人
GAF尺度のスコア別	① 91～100	人	人
	② 81～90	人	人
	③ 71～80	人	人
	④ 61～70	人	人
	⑤ 51～60	人	人
	⑥ 41～50	人	人
	⑦ 31～40	人	人
	⑧ 21～30	人	人
	⑨ 11～20	人	人
	⑩ 1～10	人	人
	⑪ 0点	人	人
	⑫ 不明	人	人

向精神薬使用数	主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	人	人
	① 1種	人	人
	② 2種	人	人
	③ 3種	人	人
	④ 4種	人	人
	⑤ 5種以上	人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版（2003年改訂）の「精神および行動の障害」によるものとします。

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

②平成25年10月及び平成26年10月の各1か月間について、次の患者数等をご記入ください。			
		平成25年10月	平成26年10月
1) 精神科救急入院料算定病床における新規入院患者数		人	人
(うち) 救急搬送・警察搬送患者数		人	人
(うち) 緊急措置入院患者数		人	人
(うち) 措置入院患者数		人	人
(うち) 応急入院患者数		人	人
(うち) 他の精神科病院からの転院患者数		人	人
(うち) 他の一般病院からの転院患者数		人	人
(うち) 身体合併症の治療のために、救命救急センター等の他院の一般病床に入院していたが、治療を終えて、貴施設に再入院となった患者数		人	人
(うち) 自院の一般病床からの転棟患者数		人	人
(うち) 院内標準診療計画書を策定した患者数			人
2) 各1か月間に当該病床から退院・転院・転棟した患者数		人	人
(うち) 自宅退院患者数（障害者施設等含む）		人	人
(うち) 自院の他の精神病床に転棟した患者数		人	人
(うち) 自院の他の一般病床に転棟した患者数		人	人
(うち) 他院の精神病床に転院した患者数		人	人
(うち) 連携の取り決めのある医療機関への転院患者数		人	人
(うち) 他院の一般病床に転院した患者数		人	人
(うち) 入院期間が1年以内の患者数		人	人
(うち) 認知症の患者数		人	人
(うち) 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者数		人	人
(うち) 気分〔感情〕障害の患者数		人	人
(うち) 院内標準診療計画加算を算定した患者数			人
(うち) 精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者数			人
精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者の平均在院日数			日

2. 精神科救急入院料算定病棟の職員の体制についてお伺いします。

①精神科救急入院料算定病棟に配置されている職員数（常勤換算）をお書きください。※小数点以下第1位まで					
		平成 25 年 10 月		平成 26 年 10 月	
		専従	専任	専従	専任
1) 医師		人	人	人	人
（うち）精神科医		人	人	人	人
2) 看護師（保健師を含む）		人	人	人	人
3) 准看護師		人	人	人	人
4) 看護補助者		人	人	人	人
5) 薬剤師		人	人	人	人
6) 作業療法士		人	人	人	人
7) 臨床心理技術者		人	人	人	人
8) 精神保健福祉士		人	人	人	人
9) 社会福祉士（上記 8）を除く）		人	人	人	人
10) 事務職員（精神科救急入院料算定病棟専従者に限る）		人	人	人	人
11) その他の職員		人	人	人	人

精神医療の実施状況調査 精神科救急・合併症入院料病棟票

※本調査票は、精神科救急・合併症入院料を算定している施設の方にお伺いするものです。当該病棟のない施設の方は本調査票にご回答いただく必要はありません。

1. 精神科救急・合併症入院料算定病棟の患者についてお伺いします。

①平成25年10月末、平成26年10月末時点で貴施設の精神科救急・合併症入院料算定病棟に在院している全ての患者について、年齢階級、主たる疾患、在院期間、GAF尺度のスコア、向精神薬使用数別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。なお、年齢階級別①～⑤の合計、主たる疾患別①～⑫の合計、在院期間別①～⑧の合計、GAF尺度のスコア別①～⑫の合計は、「3）精神科救急・合併症入院料算定病棟の在院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成25年10月	平成26年10月
1) 精神科救急・合併症入院料算定病棟数		棟	棟
2) 精神科救急・合併症入院料算定病床数		床	床
3) 精神科救急・合併症入院料算定病棟の在院患者数		人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
主たる疾患別 注1	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害（精神遅滞）	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
在院期間別 注2	① 1か月未満	人	人
	② 1か月以上3か月未満	人	人
	③ 3か月以上6か月未満	人	人
	④ 6か月以上1年未満	人	人
	⑤ 1年以上5年未満	人	人
	⑥ 5年以上10年未満	人	人
	⑦ 10年以上20年未満	人	人
	⑧ 20年以上	人	人
GAF尺度のスコア別	① 91～100	人	人
	② 81～90	人	人
	③ 71～80	人	人
	④ 61～70	人	人
	⑤ 51～60	人	人
	⑥ 41～50	人	人
	⑦ 31～40	人	人
	⑧ 21～30	人	人
	⑨ 11～20	人	人
	⑩ 1～10	人	人
	⑪ 0点	人	人
	⑫ 不明	人	人

向 精 神 薬 使 用 数	主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	人	人
	① 1種	人	人
	② 2種	人	人
	③ 3種	人	人
	④ 4種	人	人
	⑤ 5種以上	人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版（2003年改訂）の「精神および行動の障害」によるものとします。

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

②平成25年10月及び平成26年10月の各1か月間について、次の患者数をご記入ください。		
	平成25年10月	平成26年10月
1) 精神科救急・合併症入院料算定病床における新規入院患者数	人	人
（うち）救急搬送・警察搬送患者数	人	人
（うち）緊急措置入院患者数	人	人
（うち）措置入院患者数	人	人
（うち）応急入院患者数	人	人
（うち）精神科単科病院からの転院してきた身体合併症患者数	人	人
（うち）精神科救急・合併症入院料を算定した後に、手術等により一時期ICU等で治療を受け、再入棟した患者数	人	人
（うち）特定集中治療室管理料算定病床から再入院した患者数	人	人
（うち）ハイケアユニット入院医療管理料算定病床から再入院した患者数	人	人
（うち）脳卒中ケアユニット入院医療管理料算定病床から再入院した患者数	人	人
（うち）小児特定集中治療管理料算定病床から再入院した患者数	人	人
（うち）総合周産期特定集中治療室管理料算定病床から再入院した患者数	人	人
（うち）自院の一般病床からの転棟患者数	人	人
（うち）院内標準診療計画書を策定した患者数		人
2) 各1か月間に当該病床から退院・転院・転棟した患者数	人	人
（うち）自宅退院患者数（障害者施設等含む）	人	人
（うち）自院の他の精神病床に転棟した患者数	人	人
（うち）自院の他の一般病床に転棟した患者数	人	人
（うち）他院の精神病床に転院した患者数	人	人
（うち）連携の取り決めのある医療機関への転院患者数	人	人
（うち）他院の一般病床に転院した患者数	人	人
（うち）入院期間が1年以内の患者数	人	人
（うち）認知症の患者数	人	人
（うち）統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者数	人	人
（うち）気分〔感情〕障害の患者数	人	人
（うち）院内標準診療計画加算を算定した患者数		人

2. 精神科救急・合併症入院料算定病棟の職員の体制についてお伺いします。

①精神科救急・合併症入院料算定病棟に配置されている職員数（常勤換算）をお書きください。※小数点以下第1位まで				
		平成25年10月		平成26年10月
		専従	専任	専任
1) 医師		人	人	人
（うち）精神科医		人	人	人
2) 看護師（保健師を含む）		人	人	人
3) 准看護師		人	人	人
4) 看護補助者		人	人	人
5) 薬剤師		人	人	人
6) 作業療法士		人	人	人
7) 臨床心理技術者		人	人	人
8) 精神保健福祉士		人	人	人
9) 社会福祉士（上記8）を除く）		人	人	人
10) 事務職員（精神科救急・合併症入院料算定病棟専従者に限る）		人	人	人
11) その他の職員		人	人	人

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）

精神医療の実施状況調査 精神科急性期治療病棟入院料病棟票

※本調査票は、精神科急性期治療病棟入院料を算定している施設の方にお伺いするものです。当該病棟のない施設の方は本調査票にご回答いただく必要はありません。

1. 精神科急性期治療病棟入院料算定病棟の患者についてお伺いします。

①平成25年10月末、平成26年10月末時点で貴施設の精神科急性期治療病棟入院料算定病棟に在院している全ての患者について、年齢階級、主たる疾患、在院期間、GAF尺度のスコア、向精神薬使用数別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。なお、年齢階級別①～⑤の合計、主たる疾患別①～⑫の合計、在院期間別①～⑧の合計、GAF尺度のスコア別①～⑫の合計は、「3）精神科急性期治療病棟入院料算定病棟の在院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成25年10月	平成26年10月
1) 精神科急性期治療病棟入院料算定病棟数		棟	棟
2) 精神科急性期治療病棟入院料算定病床数		床	床
3) 精神科急性期治療病棟入院料算定病棟の在院患者数		人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
主たる疾患別 注1	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害（精神遅滞）	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
在院期間別 注2	① 1か月未満	人	人
	② 1か月以上3か月未満	人	人
	③ 3か月以上6か月未満	人	人
	④ 6か月以上1年未満	人	人
	⑤ 1年以上5年未満	人	人
	⑥ 5年以上10年未満	人	人
	⑦ 10年以上20年未満	人	人
	⑧ 20年以上	人	人
GAF尺度のスコア別	① 91～100	人	人
	② 81～90	人	人
	③ 71～80	人	人
	④ 61～70	人	人
	⑤ 51～60	人	人
	⑥ 41～50	人	人
	⑦ 31～40	人	人
	⑧ 21～30	人	人
	⑨ 11～20	人	人
	⑩ 1～10	人	人
	⑪ 0	人	人
	⑫ 不明	人	人

向精神薬使用数	主傷病に対して薬物療法を受けている患者数	人	人
	① 1種	人	人
	② 2種	人	人
	③ 3種	人	人
	④ 4種	人	人
	⑤ 5種以上	人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版（2003年改訂）の「精神および行動の障害」によるものとします。

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

②平成25年10月及び平成26年10月の各1か月間について、次の患者数をご記入ください。		
	平成25年10月	平成26年10月
1) 精神科急性期治療病棟入院料算定病床における新規入院患者数	人	人
（うち）救急搬送・警察搬送患者数	人	人
（うち）緊急措置入院患者数	人	人
（うち）措置入院患者数	人	人
（うち）応急入院患者数	人	人
（うち）他の精神科病院からの転院患者数	人	人
（うち）他の一般病院からの転院患者数	人	人
（うち）身体合併症の治療のために、救命救急センター等の他院の一般病床に入院していたが、治療を終えて、貴施設に再入院となった患者数	人	人
（うち）自院の一般病床からの転棟患者数	人	人
（うち）院内標準診療計画書を策定した患者数		人
2) 各1か月間に当該病床から退院・転院・転棟した患者数	人	人
（うち）自宅退院患者数（障害者施設等含む）	人	人
（うち）自院の他の精神病床に転棟した患者数	人	人
（うち）自院の他の一般病床に転棟した患者数	人	人
（うち）他院の精神病床に転院した患者数	人	人
（うち）連携の取り決めのある医療機関への転院患者数	人	人
（うち）他院の一般病床に転院した患者数	人	人
（うち）入院期間が1年以内の患者数	人	人
（うち）認知症の患者数	人	人
（うち）統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害の患者数	人	人
（うち）気分〔感情〕障害の患者数	人	人
（うち）院内標準診療計画加算を算定した患者数		人
（うち）精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者数		人
精神科身体合併症管理加算を算定したことがある患者の平均在院日数		日

2. 精神科急性期治療病棟入院料算定病棟の職員の体制についてお伺いします。

①精神科急性期治療病棟入院料算定病棟に配置されている職員数（常勤換算）をお書きください。
※小数点以下第1位まで

	平成25年10月		平成26年10月	
	専従	専任	専従	専任
1) 医師	人	人	人	人
（うち）精神科医	人	人	人	人
2) 看護師（保健師を含む）	人	人	人	人
3) 准看護師	人	人	人	人
4) 看護補助者	人	人	人	人
5) 薬剤師	人	人	人	人
6) 作業療法士	人	人	人	人
7) 臨床心理技術者	人	人	人	人
8) 精神保健福祉士	人	人	人	人
9) 社会福祉士（上記8）を除く）	人	人	人	人
10) 事務職員（精神科急性期治療病棟入院料算定病棟専従者に限る）	人	人	人	人
11) その他の職員	人	人	人	人

②貴施設では、「精神科急性期医師配置加算」の施設基準の届出がありますか。※○は1つ

1. ある→届出時期：平成26年（ ）月

2. ないが、具体的な届出の予定がある→届出予定時期：平成（ ）年（ ）月頃

3. ないが、今後、届出をしたい

4. ない

【精神科急性期医師配置加算の届出のない施設の方】

②-1 貴施設では、「精神科急性期医師配置加算」の施設基準の届出をしていない理由は何ですか。
※あてはまる番号すべてに○

1. 在宅移行率の要件が満たせないため

2. 時間外・休日・深夜の入院件数の要件が満たせないため

3. 時間外・休日・深夜の外来対応件数の要件が満たせないため

4. 医師が不足しており、確保が困難なため

5. 人件費がかかるなど、経営上のインセンティブがないため

6. その他（具体的に

203

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）

精神医療の実施状況調査 入院患者票

●平成26年10月31日に調査対象の精神科病棟に入院中の患者の状況について、患者1人につき本調査票1部を使ってご記入ください。

1. 患者の基本的事項

①性 別	01. 男性	02. 女性	②年 齢	(10月31日現在) _____ 歳
③精神障害者福祉手帳	01. 手帳をもっていない	02. 1級	03. 2級	04. 3級

2. 入院の状況

①入院日（年号に○）	平成・昭和 _____ 年 ____ 月 ____ 日頃	③精神科・神経科への通算入院回数	_____ 回目・不明
②初診日（他の医療機関を含む）	平成・昭和 _____ 年 ____ 月 ____ 日頃	④精神科・神経科への通算入院期間	_____ 年 ____ か月・不明
⑤直近の退院日	平成・昭和 _____ 年 ____ 月 ____ 日頃		
⑥現在入院している病棟（○は1つ）	01. 精神科救急入院料算定病棟 02. 精神科救急・合併症入院料算定病棟	03. 精神科急性期治療病棟入院料算定病棟 04. 精神療養病棟入院料算定病棟	
⑦入棟前の居場所（○は1つ）	01. 自宅、賃貸住宅など（家族と同居） 02. 自宅、賃貸住宅など（一人暮らし） 03. 自院の他の病棟 04. 他の医療機関の精神科病棟 05. 他の医療機関の精神科病棟以外の病棟 06. 介護老人保健施設 07. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	08. グループホーム 09. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス） 10. 生活訓練施設 11. 入所授産施設 12. その他（ _____ ） 13. 不明	
⑧直近の在宅療養期間における、精神科訪問看護の利用の有無（○は1つ）	01. あり	02. なし	
⑨入院の理由（○はいくつでも）	01. 精神症状が強いため 02. セルフケアに著しい問題があるため 03. 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため	04. 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため 05. 治療・服薬への心理的抵抗が強いため 06. その他（ _____ ）	
⑩入院形態（○は1つ）	01. 任意入院 02. 医療保護入院	03. 措置入院・緊急措置入院 04. 応急入院	
⑪処遇（○は1つ）	01. 開放処遇	02. 閉鎖処遇	
⑫主傷病（○は1つ）	01. 認知症（他の精神疾患によるものを除く）（F00-03） 02. その他の症状性を含む器質性精神障害（F04-09） 03. アルコールによる精神・行動の障害（F10） 04. その他の精神作用物質による精神・行動の障害（F11-19） 05. 統合失調症（F20） 06. その他の精神病性障害（F21-29） 07. 気分（感情）障害（F3） 08. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害（F4）	09. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群（F5） 10. 成人の人格・行動の障害（F6） 11. 知的障害（精神遅滞）（F7） 12. 心理的発達の障害（F8） 13. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害（F90-98） 14. 詳細不明の精神障害（F99） 15. てんかん（G40）	
⑬その他の精神疾患の傷病（○はいくつでも）	01. 認知症（他の精神疾患によるものを除く）（F00-03） 02. その他の症状性を含む器質性精神障害（F04-09） 03. アルコールによる精神・行動の障害（F10） 04. その他の精神作用物質による精神・行動の障害（F11-19） 05. 統合失調症（F20） 06. その他の精神病性障害（F21-29） 07. 気分（感情）障害（F3） 08. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害（F4）	09. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群（F5） 10. 成人の人格・行動の障害（F6） 11. 知的障害（精神遅滞）（F7） 12. 心理的発達の障害（F8） 13. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害（F90-98） 14. 詳細不明の精神障害（F99） 15. てんかん（G40）	
⑭身体合併症（○はいくつでも）	01. 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫） 02. 心疾患（虚血性心疾患など） 03. 手術又は直達・介達牽引を要する骨折 04. 重篤な内分泌・代謝性疾患 05. 重篤な栄養障害（Body Mass Index 13未満の摂食障害） 06. 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害等） 07. 全身感染症（結核、梅毒、敗血症等） 08. 急性腹症（消化管出血、イレウス等） 09. 悪性症候群	10. 横紋筋融解症 11. 広範囲（半肢以上）熱傷 12. 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍 13. 腎不全（透析を必要とする状態） 14. 手術室での手術を必要とする状態 15. 合併症妊娠・出産 16. 膠原病（専門医による管理を必要とする状態） 17. 歯科疾患 18. その他（ _____ ）	

①症状の程度 (○は1つ)	01. 生命の危険がある		04. 近日中に退院予定		
	02. 生命の危険は少ないが入院治療を要する		05. 検査入院		
	03. 受け入れ条件が整えば退院可能		06. その他 ()		
②患者の GAF スコア	1) 入棟時		2) 現在		
③改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) (現在)			点		
④認知症高齢者の 日常生活自立度	01. 自立	02. I	03. II	04. II a	05. II b
	06. III	07. III a	08. III b	09. IV	10. M
	11. 不明				
⑤ADL 区分 (○は1つ)	01. ADL 区分 1	02. ADL 区分 2	03. ADL 区分 3	04. 不明	
⑥重症度・看護必要度 B. 患者の状況等 (○は各1つ)	a. 寝返り	01. できる	02. 何かにつかまればできる	03. できない	
	b. 起き上がり	01. できる	02. できない		
	c. 座位保持	01. できる	02. 支えがあればできる	03. できない	
	d. 移乗	01. できる	02. 見守り・一部介助が必要	03. できない	
	e. 口腔清潔	01. できる	02. できない		
	f. 食事摂取	01. 介助なし	02. 一部介助	03. 全介助	
	g. 衣服の着脱	01. 介助なし	02. 一部介助	03. 全介助	
⑦患者の状態 (○は各1つ)	a. 他者への意思伝達	01. できる	02. できる時とできない時がある		03. できない
	b. 診療・療養上の指示が通じる	01. 通じる	02. 通じない		
	c. 危険行動への対応(過去1か月)	01. なし	02. あり		

a. 特定の看護師や家族にしか意思の伝達ができない場合は「できる時とできない時がある」。昏迷、緘黙の場合は「できない」。

b. 隔離中の場合は、療養上の指示が「通じない」。拒薬も同様。認知症、幻覚妄想状態の患者は指示については「通じない」。

c. 他害や器物破損で二次的に自他の安全を損なう行為、水中毒患者の多飲水も危険行為に含む。

①主傷病に対して実施している診療内容 (○はいくつでも) ※主治医にご確認ください	01. 薬物療法 02. 精神療法 → <table border="0"> <tr> <td>a. 一般精神療法</td> <td>b. 認知療法</td> <td>c. 行動療法</td> <td>d. 精神分析療法</td> </tr> <tr> <td>e. 家族療法</td> <td>f. 箱庭療法・遊戯療法</td> <td colspan="2">g. 作業療法</td> </tr> <tr> <td colspan="4">h. その他（具体的に</td> </tr> </table> 03. その他に利用している治療法や活動（		a. 一般精神療法	b. 認知療法	c. 行動療法	d. 精神分析療法	e. 家族療法	f. 箱庭療法・遊戯療法	g. 作業療法		h. その他（具体的に			
a. 一般精神療法	b. 認知療法	c. 行動療法	d. 精神分析療法											
e. 家族療法	f. 箱庭療法・遊戯療法	g. 作業療法												
h. その他（具体的に														
②向精神薬の処方内容 (該当するものすべて種類数を記入) ※主治医にご確認ください	1) 入院時の処方薬数 抗不安薬（ ）種類 睡眠薬（ ）種類 抗うつ薬（ ）種類 抗精神病薬（ ）種類 2) 現在の処方薬数 抗不安薬（ ）種類 睡眠薬（ ）種類 抗うつ薬（ ）種類 抗精神病薬（ ）種類													
③身体合併症に対する対応状況 (○は1つ)	01. 精神科・神経科の医師が対応 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題がある) 02. 自院の他科の医師が対応 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題がある) 03. 他院の医師の支援を受けて対応 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題がある) 04. 身体合併症の治療は他院に移送して実施 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題がある) 05. 治療を要する身体合併症なし → 3 ページの質問 5. ①へ													
④【上記③で 02、03、04 に○がついた方】 身体合併症について他の診療科を受診した回数（自院・他院の合計）		() 回／月												
⑤【上記③で 02、03、04 に○がついた方】 身体合併症について他の診療科を受診した目的 (○はいくつでも)														
01. 急性期疾患の治療のため		02. 症状の原因の精査												
03. 慢性疾患の治療（悪性腫瘍、循環器、糖尿病、透析、その他）														
04. 歯科治療のため		05. その他（ ）												

⑥【上記③で 02、03、04 に○がついた方】 身体合併症について費用の請求はどのような形でしましたか（○は1つ）	
01. 合議で精算	02. 入院料を減算した上で先方で請求
03. 入院料を減算せず先方で請求（歯科のみ）	
04. その他（ ）	

5. 患者の社会的状況と退院の見通し

①退院後に生活を継続するために必要な支援（○はいくつでも）	01. 薬物療法 02. 精神療法 03. デイケア等 04. 訪問看護サービス	05. 福祉サービス（移送・家事援助など）による援助 06. 不要 07. 将来の退院を想定できない 08. その他（具体的に ）
②退院の見通し（○は1つ）	01. 現在の状態でも在宅サービスの支援体制が整えば退院可能 02. 状態の改善が見込まれるので、在宅サービスの支援体制が新たに整わずとも近い将来（6か月以内）に退院可能となる	03. 状態の改善が見込まれるので、在宅サービスの支援体制が整えば近い将来（6か月以内）に退院可能となる 04. 状態の改善が見込まれず、在宅サービスの支援体制の状況に関わらず将来の退院を見込めない
③退院した場合の支援として重要なもの（○は各1つ）	01. 看護師・ケースワーカー・ヘルパー等による援助指導 02. 不要 01. 24時間体制での対応が必要 04. 1週間で数回の訪問が必要 02. 日中のみ連絡体制が必要 05. 1週間で1回程度の訪問 03. 毎日の訪問	
④現在退院できない場合の最大の理由（○は1つ）	01. (医学的観点から)入院を要する状態が続いているため 02. 病識がないため 03. 患者の経済的理由のため 04. 本人が退院を望まないため 05. 転院・入所先の空き待ちのため 06. 転院・入所への依頼が受け入れられないため 07. 退院後、必要な医療処置の提供が期待できないため 08. 退院後、必要な支援等サービスを期待できないため 09. 家族の受け入れ困難、又は介護者不在のため 10. 生活継続のための支援者がいないため 11. 地域（近所）住民の理解が得られないため 12. その他（ ）	

設問は以上です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

平成26年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成26年度調査）

精神医療の実施状況調査 外来患者票

●平成26年10月31日時点において貴施設の精神科外来を受診した患者の状況について、患者1人につき本調査票1部を可能な範囲でご記入ください。

1. 患者の基本的事項

①性別	01. 男性	02. 女性	②年齢	(10月31日現在) _____ 歳
③精神障害者福祉手帳	01. 手帳をもっていない	02. 1級	03. 2級	04. 3級

2. 精神療法開始前後の状況

①通院開始日	平成・昭和_____年____月____日		
②精神療法開始日	平成・昭和_____年____月____日		
③精神科での入院の有無	01. 有	02. 無	
④過去 2 年間における通算入院回数（平成 24 年 11 月～平成 26 年 10 月）	_____回		
⑤入院中の精神療法等実施の有無	01. 有	02. 無	
⑥直近の入院の理由 （○はいくつでも）	01. 精神症状が強いため 02. セルフケアに著しい問題があるため 03. 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため	04. 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため 05. 治療・服薬への心理的抵抗が強いため 06. その他（	）

3. 患者の現況

①現在の居場所 (○は1つ)	01. 自宅（家族等との同居も含む） 02. 有料老人ホーム 03. 軽費老人ホーム 04. 特別養護老人ホーム 05. サービス付き高齢者向け住宅		06. 認知症グループホーム 07. 精神障害者グループホーム 08. その他（ 09. 不明	
②主傷病 (○は1つ)	01. 認知症（他の精神疾患によるものを除く）（F00-03） 02. その他の症状性を含む器質性精神障害（F04-09） 03. アルコールによる精神・行動の障害（F10） 04. その他の精神作用物質による精神・行動の障害（F11-19） 05. 統合失調症（F20） 06. その他の精神病性障害（F21-29） 07. 気分（感情）障害（F3） 08. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害（F4）		09. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群（F5） 10. 成人の人格・行動の障害（F6） 11. 知的障害（精神遅滞）（F7） 12. 心理的発達の障害（F8） 13. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害（F90-98） 14. 詳細不明の精神障害（F99） 15. てんかん（G40）	
③その他の傷病（精神疾患） (○はいくつでも)	01. 認知症（他の精神疾患によるものを除く）（F00-03） 02. その他の症状性を含む器質性精神障害（F04-09） 03. アルコールによる精神・行動の障害（F10） 04. その他の精神作用物質による精神・行動の障害（F11-19） 05. 統合失調症（F20） 06. その他の精神病性障害（F21-29） 07. 気分（感情）障害（F3） 08. 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害（F4）		09. 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群（F5） 10. 成人の人格・行動の障害（F6） 11. 知的障害（精神遅滞）（F7） 12. 心理的発達の障害（F8） 13. 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害（F90-98） 14. 詳細不明の精神障害（F99） 15. てんかん（G40）	
④精神療法の実施回数（平成26年10月1か月間）		_____回		
⑤精神療法の平均実施時間（平成26年10月1か月間）		1回あたり_____分		
⑥患者の状態	1) GAF 尺度		2) 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)	_____点
⑦認知症高齢者の 日常生活自立度	01. 自立 06. III 11. 不明	02. I 07. IIIa	03. II 08. IIIb	04. II a 09. IV 05. II b 10. M
⑧ADL 区分 (○は1つ)	01. ADL 区分 1	02. ADL 区分 2	03. ADL 区分 3	04. 不明

裏面につづきます

⑨IADL の困難度 (○は各1つ)	a. 食事の用意	01. 問題ない	02. いくらか困難	03. 非常に困難				
	b. 家事一般	01. 問題ない	02. いくらか困難	03. 非常に困難				
	c. 金銭管理	01. 問題ない	02. いくらか困難	03. 非常に困難				
	d. 薬の管理	01. 問題ない	02. いくらか困難	03. 非常に困難				
	e. 電話の利用	01. 問題ない	02. いくらか困難	03. 非常に困難				
	f. 買い物	01. 問題ない	02. いくらか困難	03. 非常に困難				
	g. 交通手段の利用	01. 問題ない	02. いくらか困難	03. 非常に困難				
⑩利用している診療 内容等 (○はいくつでも) (平成 26 年 10 月) ※主治医にご確認ください	01. 薬物療法 02. 精神療法 03. 精神科デイ・ケア (ショート・ケア、ナイト・ケア、デイ・ナイト・ケアを含む) 04. 訪問看護 (訪問看護ステーション) との併用 05. 訪問看護 (病院) との併用 06. 障害福祉サービスとの併用 →具体的に <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>a. 就労支援</td> <td>b. 共同生活援助 (グループホーム)</td> </tr> <tr> <td>c. 短期入所 (ショートステイ)</td> <td>d. その他 ()</td> </tr> </table>				a. 就労支援	b. 共同生活援助 (グループホーム)	c. 短期入所 (ショートステイ)	d. その他 ()
	a. 就労支援	b. 共同生活援助 (グループホーム)						
c. 短期入所 (ショートステイ)	d. その他 ()							
07. 介護保険サービスとの併用 →具体的に <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>a. 訪問介護</td> <td>b. 短期入所生活介護 (ショートステイ)</td> </tr> <tr> <td>c. その他 ()</td> <td></td> </tr> </table>				a. 訪問介護	b. 短期入所生活介護 (ショートステイ)	c. その他 ()		
a. 訪問介護	b. 短期入所生活介護 (ショートステイ)							
c. その他 ()								
08. その他に利用している治療法や活動 ()								
⑪訪問看護の利用状況 (平成 26 年 10 月) ※貴院が直接実施した 場合のみお書きくだ さい。訪問看護ステー ションに指示した場 合はご回答いただく 必要はございません。	1) 訪問した日数 () 日 2) 訪問した回数 () 回 3) 長時間精神科訪問看護・指導加算を算定した回数 () 回 4) 夜間・早朝訪問看護加算を算定した回数 () 回 5) 深夜訪問看護加算を算定した回数 () 回 6) 精神科緊急訪問看護加算を算定した回数 () 回 7) 精神科重症患者早期集中支援管理料の算定の有無→ (01 あり 02 なし) 8) 急性増悪による週 4 回以上の訪問看護の実施の有無→ (01 あり 02 なし)							
⑫精神療法の内容 (平成 26 年 10 月)	01. 一般精神療法 02. 精神分析療法 03. 認知療法 04. 行動療法 05. 家族療法 06. 箱庭療法・遊戯療法 07. 精神科作業療法 08. その他 ()							
⑬向精神薬の処方内容 (該当するものすべ て種類を記入) ※主治医にご確認ください		平成 25 年 10 月	平成 26 年 10 月					
	抗不安薬	() 種類	() 種類					
	睡眠薬	() 種類	() 種類					
	抗うつ薬	() 種類	() 種類					
	抗精神病薬	() 種類	() 種類					
⑭向精神薬多剤投与の 除外規定対象となる 場合はその内容 (○はいくつでも) ※主治医にご確認ください	01. 他の保険医療機関で既に向精神薬を多剤投与されている場合の連続した 6 か月間 02. 既に投与されている薬剤と新しく導入する薬剤を一時的に併用する場合の連続した 3 か月間 03. 臨時に投与した場合 (抗うつ薬、抗精神病薬が対象) (臨時で投与した理由を具体的にお書きください。)							
	04. 精神科の診療に係る経験を十分に有する医師として届出した医師がやむを得ず投与を行う必要が あると認めた場合 (抗うつ薬、抗精神病薬のみが対象) (やむを得ず投与を行った理由を具体的にお書きください。)							
⑮現在利用している精 神科デイケア等	01. 精神科ショート・ケア (小規模なもの) 02. 精神科ショート・ケア (大規模なもの) 03. 精神科デイ・ケア (小規模なもの) 04. 精神科デイ・ケア (大規模なもの) 05. 精神科デイ・ナイト・ケア 06. 精神科ナイト・ケア							

設問は以上です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。